

**HONDA**

Honda Access Corp.

# *Gathers*

## 取扱説明書

11.4 インチ Honda CONNECT ナビ

***LXM-237VFLi***

9 インチ Honda CONNECT ナビ

***LXM-237VFNi***

9 インチ プレミアムインターナビ

***LXU-237NBi***



# HONDA

Honda Access Corp.

このたびは、Honda純正の商品を  
お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、  
ご使用のまえによくお読みいただき  
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。(商品の適用車種はHonda販売店にご確認ください。)
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書とセキュリティカードも一緒にお渡しください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

## ■ お客様のプライバシー保護のために…

- メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

## ■ 著作権保護のために…

- 本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。
- ※ 弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

## ■ 個人情報のお取り扱いについて

- 個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いについては弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は  
お買い上げのHonda販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

※ 取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、地図データ  
ベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

## ————— Honda Total Careのサービスについて —————

2022年3月時点の情報を基に作成しております。サービス内容並びに仕様について予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。



# Index

<b>Intro.</b>		<b>VICS 機能</b>	<b>91</b>
<b>ご使用前に</b>	<b>6</b>	VICSについて.....	91
お客さまへ安全上のご注意.....	11	交通情報を調べる.....	97
本書のみかた.....	14	VICSによる自動処理.....	98
		VICS局を選ぶ.....	100
<b>基本操作</b>	<b>15</b>		
本機について.....	15		
操作のしかた.....	29		
ステアリングリモコンについて.....	31		
文字入力のしかた.....	32		
時計・アイコン表示について.....	35		
お知らせメッセージ.....	36		
HOME画面について.....	37		
Apple CarPlayを利用する.....	43		
Android Auto™を利用する.....	45		
		<b>AV</b>	
		<b>オーディオ機能について</b>	<b>104</b>
		基本操作.....	104
		再生できるディスクの種類について.....	106
		音楽ファイルについて.....	109
		動画ファイルについて.....	116
		<b>ラジオ / 交通情報</b>	<b>119</b>
		ラジオを聴く.....	119
		交通情報を聴く.....	122
		<b>DISC</b>	<b>123</b>
		音楽CDを聴く.....	123
		ディスクの音楽ファイルを聴く.....	128
		DVDビデオを見る.....	132
		<b>SD/Music Rack</b>	<b>143</b>
		SDカードの曲を聴く.....	143
		SDカードの動画を見る.....	148
		Music Rackに録音する.....	152
		Music Rackを聴く.....	154
		<b>iPod/iPhone/Android/USBメモリ</b>	<b>166</b>
		接続する.....	166
		iPodを再生する.....	168
		USBデバイスの曲を聴く.....	172
		USBデバイスの動画を見る.....	177
		<b>テレビ</b>	<b>179</b>
		テレビ機能について.....	179
		テレビを見る.....	180
		放送局・番組を探す.....	186
		好みの放送局を登録する.....	190
		情報を確認する.....	193
		その他の操作.....	194
<b>NAVI</b>			
<b>基本操作</b>	<b>49</b>		
ナビゲーション機能について.....	49		
ナビ画面について.....	53		
地図画面を設定する.....	59		
案内表示について.....	63		
地図を操作する.....	67		
ハイウェイモード表示について.....	68		
地点メニューからの操作.....	70		
<b>目的地の設定</b>	<b>72</b>		
自宅を目的地に設定する.....	72		
地図画面から目的地を設定する.....	73		
目的地を検索する.....	74		
<b>ルートの設定・編集</b>	<b>80</b>		
新規ルートの設定.....	80		
ルートを編集する.....	82		
経由地を編集する.....	84		
デモ走行を確認する.....	87		
<b>地点の登録・編集</b>	<b>88</b>		
登録地点を設定する.....	88		
登録地点を編集する.....	89		



<b>外部入力機器</b>	<b>197</b>	<b>本機の設定</b>	<b>278</b>
Bluetooth Audioを使う .....	197	設定を変更する.....	278
HDMIの映像を見る .....	202	NAVI設定 .....	279
<b>INFO</b>		NAVI情報 .....	289
<b>各種情報を確認する</b>	<b>207</b>	AV設定 .....	291
情報の確認や設定をする .....	207	情報設定 .....	300
ETC情報を確認する.....	208	Bluetooth/ インターナビ設定.....	303
ETC2.0 サービス.....	210	システム設定 .....	311
本機の情報を確認する.....	212	音量設定 .....	321
<b>その他の機能を使う</b>	<b>213</b>	iPod 利用設定.....	323
電話を使う .....	213	ドライブレコーダーの設定 .....	324
フロントカメラを使う .....	222	テレビの設定 .....	328
リアカメラを使う .....	225	その他の設定 .....	333
マルチビューカメラを使う .....	227	<b>Other</b>	
リアカメラ de あんしんプラス 3 を使う ..	228	困ったときは .....	335
パーキングセンサーを使う .....	232	用語解説 .....	347
カメラについて .....	235	別売品 (システムアップ) について .....	351
エアコン情報割込表示.....	236	ソフトウェアについて .....	352
後席会話サポート機能を使う .....	237	地図記号について .....	353
ドライブレコーダーを使う (DRH-204VD)..	238	地図ソフトについて .....	354
ドライブレコーダーを使う (DRH-229ND)..	245	VICS 情報有料放送サービス契約約款 .....	357
リア席モニターを使う (デジタル接続モデル)	252	仕様.....	359
車両の取扱説明書を見る .....	254	保証とアフターサービス .....	361
<b>Honda Total Care</b>	<b>255</b>	用語索引 .....	362
Honda Total Care とは .....	255		
Honda Total Care プレミアムとは .....	256		
Honda Total Care をご利用になる前に	257		
Honda Total Care をご利用になる前に	258		
Honda Total Care			
画面について .....	261		
インターナビ情報を確認する .....	263		
メッセージを確認する .....	264		
交通情報を確認する .....	265		
My スポットを利用する.....	267		
My コースのルートを設定する .....	268		
駐車場セレクトを使う .....	269		
立ち寄り履歴 100 から探す .....	270		
ウェザーを確認する .....	271		
緊急時のサポートについて .....	273		
車内 Wi-Fi を使用する .....	274		
Honda Total Care サービス更新.....	275		
自動地図データ更新サービスについて ..	276		
地図データ更新サービスについて.....	277		

# Intro.

あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

<b>ご使用前に</b> .....	<b>6</b>	ディスクの取り扱いについて.....	26
免責事項について.....	6	取り扱い上のご注意.....	26
ご使用上の注意.....	7	お手入れについて.....	26
共通.....	7	保管上のご注意.....	26
テレビ機能.....	7	ディスク再生の環境について.....	26
電波に関するご注意.....	8	著作権について.....	26
周波数の表示のみかた.....	8	ディスクを挿入する/取り出す.....	27
iPod/iPhone 再生機能.....	8	ディスクを挿入する.....	27
走行中の操作制限について.....	8	ディスクを取り出す.....	27
お手入れのしかた.....	8	<b>操作のしかた</b> .....	<b>29</b>
商標について.....	9	タップ.....	29
Gracenoteについて.....	10	ロングタップ.....	29
<b>お客さまへ安全上のご注意</b> .....	<b>11</b>	ダブルタップ.....	29
<b>本書のみかた</b> .....	<b>14</b>	マルチタップ.....	29
イラスト/画像/モデルの記載について.....	14	フリック.....	29
		スライド.....	30
		ピンチイン.....	30
		ピンチアウト.....	30
		リストから項目を探すとき.....	30
		タブボタンがあるとき.....	30
		<b>ステアリングリモコンについて</b> .....	<b>31</b>
		<b>文字入力のみかた</b> .....	<b>32</b>
		文字入力用キーボード.....	32
		フリック入力画面について.....	33
		入力できる文字の種類.....	33
		名称入力キーボード.....	34
		数字入力用キーボード.....	34
		<b>時計・アイコン表示について</b> .....	<b>35</b>
		各アイコンについて.....	35
		<b>お知らせメッセージ</b> .....	<b>36</b>
		新着情報を表示する.....	36
		新着情報のリストから確認する.....	36
		<b>HOME画面について</b> .....	<b>37</b>
		HOMEメニュー.....	37
		HOMEメニューをカスタマイズする.....	39
		オプションボタンを設定する.....	40
<b>基本操作</b> .....	<b>15</b>		
<b>本機について</b> .....	<b>15</b>		
モニターパネルについて.....	15		
パネルが閉じているとき.....	15		
パネルが開いているとき.....	17		
パネルを開く.....	18		
パネルを閉じる.....	19		
本機を起動する.....	19		
セキュリティコード入力画面.....	20		
エンジンスイッチONメッセージ画面.....	20		
オープニング画面を変更する.....	21		
本機の機能制限について.....	22		
音量を調節する.....	23		
音量の種類について.....	24		
SDカードについて.....	24		
Music Rackの録音について.....	25		
市販のSDカードを使う場合のご注意.....	25		
取り扱い上のご注意.....	25		
保管上のご注意.....	25		
SDカードを挿入する.....	25		
SDカードを取り出す.....	26		

ショートカットメニュー .....	40
ショートカットメニューから機能呼び出す .....	40
ショートカットメニューをカスタマイズする .....	41
登録できる機能について .....	42
<b>Apple CarPlay を利用する .....</b>	<b>43</b>
接続する .....	43
Apple CarPlay 画面を表示する .....	43
Siri を使う .....	43
Siri を起動する .....	43
Apple CarPlay のマップを表示する .....	44
Apple CarPlay を終了する .....	44
<b>Android Auto™ を利用する .....</b>	<b>45</b>
接続する .....	45
Android Auto 画面を表示する .....	45
Google アシスタントを使う .....	45
Google アシスタントを起動する .....	45
Android Auto のマップを表示する .....	46
Android Auto を終了する .....	46

# ご使用前に

## 免責事項について

- ・火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地点など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万が一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- ・本製品に入力した個人情報（登録地点の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。弊社は一切の責任を負いません。  
本製品を譲渡または廃棄される場合には、「メモリ初期化」(P320)の[本機の初期化]をすることをおすすめします。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合があります。また、地図データ不備による損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・高速道路料金や施設利用料などを収録しておりますが、税率変更や各種割引などにより実際の料金と異なる場合がございます。表示金額の不一致による損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。な

- ・お、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。
- ・地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。
- ・地図データの内容は予告なく変更される場合があります。
- ・地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ・ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは説明用に作成したものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該製品を適用している Honda 車以外の車または、バス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- ・本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品は国内専用です。海外では使用できません。

## ■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になるおそれがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながるおそれがあります。  
なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができないおそれがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
  - ≫ 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
  - ≫ 寒冷時など、画面の動きが遅い。
  - ≫ 高温時など、画面が暗いときがある。
  - ≫ 画面を見る角度によって、色合いや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 偏光サングラスを使用すると、視認性が低下する場合があります。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでるおそれがあります。

- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合があります。
- カバーレンズに樹脂を採用していますが、強い衝撃を与えると樹脂が割れて、けがをするおそれがあります。
- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと正しく反応しない場合があります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporationおよびその他の著作権利権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporationの許可が必要で、また、Rovi Corporationの特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、ラジオやテレビの受信状態が悪くなるなど異常が発生するおそれがあります。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線機器などを車内で使用したり、本機に地上デジタルテレビチューナーのアンテナやアンテナコードに近づけたりすると、受信状態が悪くなります。その場合は、本機の利用を中止するか、本機やアンテナから離してご使用ください。

## ■ テレビ機能

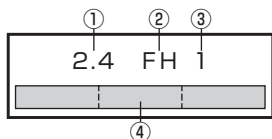
- 本製品は、BS デジタル放送、110度CS デジタル放送には対応していません。
- 本製品はデータ放送には対応していません。
- 移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。
  - ≫ 映像や音声にノイズが発生する。
  - ≫ 映像や音声途切れる。
- 家庭用のデジタルチューナーに比べて受信エリアは狭くなります。
- ワンセグやフルセグ、放送局により受信状態やエリアが変化します。

## ■ 電波に関するご注意


この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで前記記載の無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から前記記載の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を移動する、電源を切るなどの回避処置をしてください。
3. その他、この機器から前記記載無線局に対し有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、Honda 販売店 (P361) へご相談ください。

## ■ 周波数の表示のみかた



本機上面の製品ラベル内に図のような表示があります。

- ① 2.4 : 2400MHz 帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH : 変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。
- ④  : 2400MHz ~ 2483.5MHz の全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

## ■ iPod/iPhone 再生機能

- 本機は、iPod/iPhone の音楽の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- iPod/iPhone の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 適合情報は、<https://www.honda.co.jp/navi/support/> をご覧ください。

## 走行中の操作制限について

安全のため、走行中は一部操作や表示が制限されます。安全な場所に車を停めて操作してください。

## お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つけるおそれがあります。

## 商標について

- ・「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- ・ **NaviCon** NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- ・ WMA (Windows Media Audio) : Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
- ・ AVI (Audio Video Interleave) は米国マイクロソフト社の登録商標です。
- ・ 「ゼンリン」および「ZENRIN」は(株)ゼンリンの登録商標です。
- ・ 「タウンページ」は日本電信電話(株)の商標です。
- ・ 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- ・ なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- ・ MPEG4-AVC (H.264)  
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO.  
NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM
- ・ VC-1  
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO.  
NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM
- ・ MPEG4-Visual  
USE OF THIS PRODUCT IN ANY MANNER THAT COMPLIES WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD IS PROHIBITED, EXCEPT FOR USE BY A CONSUMER ENGAGING IN PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITIES.



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されております。Dolby, Dolby Audio、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI ライセンシング LLCの米国その他の国における商標または登録商標です。



SDHC、SDXC ロゴはSD-3C,LLCの登録商標です。



「VICS」および「VICS WIDE」ロゴは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり「三菱電機株式会社」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



「マップコード」および「MAP CODE」は、(株)デンソーの登録商標です。



Google, Android, Android AutoはGoogle LLCの商標です。



ETCロゴは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。



ETC2.0ロゴは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。



LDACおよびLDACのロゴはソニー株式会社の商標です。



日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品に、このロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

次のページにつづく

Made for

iPhone | iPod

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPod または iPhone 専用に接続するよう設計され、Apple が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

Apple、iPhone、iPod、iPod touch、Siri は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Apple CarPlay は、Apple Inc. の商標です。

Apple は、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

## iPod touch

- iPod touch (7th generation)

## iPhone

- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone X
- iPhone XS
- iPhone XS Max
- iPhone 8
- iPhone 8 Plus
- iPhone XR
- iPhone 7
- iPhone 7 Plus
- iPhone SE
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus

※ ビデオ再生および Genius 機能には対応していません。

※ iPad には対応していません。

※ iPod および iTunes は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

※ 適合情報は、<https://www.honda.co.jp/navi/support/> をご覧ください。

## ■ Gracenote について

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。

Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote の Web サイト [www.gracenote.com](http://www.gracenote.com) をご覧ください。




Gracenote® は、グレースノート社の登録商標です。Gracenote® ロゴおよびロゴ標記、"Powered by Gracenote" ロゴはグレースノート社の商標です。


※ 本機内蔵の Gracenote® データベースは、データの内容を 100%保証するものではありません。








## お客さまへ安全上のご注意


製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

  このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。

   このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。

 この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

## 警告



- **運転者は運転中に、画像を注視しない。**  
前方不注意となり事故の原因となります。  
道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**  
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。**  
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**  
事故、火災、感電の原因となります。
- **本機はDC12V マイナス  $\ominus$  アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。** 火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。** 発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ディスクスロットやSDカードスロットに異物を入れない。**  
火災や感電、故障の原因となります。

## 警告



### 必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。  
本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。  
必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。  
カメラの死角になっている人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。  
カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な臭いがするなど異常が起これば、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に相談する。  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。  
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



### 分解禁止

- 本機を分解したり、改造したりしない。  
故障、火災、感電の原因となります。



### 接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。  
落雷により感電のおそれがあります。

## 注意



### 禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。  
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車を行ったりしないでください。  
カメラが外れたり、角度がずれたりして故障や事故の原因となることがあります。
- ディスプレイを掴んだりして荷重をかけないようにしてください。  
製品の破損やけがの原因となることがあります。
- ディスプレイ開閉時にSDカードやディスクの挿入、取り出しはしないでください。  
SDカードやディスクの破損、けがの原因となる場合があります。



### 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。  
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。  
事故の原因となることがあります。

 **注意****必ず行う**

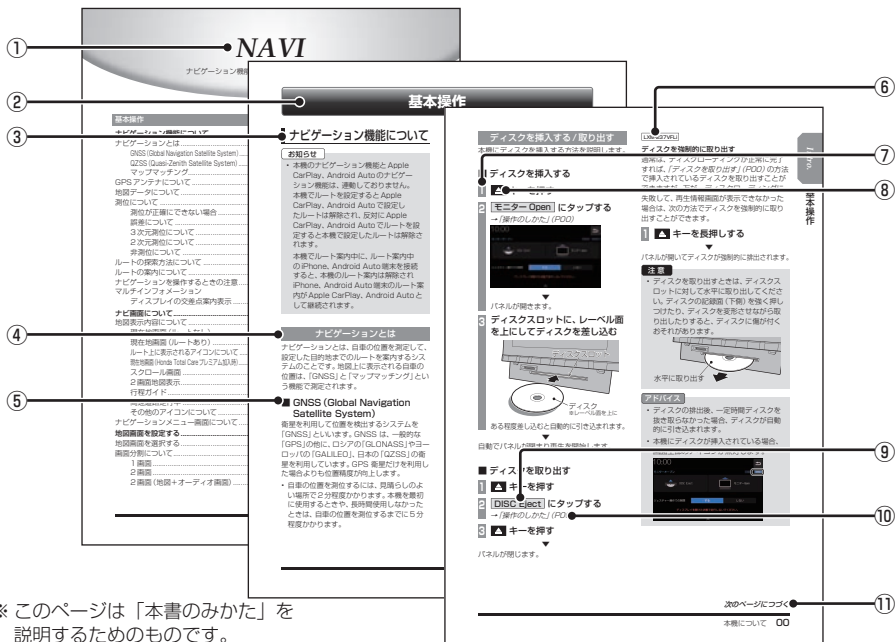
- 取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する。  
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

**指に注意**

- ディスクスロットやSDカードスロットに手や指を入れないでください。  
けがの原因となることがあります。
- ディスプレイは自動で閉じるので、手や指を挟まれないようにご注意ください。  
けがの原因となることがあります。

# 本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※ このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。実際のページ、説明内容とは異なります。

- ① **編見出し**  
主な機能に分けて分類しています。
- ② **章見出し**  
編分類の中でさらに機能进行分类し、各章の先頭に記載しています。  
また、右端のインデックスでも確認できます。
- ③ **大見出し**  
章分類の中で主な操作や機能を分類しています。
- ④ **中見出し**  
大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。
- ⑤ **小見出し**  
中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。
- ⑥ **LX0-237xxx**  
機種により機能や操作が異なる場合に記載しています。
- ⑦ **操作手順**  
操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

- ⑧ **○○○○** キーまたは **[○○○○]** キー  
パネルでの操作キーを示します。
- ⑨ **○○○○** または **[○○○○]**  
画面上に表示されるボタンを示します。
- ⑩ **(P000)**  
参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。
- ⑪ **次のページにつづく**  
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

■ **イラスト/画像/モデルの記載について**  
本書では代表として「LXM-237VFLi」のイラスト/画像を記載しています。機種により機能や操作が異なる箇所には、モデル名を記載しています。

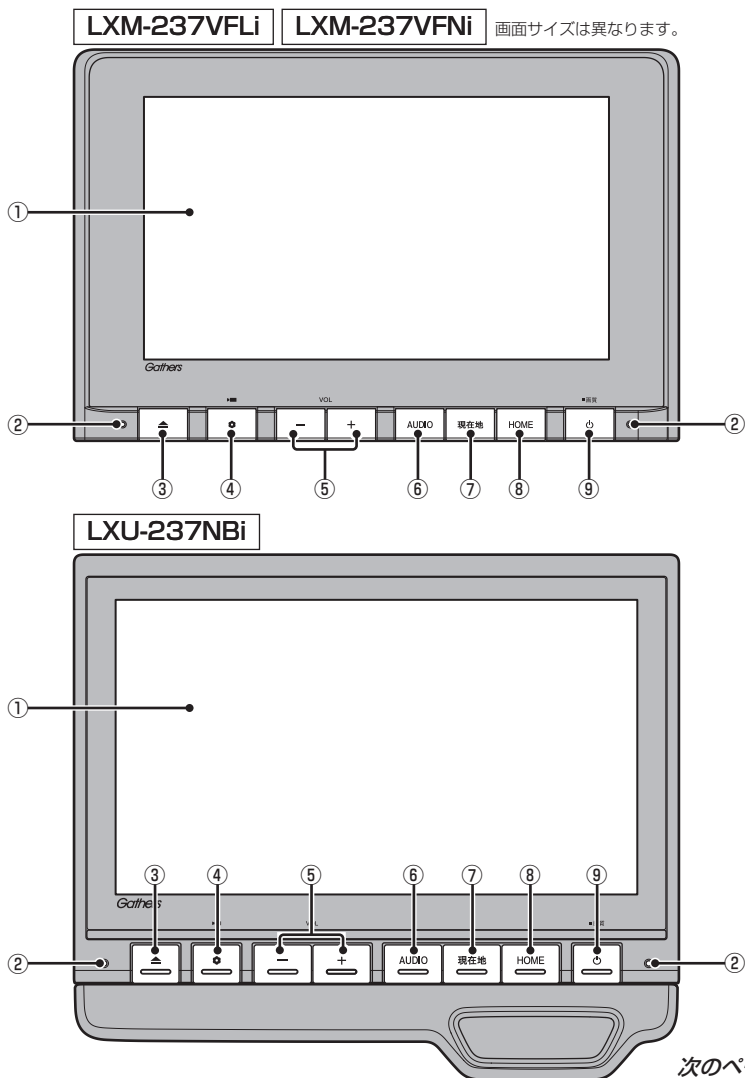
- LXM-237VFLi: **LXM-237VFLi**
- LXM-237VFNi: **LXM-237VFNi**
- LXU-237NBi: **LXU-237NBi**

## 本機について

### モニターパネルについて

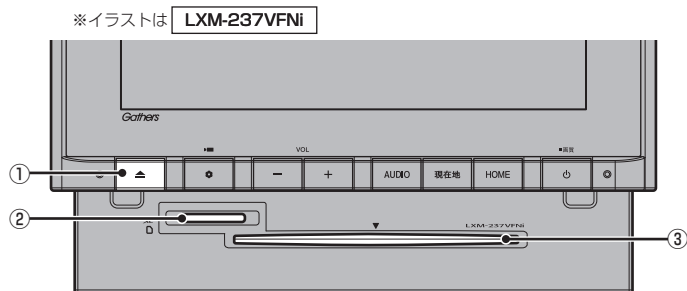
モニターパネルの各部の名称と働きについて説明します。

#### ■ パネルが閉じているとき



- ① **ディスプレイ**  
ディスプレイに表示されるボタンにタップ (P29) することで、ほとんどの操作が行えます。
- ② **マイク**  
本機にマイクを内蔵しています。音声認識やハンズフリー通話のときに使用します。
- ③ **▲ キー**  
モニターパネルを開閉するときや、SDカード (P25)、ディスク (P27) の出し入れをするときに使用します。長押しするとパネルが開き、ディスクを取り出すことができます。
- ④ **⊙ キー**  
オプションボタン動作の設定画面で設定した機能呼び出します。(→P40)  
ドライブレコーダーの手動録画を開始します。(→P239,246)  
本機の電源をOFFしたときに点滅させることができます。(→P312)
- ⑤ **— キー / + キー (→P23)**  
オーディオや電話の着信 / 受話音量、音声案内の音量を調節できます。  
各音声出力中に押すと調節できます。
- ⑥ **AUDIO キー**  
AUDIOメニューまたはオーディオ画面を表示します。(→P104)
- ⑦ **現在地 キー (→P53)**  
ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。  
ルートを設定している場合、音声によるルート案内を聞くことができます。
- ⑧ **HOME キー**  
HOME画面を表示します。→ (P37)
- ⑨ **⏻ キー**  
押すと、オーディオのON/OFFを切り換えます。(→P105)  
長押しすると、画質の調整画面を表示します。(→P333)

## ■ パネルが開いているとき



### ① **▲** キー

モニターを閉じるときに使用します。

### ② SDカードスロット

SDカードを挿入します。SDカード内の音楽ファイルの再生 (P143) や動画ファイルの再生 (P148)、Music Rack への録音 (P152) が行えます。

### ③ ディスクスロット

本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。

→「ディスクを挿入する」(P27)

## ■ パネルを開く

ジェスチャー操作で開く

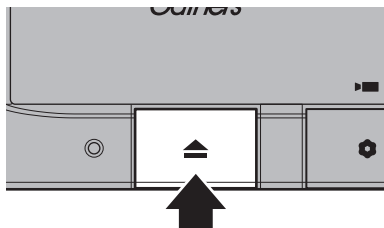
### 1 部から上にスライド (P30) する



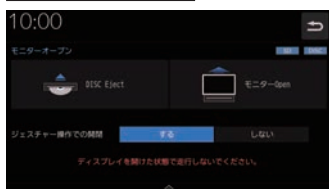
▼  
パネルが開きます。

キー操作で開く

### 1 キーを押す



### 2 DISC Eject または モニター Open にタップする



▼  
パネルが開きます。

## アドバイス

- パネルが開いている間、SDカードスロット、ディスクスロットの照明が点灯します。
- ジェスチャー操作をオフにするには、ジェスチャー操作での開閉の[しない]にタップします。
- 何も操作しない場合は約10秒で自動的にパネルが閉まります。



## ■ パネルを閉じる

ジェスチャー操作で閉じる

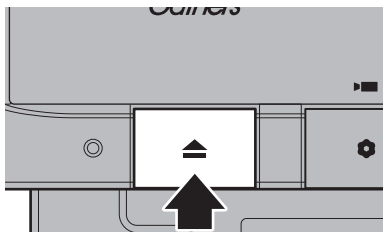
- 1 **▼** 部から下にスライド (P30) する



▼  
パネルが閉じます。

キー操作で閉じる

- 1 **▲** キーを押す



▼  
パネルが閉じます。

## 本機を起動する

本システムを起動します。

- 1 エンジンスイッチを“アクセサリ”または“ON”にする



▼  
オープニング画面が表示され、しばらくするとHOME画面やオーディオ画面、ナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面(ラスト画面)に切り換わります。

## ■ セキュリティコード入力画面

車両点検などバッテリーを外した後に起動すると表示されます。



セキュリティコードを入力し、[決定]にタップしてください。



セキュリティコード(数字5桁)はセキュリティカードに記載されています。セキュリティカードは、なくさないように車外に保管してください。

### お知らせ

- 規定回数間違えると、一定時間操作ができなくなります。
- セキュリティコードを忘れた、セキュリティカードをなくした場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- セキュリティコードは変更できません。
- 次回からセキュリティコードを入力せずに起動(セキュリティ設定解除)できます。  
→「セキュリティの設定」(P312)
- 車両やグレードによっては、フレームNo.を読み取り、自動的にセキュリティを解除します。(セキュリティコード入力画面は表示されません。)

## ■ エンジンスイッチONメッセージ画面

セキュリティコードを入力せずに自動的に本機のセキュリティを解除する車両の場合、エンジンスイッチOFF時に下記の画面が表示される場合があります。

下記の画面が表示されたときは、エンジンスイッチをONにしてください。セキュリティが解除され、本機が起動します。



エンジンスイッチOFFの状態では本機のセキュリティを解除したいときは、[コード入力]をタップし、セキュリティコードを入力してください。

## オープニング画面を変更する

本機の起動時に表示される起動画面を変更します。



### 1 画像を弊社Webサイトから入手し、SDカードに取り込む

入手先やSDカードへの取り込み方法は、弊社Webサイトのナビゲーションページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/navi/support/>

### 2 画像を取り込んだSDカードを本機に挿入する

### 3 **HOME** キーを押す

HOME画面を表示します。

### 4 **設定/情報** → **システム設定** → **起動画面変更** にタップする

### 5 リストから画像を選択し、**決定** にタップする

### 6 **はい** にタップする



起動画面の変更が完了します。

#### お知らせ

- [工場出荷時の画像に戻す]にタップすると、工場出荷時の起動画面に戻ります。車種によっては納車時のオープニング画面と異なる場合があります。
- SDカードに取り込んだ起動画像は、ほかの用途には使用できません。
- 起動画面には弊社Webサイトで提供する専用画面のみ対応しています。

## 本機の機能制限について

本機は、車両の装備やグレードにより、下記機能が使えない場合があります。  
詳しくはお近くのHonda販売店までお問い合わせください。

分類	機能	詳細
メーター連携	Turn by Turn	メーター内マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内の際、交差点案内を表示する機能。 <sup>※1</sup>
	ナビ・オーディオ情報メーター表示	メーター側のステアリングリモコン操作で、ナビの目的地設定操作やAudioのソース切換、電話の発信受話などの操作を可能とする機能。
	車両メーター内時計の連動機能	本機から車両のメーターに時刻情報を送信し、メーター内時計の時刻を合わせて連動させる機能。
	天気予報表示(ウェザーインフォメーション)	メーター内マルチインフォメーションディスプレイに、今日および明日の天気情報を表示する機能。
エアコン	エアコン操作フィードバック	エアコンパネルの操作を画面の上部に割り込み表示する機能。
	PM2.5	車内のPM2.5濃度を専用画面で表示する機能。
ワイヤレスチャージャー	ワイヤレスチャージャー	画面の上部に充電中のアイコンが表示される機能。
イルミ連動	イルミ減光キャンセル機能 <sup>※2</sup>	車両のイルミ減光キャンセル機能に連動し、本機の画面を昼画面輝度に自動で切り換える機能。
カメラ	マルチビューカメラ	車両前後左右や自車を上空から見下ろしたような映像を表示する機能。

※1 表示される道路形状や案内矢印方向の情報などは、実際と異なる場合があります。

※2 車両インストルメントパネル照明が減光しているとき(車両イルミスイッチON状態)、インストルメントパネル照明調整ノブを最大方向に回すと減光状態が解除される機能。調整ノブの配置など当機能の詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。

## 音量を調節する

オーディオや電話の着信、受話音量、各種音声案内の音量を調節します。

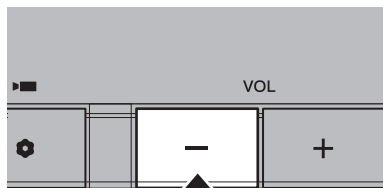
ここでは音声案内中に音量を変更した場合で説明します。

### お知らせ

- アイドリングストップ中は消費電流を抑えるために、音量の設定値にかかわらず、音量の大きさを自動で制限して、大きな音がでなくなります。
- アイドリングストップ中に音量操作を行わなければ、アイドリングストップが解除されたのちに自動で元の音量に戻ります。
- アイドルストップにより音量制限するとき、テロップが表示されます。
- アイドリングストップ中の音量操作に以下の制限があります。
  - 音量レベルが21以上でアイドリングストップになった場合、音量を上げる操作はできません。音量を下げる場合は音量レベル0～20の範囲で音量の操作ができます。
  - 音量レベルが20以下でアイドリングストップになった場合、音量レベル0～20の範囲で音量の操作ができます。

## 1 音声案内が出力されているときに

### — キーを押す



音量表示



音声案内の音量が小さくなります。

## 2 + キーを押す

音声案内の音量が大きくなります。

## ■ 音量の種類について

以下の音が出力されているときに、音量を調節できます。

種類	表示	音量レベル
電話 (着信)	 [ 緑色 ]	1 ~ 11
電話 (受話)	 [ 緑色 ]	1 ~ 11
音声案内	 [ 赤色 ]	1 ~ 11
オーディオ	 [ 青色 ]	0 ~ 40

### アドバイス

- 音声案内が終了するまでオーディオの音量は調整できません。
- 電話 (着信) および電話 (受話) の音量は着信中、通話中の画面で調整できます。

## SD カードについて

本機はオーディオ機能で使用するSDカードに対応しております。SDカードには、Music Rackの音楽CD録音用の専用SDカード(車載用8GB、Class10)と市販されているSDカードがあります。専用SDカードはお買い上げ時、本機に挿入されています。

### 警告



必ず行う

- 事故防止のため、SDカードは乳幼児の手の届かないところに保管する。  
万一、お様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

### 注意

- SDカードの抜き差しは、安全な場所に停車してから行ってください。
- SDカードでデータを読み書きしているときに、SDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。  
記録されたデータの消失または破損のおそれがあります。
  - Sound Settingsの操作中
  - Music Rackの曲を編集集中
  - CD録音中
  - SDカードの初期化中
  - CD-DAの曲タイトル取得中
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- SDカードスロットに異物を入れないでください。けがや発煙、発火の原因になります。

### お知らせ

- SDカードのデータ消失による損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機で表示できない文字列は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- SDカードには寿命があり、書き込みを繰り返すと書き込みや消去などができなくなる場合があります。

## ■ Music Rack の録音について

- Music Rack に音楽 CD を録音するときには、専用 SD カードを使用してください。  
→「[Music Rack への録音について](#)」  
(P152)

## ■ 市販の SD カードを使う場合のご注意

- SD カードの容量は設計上最大 2TB までサポートしております。SD カードのスピードクラスは Class10 以上、容量は 128GB までを推奨いたします。なお、すべての SD カードに対して動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- パソコンの標準機能を使用してフォーマットした SD カードは正しく動作しない場合がありますので、本機でご使用になる SD カードは本機でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットすると、SD カード内にあるすべてのデータは消去されます。SD カード内のデータはバックアップしておくことをおすすめします。
- 本機でのフォーマットは、「[メモリ初期化](#)」(P320) で「SD カードの初期化」を選ぶことで行えます。

## ■ 取り扱い上のご注意

- SD カードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。SD カードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SD カードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでに SD カードが挿入された状態で他の SD カードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SD カード以外のものを挿入しないでください。SD カード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

## ■ 保管上のご注意

本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

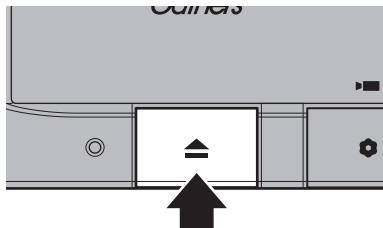
## SD カードを挿入する

オーディオ機能のために使用する SD カードを本機に挿入します。

### お知らせ

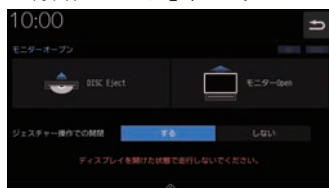
- お買い上げ時、本機に専用の SD カードが挿入されています。

### 1 ▲ キーを押す



### 2 モニター Open にタップする

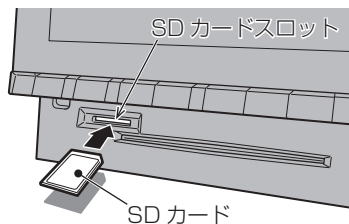
→「[操作のしかた](#)」(P29)



▼  
パネルが開きます。

### 3 SD カードスロットに SD カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



※ ラベル上面を上向きにしてください

### 4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

▼  
SD カードを利用したオーディオ機能が使用可能となります。

## SDカードを取り出す

オーディオ機能のために使用するSDカードを本機から取り出します。

### 1 ▲ キーを押す

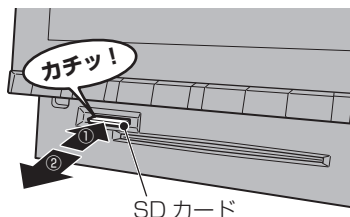
### 2 モニター Open にタップする

→「操作のしかた」(P29)



▼  
パネルが開きます。

### 3 SDカードを「カチッ」と音がするまで押す

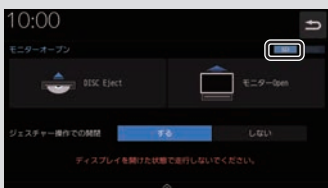


SDカードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

### 4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

#### アドバイス

- 本機にSDカードが挿入されている場合、画面上部のアイコンが点灯します。



## ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

### ■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

### ■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的なクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- 新しいディスクにはディスクの外周と中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

### ■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

### ■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐ使用になると、ディスクや内部の光学部分に露(水滴)が付き正常に動作しない場合があります。

このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

### ■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。



## ディスクを挿入する / 取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

### 注意

- ディスク交換は、安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスクスロットに手や指、異物を入れないでください。けがや発煙、発火の原因になります。
- パネル上にものを置かないでください。
- ディスクを挿入すると自動でパネルが閉まります。ただし、プログラムの更新中は自動でパネルは閉まりません。
- パネル開閉時に手や指をはさみ込まないように注意してください。

## ディスクを挿入する

### 1 ▲ キーを押す

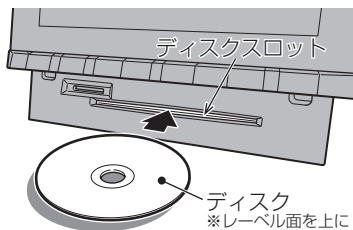
### 2 [モニター Open] にタップする

→「操作のしかた」(P29)



パネルが開きます。

### 3 ディスクスロットに、レーベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

自動でパネルが閉まり再生を開始します。

## ディスクを取り出す

### 1 ▲ キーを押す

### 2 [DISC Eject] にタップする

→「操作のしかた」(P29)



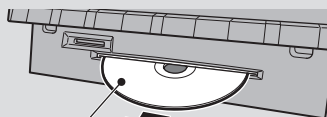
パネルが開き、本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

### 3 ▲ キーを押す

パネルが閉じます。

### 注意

- ディスクを取り出すときは、ディスクスロットに対して水平に取り出してください。ディスクの記録面(下側)を強く押しつけたり、ディスクを変形させながら取り出したりすると、ディスクに傷が付くおそれがあります。



水平に取り出す

### アドバイス

- ディスクの排出後、一定時間ディスクを抜き取らなかった場合、ディスクが自動的に引き込まれます。
- 本機にディスクが挿入されている場合、画面上部のアイコンが点灯します。



## ディスクを強制的に取り出す

通常は、ディスクローディングが正常に完了すれば、「ディスクを取り出す」(P27)の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングに失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

### 1 ▲ キーを長押しする



パネルが開いてディスクが強制的に排出されます。

## 操作のしかた

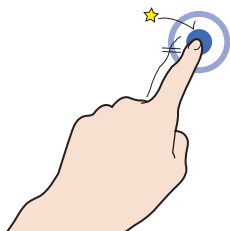
本システムでは、ディスプレイに直接触れることで操作するマルチタッチパネルを採用しています。

### 注意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。

### ■ タップ

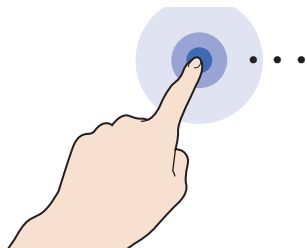
“決定”する操作を行うときなどに使用します。



画面に軽く触れてすぐに離します。

### ■ ロングタップ

早送りや早戻しするときなど、さまざまな場面で使用します。



画面に触れたままの状態にします。

### ■ ダブルタップ

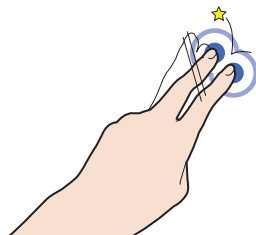
地図の範囲を1段階ずつ詳細にするときに使用します。



1本の指ですばやく2回タップします。

### ■ マルチタップ

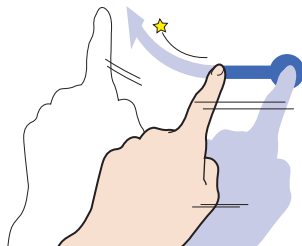
地図の範囲を1段階ずつ広域にするときに使用します。



2本の指で1回タップします。

### ■ フリック

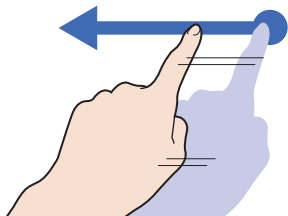
リストや地図をすばやくスクロールするときに使用します。



画面に触れたまますばやく指をはらうように動かし、画面から指を離します。

## ■ スライド

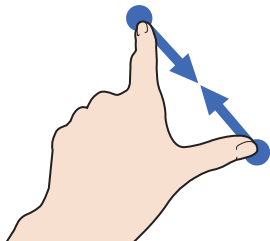
指の動きに合わせて画面をスクロールするとき 사용합니다。



画面に触れたまま指を動かします。

## ■ ピンチイン

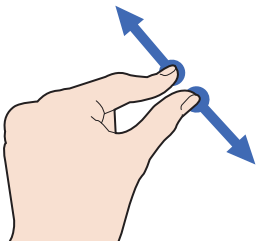
地図の範囲を広域にするときに 사용합니다。



2本の指で画面に触れたまま、指の間隔を縮めるように動かします。

## ■ ピンチアウト

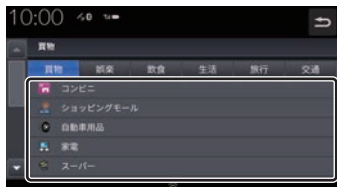
地図の範囲を詳細にするときに 사용합니다。



2本の指で画面に触れたまま、指の間隔を広げるように動かします。

## リストから項目を探るとき

リストの上でフリックまたはスライドします。上の方向に指を動かすとリストは下へスクロールします。





探している項目が表示されたら直接その項目にタップします。



## タブボタンがあるとき

分類がタブボタンで分かれている場合があります。

分類のタブボタンに直接タップすることで、分類の先頭までリストが移動します。



分類の数が多いときは、、 が表示されます。

、 にタップすることで分類のタブボタンを1ページずつ送ることができます。

## ステアリングリモコンについて

ステアリングリモコンは、本機で設定すると各ボタンの機能を変更できます。

→「ステアリングリモコン動作の設定」(P313)

下記の説明は工場出荷時の設定で動作する内容です。

### キー / キー

音量を調節できます。

### キー

画面の表示を地図画面 / Audio 画面に切り換えます。Apple CarPlay 接続時は Apple CarPlay 画面と Apple CarPlay 画面に切り換わる前に表示していた画面、Android Auto 接続時は Android Auto 画面と Android Auto 画面に切り換わる前に表示していた画面を切り換えます。

### **SOURCE** キー / 、 キー

オーディオのソースを切り換えることができます。オーディオが OFF のときは動作しません。

### 、 キー

CD などのトラックやラジオの放送局を選ぶことができます。また、DVD のチャプターを切り換えることができます。

### キー

オプションボタン動作の設定画面で設定した機能呼び出します。

### キー

ハンズフリー電話の場合

- 着信時に電話を受けます。
- 登録番号画面を表示します。
- 長押しするとリダイヤル発信確認画面を表示します。[はい]にタップして前回電話をかけた番号にリダイヤルします。

Apple CarPlay または Android Auto 電話の場合

- 着信時に電話を受けます。

### キー

ハンズフリー、Apple CarPlay または Android Auto で通話中の電話を切ります。上記以外で  の操作が可能な画面では、1 つ前の画面に戻ります。

### キー

Apple CarPlay または Android Auto 利用時に押すと Siri または Google アシスタントを起動します。

### レフトセクターホイール

上下に回しソースを切り換えます。  
レフトセクタースイッチを押して決定します。

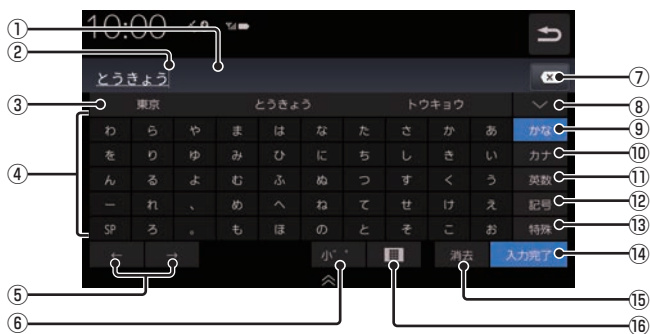
※ ステアリングボタンによっては変更できないメニューがあります。

※ 車両によってはデザインやボタン数が異なり、本機の操作では使用しない場合があります。

# 文字入力のしかた

文字入力キーボードの各メニューについて説明します。

## 文字入力用キーボード



### ① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。確定前の文字には下線が付きます。

### ② カーソル

| で表示され、| の左側に文字が入力されます。

### ③ 変換文字候補リスト

入力した文字の変換候補が3件表示されます。候補にタップすることで文字が入力されます。

### ④ 入力キーボード

タップで表示されている文字を入力できます。

### ⑤ ←, →

カーソルの位置を移動します。

### ⑥ 小, 全角, 半角, 大文字, 小文字

, 特殊1, 特殊2, 特殊3  
入力キーボードに表示される文字により選択できます。

### ⑦ ×

入力中の文字を一文字削除します。

### ⑧ 変換文字候補リスト表示

タップすると変換候補を一覧表示します。もう一度タップすると一覧が消えます。

### ⑨ かな

入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

### ⑩ カナ

入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

### ⑪ 英数

入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

### ⑫ 記号

入力キーボードに表示される文字が「記号」に切り換わります。

### ⑬ 特殊

入力キーボードに表示される文字が「特殊文字」に切り換わります。

### ⑭ 入力完了

入力された文字をすべて確定します。

### ⑮ 消去

入力文字表示部の文字を1文字ずつ削除します。

### ⑯ □ / □

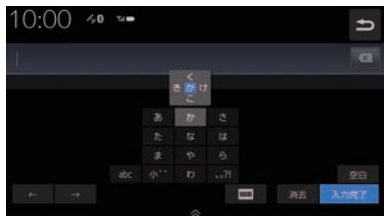
キーボードの入力タイプをタップ/フリックに切り換えます。

### アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないボタンや別のボタンになることがあります。

## フリック入力画面について

□ にタップすると、キーボードタイプがフリック入力に切り換わります。フリック (P29) で表示された文字を選択し、入力します。



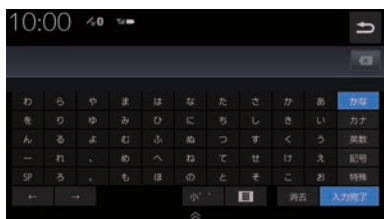
## 入力できる文字の種類

入力キーボードはさまざまな文字が入力できるように用意されています。

文字入力は、各機能の操作の途中で必要になったときに表示します。

ただし、機能によって入力できる文字を制限することがあります。

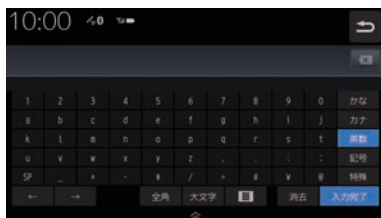
### ひらがな



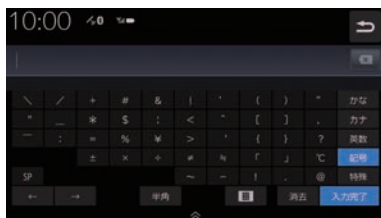
### カタカナ



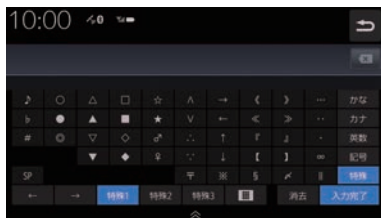
### アルファベット/数字



### 記号



### 特殊文字



#### アドバイス

- [特殊1]～[特殊3]をタップすると、入力キーボードの文字が切り換わります。

## 名称入力キーボード

名称を「ひらがな」で入力し検索できるように用意されています。



検索結果を表示可能な件数までひらがなを入力したら[検索]にタップします。

### アドバイス

- 検索件数が表示可能な件数以下になると[検索]をタップして検索結果を表示することができます。

## 数字入力用キーボード

電話番号や郵便番号など数字のみを入力できるように用意されています。

### 電話番号用



### 郵便番号用





## 時計・アイコン表示について

画面上部に表示される内容について説明します。



### ① 時計表示

24時間制で時計を表示します。  
タップするとアナログ時計またはデジタル時計を表示することができます。

### ② アイコン表示エリア

本機の状態や車両の状態をアイコンで表示します。

### ③ (戻る)

1つ前の画面に戻ります。













### アドバイス

- 時計のアイコンにタップするとアナログ時計またはデジタル時計を表示することができます。
- 時計表示の画面から [設定] にタップすると、時計表示や時報の設定ができます。  
→「時計の設定」(P315)



## ■ 各アイコンについて

### 表示例)

	準天頂衛星 (P49) を受信時に表示します。 受信している衛星の状態は測位情報画面に表示されます。 →「測位情報」(P289)
	Bluetooth 接続されていると表示します。 →「Bluetooth の設定」(P303)
	携帯電話の電波強度を表示します。
	テレマティクスユニットの電波強度を表示します。
	ETC/ETC2.0 を接続している場合、ETC 機能の状態を表示します。 →「ETC 情報を確認する」(P208)
	ドライブレコーダーを接続している場合に表示します。 →「ドライブレコーダーを使う (DRH-204VD)」(P238) →「ドライブレコーダーを使う (DRH-229ND)」(P245)
	フロントカメラが接続されている場合に表示します。 →「フロントカメラを使う」(P222)
	友達マップ機能が ON の場合に表示します。 アイコンの色 緑色：友達マップ機能 ON 黄色：友達マップ機能 ON でナビ・スマートフォン間の通信エラー発生 →「友達マップを表示する」(P78)
	後席会話サポート機能動作時に表示します。 →「後席会話サポート機能を使う」(P237)
	音声ミュート時に表示します。
	お知らせメッセージを受信すると表示します。
	運転支援系の機能を表示します。

## お知らせメッセージ

Hondaからのお知らせなど、カーライフに役立つ情報をタイムリーに確認できます。また、未読のメッセージも確認できます。

### 新着情報を表示する

#### 1 “新着情報” にタップする



新着情報を表示します。

 にタップすると元の画面に戻ります。

### 新着情報のリストから確認する

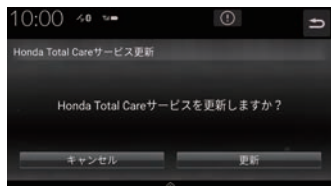
新着情報がある場合、画面上部に新着情報アイコンを表示します。

#### 1 “新着情報アイコン” にタップする



新着情報リストを表示します。

#### 2 “確認したい新着情報” にタップする



タップした新着情報を表示します。

 にタップすると元の画面に戻ります。

### アドバイス

- 新着情報リストは情報更新日時の新しい順に追加されます。
- 新着情報リストの[消去]ボタンを押すとリストから削除することができます。

# HOME 画面について

各メニューから、さまざまな機能を使うことができます。

## HOME メニュー

[HOME] キーを押して表示する HOME メニューについて説明します。

HOME メニューには機種や車両の装備によって表示しないメニューがあります。

(表示例は LXM-237VFLi / LXM-237VFNi)

HOME メニューはカスタマイズできます。(→P39)



次のページにつづく

## ① メニューアイコン

各アイコンにタップするとメニューを表示します。

ナビメニュー	ナビメニューを表示します。→(P58)
Apple CarPlay <sup>*1</sup>	Apple CarPlay の画面を表示します。→(P43)
Android Auto <sup>*1</sup>	Android Auto の画面を表示します。→(P45)
電話	電話画面を表示します。→(P214)
設定 / 情報	設定 / 情報画面を表示します。→(P278)
Honda Total Care	Honda Total Care のメニュー画面を表示します。→(P261)
Audio Source 一覧	オーディオのソース画面を表示します。→(P104)
取扱説明書 <sup>*2*</sup> <sup>*3</sup>	車両の取扱説明書を表示します。→(P254)
車内 Wi-Fi <sup>*3</sup>	車内 Wi-Fi 画面を表示します。→(P274)
時計	デジタル時計またはアナログ時計を表示します。→(P35)
メニューカスタマイズ	ボタンの構成 (個数) の変更やボタンの入れ換えをすることができます。 →(P39)
緊急サポート <sup>*2*</sup> <sup>*4</sup>	緊急サポート画面を表示します。→(P273)
ドライブレコーダー情報 <sup>*1*</sup> <sup>*2</sup>	ドライブレコーダー情報画面を表示します。→(P290)
PM2.5 <sup>*1*</sup> <sup>*3*</sup> <sup>*5</sup>	PM2.5 の情報画面を表示します。→(P236)
カメラ <sup>*1*</sup> <sup>*3*</sup> <sup>*5</sup>	カメラの情報を表示します。→(P227)

## ②

右ページを表示します。

画面をフリック (P29) / スライド (P30) しても切り換えることができます。

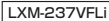
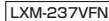
## ③

左ページを表示します。

画面をフリック (P29) / スライド (P30) しても切り換えることができます。

※ 1 使用できない場合、使用制限がある場合、認証されていない場合はマスク表示となります。

※ 2 走行中はマスク表示となります。

※ 3   のみとなります。

※ 4  のみとなります。

※ 5 車両の装備によっては表示されない場合があります。

## HOMEメニューをカスタマイズする

## 1 HOME画面の

メニューカスタマイズ  
にタップする

2 **−** または **+** にタップして、画面に表示されるボタンの数を変更する



3 ~ 8個に変更できます。



メニューのリストが表示されますので変更したいメニューにタップしてください。

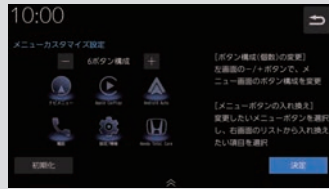
3 **決定** にタップする



メニューのカスタマイズが完了します。

## アドバイス

- [初期化]にタップすると工場出荷時の配置に戻ります。
- すでに配置されているボタンに変更(移動)した場合、元の位置のボタンは何も配置されていない状態になります。



## オプションボタンを設定する

🔘 (オプションボタン) キーによく使う機能を1つ選んで設定できます。

### お知らせ

- フロントカメラを接続している場合は、[フロントカメラ切換]機能が設定されています。
- マルチビューカメラを接続している場合は、[マルチビューカメラ切換]機能が設定されています。

## 1 HOME キーを押す

HOME画面を表示します。

## 2 [設定/情報] → [システム設定] にタップする

## 3 [ハードキー動作の設定] → [オプションボタン動作の設定] にタップする

## 4 設定したい“機能”にタップする

自宅	現在地画面の場合、自宅を目的地に設定します。
昼夜切換	画面の明るさを昼用/夜用に切り換えます。
フロントカメラ切換	フロントカメラを接続している場合、カメラ映像に切り換えます。
マルチビューカメラ切換	マルチビューカメラを接続している場合、マルチビューカメラの映像に切り換えます。
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーが本機に接続されている場合、静止画撮影を行います。
後席会話開始/停止	後席会話サポート機能の開始/停止を切り換えます。

## 5 [決定] にタップする

▼  
オプションボタンの設定が完了します。

## ショートカットメニュー

よく使う機能を自由にまとめておけるメニューです。現在地画面(P53)から呼び出すことができます。

走行中は、選択できない項目があります。

## ■ ショートカットメニューから機能呼び出す

### 1 現在地画面から

[ショートカット] にタップする



### 2 呼び出したい“機能”にタップする



▼  
タップした機能呼び出します。

### アドバイス

- ショートカットメニューを閉じるときは [閉じる]、前の画面に戻るときは [戻る] にタップします。

## ■ ショートカットメニューをカスタマイズする

あらかじめ用意された一覧をカスタマイズします。ショートカットメニューに登録できる機能については、「登録できる機能について」(P42)をご覧ください。

### アドバイス

- ・ [初期化] にタップすると工場出荷時の設定に戻ります。

### 1 現在地画面から **メニュー** にタップする

ナビメニュー画面を表示します。

### 2 **ナビ設定** にタップする

### 3 **ショートカット設定** にタップする

ショートカットメニューの設定画面を表示します。

### 4 設定したい場所のアイコンにタップする



### 5 リストから設定したい“機能”にタップする



タップしたアイコンの位置に選択した機能が設定されます。

登録済みのメニューにタップするとタップしたメニューの位置が入れ替わります。

## ■ 登録できる機能について

ショートカットメニューには以下の機能から9件まで登録できます。

機能	タップ時の動作
目的地履歴	目的地履歴画面を表示します。(→P75)
ナビ詳細設定	ナビ詳細設定画面を表示します。(→P280)
ナビ音声案内	ナビ音声案内のON/OFFを切り換えます。
並走路切替	並走路切り替え画面を表示します。(→P86)
ルート全体	ルート全体を表示します。(→P83)
ルート編集	ルート編集画面を表示します。(→P82)
よく行く地点	よく行く地点に設定した地点を表示します(→P89)
周辺検索	周辺検索画面を表示します。(→P71)
施設マーク	地図に表示する施設マークを設定します。
NaviCon友達マップ	NaviCon友達マップ画面を表示します。(→P78)
NaviCon友達マップ全体表示	NaviCon友達マップ全体画面を表示します。(→P79)
ドライブレコーダー動画録画	ドライブレコーダー動画録画を開始/延長します。 DRH-204VDの場合(→P239)
	ドライブレコーダー動画録画を開始します。 DRH-229NDの場合(→P246)
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダー静止画撮影を開始します。 DRH-204VDの場合(→P240) DRH-229NDの場合(→P247)
案内停止/案内再開	ルート案内を停止、再開します。



## Apple CarPlay を利用する

本機に Apple CarPlay 対応の iPhone を USB ケーブルで接続すると Apple CarPlay を利用できます。

### 接続する

本機と iPhone を USB ケーブルで接続します。接続のしかたについては「接続する」(P166)をご覧ください。

### お知らせ

- 最新の OS バージョンを使ってください。
- iPhone の適合ソフトウェアは、<https://www.honda.co.jp/navi/support/> をご覧ください。
- [AUDIO] キーを押すと Apple CarPlay の状態によっては Apple CarPlay 画面を表示します。
- 走行中は Apple CarPlay の動作が制限される場合があります。
- iPhone の電波状態が悪いなど iPhone の状態によっては Apple CarPlay の動作が制限される場合があります。
- Apple CarPlay は Apple 社が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 弊社は、Apple Carplay をご利用いただいたことにより生じた損害について一切の責任を負いません。
- Apple CarPlay を利用しているあいだ、ユーザー情報および位置や速度などの車両情報がスマートフォンより送信されます。Apple CarPlay を利用することで、それらの利用規約に同意したことになります。
- 接続時や起動するときは、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- Apple CarPlay の詳細な機能などについては <https://www.apple.com/jp/ios/carplay/> をご覧ください。

## Apple CarPlay 画面を表示する

- 1 **HOME** キーを押し、**Apple CarPlay** にタップする



Apple CarPlay を表示します。

### Siri を使う

#### ■ Siri を起動する

- 1 **ステアリングリモコンのキーを押す**  
Siri が起動します。
- 2 **用件を話す**

## Apple CarPlayのマップを表示する

### 1 現在地 キーを押す



Apple CarPlayのマップを表示します。

#### アドバイス

- Apple CarPlay Turn By Turnが有効でない場合は最後に表示していた地図画面を表示します。

## Apple CarPlayを終了する

本機からiPhoneを取り外すとApple CarPlay接続が解除され終了できます。Apple CarPlayを利用中は、本機の機能が一部制限されますのでApple CarPlayを利用しないときは、Apple CarPlayを終了してください。

## Android Auto™を利用する

本機にAndroid Auto対応の端末をUSBケーブルで接続するとAndroid Autoを利用できます。

### 接続する

本機とAndroid Auto対応の端末をUSBケーブルで接続します。

接続のしかたについては「接続する」(P166)をご覧ください。

### お知らせ

- 最新のOSバージョンを使ってください。
- Android Autoの適合ソフトウェアは、<https://www.honda.co.jp/navi/support/>をご覧ください。
- [AUDIO] キーを押すとAndroid Autoの状態によってはAndroid Auto画面を表示します。
- 走行中はAndroid Autoの動作が制限される場合があります。
- 電波状態が悪いなどAndroid端末の状態によってはAndroid Autoの動作が制限される場合があります。
- Android Autoの各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 弊社は、Android Autoをご利用いただいたことにより生じた損害について一切の責任を負いません。
- Android Autoを利用しているあいだ、ユーザー情報および位置や速度などの車両情報がスマートフォンより送信されます。Android Autoを利用することで、それらの利用規約に同意したことになります。
- 接続時や起動するときは、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- Android Autoの詳細な機能などについては[https://www.android.com/intl/ja\\_jp/auto/](https://www.android.com/intl/ja_jp/auto/)をご覧ください。

## Android Auto画面を表示する


- 1 **HOME** キーを押し、  
**Android Auto** にタップする



Android Autoの画面を表示します。

## Google アシスタントを使う

### Google アシスタントを起動する

- 1 **ステアリングリモコンの**  **キーを押す**  
Google アシスタントが起動します。
- 2 **用件を話す**

## Android Autoのマップを表示する

### 1 現在地 キーを押す



Android Autoのマップを表示します。

#### アドバイス

- Android Auto Turn By Turnが有効でない場合はナビゲーションの現在地画面を表示します。

## Android Autoを終了する

本機からAndroid Auto端末を取り外すとAndroid Auto接続が解除され終了できます。Android Autoを利用中は、本機の機能が一部制限されますのでAndroid Autoを利用しないときは、Android Autoを終了してください。

# NAVI

ナビゲーション機能に関する操作方法を説明します。

<b>基本操作</b>	<b>49</b>	地図向きについて	60
<b>ナビゲーション機能について</b>	<b>49</b>	自転車基準	60
ナビゲーションとは	49	北基準	60
GNSS (Global Navigation Satellite System)	49	地図の種類について	61
QZSS (Quasi-Zenith Satellite System)	49	2D マップ	61
マップマッチング	49	3D ビューマップ	61
GPS アンテナについて	49	ランドマークの表示を個別に設定する	61
地図データについて	49	地図色を設定する	62
測位について	50	地図の文字サイズを設定する	62
測位が正確にできない場合	50	<b>案内表示について</b>	<b>63</b>
誤差について	50	交差点案内図	63
3次元測位について	50	一般道方面看板表示	63
2次元測位について	50	リアル交差点案内図	63
非測位について	50	分岐表示	64
ルートの探索方法について	51	高速出入口イラストマップ	64
ルートの案内について	51	料金所案内図	64
ナビゲーションを操作するときの注意	52	レーン案内	65
マルチインフォメーション		合流案内	65
ディスプレイの交差点案内表示	52	踏切案内	65
<b>ナビ画面について</b>	<b>53</b>	ETCレーン案内	65
地図表示内容について	53	ゾーン30案内	65
現在地画面 (ルートなし)	53	高速道路逆走防止案内	66
現在地画面 (ルートあり)	54	<b>地図を操作する</b>	<b>67</b>
ルート上に表示されるアイコンについて	54	縮尺の切り換え	67
現在地画面 (Honda Total Care プレミアム加入時)	55	市街地地図について	67
スクロール画面	56	地図をスクロールする	67
2画面地図表示	57	<b>ハイウェイモード表示について</b>	<b>68</b>
行程ガイド	57	表示内容について	68
高速道路走行中	57	施設の情報について	69
その他のアイコンについて	57	<b>地点メニューからの操作</b>	<b>70</b>
ナビゲーションメニュー画面について	58	目的地に設定する	70
<b>地図画面を設定する</b>	<b>59</b>	経路地に設定する	70
地図画面を選択する	59	周辺の施設を探す	71
画面分割について	59		
1画面	59		
2画面	59		
2画面 (地図+オーディオ画面)	60		
		<b>目的地の設定</b>	<b>72</b>
		自宅を目的地に設定する	72
		地図画面から目的地を設定する	73

<b>目的地を検索する</b> .....	<b>74</b>
検索画面を表示する.....	74
オンライン検索.....	74
名称.....	75
住所.....	75
My スポット.....	75
登録地点.....	75
目的地履歴.....	75
ジャンル.....	76
周辺.....	76
前回の検索地点.....	76
電話番号.....	76
郵便番号.....	76
マップコード.....	76
緯度・経度.....	76
NaviCon を使う.....	77
対応機能について.....	77
目的地を送信する.....	77
友達マップを表示する.....	78

## **ルートの設定・編集** **80**

<b>新規ルートの設定</b> .....	<b>80</b>
ルート探索画面について.....	80
新規ルートを設定する.....	81
<b>ルートを編集する</b> .....	<b>82</b>
ルート編集メニューを表示する.....	82
ルート編集.....	82
新規ルート設定.....	83
ルート全体.....	83
ルート情報.....	83
案内停止 / 案内再開.....	83
保存ルート一覧.....	83
ルート消去.....	83
<b>経由地を編集する</b> .....	<b>84</b>
ルート編集画面から経由地を編集する.....	84
経由地を追加する.....	84
経由地の順番を入れ換える.....	85
通過道路を設定する.....	85
並走道路の切り替え.....	86
<b>デモ走行を確認する</b> .....	<b>87</b>

## **地点の登録・編集** **88**

<b>登録地点を設定する</b> .....	<b>88</b>
地点を登録する.....	88
自宅を登録する.....	88
<b>登録地点を編集する</b> .....	<b>89</b>
登録地点情報を編集する.....	89
よく行く地点を設定する.....	89
登録地点を消去する.....	90

## **VICS 機能** **91**

<b>VICS について</b> .....	<b>91</b>
VICS のメディアと特徴.....	91
FM 多重放送.....	91
ETC2.0.....	91
インターネットナビ交通情報.....	91
VICS 情報のレベル.....	91
レベル1 (文字).....	91
レベル2 (簡易図形).....	91
レベル3 (地図).....	91
音声情報.....	92
VICS メニューを表示する.....	92
表示内容について.....	93
VICS メニューについて.....	94
VICS 記号について.....	95
VICS センターへのお問い合わせ.....	96
VICS センター お客様相談窓口.....	96
<b>交通情報を調べる</b> .....	<b>97</b>
文字・図形情報を見る.....	97
受信履歴を見る.....	97
<b>VICS による自動処理</b> .....	<b>98</b>
緊急情報の割り込み表示.....	98
再表示するには.....	98
ルート自動更新.....	98
図形 / 文字情報の割り込み表示.....	99
<b>VICS 局を選ぶ</b> .....	<b>100</b>

# 基本操作

## ナビゲーション機能について

### お知らせ

- 本機のナビゲーション機能と Apple CarPlay、Android Auto のナビゲーション機能は、連動しておりません。本機でルートを設定すると Apple CarPlay、Android Auto で設定したルートは解除され、反対に Apple CarPlay、Android Auto でルートを設定すると本機で設定したルートは解除されます。  
本機でルート案内中に、ルート案内中の iPhone、Android Auto 端末を接続すると、本機のルート案内は解除され iPhone、Android Auto 端末のルート案内が Apple CarPlay、Android Auto として継続されます。

### ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GNSS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

### ■ GNSS (Global Navigation Satellite System)

衛星を利用して位置を検出するシステムを「GNSS」といいます。GNSS は、一般的な「GPS」の他に、ロシアの「GLONASS」やヨーロッパの「GALILEO」、日本の「QZSS」の衛星を利用しています。GPS 衛星だけを利用した場合よりも位置精度が向上します。

- 自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で2分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに5分程度かかります。

### ■ QZSS (Quasi-Zenith Satellite System)

「準天頂衛星システム」とも呼ばれます。準天頂衛星は、日本の天頂付近に長時間滞在するため、GPS 衛星だけでは測位が困難だった場所でも、準天頂衛星の補完によって測位が向上します。

本機では準天頂衛星を活用したさまざまなサービスには対応しておりません。

### ■ マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

### 注意

- ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

### GPS アンテナについて

本機の GPS アンテナでは、GPS、QZSS、GLONASS からの電波を受信します。

### アドバイス

- 人工衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。
- ウィンドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
  - GPS アンテナの上や周辺にものを置いたり、ETC アンテナを取り付けたりしないでください。
  - 携帯電話や PHS、パソコンなどを GPS アンテナの近くで使用しないでください。

### 地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。

### ■ 測位が正確にできない場合

トンネルの中やビル内の駐車場、高層ビルで囲まれているような場所、山や樹木で囲まれているような場所、高速道路や電車の高架下などは人工衛星から電波を受信できないことがあります。この場合、測位はジャイロセンサーと車速センサーによる自律航法になりますので、正確な自車位置の測位ができなくなることがあります。

### ■ 誤差について

人工衛星から電波を受信できないとき、誤差が生じやすくなり、自車位置が正しく表示されることがあります。

しばらく走行して人工衛星から電波を受信できるようになると、現在地のずれは自動的に修正されます。

### 自車位置が正しく表示されない原因

- ・ 高速道路と一般道路が近くにあるとき
- ・ 碁盤目状の道路を走行しているとき
- ・ 勾配の急な山岳路を走行しているとき
- ・ 直線路を長い間走行した後、右左折したとき
- ・ エンジンスイッチ ON 直後
- ・ 渋滞中や駐車場などの低速走行しているとき（車種によっては低速走行時に車速信号を出力していないため）
- ・ タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- ・ ターンテーブルなどで旋回したとき
- ・ 角度が小さい Y 字路を走行しているとき
- ・ フェリーなどで車両運搬移動した後
- ・ 立体駐車場やらせん状の道路を走行しているとき
- ・ 広い道路で蛇行運転しているとき
- ・ 応急用タイヤなどに交換したとき
- ・ 雪道や砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき

### ■ 3次元測位について

4個以上の人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる場合、緯度、経度、標高の3次元の位置を計算します。

### ■ 2次元測位について

3個以上の人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる状態で3次元測位に至らない場合、標高が前回と変わらないと想定して緯度、経度の2次元の位置を計算します。この場合3次元測位よりも位置精度は低下します。

### ■ 非測位について

人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できない場合非測位となります。



## ルートの探索方法について

- ルート案内で表示されるルートは目的地までの参考ルートであって必ずしも最短ルート、渋滞していないルートではありません。
- すべての道路がルート案内の対象道路ではありません。
- 探索条件で有料優先を選択した場合でも、一般道路を通ったほうがよいと判断される場合は、有料道路を通らないルートを表示することがあります。また、自転車位置が有料道路上にある場合や目的地が有料道路上にある場合は、一般優先で探索を選択していても、有料道路を通るルートを表示することがあります。
- 有料道路のインターチェンジ、パーキングエリア、サービスエリアを目的地や経由地にする場合は施設検索および高速略図から選択し、地図をスクロールさせずに設定してください。
- 同じ場所を目的地や経由地に設定した場合でも前回作成したルートと同じにならない場合があります。
- 通行できない歩道や階段などを含むルートを表示する場合があります。
- 目的地まで道がない場合や細い道しかない場合は目的地から離れた場所までのルートを表示する場合があります。
- 道路形状によっては施設に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- 長期通行規制などがあった場合、規制情報を考慮したルートを探索する場合があります。
- 冬季通行止めなどは一部対応していないものや期間が実際と異なる場合があります。
- スマートICを通るルートを探索した場合、スマートICに設けられている対象車種制限は考慮していません。

## ルートの案内について

- ルート探索をして自車がルート上のときは目的地または次に通過する経由地までの距離を表示します。
- 交差点で曲がるのに交差点名称の案内や音声案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときに、外れる前のルートに対する音声案内をする場合があります。
- 案内距離および案内地点までの所要時間は目安ですので多少ずれることがあります。

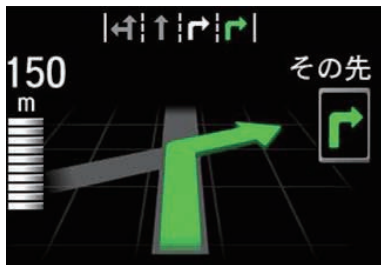
## ナビゲーションを操作するときの注意

- ルート案内中は、必ず実際の交通規制に従ってください。交通事故の原因になるおそれがあります。
- 実際の工事規制や一方通行などの通行規制がルート案内と異なることがあります。必ず、実際の交通規制に従ってください。
- 時間規制などの交通情報はルート探索した時刻のものが反映されず、運転の際は必ず実際の交通規制に従ってください。
- 自車が移動した距離は、スピードセンサー（タイヤの回転数に比例）で測定しています。新品または規格外のタイヤを装着しているときやタイヤの空気圧が適正でないときは、誤差が生じやすくなり、自車の位置が正しく表示されないことがあります。
- 走行中は道路の表示量が制限され、表示されない道路があります。（細街路など）
- 目的地までの距離が極端に近い、または遠いときはルートが探索できないことがあります。
- ルートを外れて走行しても、自動的にルートを再探索します。
- 到着予想時刻は、道路状況や運転のしかたによって変化します。
- 走行中は一部操作に制限がかかります。走行中の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

## マルチインフォメーションディスプレイの交差点案内表示

ルート案内中、交差点の曲がる方向や交差点までの距離などをメーター内マルチインフォメーションディスプレイに表示します。

※ 車両の装備やグレードが交差点案内表示に対応している必要があります。



### お知らせ

- 表示される道路形状や案内矢印方向の情報などは、実際と異なる場合があります。
- 仕様およびデザインは、車両のグレードによって異なります。また、改良のため予告なく変更することがあります。

# ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

## お知らせ

- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画面は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

## 地図表示内容について

### ■ 現在地画面（ルートなし）

[現在地] キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。



#### ① 各アイコン (→P35)

画面上部に時計や本機の状態を表示します。

#### ② VICS 提供時刻

VICSの提供時刻(P93)と気象予報(P271)を表示します。

#### ③ (→P59)

タップすると、地図表示を北基準・自車基準・3Dに切り換えます。

#### ④ 縮尺アイコン

表示されている地図の縮尺を示します。  
[広域]または[詳細]にタップすると、縮尺を変更できます。

#### ⑤ アイコン表示

地図上に案内音声ミュート、ゾーン30エリア、地図更新のアイコンを表示します。  
(→P57,P276)

#### ⑥ 現在地メニュー

現在地メニューを表示します。非表示のときは自車位置の地点情報を表示します。

##### 自宅へ

自宅を目的地に設定します。(→P72)

##### メニュー

ナビメニューを表示します。(→P58)

##### 目的地検索

目的地を検索します。(→P74)

##### ここを登録 / ここを編集

[ここを登録]にタップすると、カーソル地点を登録できます。(→P88)  
登録地点にカーソルを合わせると[ここを編集]に表示が変わり、タップすると地点情報を編集できます。(→P89)

##### Honda Total Care

Honda Total Careの画面を表示します。  
(→P261)

##### ルート消去

設定しているルートを消去します。

##### ショートカット

ショートカットメニューを表示します。  
(→P40)

##### on / off

メニューの表示/非表示を切り換えます。

#### ⑦

前の画面にもどります。

#### ⑧ 自車位置アイコン

赤い円の中の矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行方向を示します。

#### ⑨ ボタン消

タップすると、地図上に表示されるボタンなどの表示を消します。タップするたびに、表示/非表示が切り換わります。

## ■ 現在地画面（ルートあり）



### ① 目的地 / 経由地情報

目的地または経由地の到着予想時刻、距離を示します。自転車が経路から外れると表示されません。




経由地を設定している場合、タップするたびに、目的地 / 次の経由地の情報が切り換わります。

### ② (黄色の丸マーク)

次に曲がる交差点を示しています。

### ③ ルート

目的地までの道のりを色分けした線で表示します。

一般道		(緑色)
細街路		(ピンク色)
高速 / 有料道 フェリー航路		(水色)

### ④ 交差点名

(黄色の丸マーク) が示している交差点名を表示します。交差点名がない場合、ルート案内中は「交差点」と表示します。




### ⑤ 交差点案内アイコン

次に曲がる交差点 (黄色の丸マーク) までの距離と曲がる方向を示します。

### ⑥ 直線誘導線

目的地の方向を示す直線を表示します。

## ルート上に表示されるアイコンについて

アイコン	マークの意味
	目的地
	経由地 (1~5)
	通過道路 (1~5)

## ■ 現在地画面 (Honda Total Care プレミアム加入時)

Honda Total Care プレミアムの会員サービスとして最新の地図データが配信されます。

→「自動地図データ更新サービスについて」(P276)

Honda Total Care プレミアム加入時に表示される現在地画面の表示内容について説明します。



### ① 自動地図データ更新アイコン

Honda Total Care プレミアムにご加入いただいていると表示します。

## ■ スクロール画面

地図スクロール(P67)を行ったときや検索後に表示するスクロール画面の表示内容について説明します。



### ① カーソル ( マーク )

スクロールした場所の中心地点に表示されます。

### ② 地点メニュー

カーソル地点を目的地や経由地に設定できます。

目的地にする (→P70)

経由地にする (→P70)

周辺検索 (→P71)

### ③ ここを登録

カーソルの地点を登録することができます。  
[ここを登録]で設定した地点、および登録地点の上にカーソルを合わせると[ここを編集]に切り換わります。

## ■ 2画面地図表示



各画面のスケールや地図の向きを調整することができます。

## ■ 行程ガイド



### ① 交通情報

交通情報を表示します。  
(赤：渋滞、オレンジ：混雑)

### ② 行程ガイド

交差点情報などを表示します。

## ■ 高速道路走行中







### ① 交通情報

交通情報を表示します。  
(赤：渋滞、オレンジ：混雑)

### ② 行程ガイド

サービスエリアやパーキングなどの情報を表示します。

## ■ その他のアイコンについて

アイコン	マークの意味
	ナビの案内音声ミュート
	ゾーン30 時速30キロの速度規制区域 生活道路での歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、時速30キロの速度規制が実施されています。
 (青色)	自動地図データ更新 (→P276)
 (灰色)	

## ナビゲーションメニュー画面について

現在地画面から[メニュー]をタップしたときに表示する、ナビゲーションメニューについて説明します。



- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| ① 周辺検索<br>周辺の施設を検索します。(→P71)           | ⑤ ルート<br>設定したルートを編集します。(→P82)        |
| ② 目的地<br>目的地検索画面を表示します。(→P74)          | ⑥ 登録地点<br>登録した地点を表示します。(→P75)        |
| ③ 目的地履歴<br>過去設定した目的地を表示します。<br>(→P75)  | ⑦ ナビ設定<br>ナビゲーションの設定をします。<br>(→P279) |
| ④ 登録地点編集<br>自宅や登録した地点を編集します。<br>(→P89) | ⑧ 情報<br>各種情報画面を表示します。(→P289)         |



# 地図画面を設定する

地図の表示状態を切り換えたり、ランドマークの表示や地図色を変更したりすることができます。

## 地図画面を選択する

### 1 ① にタップする



### 2 タップするたびに3D→北基準→自動車基準→3Dの地図に切り換わる



### アドバイス

- 2画面の右画面を変更する場合は、右画面側の①にタップします。



## 画面分割について

地図の画面分割方法について説明します。

### ■ 1画面

標準的な地図を1画面に表示します。



### ■ 2画面

縮尺、方位が違う2つの地図を同時に表示できます。



### アドバイス

- 地図画面の表示設定は「ナビ詳細設定」の「地図」 「2画面表示」で設定します。  
→「地図」(P283)

## ■ 2画面(地図+オーディオ画面)

地図とオーディオ画面を同時に表示します。



### アドバイス

- 音楽を再生しているときは、再生や一時停止、早送り、早戻しの操作が行えます。また、リピートおよびランダム of の切り換えもできます。
- ラジオや交通情報を選択しているときは、プリセットボタンを表示します。
- AUDIO ソースによって、操作が行えるボタンの表示状態が異なります。
- 地図画面の表示設定は「ナビ詳細設定」の「地図」 「2画面表示」で設定します。  
→「地図」(P283)

## 地図向きについて

切り換えることのできる地図の向きについて説明します。

### ■ 自車基準

自車の進行方向を上とした地図を表示します。



### ■ 北基準

北を上とした地図を表示します。



## 地図の種類について

切り換えることのできる地図の種類について説明します。

### ■ 2Dマップ

「自車基準」または「北基準」の地図向きが選べる一般的な地図を表示します。



### ■ 3Dビューマップ

上空から見下ろした地図を表示します。



#### アドバイス

- 3Dビューマップは自車基準のみ表示できます。
- 3Dの地図角度は「NAVI設定」3D地図角度変更(→P283)で設定します。

## ランドマークの表示を個別に設定する

ランドマークの種類ごとに表示する/しないを設定できます。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **NAVI設定** にタップする
- 4 **ナビ詳細設定** にタップする

## 5 **地図** にタップする



## 6 “施設マーク表示” 項目の **>** にタップする



## 7 “設定したい施設ジャンル” にタップする



## 8 種類ごとに表示 **する** / **しない** をタップしていく



表示するランドマークの選択が完了します。

#### アドバイス

- すべての施設マークを表示する場合は [全選択] にタップします。
- すべての施設マークを表示しない場合は [全選択解除] にタップします。
- 縮尺が10m~200mのときに表示します。

## 地図色を設定する

地図の表示色パターンを変更できます。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **NAVI設定** にタップする
- 4 **ナビ詳細設定** にタップする
- 5 **地図** にタップする



- 6 “地図色設定”のいずれかにタップする



選択した地図色設定が適用されます。

## 地図の文字サイズを設定する

地図の文字サイズを設定できます。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **NAVI設定** にタップする
- 4 **ナビ詳細設定** にタップする
- 5 **地図** にタップする



- 6 “文字サイズ”のいずれかにタップする



選択した文字サイズが適用されます。

## 案内表示について

本機では状況に応じて、さまざまな案内を表示します。

### 交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声とともに表示します。

交差点までの距離や交差点名、方面名称を表示します。

交差点までの距離は、残距離バーでも表示します。



### アドバイス

- AUDIO ソース画面をお楽しみの際は、割り込みの表示はありません。音声のみで案内されます。
- 右画面に表示される案内図は [×] にタップすると表示を消すことができます。



- 手動で表示する場合は、“交差点案内アイコン” にタップしてください。



## 一般道方面看板表示

走行中、一般道方面看板の情報が则表示します。



黄色の丸マークは案内対象の交差点を示しています。

## リアル交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声とともに表示します。(データがある交差点のみ) 曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。

交差点までの距離は、残距離バーでも表示します。



### 注意

- 自転車位置マークは表示されません。

## ■ 分岐表示

ルート走行中、側道へ分岐する際に音声とともに表示します。(データがある交差点のみ) 交差点までの距離は、残距離バーでも表示します。



### 注意

- 自転車位置マークは表示されません。

## 高速出入口イラストマップ

ルート走行中、高速道路に進入する際に表示します。  
高速入口までの距離は、残距離バーでも表示します。



### 注意

- 自転車位置マークは表示されません。
- 同じ入り口でも進入方向によっては表示されない場合があります。

## 料金所案内図

走行中に料金所に近づくと音声で案内します。

### 注意

- すべての料金所を案内するわけではありません。
- 各種割引料金は計算されません。
- 料金改定、税率変更などにより、実際の料金と異なる場合がございます。

## レーン案内

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。



黄色の丸マークは案内対象の交差点を示しています。

### アドバイス

- 高速略図表示中は表示されません。
- ルート走行中の場合はおすすめレーンが黄緑色の矢印で表示されます。
- 音声による案内を行うレーンもあります。
- すべてのレーンを案内するわけではありません。
- 実際のレーン状況と異なる場合があります。

## 合流案内

前方に合流地点が存在する場合、音声で案内します。  
合流案内を「する」にしておく必要があります。  
→「案内」(P282)

## 踏切案内

前方に踏切が存在する場合、音声で案内します。  
「踏切案内」を「する」にしておく必要があります。  
→「案内」(P282)

## ETCレーン案内

ETCレーン案内を表示します。  
ETCレーン案内を「する」にしておく必要があります。  
→「案内」(P282)



## ゾーン30案内

速度30キロ規制の「ゾーン30」エリアに入ると、音声案内とアイコンを表示します。  
ゾーン30案内を「する」にしておく必要があります。  
→「案内」(P282)



## 高速道路逆走防止案内

高速道路で逆走している可能性がある場合、メッセージと音声で案内します。高速道路逆走防止案内を「する」にしておく必要があります。

→「案内」(P282)

### 注意

- ・状況によっては案内されない場合や案内の内容が実際と異なる場合があります。進路を確認して安全に走行してください。

### お知らせ

- ・下記の場合、案内をしなかったり、間違った案内をしたりすることがあります。
  - 車両の実際の位置がナビゲーションの表示位置と異なる場合
  - GPSなど各種センサーが故障している場合
  - 対象道路以外を走行している場合
  - 地図画面に表示されていない道路を走行している場合
  - 通知対象以外の逆走を行った場合
  - 警察や道路管理会社などの誘導により、Uターンを行う場合
  - 順走に復帰するためにUターンを行う場合

### アドバイス

- ・メッセージは[×]をタップまたは各キーを押すと消えます。



## 地図を操作する

縮尺の切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

### 縮尺の切り換え

広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。

#### 1 ピンチインまたはピンチアウトして、縮尺を変更する

→「操作のしかた」(P30)



指の動きに合わせて縮尺が切り換わります。

#### アドバイス

- 走行中に、ピンチイン/ピンチアウトを行うと、縮尺が1段階ずつ切り換わります。
- 1段階ずつ広域にするにはマルチタップ(P29)、詳細にするにはダブルタップ(P29)をすると便利です。
- [広域]または[詳細]をタップすることでも縮尺を切り換えることができます。また、ロングタップ(P29)すると連続的に縮尺の切り換えができます。

### 市街地地図について

縮尺を10/25/50mにするとビルや家の形まではっきりと見える市街地地図を表示できます。



#### アドバイス

- 地域によっては市街地地図が表示されない場合があります。

## 地図をスクロールする

現在地画面から別の場所へ移動し、地図を確認したいときに使用します。

#### アドバイス

- スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。

#### 1 フリックまたはスライドして見たい場所まで画面をスクロールする

→「操作のしかた」(P29)



※ マークを探している場所に合わせます。

#### アドバイス

- [戻る]にタップすると現在地画面(P53)に戻ることができます。
- ロングタップ(P29)することで連続的にスクロールすることができます。
- 地図にタップすると、タップした地点まで画面をスクロールします。

# ハイウェイモード表示について

高速道路を走行するとハイウェイモード表示に切り換わります。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認できます。

## アドバイス

- 高速略図は、都市間高速道路、都市高速道路および一部の有料道路や自動車専用道路について表示されます。

本書で使用している高速道路の略語は以下のとおりです。

- SA：サービスエリア
- PA：パーキングエリア
- IC：インターチェンジ
- JCT：ジャンクション

## 表示内容について



### ① 施設情報

この場所にある施設のマークを表示します。

### ② 渋滞情報

混雑(橙)、渋滞(赤)の状況を色で表示します。

### ③ 施設名と到達予定時間、残り距離表示

SA、PA、IC、JCTの名称と自車位置からの距離および到達予定時刻を表示します。降りることができないインターチェンジは表示されません。

### ④ ▲, ▼

施設名のリストを前に進めたり戻したりできます。

### ⑤ VICS 記号表示

→「VICS 記号について」(P95)

### ⑥ ETC 専用アイコン

スマートICがある施設に表示します。

### ⑦ SAPA ボタン

ルート上のSA,PAのみを表示します。

## 施設の情報について

施設の情報が表示されます。



## アドバイス

- 施設情報は優先度順に5つまで表示します。
- 工場出荷時の設定では、高速道路を走行すると自動でハイウェイモード表示に切り換わります。→「案内」(P282)

アイコン	マークの説明
	ガソリンスタンド 商標マークを表示します。
	コンビニエンスストア 商標マークを表示します。
	スマートIC
	レストラン
	軽食
	コーヒー
	公衆電話
	FAX
	休憩所
	名産
	宝くじ
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	ポスト
	ベッド
	お風呂
	温泉
	コインシャワー
	コインランドリー
	郵便局
	銀行
	ベビーベッド
	トイレ
	身障者用トイレ
	身障者施設
	ドッグラン


## 地点メニューからの操作

地点メニューを表示すると目的地や経由地、登録地点などの設定が行えます。

### 目的地に設定する

スクロール画面 (P56) の  地点を目的地に設定します。

#### アドバイス

- すでにルートが設定されている場合は、そのルートが消去して  地点を新しい目的地として設定します。

### 1 地点メニュー (P56) の 目的地にする にタップする



ルート探索画面 (P80) を表示します。

### 2 “探索条件” にタップする

### 3 案内開始 にタップする



目的地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

#### アドバイス

- [案内開始] にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

### 経由地に設定する

スクロール画面 (P56) の  地点を経由地に設定します。

#### アドバイス

- 目的地を設定している必要があります。

### 1 地点メニュー (P56) の 経由地にする にタップする



追加した経由地

### 2 探索開始 にタップします。 ルート探索画面 (P80) を表示します。

### 3 案内開始 にタップする



目的地、経由地までのルート探索が完了します。

#### アドバイス

- [案内開始] にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

## 周辺の施設を探す

スクロール画面 (P56) の  地点周辺の施設を探します。

ここでは、例として周辺のコンビニを探します。

1 地点メニュー (P56) の  
**周辺検索** にタップする

2 **コンビニ** にタップする



3 探している“施設”にタップする



4 **地点表示** にタップする



選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

# 目的地の設定

## 自宅を目的地に設定する

- 1 **現在地** キーを押す
- 2 **自宅へ** にタップする



自宅を目的地に設定し、ルート探索を開始します。

### アドバイス

- あらかじめ登録地点編集で自宅を登録します。→「登録地点を編集する」(P89)

## 地図画面から目的地を設定する

- 1 **現在地** キーを押す
- 2 地図スクロールし、目的の地点にカーソルを合わせる



- 3 **目的地にする** にタップする

▼  
カーソル地点を目的地に設定します。

### アドバイス

- 目的地設定のほか経由地の設定、周辺検索をすることができます。

## 目的地を検索する

本機では、さまざまな方法で目的地を検索することができます。

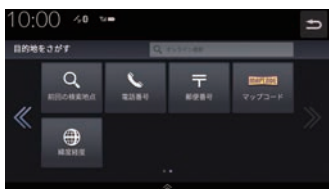
### 検索画面を表示する

1 **現在地** キーを押す

2 **目的地検索** にタップする



3 いずれかの「検索方法」にタップする



タップした検索方法の画面を表示します。

#### アドバイス

- 目的地設定のほか経路地の設定、目的地の切替、地点を表示することができます。

## ■ オンライン検索

Honda Total Careを利用して目的地を検索できます。

ご利用には Honda Total Care プレミアムのお申し込みが必要です。詳しくは Honda Total Care プレミアムのホームページをご確認ください。

URL : <https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/>



[オンライン検索] 欄に施設名を入力して [検索] にタップすると、検索結果を表示します。検索結果は 50 件まで表示できます。



検索結果は施設 / 住所で並び替えることができます。



## ■ 名称

施設名を入力して検索します。



施設名を入力し、[検索]にタップすると検索結果を表示します。検索は入力した文字に該当する施設が3000件以下になったときに選択できます。



検索結果は50音順/距離順で並び替えることができます。

## ■ 住所

住所を入力して検索します。

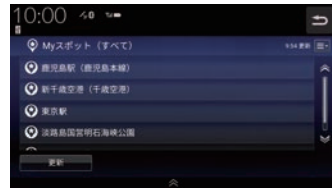
都道府県から順に選択し、住所を入力します。



入力した住所を中心とした地図と情報を表示します。

## ■ Myスポット

会員サイトで登録したMyスポットを表示します。



### アドバイス

- Myスポット検索を使用するには会員登録が必要です。  
→[Honda Total Care] (P255)

## ■ 登録地点

登録済みの地点を新しい順に表示します。



## ■ 目的地履歴

過去に設定した目的地を新しい順に表示します。



## ■ ジャンル

ジャンルと地域を選択して検索します。



検索結果は最大100件をリストで表示し、50音順/距離順で並び替えることができます。

## ■ 周辺

周辺の施設を検索します。  
検索したい施設をタップします。



検索結果を表示します。最大100件をリストに表示します。

### アドバイス

- ルート設定している場合、現在地周辺、目的地周辺、ルート周辺で並び替えることができます。

## ■ 前回の検索地点

前回検索した地点を表示します。

## ■ 電話番号

電話番号を入力して検索します。入力した電話番号に該当する地点の地図が表示されます。



## ■ 郵便番号

郵便番号を入力して検索します。入力した郵便番号に該当する地点の地図が表示されます。



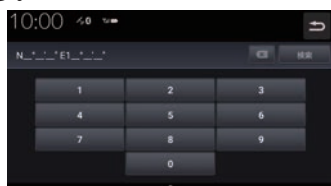
## ■ マップコード

マップコードを入力して検索します。



## ■ 緯度・経度

緯度→経度の順に2桁ずつ入力します。入力した緯度経度に該当する地点の地図が表示されます。



## NaviConを使う

スマートフォン(NaviConアプリが使用できる端末)から目的地を探し、本機に転送することができます。

転送後、本機からルートの探索を行います。



### 注意

- 運転中にスマートフォンを手に持って操作する行為はたいへん危険ですので絶対に行わないでください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、スマートフォンを車内に放置しないでください。

### お知らせ

- 本機能をiPod/iPhoneでご使用になるときは、iPod/iPhoneをiPod/iPhoneのUSBケーブル(Apple純正)で本機に接続しないでください。ケーブルとの同時接続を行うと本機能はご使用になれません。
- スマートフォンに「NaviCon」アプリを事前にダウンロードしておく必要があります。詳しくは、NaviConサポートサイトをご覧ください。  
<https://navicon.com/user/support/>
- NaviConアプリが表示する地図の縮尺はスマートフォンによって異なります。また、NaviCon側の地図と本機側との地図の縮尺に差異を感じる場合があります。

### お知らせ

- NaviConアプリを操作中、スマートフォンの操作音が本機を經由して車両のスピーカーから鳴る場合があります。この現象は、スマートフォン側の操作音をOFFすると改善します。
- 本機で表示できない文字列は記号(例: 細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(絵文字や特殊文字など)

### ■ 対応機能について

NaviConアプリとの連携機能は以下のとおりです。

NaviConとの連携	対応
地図スクロールの遠隔操作	○
地図縮尺変更の遠隔操作	○
目的地送信	○
友達マップとの連携	○

### ■ 目的地を送信する

#### 1 スマートフォンを本機に接続する

あらかじめ本機とスマートフォンをBluetooth接続(シリアル通信)しておく必要があります。

→「Bluetooth接続」(P303)

#### 2 スマートフォンで目的地を探し、本機に転送する

本機にスマートフォンから転送した地点を目的地に設定します。

次のページにつづく

## アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P56) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。  
→「地点メニューからの操作」(P70)
- NaviConアプリでピンをドロップすると、マップコードが表示されます。このマップコードを利用すれば、スマートフォンを本機に接続することなく本機に地点を設定できます。  
→「マップコード」(P76)

## ■ 友達マップを表示する

友達マップとの連携を行います。

- 1 **スマートフォンを本機に接続する**  
あらかじめ本機とスマートフォンをBluetooth接続 (P303) しておく必要があります。
- 2 **スマートフォンで友達マップの機能を開始する**
- 3 **HOME** キーを押す  
HOME 画面を表示します。
- 4 **ナビメニュー** にタップする  
現在地画面の[メニュー]にタップしても表示できます。
- 5 **情報** にタップする
- 6 **NaviCon 友達マップ** にタップする
- 7 「友達マップ」の **ON** にタップする



NaviConから友達情報が通知されると地図画面に友達アイコンを表示します。

## 友達マップ全体表示

現在表示できる友達アイコンがすべて表示できる地図画面に切り換えます。

### 1 「友達マップを表示する」(P78)の手順7まで操作する

### 2 「友達マップ全体表示」の表示する にタップする



友達マップを全体表示します。

## アドバイス

- 友達マップを利用する場合は、NaviConを最新バージョンに更新してください。ただし、NaviConのサポートが終了しているiOS、Androidのバージョンでは最新バージョンに更新しても本機能をご利用になれない可能性があります。
- [リスト]にタップすると、メンバーのリストを表示します。リスト表示中は、友達マップの情報を更新しません。



- 友達マップに表示可能なメンバーは最大20件です。
- 全体表示の友達マップとリスト表示中の友達マップの最大縮尺は250kmです。
- 「友達マップを表示する」(P78)で「友達マップ」を[ON]に設定すると、現在地画面に自動的にメンバーのアイコンを表示させることができます。
- 以下の場合、友達マップの情報を表示できません。
  - 自分のアイコン (NaviConで表示されている青い友達アイコン)
  - 本機に表示できない (海外など) 友達アイコン
  - スマートフォン側で友達マップの機能を停止した
  - 認証キーで認証エラーとなった
  - ご自身のスマートフォン側で確認メッセージが表示されている

# ルートの設定・編集

## 新規ルートの設定

目的地の検索結果画面から目的地を設定します。

### ルート探索画面について



#### ① ルートの情報<sup>\*1</sup>

現在探索されているルートの総距離、到着時間、料金を表示します。

#### ② ルート表示

現在探索されているルートの概略を表示します。

#### ③ ルート探索条件

異なる条件でルートを探索します。

スマート	時間、料金、ETC割引をバランス良く考慮したルート
最速	とにかく最短時間で目的地まで到着できるルート
無料道優先	一般道、無料の高速道路を優先した最短時間ルート
ETC割引	ETC割引を積極的に利用、料金を割安にするルート
らくらく	道幅が広めで右左折が少なく走り易い初心者向けルート
省燃費	燃料消費量が最小でCO <sub>2</sub> 排出量も削減できるルート

#### アドバイス

- 優先するルートタイプは最大5つまで表示することができます。その中からひとつを選択します。  
→「ナビ詳細設定」(P280)

#### ④ ルート編集 (P82)

ルート編集画面を表示し、経由地の追加や削除などができます。

#### ⑤ ルート情報 (P83)

現在探索されているルートの詳細情報を表示します。

#### ⑥ ルート消去

探索したルートを消去します。

#### ⑦ デモ走行 (P87)

探索したルートを仮想的に走行させ、確認できます。

#### ⑧ 案内開始 (P81)

現在探索されているルートの案内を開始します。

<sup>\*1</sup> 表示される料金は料金改定、税率変更などにより、実際の料金と異なる場合がございます。

## 新規ルートを設定する

## 1 目的地を検索する

→「目的地を検索する」(P74)

## 2 「目的地にする」にタップする



ルート探索画面を表示します。

## 3 設定したい「探索条件」にタップする



## 4 「案内開始」にタップする



新規ルートの設定が完了し、ルート案内を開始します。

## アドバイス

- ・「ルート編集する」(P82)の[新規ルート設定]からも新規ルートを設定できます。

# ルートを編集する

## ルート編集メニューを表示する

1 **現在地** キーを押す

2 **メニュー** にタップする



3 **ルート** にタップする



ルート編集メニュー画面を表示します。

ルート編集	ルート編集画面を表示し、設定したルートの編集ができます。
新規ルート設定	現在のルートを削除し、新しいルートを設定できます。
ルート全体	ルートの全体を表示します。
ルート情報	ルートの詳細情報を確認できます。
案内停止/案内再開	ルート案内を停止、または再開できます。
保存ルート一覧	保存したルートを表示できます。

### アドバイス

- HOMEメニュー (P37) から [ナビメニュー] → [ルート] にタップしてもルート編集メニューを表示できます。

## ■ ルート編集

設定したルートの目的地、経由地、探索条件が編集できます。

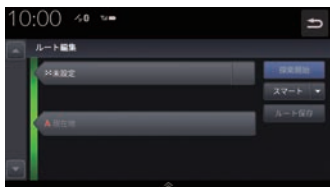


- 目的地**  
タップすると目的地を変更できます。
- X**  
タップすると目的地または経由地を消去します。
- 探索開始**  
編集した内容でルート探索を開始します。
- 探索条件**  
探索条件を変更できます。
- ルート保存**  
編集したルートを保存します。
- +**  
タップすると経由地を追加できます。  
→「[経由地を編集する](#)」(P84)
- 経由地**  
タップすると経由地を変更できます。



## ■ 新規ルート設定

新規ルートを作成できます。

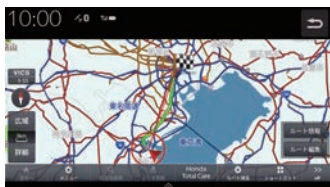


[未設定]をタップすると目的地メニューを表示します。

→「目的地を検索する」(P74)

## ■ ルート全体

ルート全体を表示します。

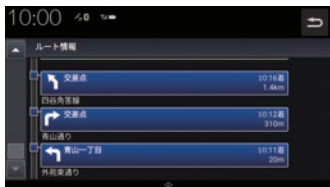


[ルート情報]にタップするとルート情報画面(P83)を表示します。

[ルート編集]にタップするとルート編集画面(P82)を表示します。

## ■ ルート情報

交差点情報とレーンガイドを表示します。

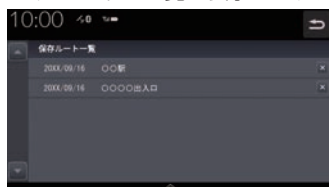


## ■ 案内停止 / 案内再開

タップするたびにルート案内の停止 / 再開が切り替わります。

## ■ 保存ルート一覧

保存されたルートを一覧で表示します。



[X]にタップすると保存ルートを削除できます。

## ■ ルート消去

[ルート消去]にタップすると設定したルートを消去できます。



## 経由地を編集する

### ルート編集画面から経由地を編集する

#### ■ 経由地を追加する

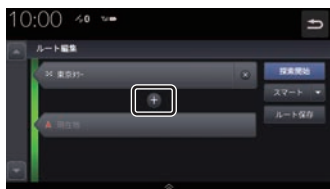
##### アドバイス

- 地点メニュー (P56) からでも経由地を設定できます。

#### 1 ルート編集画面を表示する

→「ルート編集メニューを表示する」  
(P82)

#### 2 **+** にタップする



#### 3 いずれかの「検索方法」にタップし、場所を探す



→「目的地を検索する」(P74)

#### 4 **地点の追加** にタップする



ルートに経由地が設定されます。

#### 5 **探索開始** にタップする



経由地が追加され、ルート探索画面を表示します。

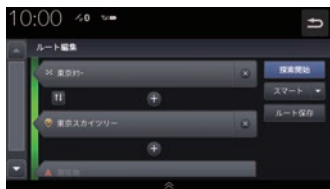
##### アドバイス

- 経由地は最大5か所まで設定できます。

## ■ 経由地の順番を入れ換える

### 1 ルート編集画面を表示する

→「ルート編集メニューを表示する」  
(P82)



### 2 [↑↓] にタップして経由地の順番を入れ換える



### 3 [探索開始] にタップする

入れ換えた順番でルート探索を開始します。

#### アドバイス

- [↑↓] にタップすると、目的地と経由地を入れ換えることができます。

## 通過道路を設定する

目的地に着くまでに通過したい道路を設定します。

#### アドバイス

- ルートが設定されている状態で操作してください。
- 経由地5ヶ所、通過道路5ヶ所、合わせて最大10件まで設定できます。

### 1 ルート上の任意の地点をロングタップする

→「操作のしかた」(P29)

ロングタップした地点に ● アイコンを表示します。

#### アドバイス

- ロングタップしたまま右周りに回転させると拡大地図、左周りに回転させると詳細地図を表示します。

#### 拡大地図



#### 詳細地図



### 2 ● アイコンをロングタップして選択する

### 3 通過したい道路までスライド (P30) し、指をはなす



通過道路設定画面を表示します。

### 4 通過したい道路を確認し、[通過地にする] にタップする

### 5 [案内開始] にタップする

次のページにつづく

## アドバイス

- 通過道路はルート編集画面で確認できます。
- 通過道路はルート編集画面から追加はできません。消去と順番の入れ換えのみ編集できます。
- 通過道路を近接の道路に変更したい場合は[次の道路]または[前の道路]にタップして確認します。
- 通過道路は地図上にアイコンで表示されます。

## 並走道路の切り替え

走行中の道路を一般道路上または有料道路上に切り替えます。自車位置が誤った道路上にある場合、本機能を使用して修正します。

- 1 現在地画面で **ショートカット** → **並走路切替** にタップする



- 2 **OK** にタップする



並走している道路に切り替えます。

## アドバイス

- 一般道路と有料道路が並走している場合のみ切り替えられます。

## デモ走行を確認する

案内開始する前にデモ走行を確認することができます。

### 1 目的地を設定する

→「目的地の設定」(P72)

### 2 ルート探索画面から **デモ走行** にタップする



デモ走行を開始します。

#### アドバイス

- ・ [加速] をタップするたびに0.5倍→1.0倍→1.5倍→2倍→2.5倍→3倍とデモ走行の速度を変更できます。
- ・ [停止] にタップするとデモ走行を停止し、加速速度もリセットします。
- ・ [デモ終了] にタップするとデモ走行を終了します。

# 地点の登録・編集

## 登録地点を設定する

### 地点を登録する

出かけた場所や行ってみたい場所などを登録地点に設定しておくと、ルート設定が簡単に行えます。

- 1 現在地画面で **目的地検索** にタップする  
→「目的地を検索する」(P74)
- 2 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す
- 3 探した場所が表示されたら **ここを登録** にタップする



地図上にアイコンが表示され、探した地点の登録が完了します。

### アドバイス

- フロントカメラが接続されている場合は、「通常地点」「カメラ登録地点」のどちらで登録するか確認するテロップが表示されます。
- 登録地点は最大500件まで登録できます。
- 現在地画面で[ここを登録]にタップすると、現在地を登録します。

### 自宅を登録する

自宅を登録しておくと、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

- 1 「**地点を登録する**」(P88)の手順で**自宅**の位置を検索し、登録する
- 2 **メニュー** → **登録地点編集** にタップする  
登録地点一覧を表示します。
- 3 “**自宅に登録したい**”登録地点にタップする



- 4 **自宅** にタップする



地図上に自宅マークが表示され、自宅の登録が完了します。

## 登録地点を編集する

自宅や登録地点の変更および消去が行えます。

### 登録地点情報を編集する

- 1 現在地画面で **メニュー** にタップする
- 2 **登録地点編集** にタップする  
登録地点一覧を表示します。
- 3 編集したい登録地点にタップする
- 4 **地点編集** にタップする



登録地点情報編集画面を表示します。

- 5 各項目を編集する

登録地点の編集が完了します。

#### アドバイス

- 自宅設定している登録情報の「マーク」を「自宅マーク」から変更すると、自宅登録が解除されます。

## よく行く地点を設定する

よく行く場所や施設などを登録することで、ショートカットメニュー (P40) からすぐに目的地を設定できます。

- 1 現在地画面で **メニュー** にタップする
- 2 **登録地点編集** にタップする  
登録地点一覧を表示します。
- 3 よく行く地点に設定したい登録地点にタップする
- 4 **マーク〇にする** にタップする



選択したマークに登録地が設定されます。

よく使う登録地にマーク (1~5) が登録されます。

次のページにつづく

## アドバイス

- よく使う地点は5件まで登録できます。
- 登録済のマークを選択した場合、元の登録地のマーク登録は削除されます。
- [internavi Myスポットへ送る]にタップすると、選択した地点をMyスポットに登録することができます。
- 登録したよく使う地点は、現在地画面の[ショートカット]→[よく使う地点]から設定できます。
- 画面をスクロールし、登録地点にカーソルを合わせて現在地メニューの[ここを編集]にタップすることでも登録地点情報を編集できます。



## 登録地点を消去する

設定した登録地点を削除します。

- 1 現在地画面で **メニュー** にタップする
- 2 **登録地点編集** にタップする  
登録地点一覧を表示します。
- 3 削除したい登録地点にタップする
- 4 **削除** → **OK** にタップする



選んだ登録地点の削除が完了します。



# VICS 機能

## VICS について

VICS センターに集められた交通情報を利用できます。

## VICS のメディアと特徴

VICS のメディアには、FM 多重放送、ETC2.0、インターナビがあります。

### お知らせ

- 本章では、各メディアで対応できる機能について、以下のマークで表記します。

マーク	メディア
<b>FM</b>	FM 多重放送
<b>ETC2.0</b>	ETC2.0
<b>インターナビ</b>	インターナビ

## ■ FM 多重放送

FM 放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地の FM 放送局から放送されています。

本機は、VICS WIDE にも対応しています。

## ■ ETC2.0

専用狭域（きょういき）通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能のためタイムリーで広範囲の情報を送信しています。ETC2.0 については、「ETC2.0 サービス」(P210)をご覧ください。

※ 別売の ETC2.0 車載器が必要です。

## ■ インターナビ交通情報

全国の VICS 情報とフローティングカー情報を統合して作られた Honda 独自の交通情報です。インターナビ交通情報を利用するには、Honda Total Care に会員登録する必要があります。

詳しくは「Honda Total Care」(P255)をご覧ください。

## FM

### VICS 情報のレベル

VICS 情報にはレベル 1～レベル 3 までの 3 種類の表示レベルがあります。

ETC2.0 では、表示に加えて音声情報が提供されています。

### ■ レベル 1 (文字)

文字による交通情報を表示します。



### ■ レベル 2 (簡易図形)

簡略化された図形・地図などで交通情報を表示します。



### ■ レベル 3 (地図)


地図上に渋滞情報や規制情報などの交通情報を直接表示します。



### アドバイス

- 縮尺が 10m～1km のときに表示します。

## 音声情報

音声情報を受信した場合、 にタップすると音声データを読み上げます。



## VICSメニューを表示する

1 HOME画面から **ナビメニュー** にタップする

現在地画面から[メニュー]にタップすることでも表示できます。

2 **情報** にタップする

3 **VICS** にタップする



VICSメニューを表示します。

→「VICSメニューについて」(P94)

## 表示内容について

地図上に表示される VICS 情報について説明します。



### ① 駐車場情報

VICS 情報で表示される駐車場情報では、空車または満車などの状況を VICS 記号で確認できます。

地図の縮尺が 1km 以下で表示します。

### ② VICS (VICS アイコン)

VICS 情報の提供時刻を表示します。

(受信した時刻ではありません。)

### ③ 規制情報

通行止めや車線規制などの交通規制を VICS 記号で確認できます。

### ④ 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を線で表示し確認できます。

## ■ VICSメニューについて



### ① 文字情報

レベル1 (文字情報) を表示します。

### ② 図形情報

レベル2 (簡易図形) を表示します。

### ③ 受信履歴

受信した情報の履歴を表示します。

### ④ 緊急情報

割り込んだ緊急情報を再度表示して確認できます。

## ■ VICIS 記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

### 駐車場情報

駐車場情報を受信した場合には表示します。

- |  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |
|  |  |

### 渋滞情報

赤色(実線)	渋滞(現在情報/予測情報)
赤色(点線)	渋滞(インターナビフローティング情報)
橙色(実線)	混雑(現在情報/予測情報)
橙色(点線)	混雑(インターナビフローティング情報)
青色(実線)	順調(現在情報/予測情報)
青色(点線)	順調(インターナビフローティング情報)

### アドバイス

- ・ 通行止めは高速略図 (P68) で表示します。
- ・ 渋滞情報は表示する/しないを設定できます。→「VICIS の設定」(P285)
- ・ VICIS WIDE の地図表示(レベル3)では、「現在情報」と「統計情報」が同一の渋滞表示となります。
- ・ 駐車場によっては、駐車場情報の提供をしない場合もあります。

### 規制情報

- |  |        |  |               |
|--|--------|--|---------------|
|  | 事故     |  | 通行止め          |
|  | 路上障害   |  | 速度規制 (例 60km) |
|  | 作業     |  | 車線規制          |
|  | 進入禁止   |  | 対面通行          |
|  | 徐行     |  | 入口閉鎖          |
|  | 片側交互通行 |  | 冬期通行止め        |
|  | チェーン規制 |  | その他の規制情報      |
|  | 入口制限   |  | 気象警戒速報        |
|  | 故障車    |  | 災害速報          |
|  | 工事     |  | 大型通行止め        |
|  | 凍結     |  | 緊急情報          |

## VICS センターへのお問い合わせ

VICS の状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にし、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- VICS 車載器の調子や使用方法
- VICS 車載器の受信可否に関して
- 地図表示 (レベル 3) の内容に関して
- VICS 情報の受信エリアに関して
- VICS 情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICS センター お客様相談窓口」までご連絡ください。

- 文字表示 (レベル 1) の内容に関して
- 簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して
- VICS の概念に関して
- サービス提供エリアに関して

### ■ VICS センター お客様相談窓口

電話番号	0570-00-8831 (PHS、IP 電話などからはご利用 できません)
受付時間	平日 9:30 ~ 17:45 (土曜・日曜・祝日・年末年始休 暇を除く)
FAX 番号	03-3562-1719(24 時間受付)
URL	<a href="https://www.vics.or.jp/">https://www.vics.or.jp/</a>

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店にご連絡いただくことをおすすめします。

## 交通情報を調べる

VICSを利用することで、交通情報を確認できます。

FM

### 文字・図形情報を見る

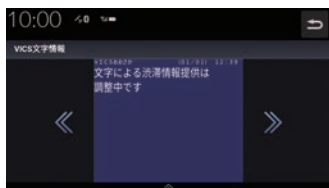
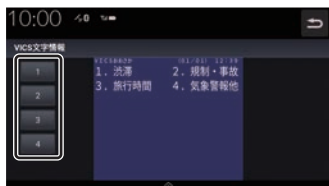
文字または図形によるVICS情報を確認できます。

#### 1 VICSメニューを表示する (→P92)

#### 2 文字情報 または 図形情報 に タップする



#### 3 知りたい情報の“番号”にタップする



選んだ情報を表示します。

ETC2.0

### 受信履歴を見る

VICSの受信履歴を確認することができます。

#### 1 VICSメニューを表示する (→P92)

#### 2 受信履歴 にタップする



VICSの受信履歴を表示します。

## VICSによる自動処理

VICSには、安全で快適な運転をしていただくため、自動で処理される機能があります。

FM

### 緊急情報の割り込み表示

走行中、緊急情報を受信すると、受信音とともに自動的に表示します。



☑ にタップすると元の画面に戻ります。

### アドバイス

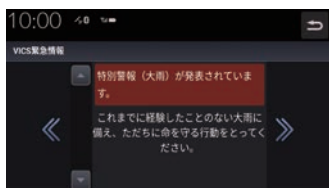
- 1ページ以上ある場合、[自動送り]/[手動送り]にタップすると自動送り、または手動送りに切り換えることができます。また、◀、▶ にタップしてページを送ることができます。

## ■ 再表示するには

割り込んできた緊急情報を再度表示して、確認できます。

1 VICSメニューを表示する  
(→P92)

2 緊急情報 にタップする



緊急情報を表示します。

FM ETC2.0

### ルート自動更新

ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。



### アドバイス

- [VICS 情報考慮] を [する] に設定しておく必要があります。  
→「ナビ詳細設定」(P280)



## 図形/文字情報の割り込み表示

ETC2.0 情報または交通情報を受信すると、図形情報または文字情報が自動的に表示されます。



☰ にタップすると元の画面に戻ります。

## アドバイス

- 操作をしなければ約 10 秒間で元の画面に戻ります。
- 交通情報は図形情報のみです。
- [ETC2.0の設定]の「ETC2.0受信音」(P286)でETC2.0情報の受信音を鳴らす/鳴らさないを設定できます。
- 交通情報は受信音が鳴りません。

**FM**

## VICS局を選ぶ

工場出荷時は、自車位置の都道府県の放送局を優先的に選局する[自動選局]に設定されていますが、周波数を入力して指定する方法を選択することもできます。

### 1 HOME画面から **ナビメニュー** にタップする

現在地画面から[メニュー]にタップすることでも表示できます。

### 2 **ナビ設定** にタップする

### 3 **VICS設定** にタップする

### 4 **FM選局** にタップする

### 5 “設定したい選局方法” にタップする



自動選局	自車位置のVICS局を優先的に選局します。
手動選局	手動で周波数を設定します。 [+]、[-]にタップして周波数を設定し[決定]にタップします。



VICS局の設定が完了します。

# AV

オーディオ機能に関する操作方法を説明します。

<b>オーディオ機能について</b> .....	<b>104</b>	<b>ラジオ / 交通情報</b> .....	<b>119</b>
<b>基本操作</b> .....	<b>104</b>	<b>ラジオを聴く</b> .....	<b>119</b>
AUDIOメニューを表示する.....	104	お好みの放送局を登録する.....	119
オーディオをON/OFFする.....	105	表示内容について.....	120
オーディオ機能がONのとき.....	105	再生情報画面について.....	120
オーディオ機能がOFFのとき.....	105	受信状態の良い放送局を探す.....	121
オーディオ再生情報について.....	105	シークを開始する.....	121
音声案内時のオーディオ音量について.....	105	エリア選局から探す.....	121
<b>再生できるディスクの種類について</b> .....	<b>106</b>	StationListから探す.....	121
再生できないディスク.....	107	<b>交通情報を聴く</b> .....	<b>122</b>
CD規格外ディスクについて.....	107	表示内容について.....	122
DualDiscについて.....	107	<b>DISC</b> .....	<b>123</b>
DVDビデオに関して.....	108	<b>音楽CDを聴く</b> .....	<b>123</b>
DVDビデオに		リストを表示する.....	123
表示されているマークの意味.....	108	表示内容について.....	124
<b>音楽ファイルについて</b> .....	<b>109</b>	再生情報画面について.....	124
再生できる音楽ファイル形式.....	109	リストについて.....	125
フォルダーの構成について.....	110	再生モードを変更する.....	126
MP3とは.....	111	再生モードについて.....	126
再生できる		タイトル情報を取得する.....	126
MP3ファイルの規格について.....	111	取得できる情報について.....	126
WMAとは.....	112	手動で取得する.....	127
再生できる		<b>ディスクの音楽ファイルを聴く</b> .....	<b>128</b>
WMAファイルの規格について.....	112	リストを表示する.....	128
AACとは.....	113	表示内容について.....	129
再生できる		再生情報画面について.....	129
AACファイルの規格について.....	113	リストについて.....	130
WAVとは.....	114	再生モードを変更する.....	131
再生できる		再生モードについて.....	131
WAVファイルの規格について.....	114	<b>DVDビデオを見る</b> .....	<b>132</b>
FLACとは.....	115	DVDビデオの操作画面を表示する.....	133
再生できる		表示内容について.....	134
FLACファイルの規格について.....	115	再生中の操作画面.....	134
<b>動画ファイルについて</b> .....	<b>116</b>	停止中の操作画面.....	136
再生できる動画ファイル形式.....	116	走行中の操作制限について.....	137
フォルダーの構成について.....	117	タイトル番号やチャプター番号を選ぶ.....	137
再生可能な動画ファイルの仕様.....	118	停止画面からの操作.....	138
		音声 / 字幕を切り換える.....	138

アングルを切り換える.....	139
メニューを操作する.....	139
タイトルメニューの場合.....	139
メインメニューの場合.....	140
数字入力でメニューを選ぶ.....	140
静止画を送る.....	141
音声多重を切り換える.....	141
タイトルリストを表示する.....	142
視聴制限のあるDVDビデオを再生したとき.....	142

## SD/Music Rack 143

<b>SDカードの曲を聴く.....</b>	<b>143</b>
リストを表示する.....	143
表示内容について.....	144
再生情報画面について.....	144
リストについて.....	145
再生モードを変更する.....	146
再生モードについて.....	146
カテゴリから探す.....	147
再生情報の画面を表示する.....	147
<b>SDカードの動画を見る.....</b>	<b>148</b>
リストを表示する.....	148
表示内容について.....	149
ソースプレートについて.....	150
再生モードを変更する.....	151
再生モードについて.....	151
<b>Music Rackに録音する.....</b>	<b>152</b>
Music Rackへの録音について.....	152
録音を開始/停止する.....	153
<b>Music Rackを聴く.....</b>	<b>154</b>
表示内容について.....	155
再生情報画面について.....	155
プレイリスト選択画面.....	156
トラックリストについて.....	157
プレイリスト選択画面を表示する.....	158
プレイリストを編集する.....	158
プレイリストの	
タイトルを変更する.....	158
プレイリストを消去する.....	159
トラックリストを表示する.....	160
全曲のトラックリストを表示する.....	160
プレイリスト内の	
トラックリストを表示する.....	160

トラックを編集する.....	161
トラックの情報を編集する.....	161
トラックを消去する.....	161
再生モードを変更する.....	162
再生モードについて.....	162
カテゴリから探す.....	163
再生情報の画面を表示する.....	163
タイトル情報を取得する.....	164
本機から取得する.....	164
通信で取得する.....	164
タイトル候補の選択画面について.....	164
Music Rack内の曲をすべて消す.....	165

## iPod/iPhone/Android/USBメモリ 166

<b>接続する.....</b>	<b>166</b>
iPodについて.....	167
USBデバイスについて.....	167
<b>iPodを再生する.....</b>	<b>168</b>
表示内容について.....	169
再生情報画面について.....	169
再生モードを変更する.....	170
再生モードについて.....	170
リストで探す.....	171
再生情報の画面を表示する.....	171
<b>USBデバイスの曲を聴く.....</b>	<b>172</b>
リストを表示する.....	172
表示内容について.....	173
再生情報画面について.....	173
リストについて.....	174
再生モードを変更する.....	175
再生モードについて.....	175
カテゴリから探す.....	176
再生情報の画面を表示する.....	176
<b>USBデバイスの動画を見る.....</b>	<b>177</b>
リストを表示する.....	177
表示内容について.....	178

## テレビ 179

<b>テレビ機能について.....</b>	<b>179</b>
受信について.....	179

テレビを見る .....	180	表示内容について .....	199
はじめてテレビを見るとき .....	180	再生情報画面について .....	199
放送局を選ぶ .....	181	再生モードを変更する .....	200
表示内容について .....	182	再生モードについて .....	200
操作パネルについて .....	182	リストで探す .....	201
バナーについて .....	183	<b>HDMIの映像を見る .....</b>	<b>202</b>
走行中の操作制限について .....	184	表示するには .....	202
CHモードを切り換える .....	184		
番組の内容を見る .....	185		
記号について .....	185		
緊急警報放送について .....	185		
<b>放送局・番組を探す .....</b>	<b>186</b>		
番組表で探す .....	186		
番組表から探す .....	186		
番組表を取得するには .....	186		
番組表の内容を確認する .....	187		
チャンネルリストから探す .....	188		
系列局を探す .....	188		
受信状態の良い放送局を探す .....	189		
<b>好みの放送局を登録する .....</b>	<b>190</b>		
ホームCHスキャンを行う .....	190		
初期ホームCHスキャン .....	190		
再ホームCHスキャン .....	190		
ドライブCHスキャンを行う .....	191		
初期ドライブCHスキャン .....	191		
再ドライブCHスキャン .....	192		
<b>情報を確認する .....</b>	<b>193</b>		
デバイスIDを確認する .....	193		
<b>その他の操作 .....</b>	<b>194</b>		
リモコン番号を変更する .....	194		
フルセグとワンセグを切り換える .....	194		
自動ワンセグ切り換えについて .....	195		
映像や音声を切り換える .....	196		
<b>外部入力機器 .....</b>	<b>197</b>		
<b>Bluetooth Audioを使う .....</b>	<b>197</b>		
対応プロファイルと 対応機能について .....	197		
Bluetooth対応 オーディオ機器を接続する .....	198		
Bluetooth対応 オーディオ機器の曲を聴く .....	198		

# オーディオ機能について

## 基本操作

### 注意

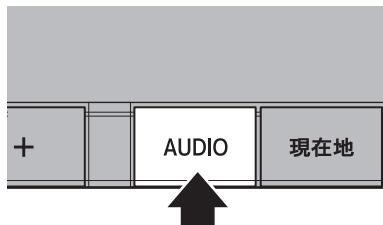
- エンジンが停止している状態でオーディオ機能を使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

### お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。
- オーディオをONにした場合、最後に再生していたAUDIOソースの音量はフェードインします。
- 消音を解除した場合、AUDIOソースの音量はフェードインします。

## AUDIOメニューを表示する

### 1 AUDIO キーを押す



AUDIOメニューまたはAUDIO再生画面を表示します。

AUDIO再生画面が表示された場合は、手順2へ進みます。

### 2 再度、AUDIO キーを押す



AUDIOメニューを表示します。

### アドバイス

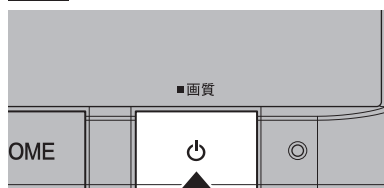
- AUDIO再生画面が表示されているときに、[SOURCE]にタップすると、AUDIOメニューを表示します。

## オーディオをON/OFFする

オーディオ機能のON/OFFが行えます。

### ■ オーディオ機能がONのとき

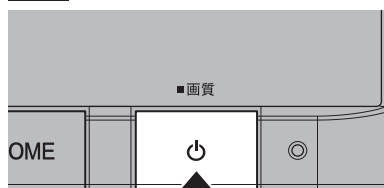
#### 1 電源キーを押す



オーディオ機能がOFFになります。

### ■ オーディオ機能がOFFのとき

#### 1 電源キーを押す



オーディオ機能がONになります。

## オーディオ再生情報について

オーディオ再生中、ナビ画面のステータスバーに現在再生中のAUDIOソースと再生情報を表示します。



以下は一例です。

### ラジオ



プリセット番号、放送局名、周波数を表示します。

### ディスク (音楽 CD)



トラック番号、トラック名、アルバム名 (フォルダー名) を表示します。

### SDカードの音楽/動画ファイル



トラック番号、トラック名、アルバム名 (フォルダー名) を表示します。

## 音声案内時のオーディオ音量について

ナビ機能などの音声案内が行われるときは、オーディオ音量が小さくなります。(すべてのスピーカーが対象となります。) この機能によって、音声案内が聞き取りやすくなります。

### 注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転するとおそれがあります。

## 再生できるディスクの種類について

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	サイズ	最大再生時間	備考
DVDビデオ 	12cm/片面 12cm/両面	133分(1層) / 242分(2層) 266分(1層) / 484分(2層) (MPEG2方式)	<ul style="list-style-type: none"><li>・リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」。</li><li>・NTSC方式で記録されたもの</li></ul>
DVD+R/RW DVD-R/RW	12cm/片面 12cm/両面	—	<ul style="list-style-type: none"><li>・GPRM/2層ディスクを含む</li><li>・DVD VIDEO/DVD-VRフォーマット規格で記録されたディスク</li><li>・MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク</li></ul>
CD-DA 	12cm/片面	74分	—
CD-TEXT 	12cm/片面	74分	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本語と英語以外の言語には対応しておりません。ウムラウト記号「Ää」など記号の付いた文字には対応しておりません。</li></ul>
CD-EXTRA	12cm/片面	—	—
Mixed-Mode CD	12cm/片面	—	<ul style="list-style-type: none"><li>・先頭データを飛ばして、オーディオトラックから再生します。</li></ul>
CD-R/RW 	12cm/片面	—	<ul style="list-style-type: none"><li>・MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク</li></ul>



## ■ 再生できないディスク


- 「再生できるディスクの種類」に記載のないディスクの再生は保証いたしかねます。
- 8cmディスクやアダプターを取り付けたディスクは使用できません。
- 異形のディスク（ハート形など）は故障の原因となるため、使用しないでください。また、一部が透明なディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- レコーダーやPC（パソコン）によって正しいフォーマットで記録したディスクでも、アプリケーションソフトの設定や環境もしくはディスクの特性や傷、汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機で再生できない場合があります。
- ディスクによっては、一部機能が使用できない場合や再生できない場合があります。
- ひびの入ったディスクや反ったディスクは使用しないでください。
- ディスクにシールを貼っている場合、はがれかかっているもの、のりあとが付着しているものは使用できません。
- ディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったものは使用できません。

### 注意

- DTS-CD (5.1ch Music Disc) は、録音 / 再生できません。本機に挿入しても再生されないので挿入しないでください。

## ■ CD 規格外ディスクについて

本機では音楽CDをお楽しみいただけますが、CDの規格について以下の点にご注意ください。

- ディスクレーベル面に  の入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。
- CD規格外ディスクを再生した場合、次の症状が発生することがあります。
  - 再生時に雑音が混入する。
  - 音飛びする。
  - ディスクを認識しない。
  - 1曲目を再生しない。
  - 頭出しの時間が通常より長い。
  - 曲の途中から再生する。
  - 部分的に再生できない箇所がある。
  - 再生の途中でフリーズする。
  - 誤表示する。

## ■ DualDisc について







本機はDualDiscの再生に対応しておりません。DualDiscは、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオ、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオが収録されています。

## ■ DVD ビデオに関して

DVD ビデオによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。

## ■ DVD ビデオに表示されている マークの意味

DVD ビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声言語の数
	字幕言語の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種別
 	再生可能な地域を限定する番号。 本機で再生可能なリージョン番号 (地域番号) は、「2」を含んだもの、または「ALL」です。
NTSC	日本に対応している映像方式。 この方式以外は再生できません。

# 音楽ファイルについて

## 再生できる音楽ファイル形式

本機ではディスク\*<sup>1</sup> やUSBデバイス、SDカードに記録された以下の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- WAV\*<sup>2</sup>
- FLAC\*<sup>3</sup>

\*<sup>1</sup> 「再生できるディスクの種類について」(P106) をご覧ください。

\*<sup>2</sup> ディスクに書き込んだWAV形式の音楽ファイルはサンプリング周波数、ビット数によっては再生時に音飛びが発生することがあります。

\*<sup>3</sup> ディスクに書き込んだFLAC形式の音楽ファイルは再生できません。

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の音楽ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に以下の内容をよくお読みください。

また、お手持ちのディスクドライブやライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

## 注意

- 音楽CDから書き込んだ(コピーした)ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- 拡張子(「.mp3」など)を異なったファイル形式のファイルに付けしないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカ-の破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

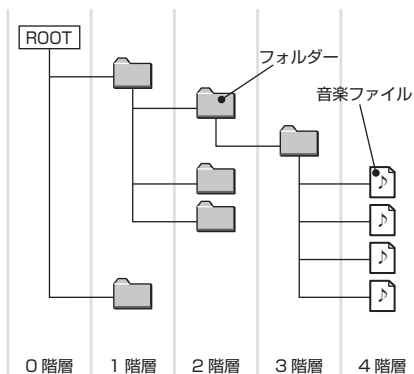
## アドバイス

- 音楽ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp3」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 複数の形式の音楽ファイルが混在したメディアも再生できます。

## フォルダーの構成について

フォルダーは8階層まで認識できます。

ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック（再生可能な形式の音楽ファイル）といった階層を作成して曲を管理できます。



名称	規格	説明	
フォーマット仕様	ISO9660	レベル 1	最大 8 文字のファイル名と 3 文字の拡張子を持つ。 (半角英大文字と半角数字、“_”が使用可能です。)
	ISO9660 拡張	Joliet	最大 64 文字までをファイル名として使用可能です。
		Romeo	最大 128 文字までをファイル名として使用可能です。
	UDF 1.02 (Access Type = ReadOnly) <sup>*1</sup>		
マルチセッション	非対応 (先頭のセッションのみ対象)		
最大フォルダー階層数	8 階層 (Root を 0 階層目とした場合)		
最大フォルダー数	Disc500 フォルダー、USB デバイス、SD カード 5000 フォルダー		
最大ファイル数 <sup>*2</sup>	Disc5000 ファイル、USB デバイス、SD カード 10000 ファイル (メディア内合計数。再生不可のファイルは含まず)		
ファイル名、 フォルダー名の制限	Disc254 バイト、USB デバイス、SD カード 510 バイトで、上限を超えるファイル名やフォルダー名の表示はできません。またそのファイルやフォルダーの再生もできません。		
USB、SD カードの 対応フォーマット	USB デバイスの推奨ファイルシステムは、exFAT です。 SD カードは本機でフォーマット (P320) したものをご使用ください。 1 パーティションのみ対応しております。 SD カードの容量は設計上最大 2TB までサポートしております。SD カードのスピードクラスは Class10 以上、容量は 128GB までを推奨いたします。なお、すべての SD カードに対して動作を保証するものではありません。		

※ 1 バケットライトは非対応です。

※ 2 再生不可のファイルは含みません。ただし、同じフォルダーに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダーに分けて格納してください。

### お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番は PC で表示される順番と異なる場合があります。

## MP3とは

MP3とは「MPEG-1 Audio Layer3」の略称。MPEGとは「Moving Picture Experts Group」の略称でビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。

MP3はMPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の1つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。

音楽CDの音質をほとんど損なうことなく約1/10のデータ容量に圧縮することができるため、約10枚分の音楽CDを1枚のCD-R/RWへ書き込むことが可能になります。

### 再生できるMP3ファイルの規格について

再生できるMP3ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	MPEG-1 AUDIO LAYER3	
	MPEG-2/2.5 AUDIO LAYER3	
サンプリング周波数 [kHz]	MPEG-1 : 32/44.1/48	
	MPEG-2 : 16/22.05/24	
	MPEG-2.5 : 8/11.025/12	
ビットレート[kbps]	MPEG-1 : 32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320	
	MPEG-2 : 8/16/24/32/40/48/56/64/80/96/112/128/144/160	
	MPEG-2.5 : 8/16/24/32/40/48/56/64	
VBR (可変ビットレート)	対応	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル	
拡張子	mp3	
対応タグ情報	ID3タグ Ver.1.0、Ver.1.1、Ver.2.2、Ver.2.3、Ver.2.4 (ISO-8859-1 <sup>*1</sup> 、UTF-16 (Unicode)、UTF-8) タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー <sup>*2</sup> に 表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名 : 合計で全角37文字	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダーリスト表示時	全角35文字 <sup>*3</sup> (1階層のとき (Rootを0階層とする)) ●階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字 (全角1文字) 減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名: 全角28文字 <sup>*3</sup>

※1 ウムラウト記号「Ä ä」など記号の付いた文字には対応していません。

※2 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

#### 注意

- 上記規格以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

## WMAとは

WMAとは、Windows Media Audioの略称で、Microsoft社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※ Microsoft、Windows Media、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

### 注意

- WMAは著作権保護機能(DRM)をサポートしており、著作権で保護されたWMAファイルの本オーディオシステムでは再生できません。

## ■ 再生できるWMAファイルの規格について

再生できるWMAファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	Windows Media Audio Version 7/8/9 Pro	
サンプリング周波数 [kHz]	8/11.025/16/22.05/32/44.1/48	
ビットレート[kbps]	5～384	
VBR (可変ビットレート)	対応	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル/2chダウンミックス	
拡張子	wma	
対応タグ情報	WMAタグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー <sup>*1</sup> に表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名：合計で全角37文字	
リストに表示できる最大文字数	フォルダーリスト表示時	全角35文字 <sup>*2</sup> (1階層のとき (Rootを0階層とする)) ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字 (全角1文字) 減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名:全角28文字 <sup>*2</sup>

※1 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※2 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

### 注意

- 上記規格以外で書き込まれたWMAファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。
- 「Lossless」「Voice」には対応していません。

## AACとは

AACとはAdvanced Audio Codingの略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、音質はほぼ同じです。

### 注意

- AACは著作権保護機能(DRM)をサポートしており、著作権で保護されたAACファイルを本オーディオシステムでは再生できません。

## ■再生できるAACファイルの規格について

再生できるAACファイルの仕様は以下のとおりです。

項目		内容
規格		MPEG4/AAC-LC MPEG2/AAC-LC MPEG4/HE-AAC v1.v2 MPEG2/HE-AAC v1.v2
サンプリング 周波数 [kHz]	AAC-LC	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96
	HE-AAC	16/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート [kbps]	AAC-LC	8～576
	HE-AAC	8～144
VBR(可変ビットレート)		対応
チャンネルモード		ステレオ/モノラル
拡張子		m4aおよびaac (ただし、AppleLossless形式は再生できません。)
対応タグ情報		AACタグまたはID3タグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル
ステータスバー <sup>*1</sup> に 表示できる最大文字数		タイトル名/アルバム名：合計で全角37文字
リストに表示できる 最大文字数	フォルダリスト表示時	全角35文字 <sup>*2</sup> (1階層のとき(Rootを0階層とする)) ●階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層 下がるごとに半角2文字(全角1文字)減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名:全角28文字 <sup>*2</sup>

※1 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※2 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

### 注意

- 上記規格以外で書き込まれたAACファイルやADIF形式のAACファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

## WAVとは

WAVとは「RIFF waveform Audio Format」の略称で主にWindowsで使用されています。通常は非圧縮の音楽ファイルで、Microsoft社とIBM社で開発された音声データフォーマットです。

### ■再生できるWAVファイルの規格について

再生できるWAVファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	RIFF waveform Audio Format リニアPCM	
サンプリング周波数 [kHz]	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96/176.4/192	
ビット数 [bit]	8/16/24	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル	
拡張子	wav	
対応タグ情報	非対応	
ステータスバー* <sup>1</sup> に表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名:合計で全角37文字	
リストに表示できる最大文字数	フォルダリスト表示時	全角35文字* <sup>2</sup> (1階層のとき (Rootを0階層とする)) ●階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字 (全角1文字) 減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名:全角28文字* <sup>2</sup>

※1 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※2 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

### 注意

- 上記規格以外で書き込まれたWAVファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。



## FLACとは

FLACとはFree Lossless Audio Codecの略称でライセンスフリーの音声データフォーマットです。可逆圧縮による音源のため音質の劣化がないのが特徴です。

### ■ 再生できるFLACファイルの規格について

再生できるFLACファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	FLAC	
サンプリング周波数 [kHz]	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96/128/176.4/192	
ビット数 [bit]	4 ~ 24	
チャンネルモード	ステレオ / モノラル / 2ch ダウンミックス	
拡張子	flac および fla	
対応タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー <sup>*1</sup> に 表示できる最大文字数	タイトル名 / アルバム名 : 合計で全角37文字	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダリスト表示時	全角35文字 <sup>*2</sup> (1階層のとき (Rootを0階層とする)) ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字 (全角1文字) 減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名: 全角28文字 <sup>*2</sup>

※1 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※2 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

#### 注意

- 上記規格以外で書き込まれたFLACファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

## 動画ファイルについて

### 再生できる動画ファイル形式

本機ではUSBデバイスやSDカードに記録された以下の動画ファイルを再生できます。

- MP4

- AVI 1.0/2.0 (DivXは除く)

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の動画ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に以下の内容をよくお読みください。

### 注意

- 拡張子(「.mp4」など)を異なったファイル形式のファイルに付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

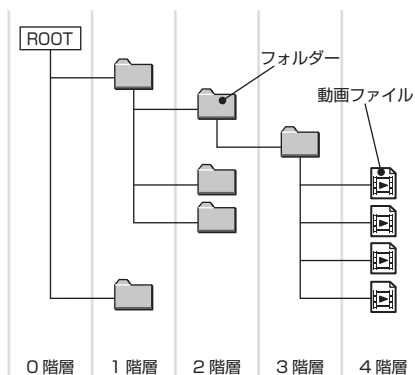
### アドバイス

- 動画ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp4」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 複数の形式の動画ファイルが混在したメディアも再生できます。

## フォルダーの構成について

フォルダーは8階層まで認識できます。

ジャンル→製作年月→タイトル(再生可能な形式の動画ファイル)といった階層を作成して動画を管理できます。



名称	説明
最大フォルダー階層数	8階層 (Rootを0階層目とした場合)
最大フォルダー数	5000フォルダー
最大ファイル数 <sup>*1</sup>	10000ファイル (メディア内合計数。再生不可のファイルは含まず)
ファイル名、フォルダー名の制限	上限510バイトで、上限を超えるファイル名やフォルダー名の表示はできません。また、そのファイルやフォルダーの再生もできません。
USB、SDカードの対応フォーマット	USBデバイスの推奨ファイルシステムは、exFATです。 SDカードは本機でフォーマット (P320) したものをご使用ください。 1パーティションのみ対応しております。 SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。

※1 再生不可のファイルは含みません。ただし、同じフォルダーに多数の動画を格納している場合は最大動画数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダーに分けて格納してください。

### お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番はPCで表示される順番と異なる場合があります。

## 再生可能な動画ファイルの仕様

再生できる動画ファイルの仕様は以下のとおりです。

形式	拡張子	映像					音声
		コーデック	プロファイル/レベル	最大解像度	最大ビットレート	最大フレームレート	
MP4	mp4 m4v	H.264/ MPEG-4 AVC	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 HighProfile/3.1	1280 × 720	17.5Mbps	30fps	MP3 AAC
		MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)	Advanced Simple Profile/5	1280 × 720	12Mbps	30fps	
AVI 1.0/2.0 (DivX除く)	avi	H.264/ MPEG-4 AVC	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 HighProfile/3.1	1280 × 720	17.5Mbps	30fps	MP3 AAC WMA
		MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)	Advanced Simple Profile/5	1280 × 720	12Mbps	30fps	
		VC-1	SimpleProfile/ Medium MainProfile/ Medium Level AdvancedProfile/2	1280 × 720	20Mbps	30fps	

### 注意

- 上記規格以外で書き込まれた動画ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

# ラジオ / 交通情報

## ラジオを聴く

FM放送やAM放送のラジオの聴きかたについて説明します。

### お知らせ

- 本機はワイドFMに対応しており、95MHzまで受信が可能です。
- ラジオの画面を表示しているとき、ルート案内中は、ルート案内表示画面に自動で切り換わりません。音声のみ案内します。

### 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

### 2 [RADIO] にタップする

ラジオの再生情報画面を表示します。

### 3 [FM] または [AM] にタップする



### 4 ◀ または ▶ にタップして 選局する



選局した周波数の音声流れます。

### お好みの放送局を登録する

お好みの放送局をFMに12局、AMに6局まで記憶できます。

1 ラジオ再生情報画面で ◀ または ▶ にタップし、登録したい“放送局”を探す

2 登録したい“プリセットボタン”に「ピッ!」と鳴るまでロングタップする  
→「操作のしかた」(P29)



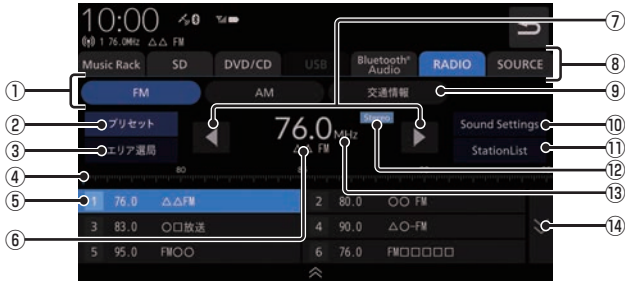
ロングタップしたプリセットCH番号のボタンに選局した放送局を登録します。

### アドバイス

- 放送局の選択にStationListを利用すると、受信可能な放送局がリストになっているため便利です。

→「StationListから探す」(P121)

## ■ 再生情報画面について

① **FM** , **AM**

FM放送、AM放送へ切り換えるときに使用します。

FMは12局、AMは6局まで好みの放送局を登録できます。

② **プリセット**

プリセットボタンに登録されている放送局を表示します。エリア選局表示時にタップするとエリア選局の表示から切り換わります。

③ **エリア選局**

自転車位置マークがある地域の放送局をプリセットボタンに表示します。

→「エリア選局から探す」(P121)

④ **目盛り**

現在選ばれている周波数を目盛りで確認できます。

⑤ **プリセットボタン**

好みの放送局を登録できます。希望のプリセットCH番号のボタンに「ピッ!」と鳴るまでロングタップ (P29) すると、現在受信中の放送局を登録できます。  
→「好みの放送局を登録する」(P119)

⑥ **放送局名**

放送局名の情報があれば、現在選ばれている放送局名を表示します。

⑦ **◀** , **▶**

周波数を変更するときに使用します。ロングタップ (P29) するとシークを開始します。

⑧ **AUDIO** ソースボタン

各ボタンにタップすると、AUDIOソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。

→「AUDIOメニューを表示する」(P104)

⑨ **交通情報**

交通情報画面を表示します。

→「交通情報を聴く」(P122)

⑩ **Sound Settings**

Sound Settingsを表示します。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)

⑪ **StationList**

受信できる放送局を探し、受信した放送局を表示します。

⑫ **ステレオインジケータ**

ステレオ受信時に表示します。

⑬ **周波数**

現在選ばれている周波数を表示します。

⑭ **▼** , **▲**

FM放送選択時に、プリセットボタンの表示を切り換えます。

## 受信状態の良い放送局を探す

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに受信できる放送局を探す場合に便利です。

ここでは、ラジオの再生情報画面からの操作方法を説明します。

## ■ シークを開始する

受信できる放送局を1つずつ探します。

### 1 ラジオの再生情報画面で ◀ または ▶ をロングタップする



受信できる放送局が見つかったら、音声は流れます。

## ■ エリア選局から探す

自車位置マークがある地域の放送局をプリセットボタンに表示します。

### 1 ラジオの再生情報画面で **エリア選局** にタップする

現在いる地域で、受信できる放送局を表示します。

### 2 聴きたい“放送局”にタップする



放送局が切り換わります。

#### アドバイス

- エリア選局で選局された放送局を好みのプリセットボタンに手動で登録しなおすことはできません。

## ■ StationListから探す

放送局をサーチして、受信できる放送局の一覧を表示します。

#### アドバイス

- 電波の状況によりStationListに表示された放送局でも受信できない場合があります。

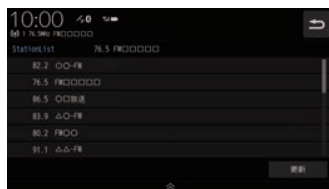
### 1 ラジオの再生情報画面で **StationList** にタップする

受信できる放送局を一覧表示します。

#### お知らせ

- ラジオモード中は自動で更新がされません。手動で更新してください。

### 2 聴きたい“放送局”にタップする



放送局が切り換わります。

## StationListを更新する

受信できる放送局を手動で更新します。

#### アドバイス

- StationListは自動更新されません。受信できない放送局がある場合は手動で更新してください。

### 1 StationList表示中に **更新** にタップする



受信できる放送局を一覧表示します。

## 交通情報を聴く

交通情報の聴きかたについて説明します。

1 **AUDIOメニューを表示する**  
(→P104)

2 **RADIO** にタップする

3 **交通情報** にタップする

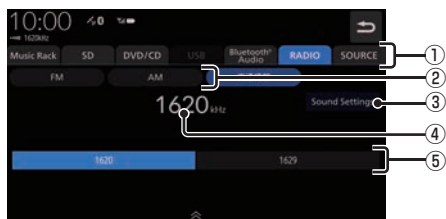
交通情報の再生情報画面を表示します。

4 聴きたい“周波数”にタップする



選んだ周波数の交通情報が流れます。

## 表示内容について



① **AUDIO ソースボタン**

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップするとAUDIOメニューを表示します。  
→「AUDIOメニューを表示する」(P104)

② **FM** , **AM**

FM放送、AM放送へ切り換えるときに使用します。

③ **Sound Settings**

Sound Settings を表示します。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)

④ **周波数**

現在選ばれている周波数を表示します。

⑤ **1620** , **1629**

交通情報の周波数、1620kHzもしくは1629kHzを選ぶときにタップします。



## 音楽CDを聴く

音楽CD (CD-DA/CD-TEXT) の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P27)  
 また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽CD挿入後、「録音する」にタップすることでMusic Rackへの録音を開始します。  
 →「Music Rackに録音する」(P152)  
 →「音楽CDの録音方法を変更する」(P295)

### お知らせ

- 音楽CDを本機に挿入した状態で操作してください。

### 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

### 2 DVD/CD にタップする

音楽CDの再生情報画面を表示します。

### 3 ◀ または ▶ にタップして曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

### アドバイス

- ◀ または ▶ にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

## リストを表示する

トラックリストを表示します。  
 ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### 1 音楽CDの再生情報画面で リスト表示 にタップする

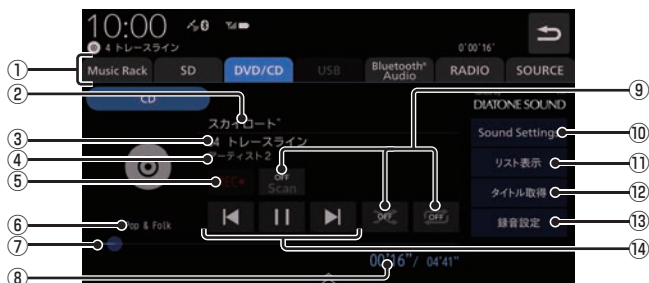


トラックリストを表示します。

### 2 ◀ にタップする

音楽CDの再生情報画面に戻ります。

## ■ 再生情報画面について



## ① AUDIO ソースボタン

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップすると AUDIO メニューを表示します。

→「AUDIOメニューを表示する」(P104)

## ② アルバム名

タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。

## ③ トラック番号/曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。

## ④ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「No Name」と表示します。

## ⑤ REC ● / REC ■

録音の開始や停止が行えます。

→「録音を開始/停止する」(P153)

## ⑥ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

## ⑦ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

## ⑧ 再生時間/曲の長さ

## ⑨ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。  
→「再生モードを変更する」(P126)

## ⑩ Sound Settings

Sound Settings を表示します。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)

## ⑪ リスト表示

トラックリストを表示します。  
→「リストを表示する」(P123)

## ⑫ タイトル取得

手でタイトル情報を取得します。  
→「タイトル情報を取得する」(P126)

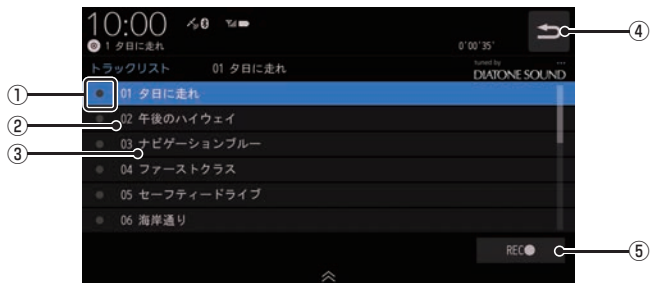
## ⑬ 録音設定

録音方法の設定が行えます。  
→「音楽CDの録音方法を変更する」(P295)

## ⑭ ◀, ||, ▶, ▶▶

トラックの選択や一時停止、再生が行えます。  
◀ または ▶▶ にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

## ■ リストについて



### ① 録音状態アイコン

- :未録音 (グレー)
- :録音中 (赤)

※ 録音済みは表示されません。

### ② トラック番号

### ③ トラック名

トラック名を表示します。

タイトル情報がなければ、「No Title」と表示します。

### ④

音楽 CD の再生情報画面に戻ります。

### ⑤ /

録音の開始や停止が行えます。

→「録音を開始/停止する」(P153)

## 再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### 1 音楽CDの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする



選んだモードの再生を開始します。

#### アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P124)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P126)になるまでタップしてください。







## タイトル情報を取得する

音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得します。

#### お知らせ

- タイトル情報は、本機に記録されているGracenoteデータベースを利用してタイトル情報を取得します。
- CD-TEXTの場合はCD内からTEXT情報を取得して表示します。TEXT情報がない場合は、本機内のGracenoteデータベースからタイトル情報を取得して表示します。
- タイトル情報が取得できない場合は、「No title」などと表示されます。
- 本機の発売時期以降に発売された音楽CDのタイトル情報は本機に記録されたGracenoteデータベースから取得できません。また、それ以前の音楽CDでも情報を取得できない場合があります。
- 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示する場合があります。
- CD-TEXTは日本語と英語以外の言語には対応しておりません。また、ウムラウト記号「ä»」など記号の付いた文字には対応しておりません。
- タイトル情報の取得が完了するまでに時間がかかる場合があります。

## 再生モードについて

 (スキャン)	ディスク内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	ディスク内の曲を順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

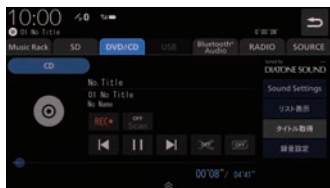
## 取得できる情報について

- アルバム名
- アルバムのアーティスト名
- トラック名
- トラックのアーティスト名
- ジャンル名

## ■ 手動で取得する

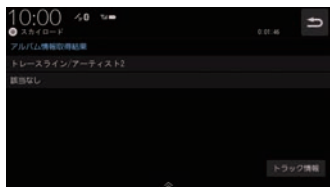
ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### 1 音楽CDの再生情報画面で 「タイトル取得」にタップする



タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

### 2 いずれかにタップする



アルバム名/ アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に 表示します。タップすることで そのタイトル情報を適用します。
該当なし	タイトル情報なしの状態となります。
トラック情報	トラック情報を確認できます。 複数のアルバム情報がある場合 は、[トラック情報]にタップ後、 確認したいアルバム情報にタッ プしてください。

## ディスクの音楽ファイルを聴く

ディスク内の音楽ファイルの聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P27)

### お知らせ

- 音楽ファイルのディスクを本機に挿入した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- Romeo フォーマットされたCD (CD-R、CD-RW) の圧縮 Audio ファイル再生を行うと、曲情報が一部文字化けしてしまうことがあります。

### 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

#### 2 [DVD/CD] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

#### 3 ▲ または ▼ にタップして フォルダーを選ぶ



#### 4 ◀ または ▶ にタップして曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

### アドバイス

- ◀ または ▶ にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

## リストを表示する

リストを表示すると、フォルダーの階層を確認しながら曲を探ることができます。

ここでは、音楽ファイルの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### 1 音楽ファイルの再生情報画面で [FOLDER LIST] にタップする



リストを表示します。

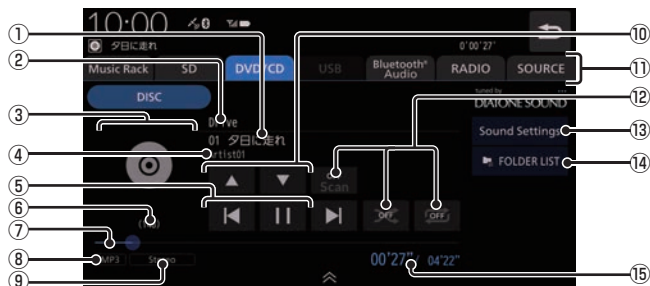
### 2 ◀ にタップする

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

### アドバイス

- [ROOTへ移動] にタップすると、ROOT フォルダーへ移動します。

## 再生情報画面について



## ① トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。  
WAV形式の場合はファイル名を表示します。

## ② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。  
WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。

## ③ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。<sup>\*1</sup> <sup>\*2</sup>

## ④ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。<sup>\*2</sup>

## ⑤ ◀, ⏸, ▶, ▶▶

ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。  
◀ または ▶▶ にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

## ⑥ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。<sup>\*2</sup>

## ⑦ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

## ⑧ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

## ⑨ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

**Stereo** : ステレオ  
**Monaural** : モノラル

## ⑩ ▲, ▼

フォルダーを選ぶときに使用します。  
タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。

## ⑪ AUDIO ソースボタン (→P104)

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップすると AUDIO メニューを表示します。

## ⑫ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。  
→「再生モードを変更する」(P131)

## ⑬ Sound Settings

Sound Settings を表示します。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)

## ⑭ FolderList (→P130)

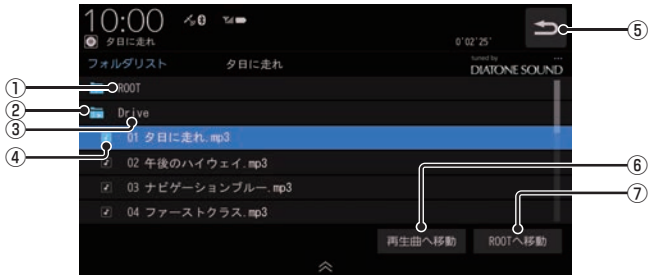
フォルダーリストを表示します。


## ⑮ 再生時間/曲の長さ

※1 ジャケット写真を表示する場合は、あらかじめパソコン上で音楽データのタイトル情報にジャケット写真を設定しておく必要があります。  
画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

※2 WAV形式は対応していません。

## ■ リストについて



- ① **ROOT**  
階層の最上位を示します。
- ② **階層番号**  
フォルダーの階層位置を示します。
- ③ **フォルダー名**  
タップすると、フォルダーを展開します。
- ④ **ファイル名**  
タップすると、曲の再生を開始します。
- ⑤   
音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。
- ⑥ **再生曲へ移動**  
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。
- ⑦ **ROOTへ移動**  
ROOTフォルダーへ移動します。



## 再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

### 1 音楽ファイルの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする












選んだモードの再生を開始します。

#### アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P129)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P131)になるまでタップしてください。

## ■ 再生モードについて

 (スキャン)	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (フォルダー スキャン)	ディスク内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (フォルダー リピート)	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (フォルダー ランダム)	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
 (オールランダム)	ディスク内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。


# DVD ビデオを見る

DVDビデオのみかたについて説明します。

## 注意

- DVDビデオの映像は安全のため走行中は表示されません。(リア席モニターには表示されます)
- DVDビデオをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。

## お知らせ

- DVDビデオによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、DVDビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、 マークを表示します。
- 本機は「DTS Digital Surround™」(P349)に対応しておりませんので、「DTS Digital Surround™」を選んでいた場合は音声が出力されません。必ず「DTS Digital Surround™」以外の音声を選んでください。
- MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
- DVDビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアからDVDビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。
- DVDビデオによっては再生時に左右に黒い帯が表示される場合がありますが、故障ではありません。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P27)

## お知らせ

- DVDビデオを本機に挿入した状態で操作してください。

## 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

## 2 **DVD/CD** にタップする

DVDビデオの再生画面を表示します。

## 3 **< CHAPTER >** にタップして チャプターを選ぶ

選んだチャプターの再生を開始します。

## アドバイス

- **< CHAPTER >** にロングタップ (P29) すると早送り、早戻しができます。約5秒以上ロングタップすると、ボタンから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 **< CHAPTER >** にタップします。

## DVDビデオの操作画面を表示する

DVDビデオを操作するためのメニューを表示します。

### 1 画面のいずれかにタップする



操作画面を表示します。

#### お知らせ

- 本書ではDVDビデオの各モードを区別するために以下のように表記しています。

<b>DVD VIDEO</b>	ビデオモードで記録されたディスク
<b>DVD-VR</b>	VRモードで記録されたディスク

## ■ 再生中の操作画面

## DVD VIDEO の場合

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



## ① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

## 状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早送り中
- : 早戻し中
- : スロー再生中

② **サーチ** (→P137)

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

③ **切換** ※1

音声の言語 / 種別や字幕情報の選択 (P138) やアングルの切り換え (P139) が行えます。

④ **数字入力** (→P140)

DVDビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力ですべてのメニューを選ぶことができます。

⑤ **メニュー** (→P139)

記録されているタイトルメニューを表示します。

⑥ **メニュー操作**

メニュー操作パネルを表示します。

⑦ **△ TITLE ▽**

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑧ **Sound Settings** (→P292)

Sound Settings を表示します。

⑨ **再生**

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑩ **一時停止**

映像が表示された状態で停止します。

⑪ **停止** (→P136)

再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。

⑫ **スロー**

タップするたびに [1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] … と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑬ **リターン**

あらかじめDVDビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。(リターン再生) ディスクに戻る位置の指定が収録されている場合にのみ有効です。

⑭ **< CHAPTER >**

前後のチャプターを選ぶときに使用します。ロングタップ (P29) すると早送り、早戻しができます。

※1 一時停止中は、[音声]、[字幕]、[アングル]の選択ができません。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、タイトル、チャプター番号、音声多重アイコン、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早送り中
- : 早戻し中
- : スロー再生中

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。  
→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P137)

③ 切換

音声の番号/種別や字幕ON/OFFの選択 (P138) が行えます。

④ タイトルリスト

記録されているタイトルリストを表示します。  
→「タイトルリストを表示する」(P142)

⑤ 音声多重切換

二ヶ国語放送のような複数の音声収録されていた場合、タップするたびに[主音声]→[副音声]→[主/副]→[主音声]・・・のように音声を切り換えることができます。  
→「音声多重を切り換える」(P141)

⑥ 入 TITLE 下

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑦ Sound Settings

Sound Settings を表示します。  
→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)

⑧ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑨ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑩ 停止

再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。  
→「停止中の操作画面」(P136)

⑪ スロー

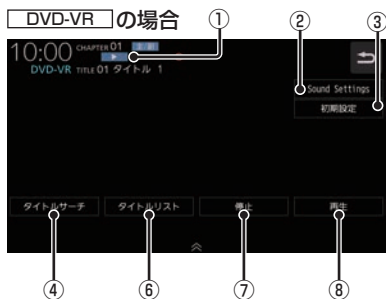
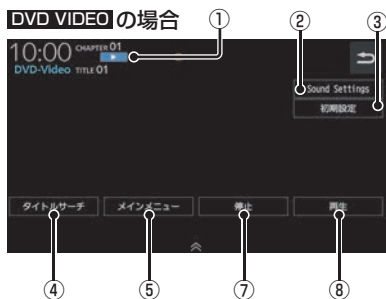
タップするたびに  
[1/2]→[1/8]→[1/32]→[1/2]・・・と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑫ < CHAPTER >

前後のチャプターを選ぶときに使用します。ロングタップ (P29) すると早送り、早戻しができます。

## ■ 停止中の操作画面

停止中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



### ① 状態アイコン

- (点滅)：停止中(続き再生可能)
- ：停止中(続き再生不可)

### ② Sound Settings

Sound Settingsを表示します。  
→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)

### ③ 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。  
→「DVDビデオの初期設定」(P296)

### ④ タイトルサーチ

タイトル番号を入力して選ぶことができます。  
→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P137)

### ⑤ メインメニュー

記録されているメインメニューを表示します。  
→「メニューを操作する」(P139)

### ⑥ タイトルリスト

記録されているタイトルリストを表示します。  
→「タイトルリストを表示する」(P142)

### ⑦ 停止

再生中から停止にしたとき(状態アイコン が点滅状態)は続き再生ができます。再度[停止]にタップすると状態アイコンが になり続き再生ができなくなります。

### ⑧ 再生

状態アイコン が点滅状態であれば、続き再生ができます。状態アイコンが であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

## ■ 走行中の操作制限について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。

### お知らせ

- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。

DVD VIDEO | DVD-VR

## タイトル番号やチャプター番号を選ぶ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

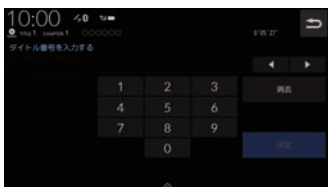
### 1 再生中、画面にタップする

### 2 [サーチ] にタップする

### 3 [タイトル] または [チャプター] にタップする



### 4 再生したい“番号”を入力する



→「文字入力のしかた」(P32)

### 5 [決定] にタップする

指定した番号のタイトルまたはチャプターから再生します。

### アドバイス

- タイトルの場合は最大で2桁、チャプターの場合は最大3桁まで入力できます。
- 手順4で最大桁数まで入力した場合は、手順5の[決定]は必要ありません。

## ■ 停止画面からの操作

停止中では、タイトル番号の変更のみ行えます。

- 1 停止中、画面にタップする
- 2 **タイトルサーチ** にタップする
- 3 再生したい“番号”を入力する  
→「文字入力のしかた」(P32)
- 4 **決定** にタップする



指定した番号のタイトルから再生します。

### アドバイス

- 手順3で最大桁数の2桁まで入力した場合は、手順4の[決定]は必要ありません。

## DVD VIDEO | DVD-VR

### 音声 / 字幕を切り換える

**DVD VIDEO** では音声の言語 / 種別や字幕情報の選択が行え、**DVD-VR** では音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択が行えます。

**DVD VIDEO** | **DVD-VR** とともに、一時停止時は [音声]、[字幕] の選択ができません。

- 1 再生中、画面にタップする
- 2 **切換** にタップする
- 3 **音声** または **字幕** にタップする



音声または字幕の切換メニューを表示します。

- 4 **音声** または **字幕** にタップする



タップするたびに、音声または字幕が切り換わります。

### アドバイス

- 変更中には音声情報または字幕情報がソースプレートに表示されます。



## アングルを切り換える

複数のアングルが収録されたDVDビデオであればアングルを切り換えることができます。一時停止中は、[アングル]の選択ができません。

### 1 再生中、画面にタップする

### 2 [切換] にタップする

### 3 [アングル] にタップする

アングルの切換メニューを表示します。

### 4 [アングル] にタップする



タップするたびに、アングルが切り換わります。

#### アドバイス

- 変更中にはアングル番号がソースプレートに表示されます。

## DVD VIDEO

## メニューを操作する

タイトルメニューやメインメニューを表示し、各メニューの選択および決定が行えます。

### ■ タイトルメニューの場合

### 1 再生中、画面にタップする

### 2 [メニュー] にタップする

タイトルメニューを表示します。直接、画面のメニューボタンにタップして選択または決定を行います。メニュー操作パネルで操作したい場合は、手順3へ進みます。

#### アドバイス

- 2画面 (P60) で表示しているときは、メニューボタンを直接タップできません。

### 3 [ボタンON] にタップする

メニュー操作パネルを表示します。

### 4 カーソルボタンにタップしてメニューを選ぶ



### 5 [決定] にタップする

選択したメニューの再生を開始します。

#### アドバイス

- メニュー操作パネルは、DVDのコンテンツの構成によって直接タップするのが困難な場合に便利です。
- メニュー操作パネルで [右] にタップすると映像はタイトルメニューのまま操作画面を表示します。
- [左へ移動] または [右へ移動] にタップすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

## ■ メインメニューの場合

### 1 停止中、画面にタップする

### 2 **メインメニュー** にタップする

メインメニューを表示します。  
直接、画面のメニューボタンにタップして  
選択または決定を行います。  
メニュー操作パネルで操作したい場合は、  
手順3へ進みます。

#### アドバイス

- 2画面 (P60) で表示しているときは、メ  
ニューボタンを直接タップできません。

### 3 **ボタンON** にタップする

メニュー操作パネルを表示します。

### 4 カーソルボタンにタップして メニューを選ぶ



### 5 **決定** にタップする

選択したメニューの再生を開始します。

#### アドバイス

- メニュー操作パネルは、DVDのコンテ  
ンツの構成によって直接タップするのが  
困難な場合に便利です。
- メニュー操作パネルで **[<=>]** にタップす  
ると映像はタイトルメニューのまま操作  
画面を表示します。
- [左へ移動] または [右へ移動] にタップ  
すると、メニュー操作パネルを移動させ  
ることができます。

## DVD VIDEO

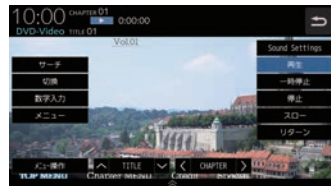
### 数字入力でメニューを選ぶ

DVD ビデオのメニューに番号が設定されてい  
れば、数字入力でメニューを選ぶことができ  
ます。

### 1 **メニュー** を表示する

→「メニューを操作する」(P139)

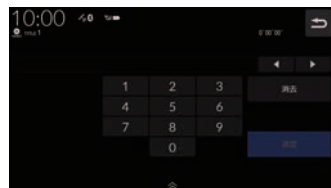
### 2 **[<=>]** にタップする



操作画面を表示します。

### 3 **数字入力** にタップする

### 4 再生したい“メニュー番号”を入力する



→「文字入力のしかた」(P32)

### 5 **決定** にタップする

指定したメニュー番号の項目を再生します。

## 静止画を送る

静止画表示中に、次の静止画を表示できます。

### 1 静止画表示中、画面にタップする

### 2 隣の静止画 にタップする



タップするたびに、次の静止画の表示に切り換わります。

## 音声多重を切り換える

二ヶ国語放送のような複数の音声収録されていた場合、音声を切り換えることができます。

### 1 再生中、画面にタップする

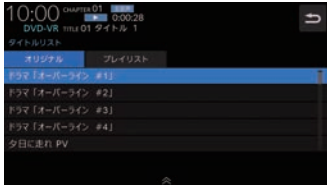
### 2 音声多重切換 にタップする



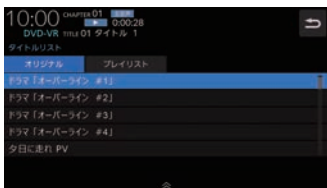
タップするたびに、[主音声]→[副音声]→[主/副]→[主音声]・・・と切り換わります。

## タイトルリストを表示する

- 1 再生中または停止中、画面に  
タップする
- 2 **タイトルリスト** にタップする  
タイトルリストを表示します。
- 3 **オリジナル** または  
**プレイリスト** にタップする



- 4 再生したい“メニュー”に  
タップする



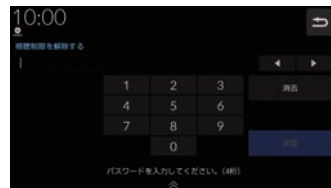
選んだメニューの再生を開始します。

## 視聴制限のあるDVDビデオを再生したとき

視聴制限 (P297) で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のあるDVDビデオを再生すると、視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。また、DVDビデオによっては、視聴制限のあるシーンに差し掛かるとパスワードを入力する画面を表示する場合があります。ここでは、パスワードを入力する画面が表示された場合の説明をします。

パスワード入力する画面が表示されたら・・・

- 1 **戻る** にタップする



視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。

## アドバイス

- パスワードを入力する画面「**視聴制限のレベルを設定する**」(P297) で設定したパスワードを入力すると視聴制限のあるシーンを再生することができます。
- ディスクによっては、**戻る** にタップしても継続して再生することができない場合があります。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを確認してください。

# SD/Music Rack

## SDカードの曲を聴く

音楽ファイルが記録されたSDカードを本機で再生できます。

音楽ファイルが記録されたSDカードを本機のSDカードスロットに挿入した状態で操作してください。

### 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

### 2 [SD] にタップする

前回の再生情報画面を表示します。  
音楽ファイルのみ記録されたSDカードを挿入していた場合は、手順4へ進みます。

### 3 [SD Music] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

### 4 ▲ または ▼ にタップして フォルダーを選ぶ



### 5 ◀ または ▶ にタップして曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

#### アドバイス

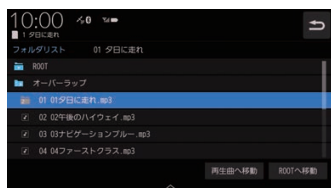
- ◀ または ▶ にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

## リストを表示する

フォルダーの階層を確認しながら曲を探すことができます。

ここでは、SDカードの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### 1 SDカードの再生情報画面で [FOLDER LIST] にタップする



リストを表示します。

### 2 ↶ にタップする

SDカードの再生情報画面に戻ります。

#### アドバイス

- [ROOTへ移動] にタップすると、ROOTフォルダーへ移動します。

## 再生情報画面について



- ① **SD Movie** (→P148)  
SDカードの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。
- ② **アルバム名**  
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。
- ③ **AUDIO ソースボタン** (→P104)  
各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップするとAUDIOメニューを表示します。
- ④ **ジャケット**  
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。<sup>\*1</sup>
- ⑤ **トラック番号/曲名**  
タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。
- ⑥ **アーティスト名**  
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。
- ⑦ **▲, ▼**  
フォルダーを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。
- ⑧ **ジャンル**  
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。
- ⑨ **シークバー**  
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。
- ⑩ **ファイル形式**  
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。
- ⑪ **チャンネルモード**  
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。  

	: ステレオ
	: モノラル
- ⑫ **再生モードボタン** (→P146)  
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
- ⑬ **Sound Settings**  
Sound Settings を表示します。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)
- ⑭ **FOLDERLIST** (→P145)  
フォルダーリストを表示します。
- ⑮ **ARTIST** (→P147)  
アーティストのリストを表示します。
- ⑯ **ALBUM** (→P147)  
アルバムのリストを表示します。
- ⑰ **TRACK** (→P147)  
トラック (曲) のリストを表示します。
- ⑱ **再生時間/曲の長さ**  


--	--	--	--

 ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。  
 または にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

※1 WAV形式は対応しておりません。

## ■ リストについて



- ① **ROOT**  
階層の最上位を示します。
- ② **階層番号**  
フォルダーの階層位置を示します。
- ③ **ファイル名**  
タップすると、曲の再生を開始します。
- ④   
SDカードの再生情報画面に戻ります。
- ⑤ **フォルダー名**  
タップすると、フォルダーを展開します。
- ⑥ **再生曲へ移動**  
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。
- ⑦ **ROOTへ移動**  
ROOTフォルダーへ移動します。

## 再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

### 1 SDカードの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする



選んだモードの再生を開始します。

#### アドバイス







- 同一の再生モードボタン(P144)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P146)になるまでタップしてください。
- Unicode順で表示されます。

## ■ 再生モードについて

### FOLDER LISTから選曲したとき

 (スキャン)	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (フォルダー スキャン)	SDカード内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (フォルダー リピート)	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (フォルダー ランダム)	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
 (オールランダム)	SDカード内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

### FOLDER LIST以外のカテゴリーから選曲したとき

 (アルバム内 スキャン)	SDカード内の全アルバムの1曲目を約10秒間ずつ再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内の曲を順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

#### アドバイス

- ランダム、アルバムランダム再生を行うと、リストも並び替わります。



## カテゴリから探す

リストを表示して曲を探すことができます。ここでは、SDカードの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### 1 いずれかの“カテゴリ”にタップする



### 2 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。手順2の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

#### アドバイス

- 手順1で選んだカテゴリによって、手順2で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

## ■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

### 1 リスト表示画面で **再生画面** にタップする



再生情報画面を表示します。

## SDカードの動画を見る

動画ファイルが記録されたSDカードを本機で再生できます。

動画ファイルが記録されたSDカードを本機のSDカードスロットに挿入した状態で操作してください。

### 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

### 2 SD にタップする

前回の再生情報画面を表示します。  
動画ファイルのみ記録されたSDカードを挿入していた場合は、手順4へ進みます。

### 3 SD Movie にタップする

動画ファイルの再生画面を表示します。

### 4 < TRACK > にタップして再生する動画を選ぶ

選んだ動画の再生を開始します。

#### アドバイス

- < TRACK > にロングタップ (P29) すると早送り、早戻しができます。約5秒以上ロングタップすると、ボタンから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 < TRACK > にタップします。

#### お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。
- Music Rack への録音中はSDカードの動画を見ることができません。

## リストを表示する

フォルダーの階層を確認しながら動画を探すことができます。

ここでは、動画ファイルの再生画面からの操作方法を説明します。

### 1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

### 2 FolderList にタップする



リストを表示します。

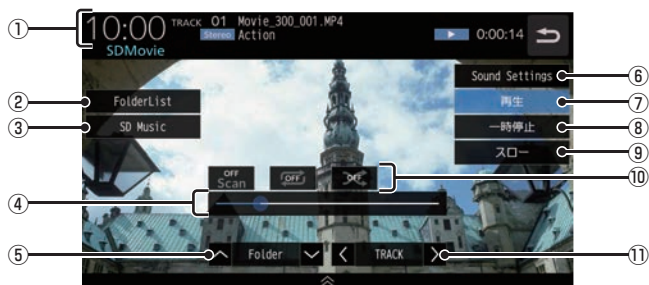
詳しくは、「リストについて」(P145)を参考にご覧ください。

### 3 戻るにタップする

動画ファイルの操作画面に戻ります。

## 表示内容について

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



### ① ソースプレート

現在の状態を表示します。詳しくは、「ソースプレートについて」(P150)をご覧ください。

### ② FolderList

フォルダーリストを表示します。  
→「リストについて」(P145)

### ③ SD Music

再生情報画面をSDカードの音楽ファイルに切り換え、再生を開始します。  
→「SDカードの曲を聴く」(P143)

### ④ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

### ⑤ ▲ Folder ▼

前後のフォルダーを選ぶときに使用します。選んだフォルダーの先頭ファイルの再生を開始します。

### ⑥ Sound Settings

Sound Settingsを表示します。  
→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)

### ⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

### ⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

### ⑨ スロー

タップするたびに  
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2]・・・  
と再生速度が変わります。(スロー再生)

### ⑩ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。  
→「再生モードを変更する」(P151)

### ⑪ < TRACK >

前後のファイルを選ぶときに使用します。ロングタップ (P29) すると早送り、早戻しができます。

## ■ ソースプレートについて



### ① トラック名

再生している動画のトラック名を表示します。

### ② トラック番号

再生している動画のトラック番号を表示します。

### ③ ソース名

### ④ フォルダー名






再生している動画ファイルのフォルダー名を表示します。

### ⑤ 再生モード

現在の再生モードをアイコンで表示します。  
→「再生モードを変更する」(P151)

### ⑥ 状態アイコン

再生の状態をアイコンで表示します。

-  : 再生中
-  : 一時停止中
-  : 早送り中
-  : 早戻し中
-  : スロー再生中

### ⑦ 再生時間

## 再生モードを変更する

### 1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

### 2 変更したい“モード”にタップする



選んだモードの再生を開始します。

#### アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P149)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P151)になるまでタップしてください。

## ■ 再生モードについて

Scan (スキャン)	再生中の動画があるフォルダー内のすべての動画が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan (フォルダースキャン)	SDカード内の全フォルダーの1つ目を約10秒間ずつ順番に再生します。
Off Scan (スキャン解除)	スキャンを解除します。
(リピート)	再生中の動画を繰り返して再生します。
(フォルダールピート)	再生中の動画があるフォルダーを繰り返して再生します。
Off (リピート解除)	リピートを解除します。
(ランダム)	再生中の動画があるフォルダー内の動画を順不同に再生します。
(オールランダム)	SDカード内の動画すべてを順不同に再生します。
(ランダム解除)	ランダムを解除します。

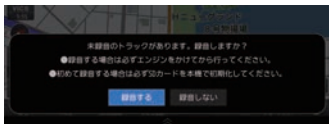
#### アドバイス

- リピート再生中にランダム再生を行うと、リピート再生が解除されます。
- ランダム再生を行うと、リストも並び替わります。

# Music Rack に録音する

## Music Rack への録音について

本機は、挿入した音楽 CD の曲を約 4 倍速で専用 SD カードに録音できます。Music Rack に音楽 CD を録音するときは、専用 SD カードを使用してください。工場出荷時の設定であれば、本機に音楽 CD を挿入後、[録音する] にタップすることで音楽 CD 内の曲をすべて Music Rack に録音します。

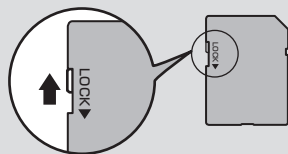


## 注意

- 録音したものを個人で楽しむ以外の目的で使用する場合は、著作権法上禁止されています。
- Music Rack に録音できるのは音楽 CD (CD-DA) からのみです。MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC などの音楽ファイルが記録されたディスクやその他のメディア (SD カードや USB メモリーなど) からの録音はできません。
- DTS-CD の曲が一緒に収録されている音楽 CD (CD-DA) を録音すると、DTS-CD の曲も録音されます。録音された DTS-CD の曲を再生するとノイズが再生されますので DTS-CD の曲は録音しないでください。
- 録音はエンジンがかかっている状態のときに行ってください。録音中にエンジンをかけると正しく録音できない場合があります。また、SD カードが破損する可能性があります。
- 新たな専用 SD カードを使用する場合、初めて使う際に正しく録音できないときは、「メモリ初期化」(P320) の [SD カードの初期化] で初期化を行ってください。
- 市販されている SD カードを使用するには、あらかじめ「メモリ初期化」(P320) の [SD カードの初期化] で初期化しておく必要があります。ただし、動作の保証はいたしかねます。

## お知らせ

- 専用 SD カードを本機の SD カードスロットに挿入した状態で操作してください。(SD カードの Lock は解除しておいてください。)



- 1 枚の SD カードに最大 10,000 曲、CD の枚数は 1,000 枚まで録音できます。
- SD カードの容量がいっぱいになった場合は、それ以上録音できません。(録音できるデータ容量の目安：1 分 1MB)
- SD カードの容量を大きくしても、最大 10,000 曲、CD の枚数は 1,000 枚までしか録音できません。
- 録音中に追いかけ再生または Music Rack の曲を再生したとき、再生音が一瞬途切れることがあります。再生音が途切れても正常に録音されています。
- 録音したものは原音とは音質が異なる場合やノイズが混入する可能性があります。
- Music Rack に録音した曲を別のメディア (CD-R/RW、ハードディスク、USB メモリー、SD カードなど) には複製/移動できません。
- すでに録音した曲は同じ音楽 CD から重複して録音できません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 本機で録音した SD カードは本機でのみ再生できます。

## お知らせ

- 追いかけて再生準備のため、録音開始直後は再生に時間がかかることがあります。別のAUDIOソースをお楽しみいただくことをおすすめいたします。
- 録音状況により再生を一時停止することがあります。(録音は継続します。)再生が一時停止すると、しばらく無音状態となりますので、別のAUDIOソースをお楽しみいただくことをおすすめいたします。
- 読み込みエラーがあった場合は、次の曲に進み録音を開始します。
- 曲と曲の間にブランクがない場合は、曲間に無音が録音されます。
- SCMS (孫コピー防止技術) の働きにより、音楽CDをデジタル録音したディスクからMusic Rackへは録音できません。
- 録音中はSDカードの動画を見ることができません。

## 録音を開始 / 停止する

ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

→「音楽CDを聴く」(P123)

### アドバイス

- 録音方法を変更できます。  
→「音楽CDの録音方法を変更する」(P295)
- 録音設定が「シングル録音」だった場合、1曲目以外は録音できません。

## 1 録音したい曲を再生する

## 2 音楽CDの再生情報画面で

**REC ●** にタップする

## 3 **開始する** にタップする



選んだ曲の録音を開始し、追いかけて再生を行います。

## 4 録音を停止するときは、

**REC ■** にタップする



録音を停止します。

## Music Rack を聴く

Music Rackとは、SDカードに音楽CDの曲を録音し、再生する機能です。

### 注意

- SDカードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

### お知らせ

- 本製品を譲渡するときなどは著作権法上、音楽録音したSDカードを必ず抜き取り譲渡対象外としてください。  
→「メモリ初期化」(P320)
- SDカードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本機で表示できない文字列は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

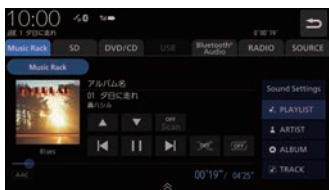
### アドバイス

- ◀ または ▶ にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- プレイリスト内の曲を再生している場合は、▲ または ▼ にタップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

## 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

## 2 Music Rack にタップする 前回の再生情報画面を表示します。

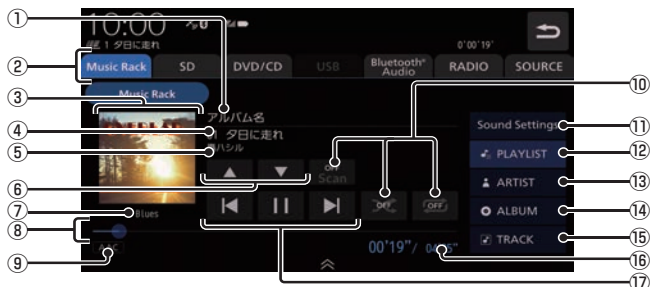
## 3 ◀ または ▶ にタップして曲を選ぶ



▼  
選んだ曲を再生します。

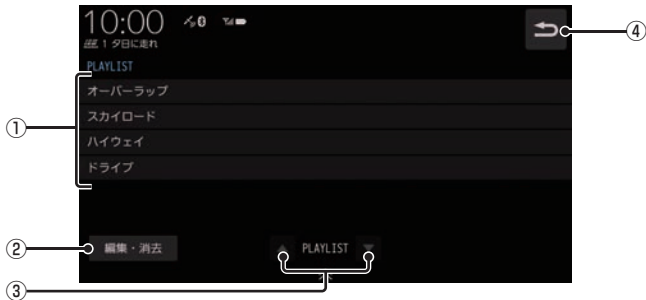


## 再生情報画面について



- ① **アルバム名**  
プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のアルバム名を表示します。
- ② **AUDIO ソースボタン (→P104)**  
各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。
- ③ **ジャケット**  
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。
- ④ **トラック番号/曲名**  
タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。
- ⑤ **アーティスト名**  
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「No Name」と表示します。
- ⑥ **▲、▼**  
プレイリストを選ぶときに使用します。(プレイリスト内の曲を再生しているときに選択できます。) タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。
- ⑦ **ジャンル**  
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。
- ⑧ **シークバー**  
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。
- ⑨ **ファイル形式**  
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。
- ⑩ **再生モードボタン (→P162)**  
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
- ⑪ **Sound Settings**  
Sound Settings を表示します。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)
- ⑫ **PLAYLIST (→P156)**  
プレイリスト選択画面を表示します。
- ⑬ **ARTIST (→P163)**  
アーティストのリストを表示します。
- ⑭ **ALBUM (→P163)**  
アルバムのリストを表示します。
- ⑮ **TRACK (→P163)**  
トラック (曲) のリストを表示します。
- ⑯ **再生時間/曲の長さ**
- ⑰ **◀, ||, ▶, ⏮, ⏭**  
トラックの選択や一時停止、再生が行えます。◀ または ▶ にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

## ■ プレイリスト選択画面



### ① プレイリスト名

タップすると、そのプレイリスト内のトラックリストを表示します。

→「トラックリストについて」(P157)

### ② 編集・消去

プレイリストの編集 (P158) または消去 (P159) が行えます。

### ③ ▲ PLAYLIST ▼

プレイリストを選ぶときに使用します。

タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

### ④ ⇨

Music Rackの再生情報画面 (P155) に戻ります。

## ■ トラックリストについて



### ① プレイリスト名

再生中のプレイリスト名を表示します。

### ② トラック番号/曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。

タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。

タップすると、選択した曲の再生を開始します。

### ③ 編集・消去

トラックの編集 (P161) または消去 (P161) が行えます。

### ④

1つ前の画面に戻ります。

### ⑤ 再生画面

Music Rackの再生情報画面 (P155) に戻ります。

### ⑥ PLAYLIST

プレイリストを選ぶときに使用します。

タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

## プレイリスト選択画面を表示する

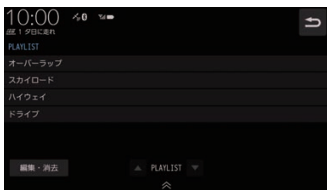
Music Rackに音楽CDの曲を録音すると、自動的にアルバムごとのプレイリストが作成されます。このプレイリストをアルバムごとに選択できます。

ここでは、Music Rackの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### お知らせ

- Music Rackに1曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

## 1 Music Rackの再生情報画面で、**PLAYLIST**にタップする



プレイリスト選択画面を表示します。各プレイリストにタップすると、そのプレイリストのトラックリストを表示します。

## 2 **⏪**にタップする

Music Rackの再生情報画面に戻ります。

## プレイリストを編集する

プレイリストのタイトル変更や消去が行えます。

## ■ プレイリストのタイトルを変更する

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P158)

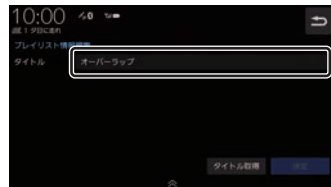
## 1 **編集/消去**にタップする

## 2 タイトルを変更したい“プレイリスト”にタップする



プレイリストの情報編集画面を表示します。

## 3 “タイトル”にタップする

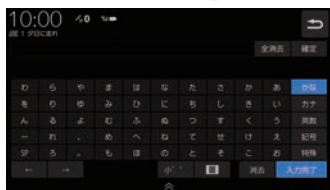


### アドバイス

- [タイトル取得]にタップすると、選択しているプレイリストのタイトル情報を取得できます。

→「タイトル情報を取得する」(P164)

- 4 変更したい“タイトル”を入力し、  
[入力完了] → [確定] にタップする  
→「文字入力のしかた」(P32)



プレイリストの情報編集画面に戻ります。

- 5 [決定] にタップする

選択したプレイリストのタイトル変更が完了  
します。

## ■ プレイリストを消去する

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作  
方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」  
(P158)

### アドバイス

- 録音中にこの操作は行えません。

- 1 [編集/消去] にタップする

- 2 消去したいプレイリストの  
“チェックボックス”にタップし、  
選択する



### アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべてのプレイリストを選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

- 3 [消去] にタップする

- 4 [消去する] にタップする

選択したすべてのプレイリストの消去が完了  
します。

## トラックリストを表示する

### お知らせ

- Music Rackに1曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

## ■ 全曲のトラックリストを表示する

Music Rack内に録音されたすべてのトラックリストを表示します。

ここでは、Music Rackの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### 1 Music Rackの再生情報画面で、**TRACK** にタップする



全曲のトラックリストを表示します。  
各トラックにタップすると、そのトラックの再生を開始します。

### 2 **⏪** にタップする

▼  
Music Rackの再生情報画面に戻ります。

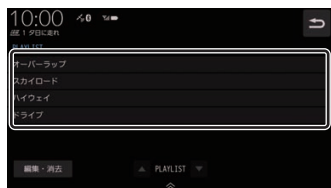
## ■ プレイリスト内のトラックリストを表示する

アルバムごとに管理されたプレイリストを選択し、そのトラックリストを表示します。

### 1 Music Rackの再生情報画面で、**PLAYLIST** にタップする

プレイリスト選択画面を表示します。

### 2 再生したい“プレイリスト”にタップする



選択したプレイリストのトラックリストを表示します。  
各トラックにタップすると、そのトラックの再生を開始します。

### 3 **⏪** にタップする

▼  
プレイリスト選択画面に戻ります。

## トラックを編集する

トラックの情報の変更や消去が行えます。

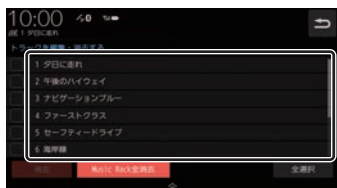
### ■ トラックの情報を編集する

トラックのタイトルやアルバム名などの情報を変更できます。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P160)

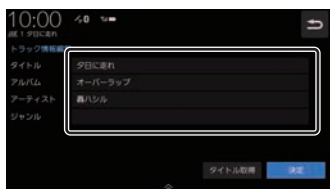
#### 1 [編集/消去] にタップする

#### 2 タイトルを変更したい“トラック”にタップする

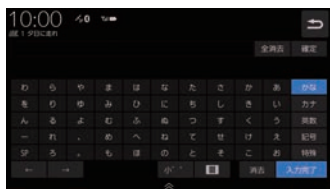


トラックの情報編集画面を表示します。

#### 3 変更したいいずれかの“入力ボックス”にタップし、入力する



#### 4 [入力完了] → [確定] にタップする



→「文字入力のしかた」(P32)

#### アドバイス

- [タイトル取得]にタップすると、選択しているトラックのタイトル情報を取得できます。

→「タイトル情報を取得する」(P164)

#### 5 [決定] にタップする

選択したトラック情報の変更が完了します。

### ■ トラックを消去する

ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P160)

#### 1 [編集/消去] にタップする

#### 2 消去したいトラックの“チェックボックス”にタップし、選択する



#### アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべてのトラックを選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

#### 3 [消去] にタップする

#### 4 [消去する] にタップする

選択したすべてのトラックの消去が完了します。

## 再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

この操作は、Music Rackの再生情報画面(P155)から行えます。

### 1 Music Rackの再生情報画面で変更したい“モード”にタップする







選んだモードの再生を開始します。

## ■ 再生モードについて

### プレイリストから選曲したとき

 (スキャン)	再生中の曲があるプレイリスト内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (プレイリストスキャン)	Music Rack内の全プレイリストの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (プレイリストリピート)	再生中の曲があるプレイリストを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるプレイリスト内の曲を順不同に再生します。
 (プレイリストランダム)	Music Rack内の全プレイリストを順不同に選択し、プレイリスト内の曲を順番に再生します。
 (オールランダム)	Music Rack内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

### プレイリスト以外のカテゴリーから選曲したとき

 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内の曲を順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

### アドバイス

- プレイリスト以外のカテゴリーから選曲したときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。



## カテゴリーから探す

カテゴリー別にリストを表示して曲を探すことができます。

ここでは、Music Rackの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### アドバイス

- 再生モード(P162)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

## 1 Music Rackの再生情報画面でいずれかの“カテゴリー”にタップする



## 2 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。手順2の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

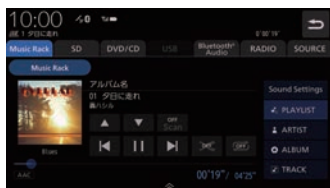
### アドバイス

- 手順1で選んだカテゴリーによって、手順2で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

## ■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

## 1 リスト表示画面で **再生画面** にタップする



## タイトル情報を取得する

通常は、音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得しますが、Music Rackに録音した後の再取得について説明します。

Music Rackからのタイトル情報の取得は、プレイリストの情報編集画面 (P158) またはトラックの情報編集画面 (P161) から行うことができます。

### お知らせ

- タイトル情報について詳しくは「タイトル情報を取得する」(P126)をご覧ください。

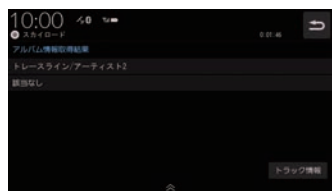
## ■ 本機から取得する

本機に記録されているデータからタイトル情報を取得します。インターナビ・データ通信USBが接続されている場合は、データ通信機能を使ったタイトル情報の取得 (P164) ができます。

### 1 各情報編集画面で **タイトル取得** にタップする

タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

### 2 いずれかにタップする



→「タイトル候補の選択画面について」(P164)

## ■ 通信で取得する

インターナビ・データ通信USBを使ってタイトル情報を取得します。

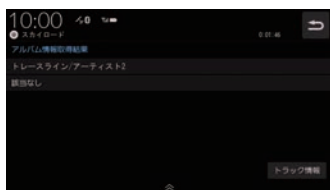
### お知らせ

- Honda Total Careの会員登録および本機のセットアップが必要です。→「Honda Total Careをご利用になる前に」(P257)

### 1 各情報編集画面で **タイトル取得** にタップする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

### 2 いずれかにタップする



→「タイトル候補の選択画面について」(P164)

## ■ タイトル候補の選択画面について

アルバム名 / アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に表示します。タップすることでそのタイトル情報を適用します。
該当なし	現在のタイトル情報から変更を行いません。
トラック情報	トラック情報を確認できます。複数のアルバム情報がある場合は、[トラック情報]にタップ後、確認したいアルバム情報にタップしてください。

## Music Rack 内の曲をすべて消す

Music Rack (挿入中のSDカード) 内にあるすべての曲を消去します。

すべての曲を消去するには、プレイリスト選択画面 (P158) またはトラックリスト画面 (P160) から行うことができます。

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」  
(P158)

1 プレイリスト選択画面で  
編集・消去 にタップする

2 Music Rack 全消去  
にタップする

3 消去する にタップする



4 再度、消去する にタップする

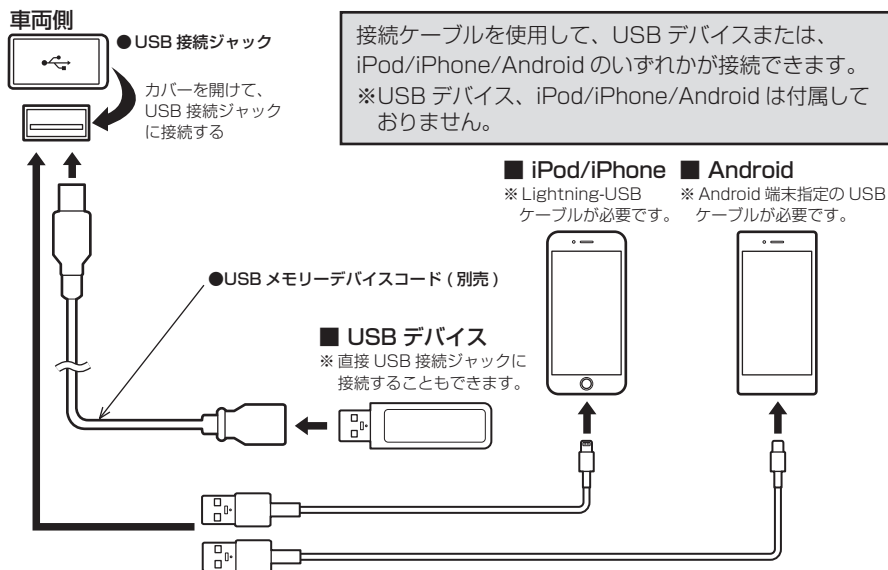


Music Rack 内にあるすべての曲の消去が完了します。

# iPod/iPhone/Android/USBメモリ

## 接続する

接続ケーブルと iPod/iPhone/Android および USB デバイスの接続方法を説明します。



## お知らせ

- USB 接続ジャックの形状や取り付け位置は、車両によって異なります。詳しくは、Honda 販売店にご確認ください。
- Apple CarPlay については「Apple CarPlay を利用する」(P43) をご覧ください。
- Android Auto については「Android Auto™ を利用する」(P45) をご覧ください。

## 注意

- USB 接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。内部に異物が入ったり、カバーが体に当たって破損したりするおそれがあります。
- Lightning コネクタタイプの iPod/iPhone に接続する場合は、Lightning-USB ケーブルをご使用ください。
- iPod/iPhone/Android の動画を再生する場合は HDMI (P202) へ接続してください。
- 各コネクタ方向に注意してください。コネクタ方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクタや iPod/iPhone/Android、USB デバイスの破損の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone/Android や USB ケーブルを車内に放置しないでください。

## ■ iPod について

- iPod/iPhoneの世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。(→P10) また、本書で説明する操作方法どおりに再生できない場合があります。最新の接続確認結果については、弊社のホームページをご覧ください。
- iPod/iPhoneを本機に接続した状態で操作してください。
- 正しく動作しないときは、iPod/iPhoneを本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone本体を車内に放置しないでください。
- 本機と接続して使用しているときにiPod/iPhoneのデータが消失しても、その補償はいたしかねます。
- 本機で表示できない文字列は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- シークバーなどはiPod/iPhoneとの通信状況により正しく表示されない場合がありますが、故障ではありません。

## ■ USB デバイスについて

- USBデバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- USBメモリーの推奨ファイルシステムは、exFATです。
- USBメモリーの対応容量は128GBまでを推奨します。なお、すべてのUSBメモリーに対して動作を保証するものではありません。
- 音楽ファイルが記録されたUSBデバイスを本機に接続した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- USBデバイスはUSB2.0のものに対応しています。
- USBマークがあるUSBデバイスを使用してください。

### 注意

- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、USBデバイスを車内に放置しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のエンジンスイッチを“OFF”にしてから取り外してください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- USBデバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

## iPodを再生する

市販されている iPod 接続ケーブル、iPod を本機に接続することで、iPod の音声を本機で再生できます。

### お知らせ

- 本書では、以降の説明で「iPod/iPhone」をまとめて「iPod」と記載していますが「iPod」に iPhone も含んでいます。

### 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

### 2 **USB/iPod** にタップする 再生情報画面を表示します。

### 3 **◀** または **▶** にタップして曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

### アドバイス

- **◀** または **▶** にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

## ■ 再生情報画面について

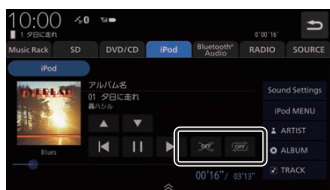


- ① **アルバム名**  
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。
- ② **AUDIO ソースボタン**  
各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップすると AUDIO メニューを表示します。  
→「AUDIO メニューを表示する」(P104)
- ③ **ジャケット**  
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。
- ④ **アーティスト名**  
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。
- ⑤ **⏮, ⏪, ⏩, ⏭**  
トラックの選択や一時停止、再生が行えます。  
⏮ または ⏭ にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⑥ **ジャンル**  
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。
- ⑦ **シークバー**  
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。
- ⑧ **再生時間 / 曲の長さ**
- ⑨ **トラック番号 / 曲名**  
タイトル情報に曲名があれば表示します。
- ⑩ **再生モードボタン**  
各ボタンにタップして再生モードを変更します。  
→「再生モードを変更する」(P170)
- ⑪ **Sound Settings**  
Sound Settings を表示します。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)
- ⑫ **iPod MENU** (→P171)  
iPod メニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示できます。
- ⑬ **ARTIST**  
アーティストのリストを表示します。
- ⑭ **ALBUM**  
アルバムのリストを表示します。
- ⑮ **TRACK**  
トラック (曲) のリストを表示します。

## 再生モードを変更する

リピート再生やシャッフル再生などの設定が行えます。ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

### 1 再生情報画面で変更したい“モード”にタップする



選んだモードの再生を開始します。

#### アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P169)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P170)になるまでタップしてください。
- 再生モードの内容について、詳しくは「再生モードについて」(P170)をご覧ください。

## ■ 再生モードについて

### お知らせ

- iPodによって操作方法が異なります。

### リピート

(シングルリピート)	現在再生中の曲を繰り返して再生します。
(オールリピート)	最終曲の再生が完了すると先頭曲から再生を開始します。
※1 (リピート解除)	リピート再生を解除します。リストの最終曲の再生完了後、再生を停止します。

### シャッフル

(シャッフル)	再生中の階層内にある曲を順不同に再生します。
※1 (アルバムシャッフル)	再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
(シャッフル解除)	シャッフル再生を解除します。

※1 iPodによっては対応していない場合があります。



## リストで探す

リストにタップしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲を探すことができます。

ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

### お知らせ

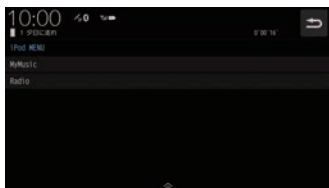
- iPodによって操作方法が異なります。

## 1 iPodの再生情報画面で

### **iPod MENU** にタップする

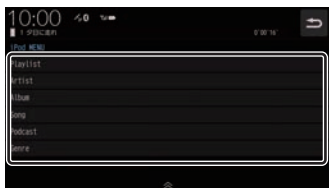
手順2の画面が表示されない場合は、手順3へ進みます。

## 2 **MyMusic** または **Radio** にタップする



[Radio]にタップした場合は手順4へ進みます。

## 3 “カテゴリー” にタップする



選んだカテゴリーのリストを表示します。

## 4 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。  
手順4の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。

リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

### アドバイス

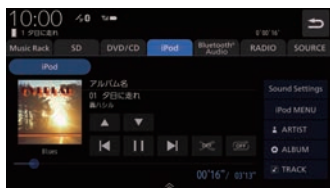
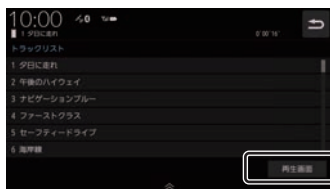
- 手順3で選んだカテゴリーによって、手順4で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、iPodに記録されているタイトル情報を表示します。

## ■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

## 1 リスト表示画面で

### **再生画面** にタップする



## USBデバイスの曲を聴く

市販されているUSBデバイスを本機に接続することで、USBメモリーなどのUSBデバイスに記録された音楽ファイルを本機で再生できます。

### 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

### 2 [USB] にタップする

前回の再生情報画面を表示します。  
音楽ファイルのみ記録されたUSBデバイスを接続していた場合は手順4へ進みます。

### 3 [USB Music] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

### 4 ▲ または ▼ にタップして フォルダーを選ぶ



### 5 ◀ または ▶ にタップして曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

#### アドバイス

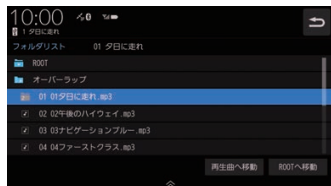
- ◀ または ▶ にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

## リストを表示する

フォルダーの階層を確認しながら曲を探すことができます。

ここでは、USBデバイスの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### 1 USBデバイスの再生情報画面で [FOLDER LIST] にタップする



リストを表示します。

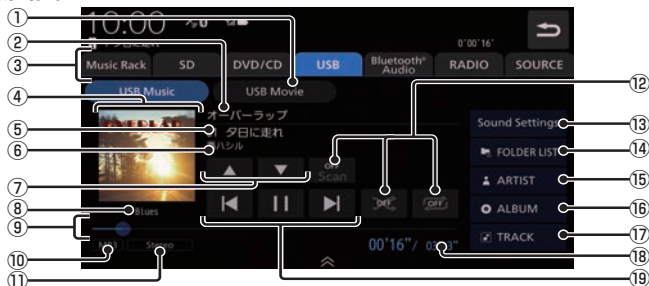
### 2 ◀ にタップする

USBデバイスの再生情報画面に戻ります。

#### アドバイス

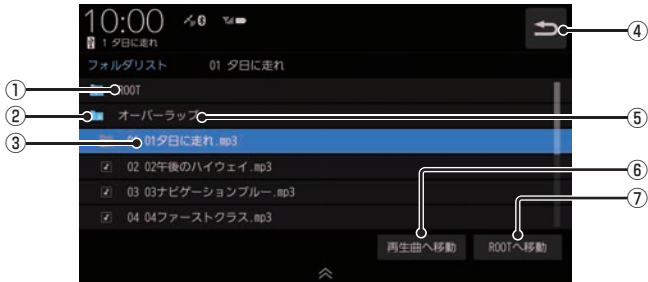
- [ROOTへ移動] にタップすると、ROOTフォルダーへ移動します。


## 再生情報画面について



- ① **USB Movie** (→P177)  
USBデバイスの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。
- ② **アルバム名**  
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。
- ③ **AUDIO ソースボタン** (→P104)  
各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。
- ④ **ジャケット**  
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。\*1 \*2
- ⑤ **トラック番号/曲名**  
タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。
- ⑥ **アーティスト名**  
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。\*2
- ⑦ **▲, ▼**  
フォルダーを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。
- ⑧ **ジャンル**  
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。\*2
- ⑨ **シークバー**  
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。
- ⑩ **ファイル形式**  
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。
- ⑪ **チャンネルモード**  
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。  
**Stereo** : ステレオ  
**Monaural** : モノラル
- ⑫ **再生モードボタン** (→P175)  
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
- ⑬ **Sound Settings**  
Sound Settingsを表示します。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)
- ⑭ **FOLDER LIST** (→P174)  
フォルダーリストを表示します。
- ⑮ **ARTIST**  
アーティストのリストを表示します。
- ⑯ **ALBUM**  
アルバムのリストを表示します。
- ⑰ **TRACK**  
トラック (曲) のリストを表示します。
- ⑱ **再生時間/曲の長さ**  
**◀, ||, ▶, ▶▶**  
ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。  
**◀▶** または **▶▶▶** にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- \*1 ジャケット写真を表示する場合は、あらかじめ音楽データのタイトル情報にジャケット写真を設定しておく必要があります。画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。
- \*2 WAV形式は対応しておりません。

## ■ リストについて



- ① **ROOT**  
階層の最上位を示します。
- ② **階層番号**  
フォルダの階層位置を示します。
- ③ **ファイル名**  
タップすると、曲の再生を開始します。
- ④   
USB デバイスの再生情報画面に戻ります。
- ⑤ **フォルダー名**  
タップすると、フォルダを展開します。
- ⑥ **再生曲へ移動**  
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。
- ⑦ **ROOTへ移動**  
ROOT フォルダへ移動します。

## 再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

### 1 USBデバイスの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする












選んだモードの再生を開始します。

#### アドバイス





- 同一の再生モードボタン(P173)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P175)になるまでタップしてください。

## ■ 再生モードについて

### FOLDER LISTから選曲したとき

 (スキャン)	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (フォルダースキャン)	USBデバイス内の全フォルダの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (フォルダールピート)	再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (フォルダールンダム)	再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。
 (オールランダム)	USBデバイス内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

### FOLDER LIST以外のカテゴリーから選曲したとき

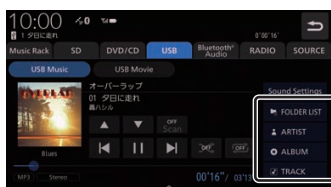
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内の曲を順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

## カテゴリから探す

カテゴリ別にリストを表示して曲を探すことができます。

ここでは、USBデバイスの再生情報画面からの操作方法を説明します。

### 1 いずれかの“カテゴリ”にタップする



### 2 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。手順2の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

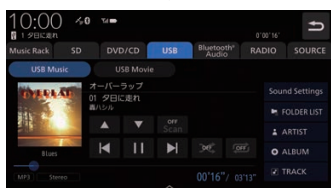
#### アドバイス

- 手順1で選んだカテゴリによって、手順2で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

## ■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

### 1 リスト表示画面で **再生画面** にタップする



再生情報画面を表示します。

## USBデバイスの動画を見る

市販されているUSBデバイスを本機に接続することで、USBメモリーなどのUSBデバイスに記録された動画ファイルを本機で再生できます。

### お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。

### 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

### 2 [USB] にタップする

前回の再生情報画面を表示します。  
動画ファイルのみ記録されたUSBデバイスを接続していた場合は、手順4へ進みます。

### 3 [USB Movie] にタップする

動画ファイルの再生画面を表示します。

### 4 [TRACK] にタップして再生する動画を選ぶ

選んだ動画の再生を開始します。

### アドバイス

- [TRACK] にロングタップ (P29) すると早送り、早戻しができます。約5秒以上ロングタップすると、ボタンから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 [TRACK] にタップします。

## リストを表示する

フォルダーの階層を確認しながら動画を探すことができます。

ここでは、動画ファイルの再生画面からの操作方法を説明します。

### 1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

### 2 [FolderList] にタップする



リストを表示します。

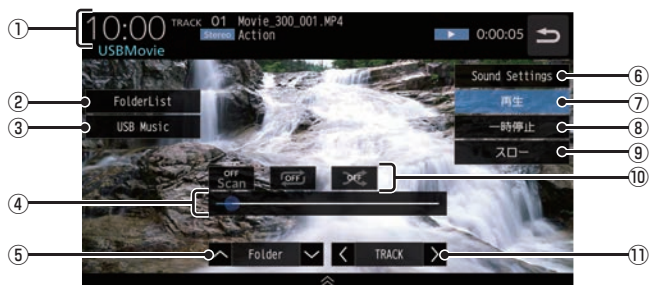
詳しくは、「リストについて」(P174)を参考にご覧ください。

### 3 [BACK] にタップする

動画ファイルの操作画面に戻ります。

## 表示内容について

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



### ① ソースプレート

現在の状態を表示します。  
詳しくは、「ソースプレートについて」  
(P150) を参考にご覧ください。

### ② FolderList

フォルダーリストを表示します。  
詳しくは、「リストについて」(P174) を参  
考にご覧ください。

### ③ USB Music

再生情報画面を USB デバイスの音楽ファ  
イルに切り換え、再生を開始します。  
詳しくは、「USB デバイスの曲を聴く」  
(P172) を参考にご覧ください。

### ④ シークバー

シークバーをタップまたはスライドするこ  
とで、再生位置を指定できます。

### ⑤ ^ Folder v

前後のフォルダーを選ぶときに使用しま  
す。選んだフォルダーの先頭ファイルの再  
生を開始します。

### ⑥ Sound Settings

Sound Settings を表示します。  
→「音質の設定を変更する (Sound  
Settings)」(P292)

### ⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通  
常の再生に戻ります。

### ⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

### ⑨ スロー

タップするたびに  
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] . . .  
と再生速度が変わります。(スロー再生)

### ⑩ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更しま  
す。詳しくは、「再生モードを変更する」  
(P151) を参考にご覧ください。

### ⑪ < TRACK >

前後のファイルを選ぶときに使用します。  
ロングタップ (P29) すると早送り、早戻し  
ができます。



# テレビ

## テレビ機能について

本機では、地上デジタルTVチューナーを使った地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

### お知らせ

- 放送局名リストは2021年4月時点のものです。

## 受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

### 注意

- テレビの映像は安全のため走行中は表示されません。(リア席モニターには表示されます)
- テレビをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。
- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなる場合があります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- データ放送は対応しておりません。
- PPV番組(有料番組)は対応しておりません。
- TV視聴中に表示される時計表示は、地上デジタルTVチューナーが放送波で受信した時刻を表示しています。ナビ画面で表示している時刻(P53)や車両装備の時刻と異なる場合があります。

# テレビを見る

地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

## はじめてテレビを見るとき

### (ホームCHスキャン)

はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの“リモコン番号”に登録する操作です。

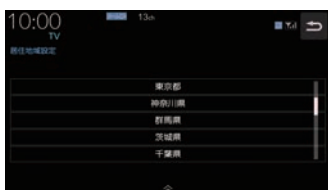
#### 1 AUDIOメニューを表示する (→P104)

#### 2 TV にタップする

#### 3 居住地域 にタップする



#### 4 設定したい“都道府県” にタップする



#### 5 スキャン開始 にタップする



ホームCHスキャンを開始します。

#### お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に[中止]にタップすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホームCHへ登録される放送局が少なくなる場合があります。

#### 6 登録 にタップする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

#### お知らせ

- ホームCHには最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタップした場合はホームCHに登録されません。

## 放送局を選ぶ

初期設定のスキャンで登録した放送局を選びます。

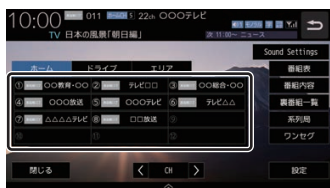
### お知らせ

- 初期設定をした後に、はじめて選んだ放送局は、映像表示するまでにしばらく時間がかかります。  
2回目以降は表示に時間はかかりません。

## 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

## 2 見たい放送局の“リモコン番号”にタップする



選んだ放送局の番組を表示します。

### アドバイス

- “CH” の **[<]** または **[>]** にタップすると、登録した放送局をリモコン番号の順、または逆順に選局できます。
- “CH” の **[<]** または **[>]** にロングタップ (P29) すると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。  
→「受信状態の良い放送局を探す」(P189)

## 表示内容について

画面をタップして表示するテレビの操作画面について説明します。

### ■ 操作パネルについて



#### ① バナー (→P183)

受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名などを表示します。

#### ② CHモード

**ホーム** にタップすると、ホームCHスキャン(P190)で登録した放送局を選べます。

**ドライブ** にタップすると、ドライブCHスキャン(P191)で登録した放送局を選べます。

**エリア** にタップすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

#### ③ リモコン番号 (→P181, 194)

タップすると、登録された放送局を表示します。ロングタップ(P29)することで“リモコン番号”の割り当てを変更できます。放送局のロゴマークは、各放送局を一定時間受信すると表示します。

#### ④ 閉じる

操作パネルを消しテレビ映像のみにします。

#### ⑤ Sound Settings (→P292)

Sound Settingsを表示します。

#### ⑥ 番組表 (→P186)

電子番組表(EPG)を表示します。

#### ⑦ 番組内容 (→P185)

現在選局中の番組の内容を表示します。

#### ⑧ 裏番組一覧

現在時刻で放送されている番組一覧を表示します。

#### ⑨ 系列局 (→P188)

系列局の放送局を表示します。ロングタップ(P29)することで系列局サーチを開始します。

#### ⑩ ワンセグ / フルセグ (→P194)

フルセグとワンセグを切り換えます。ロングタップ(P29)することで、自動ワンセグ切り換え(P195)の設定ができます。

#### ⑪ < CH >

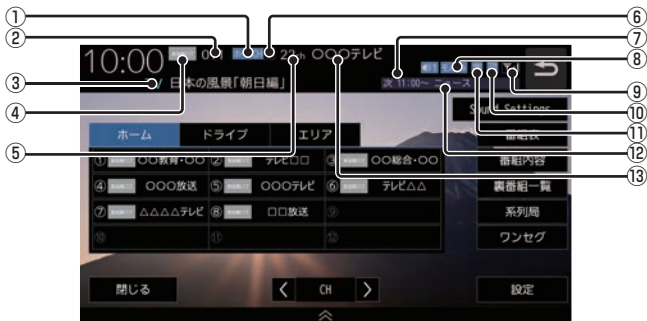
登録した放送局をリモコン番号順または逆順に選局できます。

#### ⑫ 設定 (→P193, 196, 328, 332)

各種設定を行います。

## ■ バナーについて

バナーについて説明します。



### ① CHモード

マークでCHモードを示します。

- ホームCH：ホームCH
- ドライブCH：ドライブCH
- エリアCH：エリアCH

### ② 3桁チャンネル番号

複数の番組が放送されているとき、それぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わせられた番号を表示します。フルセグでは011番から、ワンセグは611番から始まります。

### ③ 番組名<sup>※1</sup>

現在放送中の番組名を表示します。

### ④ ログマーク<sup>※1</sup>

放送局のロゴマークまたは放送局名(省略名)を表示します。  
ログマークは、フルセグで一定時間受信すると表示します。

### ⑤ 物理チャンネル番号

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号(13ch～52chまで)です。

### ⑥ リモコン番号

登録したリモコン番号を表示します。

### ⑦ 映像情報(→P196)

複数の映像があるときに表示します。

### ⑧ 音声モード

放送中の音声モードを表示します。

- ステレオ：ステレオ
- モノラル：モノラル
- サラウンド：サラウンド

※ サラウンド音声は、本機ではステレオ2chで出力します。

### ⑨ 受信強度

受信中の放送局の受信強度を表示します。

### ⑩ 放送モード(→P194)

フルセグを見ているときはフルセグ、ワンセグを見ているときはセグを表示します。  
放送モードは切り換えることができます。

### ⑪ 字幕情報

字幕放送中の番組で表示します。  
「視聴設定」の[字幕/音声]で切り換えることができます。  
→「テレビの設定」(P328)

### ⑫ 次の番組名

次に放送される番組名を表示します。

### ⑬ 放送局名

放送局名を表示します。

※1 データを取得するタイミングにより表示されない場合があります。

## ■ 走行中の操作制限について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。

### お知らせ

- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。
- 走行中はホームCHスキャンを行うことができません。

## CHモードを切り換える

ホームCH、ドライブCH、エリアCHを切り換えます。

### 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

### 2 切り換えたい“CHモード”にタップする

ホーム CH



ドライブ CH



CHモードが切り換わります。

## CHモードについて

ホーム	お住まいの地域(長期的に滞在する地域)の放送局を登録しています。あらかじめ「ホームCHスキャン」を行う必要があります。 →「 <i>はじめてテレビを見るとき</i> 」(P180)
ドライブ	旅行先など(一時的に滞在する地域)で放送局を登録しています。あらかじめ「ドライブCHスキャン」を行う必要があります。 →「 <i>ドライブCHスキャンを行う</i> 」(P191)
エリア	位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

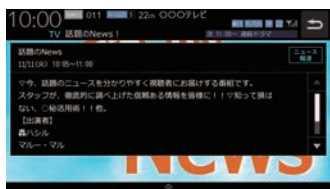
## 番組の内容を見る

現在選局中の番組の内容を表示します。

### 1 画面にタップする


テレビの操作画面を表示します。

### 2 番組内容 にタップする



選局中の番組の内容を表示します。





### アドバイス

- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。
- 「」にタップすることで閉じることができます。

## ■ 記号について












番組内容の画面では記号で番組情報を示しています。

### 番組属性例

	マルチ番組
	二重音声
	サラウンド ※ サラウンド音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
	字幕あり

## ジャンル

以下のマークを表示します。

## 緊急警報放送について

「緊急放送自動切換」を [ON] に設定しておく  
と、緊急警報放送を受信した場合、自動で緊急  
警報放送へ切り換わります。

→「受信機設定」(P330)

### お知らせ

- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- 「緊急放送自動切換」が [ON] の場合、AUDIO ソースが TV 以外のときに、緊急警報放送を受信すると自動的に緊急警報放送に切り換わります。

### 注意

- 緊急警報放送を受信しても、テレビの映像は安全のため走行中は表示されません。テレビをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。

## 放送局・番組を探す

いろいろな方法で放送局・番組を探します。

### 番組表で探す

電子番組表 (EPG) を表示し、見たい番組を探すことができます。

### ■ 番組表から探す

現在放送中の番組をリストで確認できます。

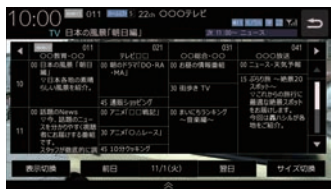
#### 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

#### 2 **番組表** にタップする

現在の時間帯の番組表を表示します。

#### 3 見たい“番組”にタップする



選択した番組内容を表示します。

### アドバイス

- 本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示するため、すべて表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- 放送局を選局するには番組表で“放送局”にタップします。
- テレビの操作画面から、[裏番組一覧]にタップして他の放送局のリストから探すことができます。
- **⏪** にタップすることで番組表を閉じることができます。

### ■ 番組表を取得するには

現在放送中の番組情報を手動で取得できます。

#### 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

#### 2 **裏番組一覧** にタップする

#### 3 **表示更新** にタップする

番組表の取得を開始します。

### アドバイス

- 番組データをすべて取得するにはしばらく時間がかかります。
- 取得中に再度 [更新中止] にタップすると更新を中止します。



## ■ 番組表の内容を確認する

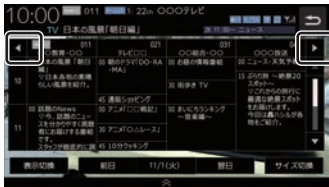
ワンセグ放送は現在放送中の10番組分、フルセグ放送は8日分の番組内容を確認できます。

### 1 画面にタップする

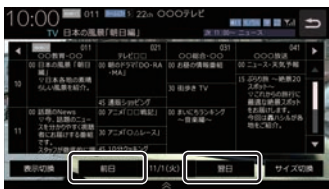
テレビの操作画面を表示します。

### 2 **番組表** にタップする

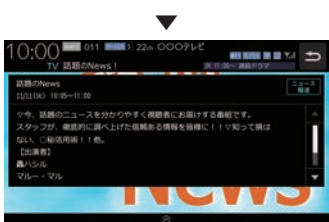
### 3 ◀ または ▶ にタップし、 見たい“放送局”を選ぶ



### 4 **前日** または **翌日** にタップして 見たい“日付”を選ぶ



### 5 見たい“番組”にタップする



番組の詳細な内容を表示します。

## アドバイス

- データ取得中は空欄になります。
- 通常番組データは視聴中の放送局からしか取得できません。本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示しますので、すべて表示するまでしばらくかかることがあります。
- [表示切換]にタップすると、表示する放送局を切り換えることができます。
- [サイズ切換]にタップすることにより番組表のサイズを大きくまたは小さくすることができます。

## チャンネルリストから探す

ホームCHスキャン(P190)やドライブCHスキャン(P191)、エリアCH(P184)で登録した放送局のリストを表示してリモコン番号の確認や選局が行えます。

### 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

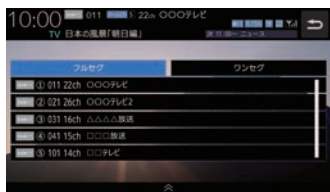
### 2 [設定] にタップする

設定メニューを表示します。

### 3 情報確認 → [CH一覧] にタップする

現在見ているホームCHまたはドライブCHの一覧を表示します。

### 4 [フルセグ] または [ワンセグ] にタップする



### 5 見たい“放送局”にタップする

▼  
選択した放送局を選局します。

## 系列局を探す

移動中に受信ができなくなったとき、同じ系列局の放送局に切り換えて、引き続き見ることができます。

### 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

### 2 [系列局] にタップする



系列局の放送局に切り換わります。

### アドバイス

- [系列局]にロングタップ(P29)すると系列局サーチを開始します。系列局が見つかったら切り換わります。中止する場合は[中止]にタップします。また、受信状態によりしばらく時間がかかる場合があります。
- 系列局がない場合や、サーチを行っても見つからない場合があります。また、系列局があった場合でも放送局の都合により同じ番組にならないことがあります。
- 現在見ている番組の放送局がチャンネルリストにない場合は切り換わりません。

## 受信状態の良い放送局を探す

現在受信可能な放送局を探します。

### 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

### 2 ホーム にタップする

### 3 “CH” の < または > にロングタップする

→「操作のしかた」(P29)



シークを開始し、受信できる放送局が見つかり则表示します。

#### アドバイス

- 放送局が見つかるまでシークを行います。中止する場合は[中止]にタップします。
- 電波状況によってはシークを行っても放送局が見つからない場合があります。

## 好みの放送局を登録する

受信可能な放送局を探し、ホームCHやドライブCHに放送局を登録します。

### ホームCHスキャンを行う

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときや新しい放送局が開局されたときなどに行います。

#### ■ 初期ホームCHスキャン

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときなどに行います。

#### 1 画面にタップする

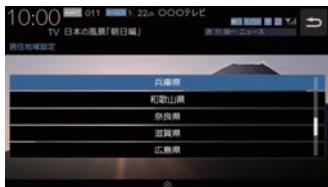
テレビの操作画面を表示します。

#### 2 [設定] にタップする

#### 3 [スキャン設定] → [CHスキャン] にタップする

#### 4 [初期CHスキャン] にタップする

#### 5 “都道府県” にタップする

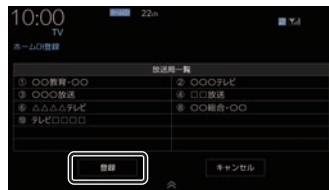


#### 6 [スキャン開始] にタップする



初期ホームCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

#### 7 [登録] にタップする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

#### アドバイス

- ・ ホームCHには最大12局まで登録できます。
- ・ [キャンセル]にタップした場合はホームCHに登録されません。

#### ■ 再ホームCHスキャン

新しい放送局が開局されたときなどに行います。

#### 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

#### 2 [設定] にタップする

#### 3 [スキャン設定] → [CHスキャン] にタップする

#### 4 [再CHスキャン] にタップする

#### 5 [スキャン開始] にタップする



再ホームCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

以降の操作は、「初期ホームCHスキャン」(P190)の手順7以降と同じです。

## ドライブCHスキャンを行う

旅行先など（一時的に滞在する地域）で受信可能な放送局を探し、ドライブCHのリモコン番号に登録します。

### ■ 初期ドライブCHスキャン

現在のドライブCHを消して、新たにドライブCHに登録しなおします。

#### 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

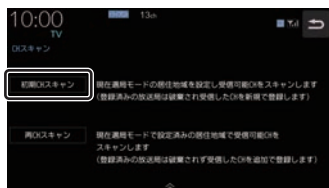
#### 2 **ドライブCH** にタップする

ドライブCHに切り換えます。

#### 3 **設定** にタップする

#### 4 **スキャン設定** → **CHスキャン** にタップする

#### 5 **初期CHスキャン** にタップする



初期ドライブCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

#### 6 **登録** にタップする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

## アドバイス

- はじめてドライブCHスキャンを行う場合は、以下の画面を表示します。この画面のときに、画面をタップして手順3から操作してください。



- ドライブCHは最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタップした場合はドライブCHに登録されません。

## ■ 再ドライブCHスキャン

初期ドライブCHスキャンで登録したチャンネルを消さずに新たに受信できる放送局があったとき追加で登録をします。

### アドバイス

- ・再ドライブCHスキャンで登録する放送局の合計が13局以上になったときは、追加できない放送局があります。その場合は初期ドライブCHスキャンを行ってください。  
→「初期ドライブCHスキャン」(P191)

### 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

### 2 **ドライブCH** にタップする

ドライブCHに切り換えます。

### 3 **設定** にタップする

### 4 **スキャン設定** → **CHスキャン** にタップする

### 5 **再CHスキャン** にタップする



再ドライブCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

以降の操作は、「初期ドライブCHスキャン」(P191)の手順6以降と同じです。

## 情報を確認する

本機に関する各種情報を確認することができます。

### デバイスIDを確認する

受信機のメーカーIDや放送局ごとに管理されているメーカーIDを確認できます。

- 1 **画面にタップする**  
テレビの操作画面を表示します。
- 2 **設定** にタップする  
設定メニューを表示します。
- 3 **情報確認** → **デバイスID** に  
タップする



デバイスIDの情報を表示します。

#### アドバイス

- **<** または **>** にタップして、放送局を切り換えると、各放送局のメーカーIDを確認できます。

## その他の操作

### リモコン番号を変更する

登録しているリモコン番号 (P350) を変更できます。

- 1 画面にタップする  
テレビの操作画面を表示します。
- 2 変更したい“リモコン番号”  
にタップする
- 3 変更先の“リモコン番号”  
にロングタップする



変更先のリモコン番号への登録が完了します。

#### お知らせ

- 同じ放送局を複数の“リモコン番号”には登録できません。変更前のリモコン番号は登録が解除されます。
- エリアCH表示時はリモコン番号の変更はできません。

### フルセグとワンセグを切り換える

フルセグとワンセグの切り換えについて説明します。

- 1 画面にタップする  
テレビの操作画面を表示します。
- 2 **ワンセグ** または **フルセグ** に  
タップする  
フルセグ



#### ワンセグ



[ワンセグ]または[フルセグ]をタップするたびにワンセグ→フルセグ→ワンセグに切り換わります。



■ **自動ワンセグ切り換えについて**  
フルセグからワンセグへの自動切り換えをON/OFFします。

#### アドバイス

- 工場出荷時、自動ワンセグ切り換えがONの設定になっています。手動切り換えのみの設定にしたい場合にこの設定を行います。

## 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

## 2 [ワンセグ] または [フルセグ] にロングタップする

→「操作のしかた」(P29)



[ワンセグ] または [フルセグ] にロングタップ後、「自動ワンセグ切り換えをONにしました」または「自動ワンセグ切り換えをOFFにしました」と表示されます。

自動ワンセグ切り換え ON	フルセグの受信状態が著しく悪くなったときに自動でワンセグに切り換えます。 可能な限り高画質な状態で視聴したい方にお勧めします。
自動ワンセグ切り換え OFF	自動切り換えを行いません。 [ワンセグ] または [フルセグ] にタップする操作でのみ切り換えできます。

#### アドバイス

- 「受信機設定」の[自動選局]でも設定を変更できます。  
→「受信機設定」(P330)
- 地上デジタルTV放送では、1つの放送局が複数の番組を送信することが可能です。また、一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自サービスを行っています。

このような場合、自動ワンセグ切り換えをONに設定していると、ワンセグに切り換わったとき、番組内容が異なることがあります。同じ番組を続けて見たい場合は、自動ワンセグ切り換えをOFFに設定してお使いください。

## 映像や音声を切り換える

現在見ている番組で、複数の映像や音声の情報があるときに切り換えることができます。

### 1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

### 2 [設定] にタップする

設定メニューを表示します。

### 3 [視聴設定] → [信号切換] に タップする

### 4 [映像] または [音声] にタップする



### 5 切り換えたい“情報”にタップする



選択した情報の設定に切り換わります。

## 映像について

1つのチャンネルでアングルの違う映像などが複数あるときに切り換えることができます。

## 音声について

1つのチャンネルで同時に複数の音声を放送しているときに切り換えることができます。また、二重音声放送の場合は、[視聴設定] → [字幕音声設定]の「二重音声設定」で切り換えることができます。  
→「[視聴設定]」(P329)

# 外部入力機器

## Bluetooth Audioを使う

本機では、市販されているBluetooth対応オーディオ機器の曲を再生できます。

### お知らせ

- Bluetooth対応オーディオ機器の種類、携帯電話または音楽再生アプリによっては、ご利用いただけない場合やご利用いただける機能に制限がある場合、カタログスペックどおりに動作しない場合があります。
- 市販されているBluetooth対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。
- Bluetooth対応オーディオ機器を本機に接続している状態で、別機器のBluetooth接続によるデータ通信機能を使用すると通信中に音飛びすることがありますが、故障ではありません。
- Bluetooth対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になるおそれがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。  
→「音量を調節する」(P23)
- 本機で表示できない文字列は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- 走行中、Bluetooth機器の変更はできません。

## ■ 対応プロファイルと対応機能について 各プロファイルの対応機能について説明します。

機能	A2DP
再生中の音声出力	○

※ サンプリングレート

- ・ SBC/AAC: 44.1kHz、48kHz
- ・ LDAC: 96kHz

機能	AVRCP		
	v1.0	v1.3	v1.4以上
再生/一時停止の操作	○	○	○
停止	×	×	×
早送り/早戻しの操作	○	○	○
トラックのスキップ操作	○	○	○
リピート/ランダム	×	○	○
再生状態の表示	×	○	○
アルバムリストの表示	×	×	○
アルバムリストからの選曲	×	×	○

## Bluetooth対応オーディオ機器を接続する

本機とBluetooth対応オーディオ機器は、Bluetooth機能を使用して接続します。接続のしかたについては「Bluetoothの設定」(P303)をご覧ください。

以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

## Bluetooth対応オーディオ機器の曲を聴く

1 AUDIOメニューを表示する  
(→P104)

2 **BTA** にタップする

Bluetooth Audioの再生情報画面を表示します。

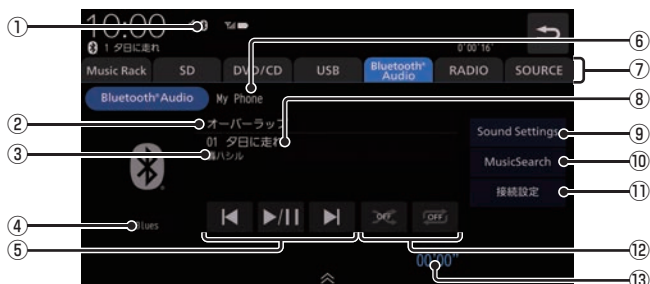
3 **◀** または **▶** にタップして曲を選ぶ



### アドバイス

- **◀** または **▶** にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

## ■ 再生情報画面について



## ① Bluetooth接続アイコン

## ② アルバム名\*

アルバム情報がなければ「No Title」と表示します。

## ③ アーティスト名\*

アーティスト情報がなければ「No Name」と表示します。

## ④ ジャンル名\*

## ⑤ [◀], [▶/||], [▶]

トラックの選択や再生/一時停止が行えます。  
[◀] または [▶] にロングタップ (P29) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

## ⑥ デバイス名\*

接続中の機器のデバイス名を表示します。  
情報がなければ「No Name」と表示します。

## ⑦ AUDIO ソースボタン

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップすると AUDIO メニューを表示します。  
→「AUDIO メニューを表示する」(P104)

## ⑧ トラック名\*

トラック情報がなければ「No Title」と表示します。

## ⑨ Sound Settings

Sound Settings を表示します。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)

## ⑩ MusicSearch

さまざまなカテゴリーから曲を選ぶことができます。

## ⑪ 接続設定

Bluetooth 接続設定画面を表示します。  
→「Bluetooth の設定」(P303)

## ⑫ 再生モードボタン\*

各ボタンにタップして再生モードを変更します。  
→「再生モードを変更する」(P200)

## ⑬ 再生時間\*

※ お使いの Bluetooth 機器が対応していない場合や、情報取得できないときは表示しません。

## 再生モードを変更する

リピート再生などが行えます。

※ AVRCP が v1.0 のときはこの機能をご利用になれません。

この操作は、Bluetooth Audio の再生情報画面 (P199) から行えます。

### 1 Bluetooth Audio の再生情報画面で変更したい“モード”にタップする









選んだモードの再生を開始します。

#### アドバイス

- 同一の再生モードボタン (P199) をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン (P200) になるまでタップしてください。

## ■ 再生モードについて

 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (グループリピート)※1	再生中の曲があるグループを繰り返して再生します。
 (オールリピート)	Bluetooth対応オーディオ機器内にあるすべての曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	各リピート再生を解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるアルバム内の曲を順不同に再生します。
 (ランダム解除)	各ランダム再生を解除します。

※1 AVRCPがv1.3以上の場合のみこの機能をご利用できます。

#### アドバイス

- お使いのBluetooth機器が対応していない場合や、情報が取得できない再生モードは表示しません。
- リピート、グループリピート、オールリピート再生中は、ランダムやグループランダム再生を行ってもリピート再生は継続されます。

## リストで探す

リストにタップしていくことで、フォルダー名やファイル名を確認しながら聴きたい曲を探ることができます。

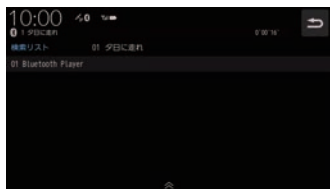
ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

※ AVRCPがv1.0、v1.3またはリスト表示非対応の機器では、この機能をご利用になれません。

### 1 Bluetooth Audioの再生情報画面で **MusicSearch** にタップする

リストを表示します。

### 2 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。

手順2の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。

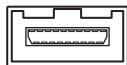
リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

## HDMIの映像を見る

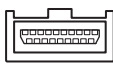
HDMI 接続ジャック (標準装備 / 別売) または別売の HDMI 接続コードに HDMI 出力機器を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生できます。

### HDMI (E タイプ) とは

本機側



ケーブル側



HDMI の車載用タイプコネクター。

本機は、HDMI の E タイプコネクターのため、家庭用で販売されている HDMI ケーブルと接続できません。別売の HDMI 接続コードをお買い求めください。

車両によっては、HDMI 接続コードの代わりに標準装備または別売の HDMI 接続ジャックに接続する場合があります。HDMI 接続ジャックの取付位置は、車両によって異なります。詳しくは、Honda 販売店にご確認ください。

### お知らせ

- 対応する画像方式は 480p または 720p のみです。
- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。

### 注意

- HDMI 出力機器の映像をご覧になるときは、安全な場所に停車してください。

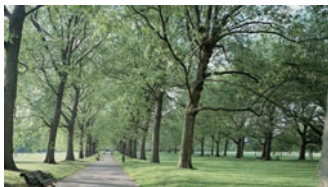
### アドバイス

- お手持ちの iPod/iPhone を HDMI 変換ケーブルに接続することで映像をご覧になることができます。別途 Apple 純正の変換ケーブルが必要です。
- HDMI 出力機器の接続方法については、Honda 販売店にご確認ください。

### 表示するには

1 AUDIO メニューを表示する  
(→P104)

2 **HDMI** にタップする



HDMI 出力機器の映像を表示します。

### お知らせ

- 接続した HDMI 出力機器の操作方法については、各機器付属の取扱説明書をご覧ください。



# INFO

主に情報確認や各種設定が行えます。

<b>各種情報を確認する</b> .....	<b>207</b>	電話をかける.....	217
<b>情報の確認や設定をする</b> .....	<b>207</b>	電話帳からかける.....	218
確認、設定できる種別について.....	207	よくかける電話番号からかける.....	218
<b>ETC情報を確認する</b> .....	<b>208</b>	履歴からかける.....	219
ETCとは.....	208	施設に登録された電話番号にかけると.....	219
案内表示について.....	208	電話がかかってくると.....	220
エンジンスイッチをONにしたとき.....	208	かかってきた電話にでるには.....	220
画面の表示について.....	208	音量を調整する.....	220
料金所を通過したとき.....	208	ダイヤルトーンを入力する.....	221
予告アンテナを通過したとき.....	208	通話画面を閉じる.....	221
ETCの履歴を確認する.....	209	電話を終了する.....	221
ETC車載器の情報を表示する.....	209	<b>フロントカメラを使う</b> .....	<b>222</b>
ETCカードの有効期限を表示する.....	209	表示内容について.....	222
<b>ETC2.0サービス</b> .....	<b>210</b>	カメラアイコンについて.....	222
ETC2.0サービスの概要.....	210	カメラ映像を表示する.....	223
ETC2.0サービスについて.....	210	フロントカメラのビューを切り換える.....	223
音声情報.....	210	ガイドラインの表示を切り換える.....	224
ITSスポット.....	210	シースルービューのカメラ映像を切り換える.....	224
アップリンク機能.....	210	<b>リアカメラを使う</b> .....	<b>225</b>
安全運転支援情報.....	211	表示内容について.....	225
渋滞回避支援.....	211	リアカメラの映像を表示する.....	226
<b>本機の情報を確認する</b> .....	<b>212</b>	リアカメラのビューを切り換える.....	226
		ガイドラインの表示を切り換える.....	226
		<b>マルチビューカメラを使う</b> .....	<b>227</b>
		表示するには.....	227
		フロントカメラ映像を表示する.....	227
		リアカメラ映像を表示する.....	227
		<b>リアカメラdeあんしんプラス3を使う</b> .....	<b>228</b>
		表示内容について.....	228
		後退出庫サポート.....	229
		後退出庫サポートのアイコンについて.....	229
		後退駐車サポート.....	230
		かんたん駐車ガイド.....	230
		まっすぐ駐車表示.....	230
		設定変更について.....	231
		後方死角サポート.....	231
		後方車両お知らせ機能.....	231
		後方死角サポート/後方車両お知らせ機能のアイコンについて.....	231
<b>その他の機能を使う</b> .....	<b>213</b>		
<b>電話を使う</b> .....	<b>213</b>		
電話画面を表示する.....	213		
携帯電話を接続する.....	213		
電話帳や履歴を同期する.....	214		
よくかける電話番号を登録する.....	215		
番号入力で登録する.....	215		
電話帳から登録する.....	216		
履歴から登録する.....	216		
よくかける電話番号を編集する.....	216		
名称や電話番号を編集する.....	216		
消去する.....	217		



Honda Total Careをご利用になる前に	258
会員登録の流れ	258
データ通信について	259
リンクアップフリー	259
インターネット・データ通信USB	259
本機をセットアップする	260
<b>Honda Total Care</b>	
画面について	261
表示内容について	262
<b>インターネットナビ情報を確認する</b>	<b>263</b>
インターネットナビ情報サービスを表示する	263
会員サイトとスマートフォンアプリについて	263
Honda Total Care会員の方	263
<b>メッセージを確認する</b>	<b>264</b>
<b>交通情報を確認する</b>	<b>265</b>
表示内容について	265
交通情報の表示	265
渋滞情報の表示	265
汎用道路情報の表示	265
防災情報の表示	266
情報を取得する	266
<b>My スポットを利用する</b>	<b>267</b>
My スポットに登録する	267
My スポットを表示する	267
<b>My コースのルートを設定する</b>	<b>268</b>
<b>駐車場セレクトを使う</b>	<b>269</b>
<b>立ち寄り履歴 100 から探す</b>	<b>270</b>
<b>ウェザーを確認する</b>	<b>271</b>
画面内容について	271
ウェザー情報を確認する	272
マルチインフォメーション	
ディスプレイの天気表示	272
<b>緊急時のサポートについて</b>	<b>273</b>
緊急サポートセンター	273
Honda JAF ロードサービスについて	273
緊急サポートを表示する	273
<b>車内Wi-Fiを使用する</b>	<b>274</b>
<b>Honda Total Care サービス更新</b>	<b>275</b>
<b>自動地図データ更新サービスについて</b>	<b>276</b>
会員サービスの解約時について	276

<b>地図データ更新サービスについて</b>	<b>277</b>
無償地図更新サービス	277
有償地図更新サービス	277
地図更新サービスに関するご注意	277

## 本機の設定 278

<b>設定を変更する</b>	<b>278</b>
設定できる項目について	278
<b>NAVI 設定</b>	<b>279</b>
設定できる項目について	279
ナビ詳細設定	280
ルート	280
案内	282
地図	283
天気・防災	284
データ	284
VICS の設定	285
FM 選局	285
VICS 表示設定	285
ショートカットの設定	286
ETC2.0 の設定	286
自車位置の補正	287
自律学習データを消去する	287
現在地を修正する	288
<b>NAVI 情報</b>	<b>289</b>
確認できる項目について	289
VICS メニュー	289
測位情報	289
インターネットナビ図形情報	289
ドライブレコーダー情報	290
NaviCon 友達マップ	290
バージョン情報	290
<b>AV 設定</b>	<b>291</b>
設定できる項目について	291
音質の設定を変更する (Sound Settings)	292
イコライザー設定	294
ジャンルを選ぶ	294
イコライザーを調整する	294
音楽 CD の録音方法を変更する	295
自動録音について	295
手動録音について	295
シングル録音について	295

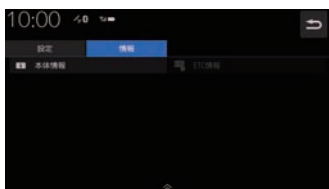
DVD ビデオの初期設定 .....	296	テレビの設定 .....	328
視聴制限のレベルを設定する .....	297	設定項目について .....	328
優先させる言語を変更する .....	298	視聴設定 .....	329
<b>情報設定 .....</b>	<b>300</b>	字幕音声設定 .....	329
設定できる項目について .....	300	信号切換 .....	329
電話の設定 .....	301	受信機設定 .....	330
ETCの設定 .....	302	自動選局 .....	330
<b>Bluetooth/ インターナビ設定 .....</b>	<b>303</b>	イベントリレー .....	331
Bluetooth の設定 .....	303	表示設定 .....	331
設定画面の表示 .....	304	スキャン設定 .....	332
接続可能な Bluetooth 機器を		CH スキャン .....	332
検索して登録する .....	304	アンテナモード設定 .....	332
Bluetooth 機器から		<b>その他の設定 .....</b>	<b>333</b>
検索して登録する .....	305	画質を調整する .....	333
Bluetooth 機器を選択する/ 名称を変更する .....	306	RGB 画面の調整 .....	333
Bluetooth 機器を消去する .....	307	映像画面の調整 .....	334
本機の名称を変更する .....	307	画面の表示を消す .....	334
インターナビの設定 .....	308		
設定画面の表示 .....	308		
設定できる項目について .....	309		
インターナビの通信設定をする .....	310		
<b>システム設定 .....</b>	<b>311</b>		
設定できる項目について .....	311		
セキュリティの設定 .....	312		
ハードキー動作の設定 .....	313		
ステアリングリモコン動作の設定 .....	313		
時計の設定 .....	315		
リアカメラの設定 .....	316		
リアカメラの次回表示ビューを設定する .....	317		
ガイドラインを表示する .....	317		
パーキングセンサー表示設定 .....	317		
フロントカメラの設定 .....	318		
ガイドラインを表示する .....	318		
マルチビューカメラの設定 .....	319		
メモリ初期化 .....	320		
<b>音量設定 .....</b>	<b>321</b>		
設定できる項目について .....	322		
<b>iPod 利用設定 .....</b>	<b>323</b>		
<b>ドライブレコーダーの設定 .....</b>	<b>324</b>		
設定できる項目について .....	325		
ナビ連動タイプ (DRH-204VD) の場合 .....	325		
ナビ連動タイプ (DRH-229ND) の場合 .....	326		

# 各種情報を確認する

## 情報の確認や設定をする

本体やETCなど各種情報の確認や設定ができます。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 確認、設定したい“情報”に  
タップする



情報の確認、設定画面を表示します。

### ■ 確認、設定できる種別について

本体情報	本機各バージョンを確認できます。→「本機の情報を確認する」(P212)
ETC情報	ETCの履歴やETC車載器の情報を確認できます。→「ETC情報を確認する」(P208)

# ETC 情報を確認する

ETCの使いかたについて説明します。

## ETCとは

ETCとは、有料道路などにおけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことです。

本機に別売のETC車載器またはETC2.0車載器を取り付けることで本機能をご利用になります。

- 有料道路などの料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。
- 料金所の出入り口で通行料金を音声で案内します。
- ETCの通行履歴を表示できます。

## お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売のETC車載器またはETC2.0車載器とETCカードが必要です。
- ETCカード未挿入やETC車載器またはETC2.0車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ETCゲート、ETCカード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金案内図やお知らせなどを表示する場合があります。
- 料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。
- 本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC車載器またはETC2.0車載器本体の詳細については、車載器の取扱説明書をご覧ください。

## 案内表示について

ETCカードの挿入案内や料金所を通過したときなどの案内表示について説明します。




■ **エンジンスイッチをONにしたとき**  
エンジンスイッチをONにすると、ETCカードの使用可否を表示と音声でお知らせします。

### アドバイス

- カード使用可否の案内は、[ETCの設定]の「カード入れ忘れ警告」で案内する/しないを選ぶことができます。
- 「音声案内」を[しない]に設定した場合でも、「カード入れ忘れ警告」を[する]に設定したときは案内を行います。  
→「ETCの設定」(P302)

## ■ 画面の表示について

「カード挿入アイコン表示」を[する]に設定すると、画面の上部にETCカードの状態を表示します。→「ETCの設定」(P302)

	カード挿入
	カード未挿入
	カードの有効期限切れ、 カードエラー、車載器エラー

## ■ 料金所を通過したとき

料金所案内図が表示され、音声で料金案内を行います。



## ■ 予告アンテナを通過したとき

予告アンテナを通過したことを告げるテロップが表示されます。

予告アンテナ受信内容が表示され、音声でも案内が行われます。

## ETCの履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認できます。

### 注意

- 履歴読み込み中にETCカードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

### お知らせ

- ETCに関するエラー表示があった場合、ETCカードを正しくETC車載器に挿入するまでETC履歴の画面を表示できません。

### アドバイス

- 履歴は最大100件まで新しいものから順に表示します。
- 料金は、-99,999円～999,999円まで表示できます。

1 **HOME** キーを押し、  
**設定/情報** にタップする

2 **情報** → **ETC情報** にタップする

3 **利用履歴** にタップする



全履歴情報画面を表示します。

## ETC車載器の情報を表示する

本機に接続されているETC車載器またはETC2.0車載器の型名、型式登録番号、車載器管理番号を確認できます。

1 **HOME** キーを押し、  
**設定/情報** にタップする

2 **情報** → **ETC情報** にタップする

3 **車載器情報** にタップする



登録情報を表示します。

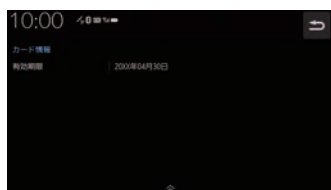
## ETCカードの有効期限を表示する

ETCカードの有効期限を確認できます。

1 **HOME** キーを押し、  
**設定/情報** にタップする

2 **情報** → **ETC情報** にタップする

3 **カード情報** にタップする



ETCカードの有効期限を表示します。

## ETC2.0サービス

別売のETC2.0車載器を本機に接続すると、さまざまな機能をご利用いただけます。

### ETC2.0サービスの概要

専用狭域(きょういき)通信方式を用いて情報提供や料金決済などができるサービスのことです。

今後幅広いサービスが提供される予定です。本機に別売のETC2.0車載器を接続すると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

#### お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売のETC2.0車載器とETCカードが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ETCカード未挿入やETC2.0車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し、ETC2.0車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- 料金所は名称で表示する場合と番号で表示場合があります。
- 本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC2.0車載器本体の詳細については、ETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。

### ETC2.0サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

#### お知らせ

- ETC2.0サービスは、一部開始されていない場合があります。
- 本機は情報接続サービス(道の駅における情報接続、SA・PAにおける情報接続など)には対応しておりません。

### ■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。音声情報の配信状況によっては、音声情報の内容が変化する場合があります。

受信した音声情報を自動で読み上げないようにする場合は、[ETC2.0の設定]で「ETC2.0音声自動再生」を[しない]に設定します。

→「ETC2.0の設定」(P286)

### ■ ITSスポット

全国の高速度道路(走行路面上やサービスエリア)などに設置されているITSスポットと無線通信をして道路サービス情報などを利用できます。主なサービスとして、安全運転支援情報、渋滞回避支援情報、災害時支援情報が利用できます。

### ■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立ちます。

走行情報を提供しない場合は、[ETC2.0の設定]で「ETC2.0アップリンク」を[送信しない]に設定します。

→「ETC2.0の設定」(P286)



## ■ 安全運転支援情報

以下のような情報がリアルタイムに提供されます。  
表示方法は「緊急情報の割り込み表示」(P98)  
をご覧ください。

### 注意

- 安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

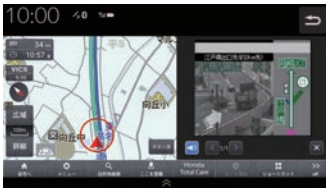
### お知らせ

- 状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

## ■ 渋滞回避支援

広域な道路交通情報をリアルタイムに提供します。また、前方の渋滞状況の確認もできます。

### 前方の障害物情報



### 合流支援情報



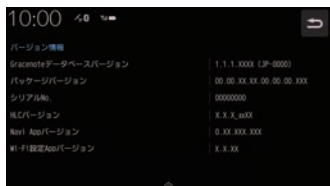
### 事故多発地点情報



# 本機の情報を確認する

本機各バージョンを確認できます。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** に  
タップする
- 3 **本体情報** にタップする



本機のバージョン情報画面を表示します。

# その他の機能を使う

## 電話を使う

ハンズフリー電話の使いかたについて説明します。

### 警告



禁止

- 運転中は運転中に携帯電話を手に持って使用しない。  
走行中に携帯電話を手に持って使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。
- 携帯電話を放置しない。  
停車したときやカーブを曲がるときに携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



必ず行う

- ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、受話音量、送話音量の確認を行ってください。  
事故の原因となることがあります。  
[音量設定]で適度な音量に設定し、ご使用ください。  
→「設定できる項目について」(P322)  
音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。

### お知らせ

- ハンズフリー電話を使用するときの通話料はお客さまのご負担となります。
- 本機で表示できない文字列は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(絵文字や特殊文字など)

### 電話画面を表示する

電話帳や発信履歴を利用して電話をかけることができる電話画面を表示します。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME 画面を表示します。

- 2 **電話** にタップする



電話画面を表示します。

### 携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth 機能を使用して接続します。

- 1 電話画面を表示する (→P213)

携帯電話を接続していないときは、電話番号入力画面を表示します。

- 2 **接続設定** にタップする

以降、接続のしかたについては「Bluetooth 機器を選択する/名称を変更する」(P306)をご覧ください。

以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

### お知らせ

- Bluetooth 接続ができる携帯電話が必要です。
- ご利用の携帯電話の取扱説明書に従って操作してください。
- 最新の接続確認結果については、弊社ホームページをご覧ください。

## 電話帳や履歴を同期する

Bluetoothで接続している携帯電話の電話帳や履歴を本機で表示し、利用できます。ここでは、携帯電話の電話帳や履歴の同期設定を行います。

### お知らせ

- 携帯電話の機種によって同期が正常に行われない場合があります。PBAPに対応していない携帯電話は、電話帳との同期できません。
- 同期する際に、携帯電話側で同期の確認画面が表示される場合や設定が必要な場合があります。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
- 電話帳や履歴の同期が完了するまで2分程度かかることがあります。
- 電話帳は最大2000件、発信/着信/不在着信はそれぞれ最大20件まで同期することが可能です。ただし、携帯電話の登録件数および性能によって変化します。

## 1 電話画面を表示する (→P213)

### 2 電話帳 または 発着信履歴 にタップする

PBAP非対応の携帯電話は、[発着信履歴]にタップしてください。電話帳画面または発着信履歴画面を表示します。

## 3 タイプ別の操作を行う

### PBAP対応の場合



[同期する]にタップしてください。

### PBAP非対応の場合



[表示する]にタップしてください。

この画面で[同期しない]または[表示しない]になっていた場合は、すでに同期(表示)されているので本操作は必要ありません。[同期しない]または[表示しない]にタップすると、同期(表示)しない設定に変更されます。

同期が開始され、Bluetoothで接続されている携帯電話の電話帳または履歴を本機に表示します。

### アドバイス

- 同期後、携帯電話の電話帳を編集しても、リアルタイムに本機側へ反映されません。携帯電話の情報を最新にするには、[同期しない]→[同期する]にタップして、再度読み込んでください。
- PBAP非対応の携帯電話を本機へ接続したとき、履歴は本機と接続中に発着信したものをだけを表示します。

## よくかける電話番号を登録する

リストによくかける電話番号をまとめておくことができます。

### 1 電話画面を表示する (→P213)

### 2 「登録番号」にタップする

登録番号画面を表示します。

### 3 いずれかの「未登録」にタップする



「未登録」以外の名称にタップすると、電話をかける操作となります。



登録方法の選択画面を表示します。

### アドバイス

- 登録番号（よくかける電話番号）は接続した携帯電話に紐づいて登録します。別の携帯電話を接続した場合は、その携帯電話で登録した登録番号が表示されます。
- 登録番号（よくかける電話番号）は最大20件まで登録できます。

## ■ 番号入力で登録する

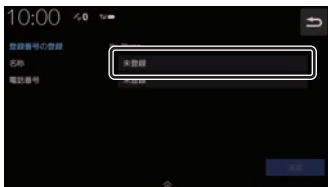
名称や電話番号を直接入力して登録します。

### 1 登録方法の選択画面 (P215) で、

**「直接情報を入力」**にタップする

登録番号の登録画面を表示します。

### 2 「名称」のボタンにタップする



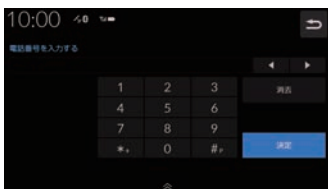
### 3 登録したい「名称」を入力/編集し、

**「確定」**にタップする

### 4 「電話番号」のボタンにタップする

### 5 登録したい「電話番号」を入力/編集し、

**「決定」**にタップする



### 6 **「決定」**にタップする

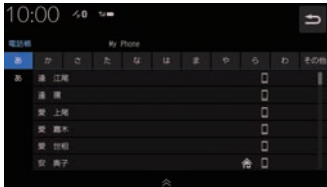
登録が完了し、元の画面に戻ります。

## ■ 電話帳から登録する

Bluetoothで接続している携帯電話の電話帳を利用して登録します。

- 1 登録方法の選択画面 (P215) で、**電話帳から登録** にタップする  
電話帳画面を表示します。

- 2 登録したい“リスト”にタップする



登録番号の登録画面を表示します。  
以降の操作は、「番号入力で登録する」(P215)の手順2以降と同様に操作し、登録を完了させてください。

## ■ 履歴から登録する

Bluetoothで接続している携帯電話の発着信履歴を利用して登録します。

- 1 登録方法の選択画面 (P215) で、**発着信履歴から登録** にタップする  
発着信履歴画面を表示します。

- 2 登録したい“リスト”にタップする



登録番号の登録画面を表示します。  
以降の操作は、「番号入力で登録する」(P215)の手順2以降と同様に操作し、登録を完了させてください。

## よくかける電話番号を編集する

登録済みの登録番号を編集、消去することができます。

### アドバイス

- [HOME] キー→[設定/情報]→[情報設定]→[登録番号の編集]にタップしても編集、消去ができます。

- 1 電話画面を表示する (→P213)

- 2 **登録番号** にタップする  
登録番号画面を表示します。

- 3 **編集・消去** にタップする



登録情報を編集する画面を表示します。

## ■ 名称や電話番号を編集する

登録済みの名称や電話番号を編集します。

- 1 登録情報を編集する画面 (P216) を表示する

- 2 編集したい“リスト”にタップする

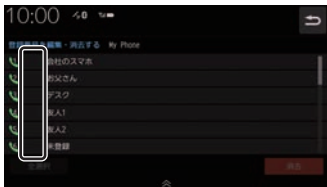
すでに情報が登録されているリストにタップすると、登録番号の登録画面が表示されます。「番号入力で登録する」(P215)の手順2以降と同様に操作し、編集してください。「未登録」のリストにタップすると、新しく登録する操作となり、登録方法の選択画面を表示します。「よくかける電話番号を登録する」(P215)と同様に操作してください。

## ■ 消去する

登録済みの情報を消去します。

### 1 登録情報を編集する画面 (P216) を表示する

### 2 消去したいリストの“チェックボックス”をタップし、選択する

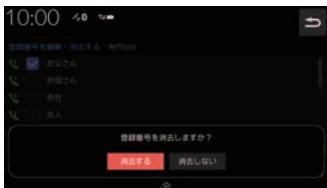


#### アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての登録情報を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

### 3 [消去] にタップする

### 4 再度、[消去する] にタップする



選択したリストの消去が完了します。

## 電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

#### 注意

- なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。

### 1 電話画面を表示する (→P213)

### 2 [番号入力] にタップする

### 3 “電話番号”を入力する



#### アドバイス

- [\*+] または [#P] にロングタップ (P29) すると、「+」または「P」を入力できます。
- 誤入力した場合は、◀ または ▶ で位置を選び、[消去]にタップして消去します。
- 電話 (Android スマートフォン) に複数の通話アプリが存在する場合、電話側に確認画面が表示されますので、使用するアプリを選択してください。一定時間選択されない場合、Bluetooth 接続が解除されます。
- [リダイヤル]にタップすると、前回かけた電話番号に電話をかけることができます。

### 4 “オフフックアイコン”にタップする



電話がかかります。

## ■ 電話帳からかける

電話帳を使用して電話をかけることができます。

### 1 電話画面を表示する (→P213)

### 2 電話帳 にタップする

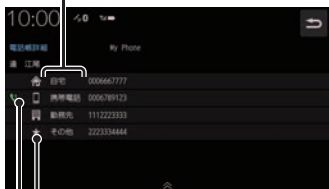
### 3 かけたい“相手” にタップする



電話帳詳細画面を表示します。

### 4 かけたい“番号” にタップする

カテゴリー名



カテゴリーアイコン

登録番号アイコン

電話がかかります。

## ■ よくかける電話番号からかける

登録番号を使用して電話をかけることができます。

### 1 電話画面を表示する (→P213)

### 2 登録番号 にタップする

### 3 かけたい“相手” にタップする



電話がかかります。

### アドバイス

- 登録番号（よくかける電話番号）に登録した電話番号が、電話帳にある場合、発信確認画面に表示される名称は、電話帳に登録されている名称が表示されます。





## ■ 履歴からかける

発信・着信履歴および不在着信を使用して電話をかけることができます。

### お知らせ

- ・ 非通知設定の場合は着信履歴から電話をかけられません。
- ・ 本機で記憶している着信・発信履歴を使用します。

### アドバイス

- ・ 発信・着信・不在着信の履歴は、各項目最大20件ずつです。

## 1 「発信履歴」にタップする

## 2 かけたい“履歴”にタップする



すべて	すべての履歴をリスト表示します。
発信履歴	発信した履歴で絞り込まれたリストを表示します。 (☑️で表示されたリスト)
着信履歴	着信した履歴で絞り込まれたリストを表示します。 (☎️で表示されたリスト)
不在着信	不在着信の履歴で絞り込まれたリストを表示します。 (☒️で表示されたリスト)

電話がかかります。

## ■ 施設に登録された電話番号にかける

検索した施設に電話番号の情報がある場合は、その電話番号に電話をかけることができます。

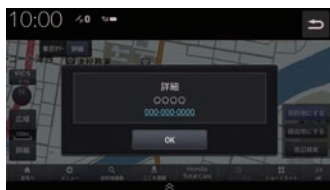
### お知らせ

- ・ 検索した施設などに電話番号の情報がなければ電話をかけることはできません。

## 1 電話をかけたい“場所”を探す

→「目的地を検索する」(P74)

## 2 「詳細情報」にタップする



## 3 “電話番号”にタップする

電話がかかります。

## 電話がかかってくると

着信音があり、着信中の画面が表示されます。



### お知らせ

- 着信時、携帯電話の着信音が取得できた場合は、携帯電話の着信音が鳴ります。取得できなかった場合は、本機が用意した着信音が鳴ります。(いずれも車両のスピーカーから鳴ります。)

## かかってきた電話にできるには

### 1 [応答] にタップする



通話できます。

### アドバイス

- 運転中など、通話できない状況では [拒否] にタップすることで通話を拒否できます。

## ■ 音量を調整する

通話時などに、車両スピーカーから聞こえる受話音量を調整できます。

### 1 [ - ] または [ + ] にタップし調整する



受話音量を調整します。

### アドバイス

- 着信時にこの操作を行うと着信音量の変更が行えます。
- 着信音量、受話音量、送話音量は [音量設定] の「〇〇音量」であらかじめ設定できます。→「[音量設定](#)」(P322)
- 本機に接続している携帯電話および通話相手の電話機によって、受話音量、送話音量に差が生じる場合があります。
- [ミュート] にタップすると、通話相手に車両側の音声が届かないようにし、遮断することができます。
- [電話転送] にタップすると、Bluetooth 接続されている携帯電話で直接通話することができます。本機のハンズフリー機能に戻す場合は、[ハンズフリー] にタップします。

## ■ ダイヤルトーンを入力する

通話中にダイヤルトーンを入力できます。音声ガイダンスなどの番号入力時に使用します。

### 1 **トーン** にタップする

### 2 入力したい“番号”、“記号”を入力する

[0]～[9]、[\*]、[#]が入力できます。

ダイヤルトーンの入力(送信)が完了します。

#### アドバイス

- 走行中はダイヤルトーンの入力はできません。

## ■ 通話画面を閉じる

通話画面を閉じて元の画面に戻ります。

### 1 **閉じる** にタップする



元の画面に戻ります。

#### アドバイス

- 再度通話画面を表示したい場合は、**通話中** にタップします。または、HOMEメニュー (P37) から[電話]にタップしてください。

## ■ 電話を終了する

通話を終了します。

### 1 **通話終了** にタップする



通話が終了します。

# フロントカメラを使う

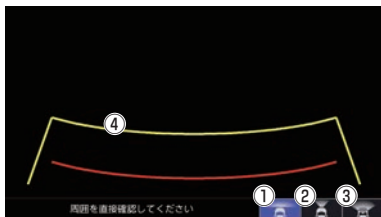
別売のフロントカメラが接続されている場合、ディスプレイにフロントカメラ映像を表示できます。

## お知らせ

- 詳しくは、別売のフロントカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ビュー切替やガイドライン表示は、対応しているフロントカメラを接続している場合に可能です。
- カメラ映像は低速走行時に切り換えることができます。  
→「フロントカメラの設定」(P318)




## 表示内容について

### ワイドビューの場合



### ノーマルビューの場合



-  ワイドビューに切り換えます。
-  ノーマルビューに切り換えます。
-  シースルービューに切り換えます。  
ステアリングとインパネの透過映像をカメラ映像上に表示します。
- ④ **ガイドライン(目安線)** ※1  
車両の幅や距離の目安となる線です。



## お知らせ

- ガイドラインは表示する / 表示しないを設定できます。  
→「ガイドラインの表示を切り換える」(P224)
- シースルービューでは、表示するカメラ映像を「ノーマル」または「ワイド」に設定できます。  
→「フロントカメラの設定」(P318)
- シースルービューではガイドラインを表示できません。


※1 ガイドラインは説明のイメージです。  
車種によって異なります。

## ■ カメラアイコンについて


現在地画面 (P53) にアイコンを表示できます。  
→「フロントカメラの設定」(P318)  
「自動表示モード」の設定によって、表示色が異なります。

 (緑色)	自動表示する(車速連動または登録地点連動)
 (灰色)	自動表示しない



## カメラ映像を表示する

フロントカメラを接続すると  キー（オプションボタン）にカメラ切替機能が設定されます。


### 1 キーを押す

▼  
カメラ映像に切り換わります。再度、 キーを押すと、元の画面に戻ります。

#### お知らせ

- 高速走行時に  キーを押した場合、カメラ映像に切り換わりません。低速走行または停止状態で  キーを押した場合、カメラ映像に切り換わります。

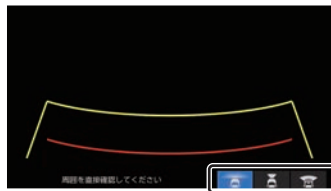
#### アドバイス

-  キーを押してもカメラ映像に切り換わらない場合は、「オプションボタンを設定する」(P40) で設定できます。

## フロントカメラのビューを切り換える

3ビュー対応のフロントカメラを接続している場合に、ノーマルビュー、ワイドビュー、シースルービューを切り換えます。

### 1 切り換えたい“ビュー”にタップする



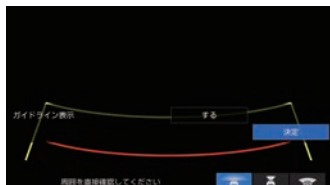
▼  
選んだビューに切り換わります。

## ガイドラインの表示を切り換える

ガイドライン表示に対応したフロントカメラを接続している場合に、ガイドラインの表示する/しないを設定できます。

ただし、シースルービューを表示中は、ガイドラインの表示設定ができません。

### 1 画面にタップする



### 2 「ガイドライン表示」の **する** / **しない** にタップする

タップするたびに[する]/[しない]が切り換わります。

### 3 **決定** にタップする

#### アドバイス

- 「フロントカメラの設定」からでも設定できます。  
→「ガイドラインを表示する」(P318)

## シースルービューのカメラ映像を切り換える

シースルービューを表示中にカメラ映像を「ノーマル」または「ワイド」に設定できます。

### 1 画面にタップする



### 2 「シースルービュー切替」の **ノーマル** / **ワイド** にタップする

タップするたびに[ノーマル]/[ワイド]が切り換わります。

### 3 **決定** にタップする

#### アドバイス

- シースルービューではガイドラインを表示できません。

# リアカメラを使う

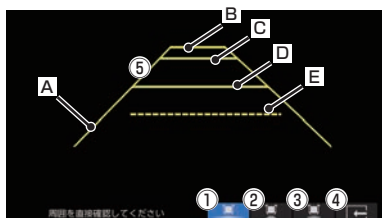
標準装備または別売のリアカメラが接続されている場合、ディスプレイにリアカメラ映像を表示できます。

## お知らせ

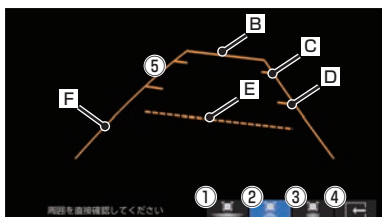
- ビュー切り換えは、リアワイドカメラを接続している場合に可能です。
- ダイナミックガイドライン表示は、車両の装備やグレードが対応している必要があります。
- リアカメラについて詳しくは、標準装備または別売のリアカメラの取扱説明書をご覧ください。

## 表示内容について

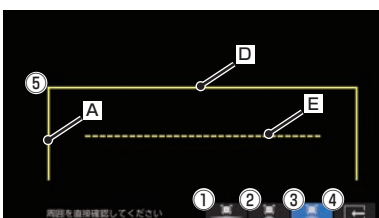
### ノーマルビューおよびワイドビューの場合



### ノーマルビュー+ ダイナミックガイドラインの場合



### トップダウンビューの場合



### 分割ビューの場合



※ トップダウンビュー表示中はダイナミックガイドラインを表示できません。

- ① ワイドビューに切り換えます。
- ② ノーマルビューに切り換えます。
- ③ トップダウンビューに切り換えます。
- ④ 分割ビューに切り換えます。
- ⑤ **ガイドライン(目安線)** ※1  
車両の幅や距離の目安となる線です。  
[A]: 車両側面から約25cmの目安  
[B]: リアバンパーから約3mの目安  
[C]: リアバンパーから約2mの目安  
[D]: リアバンパーから約0.5mまたは1mの目安(車種により異なります)  
[E]: テールゲート開閉可能な目安

[E]: ダイナミックガイドライン  
ハンドルを大きく切ったときに、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り換わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示します。ハンドルの角度に連動してガイドラインが変形します。

### ⑥ 車両前方の注意表示

### ⑦ 車両後方の注意表示

## お知らせ

- ガイドラインは表示する/表示しないを設定できます。

→「ガイドラインの表示を切り換える」  
(P226)

※1 ガイドラインは説明のイメージです。  
車種によって異なります。

## リアカメラの映像を表示する

### 1 車のセレクトレバーを リバースに入れる

カメラ映像に切り換わります。  
リバース以外に入れると、元の画面に戻ります。

#### アドバイス

- リアワイドカメラを接続している場合、カメラ映像に切り換えたとき、どのビューで表示するかを設定できます。  
→「リアカメラの次回表示ビューを設定する」(P317)
- 前回のリアカメラ映像(ラスト画面)がトップダウンビューの場合、設定したビューで表示します。  
ただし、車両の切り返しなど本機の電源を切らずに、かつ10km/hを超えた走行をしていない場合は、設定したビューに切り換わりません。

## リアカメラのビューを切り換える

リアワイドカメラを接続している場合に、ワイドビュー、ノーマルビュー、トップダウンビューを切り換えることができます。

### 1 切り換えたい“ビュー”に タップする



選んだビューに切り換わります。

## ガイドラインの表示を切り換える

リアカメラにガイドライン表示する/しないを設定できます。

### 1 画面にタップする



### 2 「ガイドライン表示」または「ダイナミックガイドライン表示」の [する] / [しない] にタップする

タップするたびに[する]/[しない]が切り換わります。

### 3 [決定] にタップする

#### アドバイス

- 「リアカメラの設定」からでも設定できます。  
→「ガイドラインを表示する」(P317)



LXM-237VFLi | LXM-237VFNi

## マルチビューカメラを使う


マルチビューカメラシステムが接続されている場合、ディスプレイにマルチビューカメラ映像を表示できます。

### お知らせ


- マルチビューカメラシステムの操作方法などについては、車両の取扱説明書をご覧ください。

## 表示するには


### ■ フロントカメラ映像を表示する

マルチビューカメラを接続すると  キー（オプションボタン）にカメラ切換機能が設定されます。

#### 1 キーを押す

▼  
フロントカメラ映像に切り換わります。再度、 キーを押すと、元の画面に戻ります。

#### アドバイス

-  キーを押してもカメラ映像に切り換わらない場合は、「オプションボタンを設定する」(P40) で設定できます。

### ■ リアカメラ映像を表示する

#### 1 車のセレクトレバーを リバースに入れる

▼  
リアカメラ映像に切り換わります。  
リバース以外に入れると、元の画面に戻ります。

# リアカメラ de あんしんプラス 3 を使う

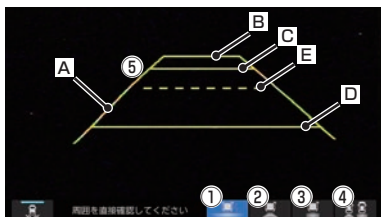
リアカメラ de あんしんプラス 3 に対応したリアカメラと専用ユニットが接続されている場合、下記の機能を利用できます。詳しくは、別売のリアカメラ de あんしんプラス 3 の取扱説明書をご覧ください。

## 注意

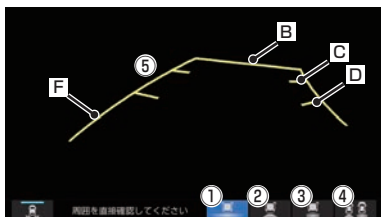
- このシステムは、後退時や走行中の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 後退時や走行時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 表示内容について

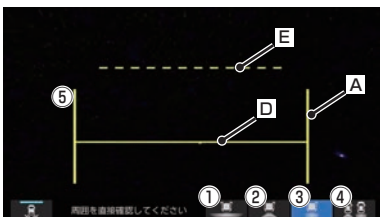
### ノーマルビューおよびワイドビューの場合



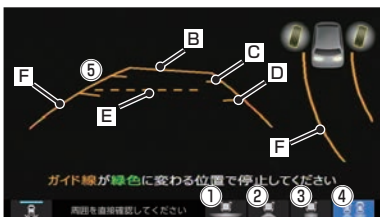
### ノーマルビュー+ ダイナミックガイドラインの場合



### トップダウンビューの場合



### ダブルビューの場合



※ トップダウンビュー表示中はダイナミックガイドラインを表示できません。



ワイドビューに切り換えます。



ノーマルビューに切り換えます。



トップダウンビューに切り換えます。



ダブルビューに切り換えます。

⑤ **ガイドライン(目安線)** ※1

車両の幅や距離の目安となる線です。

**A**: 車両側面から約 25cm の目安

**B**: リアバンパーから約 3m の目安

**C**: リアバンパーから約 2m の目安

**D**: リアバンパーから約 0.5m または 1m の目安 (車種により異なります)

**E**: テールゲート開閉可能な目安

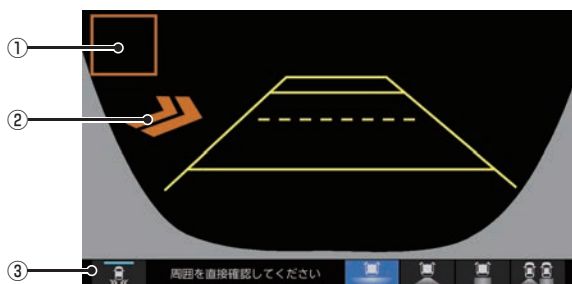
**F**: ダイナミックガイドライン  
ハンドルを大きく切ったときに、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り換わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示します。ハンドルの角度に連動してガイドラインが変形します。

※ 1 ガイドラインは説明のイメージです。  
車種によって異なります。

## 後退出庫サポート

駐車場などから後退で出庫するときのサポート機能です。

リアカメラの映像をもとに車両後方の左右から接近する他の車両や人などを検知し、運転者にお知らせします。→「リアカメラを使う」(P225)



- ① **接近物**  
接近物に枠を表示します。(ワイドビューの場合のみ)
- ② **接近矢印表示**  
後方に接近物を検知すると「>>」を表示します。
- ③ **後退出庫サポートアイコン**  
タップするたびに後退出庫サポートのON/OFFが切り換わります。

■ **後退出庫サポートのアイコンについて**  
リアカメラの設定 (P316) で、設定を[する]にしている場合、アイコンが表示されます。アイコンにタップすると、サポート機能のON/OFFを切り換えることができます。

	後退出庫サポート
--	----------

ON時：アイコンが緑色、OFF時：アイコンが灰色  
※ アイコンが (橙色) の場合は、故障しています。Honda 販売店にご相談ください。

### お知らせ

- リアカメラが汚れている場合、汚れアイコンが表示されます。汚れているとサポート機能が動作しません。エンジンスイッチをOFFにしてから、水を含ませた柔らかい布などでリアカメラの汚れを拭き取ってください。

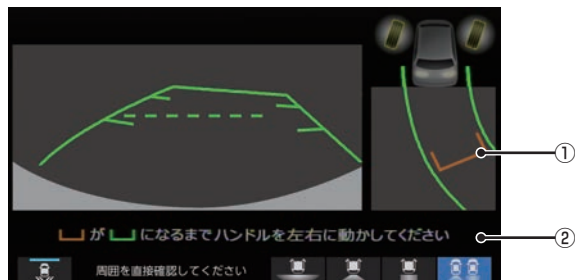
: 汚れアイコン

## 後退駐車サポート

車を後退で駐車するときに、リアカメラの画面をもとに車両後方の駐車枠を検知し、自車と駐車枠のスレ(角度差)の目安をお知らせします。

### ■ かんたん駐車ガイド

駐車枠を検知すると、駐車をサポートするガイダンスと後退位置予測線を表示します。後退完了位置予測線は、ハンドルの角度に応じて位置が変わります。また、予測線の位置により色が変わります。



#### ① 後退位置予測線

緑色のときに、ハンドル角度を維持してバックすることで駐車枠のほぼ中央に車両を駐車することができます。

橙色：予測線の位置が駐車枠の中央から左右にずれている

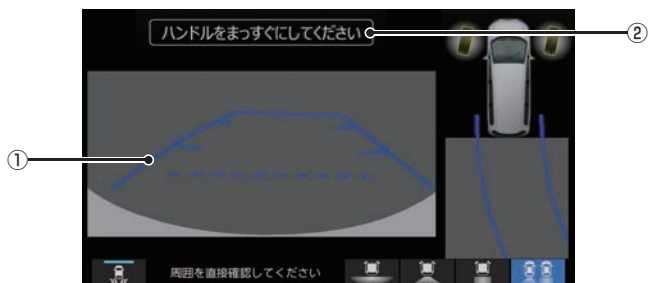
緑色：予測線の位置が駐車枠のほぼ中央

#### ② メッセージ

メッセージに従いハンドルを操作してください。

### ■ まっすぐ駐車表示

駐車枠を検知すると、自車の進路と駐車枠との角度のズレに応じてガイドラインの色が変わります。



#### ① ガイドライン

(ズレ小) 緑色⇄水色⇄青色(ズレ大)

赤色：駐車枠が検出できない状態です。

#### ② メッセージ

駐車枠のほぼ中心に駐車できるハンドル角度になると点灯します。

## ■ 設定変更について

後退駐車サポートの使用する/使用しないや、かんたん駐車ガイド、まっすぐ駐車表示の切り換えは「リアカメラの設定」(P316)を参照してください。

### 後方死角サポート

隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを検知すると、運転者にお知らせします。走行速度が一定値以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

警告レベル低



警告レベル低ではマーク表示で警告します。

- : 左隣の車線で他車が走行中
- : 右隣の車線で他車が走行中
- : 両隣の車線で他車が走行中

警告レベル高



警告レベル高では警告レベル低時にウィンカーを作動させた場合に警報音と画面表示で警告します。

警告レベル高では両隣の車線で他車が走行していても片方のみ警告表示します。

### 後方車両お知らせ機能

車両後方の検知エリアに他の車両がいると、運転者にお知らせします。

走行速度が一定値以下、またはセレクトレバーがリバースの場合はお知らせしません。



音声と マーク表示で警告します。

### 後方死角サポート / 後方車両お知らせ機能のアイコンについて

リアカメラの設定 (P316) で設定を [する] にしている場合、各アイコンが表示されます。各アイコンにタップすると、サポート機能の ON/OFF を切り換えることができます。

	後方死角サポート
	後方車両お知らせ機能

ON時：アイコンが緑色、OFF時：アイコンが灰色

※ 緑色のアイコンに斜め線が表示されているときは、ONになっていますが走行速度が一定値以下のため、警告またはお知らせをしない状態であることを示します。

※ アイコンが 、 (橙色) の場合は、故障しています。Honda 販売店にご相談ください。

#### お知らせ

- リアカメラが汚れている場合、汚れアイコンが表示されます。汚れているとサポート機能が動作しません。エンジンスイッチを OFF にしてから、水を含ませた柔らかい布などでリアカメラの汚れを拭き取ってください。

: 汚れアイコン

## パーキングセンサーを使う

車両周囲の障害物をセンサーで検知すると、本機の画面で注意を促す表示を行います。詳しくは、パーキングセンサーの取扱説明書をご覧ください。\*1

\*1 標準装備のパーキングセンサー装着車は、車両の取扱説明書をご覧ください。

### お知らせ

- 標準装備または別売のパーキングセンサーの接続が必要です。
- 車両の装備やグレードがパーキングセンサー連動に対応している必要があります。

## 表示内容について

### ■ カメラ映像以外のとき



#### ① 車両前方の注意表示

- : 左前方
- : 真ん中左前方
- : 真ん中右前方
- : 右前方

#### ② 消去

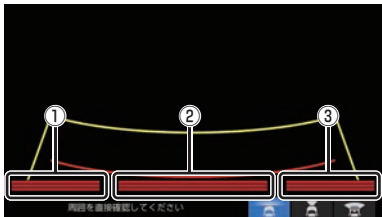
パーキングセンサー画面を消去します。

### アドバイス

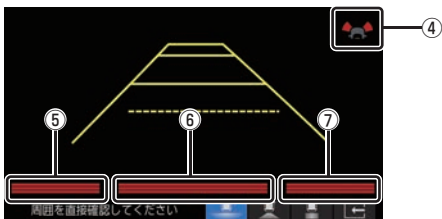
- [パーキングセンサーの設定]の「パーキングセンサー表示割り込み」で[しない]に設定すると、カメラ映像以外のときに表示されるイラストとメッセージを表示しないようにすることができます。  
→「システム設定」(P311)

■ カメラ映像(リアカメラなど)のとき  
障害物を検知すると、カメラ映像に注意表示  
をします。

### フロントカメラ映像画面



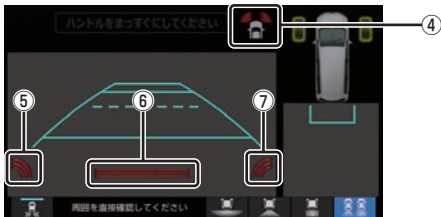
### リアカメラ映像画面



### リアカメラ映像画面(分割ビュー)



リアカメラdeあんしんプラス3に対応したリ  
アカメラと専用ユニットが接続されている場合



- ① 左前方の注意表示
- ② 真ん中前方の注意表示
- ③ 右前方の注意表示
- ④ 車両前方の注意表示
- ⑤ 左後方の注意表示
- ⑥ 真ん中後方の注意表示
- ⑦ 右後方の注意表示
- ⑧ 車両後方の注意表示

■ : 左前方

■ : 右前方

■ : 左後方

■ : 真ん中左後方

■ : 真ん中右後方

■ : 右後方

## ■ 障害物を検知したときの表示について

### カメラ映像以外のとき

障害物との距離	ブザー音の間隔	インジケータ			
		左前方	真ん中左前方	真ん中右前方	右前方
障害物なし	—	—	—	—	—
最遠方	長い	—	 :黄色 1本	 :黄色 1本	—
遠方	短い	 :橙色 1本	 :橙色 2本	 :橙色 2本	 :橙色 1本
中間	非常に短い	 :橙色 2本	 :橙色 3本	 :橙色 3本	 :橙色 2本
近接	連続	 :赤色 3本	 :赤色 4本	 :赤色 4本	 :赤色 3本

### カメラ映像のとき

障害物との距離	ブザー音の間隔	インジケータ	
		左前方、右前方 左後方、右後方	真ん中左前方、真ん中右前方 真ん中左後方、真ん中右後方
障害物なし	—	—	—
最遠方	長い	—	黄色 (点滅)
遠方	短い	橙色 (点滅)	橙色 (点滅)
中間	非常に短い		
近接	連続	赤色 (点滅)	赤色 (点滅)

※ パーキングセンサーの装着個数は機種によって異なります。



## カメラについて



- **カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。**  
カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。
- カメラが映し出す範囲には限界があります。ガイドラインは車幅や距離間隔を補うための目安です。実際の周りの状態を直接目で確認してご使用ください。
- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と間隔が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。(車両のバックミラーやサイドミラーで見たときと同じ左右を反転した映像です。)
- 夜間または暗所などの状態により、カメラの映像が見えない(見えにくい)ことや画質が低下する場合があります。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる場合があります。
- カメラは、レンズの結露防止のため防滴密封構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解したりすることは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなど付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露が発生、故障、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃を与えないでください。故障、破損して火災、感電の原因となります。

## カメラのガイドライン表示について

- 必要なガイドラインはHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- ガイドライン(P222,P225)の距離は、車種によって異なります。
- ガイドラインは、実際の車幅、距離間隔と異なる場合があります。
- 次のようなときは、ガイドラインと実際の路面上の距離、障害物との距離に誤差が生じます。
  - 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき
  - 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき
- ガイドラインは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

## エアコン情報割込表示

### エアコン操作画面を表示する

エアコンを操作すると画面上部に設定内容、操作内容を表示します。画面表示は一定時間エアコン操作をしないと消えます。



### 車内PM2.5濃度を表示する

PM2.5センサーが接続されている場合、車内のPM2.5濃度を本機に表示できます。

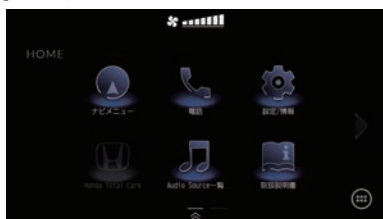


#### お知らせ

- [設定]をタップすると空気清浄作動時の清浄化速度を設定できます。

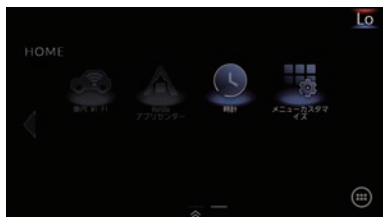
### センター表示

画面上部にエアコンの操作内容と設定内容を表示します。



### 左右サイド表示

左側に助手席側、右側に運転席側の操作内容と設定内容を表示します。



#### お知らせ

- シートの温度設定情報も表示されます。
- エアコン操作画面表示中に画面をタップするとエアコン情報の表示を消すことができます。

LXM-237VFLi | LXM-237VFNI

## 後席会話サポート機能を使う

本機のマイクに向かって発話した声を後席スピーカーから出力させることができます。後席の人の声を前席スピーカーから出力させることはできません。後席会話サポート機能を使用中は、オーディオの音量がしぼられます。

### 後席会話サポートを開始する

#### 1 “後席会話サポート”のアイコンにタップする



本機のマイクに向かって発話してください。後席の方がマイクの声聞き取りにくい場合は、音量を調整してください。  
→「音量設定」(P321)

#### お知らせ

- 車内の環境によっては声にエコーがかかったような状態で聞こえる場合があります。

### 後席会話サポートを停止する

#### 1 “後席会話サポート”のアイコンにタップする



後席会話サポートが停止します。

	後席会話サポート動作中
	後席会話サポート停止中

# ドライブレコーダーを使う (DRH-204VD)

別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-204VD) の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作について詳しくは、別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-204VD) の取扱説明書をご覧ください。

## お知らせ

- 録画データの確認や編集 (P240 ~ P243) はドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオが OFF になります。[現在地] キーなどを押してドライブレコーダー画面を終了すると、録画を再開しオーディオが ON になります。

## 録画の種類について

ドライブレコーダーの録画には、「常時録画」、「手動録画」、「駐車時録画」および「駐車時録画プラス」の4種類があります。また、静止画を撮影することができます。録画された動画/静止画はドライブレコーダーに挿入された microSD カードに記録されます。

## お知らせ

- 録画された動画は、標準/長時間モードともに約2分ずつを1ファイルに保存します。
- 録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入している microSD カードの空き容量が少なくなると、動画ファイルを録画日の古い順に上書きします。(急加速/急減速を検知した記録がある場合は上書きされません。ただし、空き容量が少ない状態で急加速/急減速を新たに検知した場合は、古い順に上書きをする場合があります。)
- 「駐車時録画」および「駐車時録画プラス」は、車両のバッテリー状態および検知頻度に応じて、エンジン始動に支障がないように安全機能が働き、録画を停止する場合があります。

## ■ 常時録画

車のエンジンスイッチをアクセサリまたは ON にしている間、ドライブレコーダーは常時録画を行います。

## アドバイス

- ドライブレコーダーの動画および静止画再生中や、ドライブレコーダーの設定などをしているときは録画が停止します。録画中/録画停止中はステータスバーに表示されるアイコンで確認してください。

## ■ 手動録画

ナビゲーションを操作して録画を行います。手動録画した動画は上書きされません。

## お知らせ

- 手動録画の録画時間は、手動録画を開始した約12秒前から20秒間です。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。
- 上書き保存設定が「ON」のときは各録画で設定している録画可能件数になると古いファイルから上書きします。上書きしないように「OFF」にすることもできます。別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-204VD) の取扱説明書をご覧ください。

## ■ 駐車時録画

エンジンスイッチ OFF 後、降車時開始時間設定の設定時間後に最大約30分間録画します。

## お知らせ

- 降車時開始時間設定については、別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-204VD) の取扱説明書をご覧ください。

## ■ 駐車時録画プラス

エンジンスイッチ OFF後、降車時開始時間設定の設定時間後に衝撃を検知すると、約1分間(検知して約4秒後から約1分間)録画します。

### お知らせ

- 上書き保存設定が「ON」のときは各録画で設定している録画可能件数になると古いファイルから上書きします。上書きしないように「OFF」にすることもできます。別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ:DRH-204VD)の取扱説明書をご覧ください。
- 降車時開始時間設定については、別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ:DRH-204VD)の取扱説明書をご覧ください。

## ■ ドライブレコーダーアイコンの種類

ステータスバーに以下のアイコンが表示されます。



	常時録画中
	手動録画中
	録画停止中

## ■ 手動録画を開始する

### ■ オプションボタンからの操作

#### 1 キーを長押しする

手動録画を開始します。

再度、 キーを長押しすると手動録画の録画時間が20秒延長されます。

### ■ ショートカットメニューからの操作

あらかじめショートカットメニューに[ドライブレコーダー動画録画]を登録しておく必要があります。

→「ショートカットメニュー」(P40)

#### 1 現在地画面で **ショートカット** → **ドライブレコーダー動画録画** にタップする

手動録画を開始します。

再度タップすると手動録画の録画時間が20秒延長されます。

## 静止画を撮影する

### ■ オプションボタンからの操作

あらかじめ、オプションボタンに[ドライブレコーダー静止画撮影]を設定しておく必要があります。→「オプションボタンを設定する」(P40)

#### 1 キーを押す

静止画を撮影します。

### ■ ショートカットメニューからの操作

あらかじめショートカットメニューに[ドライブレコーダー静止画撮影]を登録しておく必要があります。

→「ショートカットメニュー」(P40)

#### 1 現在地画面で **ショートカット** → **ドライブレコーダー静止画撮影** にタップする

静止画を撮影します。

## 録画した動画 / 静止画を確認する

ドライブレコーダーが録画したデータを確認します。

#### 1 **HOME** キーを押す HOME 画面を表示します。

#### 2 **ドライブレコーダー情報** にタップする



#### 3 **再生** にタップする



#### 4 確認したい“ファイルの種類”にタップする



#### 5 リストから確認したい“録画ファイル”にタップする

#### 6 **再生** にタップする



録画データの再生画面を表示します。

## ■ 録画ファイルリストについて



### ① ファイルの種類

動画リスト / 静止画リストを切り換えます。

### ② 保存フォルダ





保存フォルダに移動した動画リストを表示します。

### ③ 録画ファイルの年月日、時刻

録画した年月日、時刻を表示します。

### ④ 録画種別アイコン

録画の種類を表示します。

-  : 手動録画したファイル
-  : 急加速 / 急減速情報のあるファイル
-  : 高速道路での合流地点情報のあるファイル
-  : 駐車時録画プラスのファイル

### ⑤ ▲, ▼

リストを前に進めたり戻したりできます。

### ⑥ ↶

1つ前の画面に戻ります。

### ⑦ 録画件数

録画件数を表示します。

### ⑧ 全表示

すべての動画をリスト表示します。

### ⑨ 手動録画

表示中のリストを手動録画の動画のみにします。

### ⑩ 再生

選択している録画ファイルを再生します。

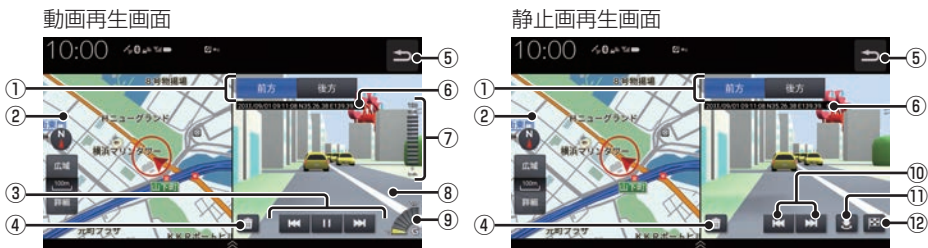
### ⑪ 保存

選択している動画ファイルを保存フォルダに移動します。

### ⑫ 全削除

リストに表示している録画ファイルをすべて消去します。

## ■ 録画データの再生画面について



### ① 前方、後方

別売の後方録画カメラ装着車の場合に表示します。

タップした方向の録画映像を表示します。

### ② 録画場所の地図

### ③ ⏮, ▶, ⏸, ⏭

動画ファイルの早送り / 早戻し、一時停止 / 再生をします。

### ④ 🗑

再生中の録画ファイルを消去します。

### ⑤ ⏪

録画ファイルのリスト画面に戻ります。

### ⑥ 録画情報

録画時の日時、位置情報を表示します。

### ⑦ 録画時点の車の走行速度

### ⑧ 録画映像

タップすると全画面表示になります。

### ⑨ 録画時点の車の加速 / 減速レベル

録画時の加速 / 減速レベルを表示します。表示更新は約 1 秒間に 1 回のため実際の車の加速 / 減速レベルとは異なる場合があります。

### ⑩ ⏮, ⏭

前後の録画ファイルを再生します。

### ⑪ 📍

撮影場所を地点登録します。

### ⑫ 🎯

撮影場所を目的地に設定します。

### お知らせ

- 表示される走行速度や加速 / 減速レベルは目安です。
- 情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報（加速 / 減速レベルなど）や 📍、🎯 が非表示になったりすることがあります。



## 録画データを消去する

各リストの全消去、再生中ファイルの1件消去ができます。

### ■ 各リストのファイルをすべて消去する

#### 1 消去したい“リスト”を表示する

[動画]、[静止画]、[保存フォルダ]のいずれかにタップします。

→「録画した動画/静止画を確認する」  
(P240)

#### 2 **全削除** にタップする



#### 3 **はい** にタップする

リストのファイルをすべて消去します。

#### アドバイス

- ファイルを全消去しているときに他の画面に変更した場合は消去を中断します。

### ■ ファイルを1件消去する

#### 1 消去したい“ファイル”を再生する

→「録画した動画/静止画を確認する」  
(P240)

#### 2 **🗑** にタップする



#### 3 **はい** にタップする

再生中のファイルを消去します。

## 保存フォルダへ移動する

録画した動画ファイルを「保存フォルダ」に移動します。

#### アドバイス

- 保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。
- 保存フォルダへ移動した動画ファイルは自動削除されなくなります。
- 保存フォルダには最大20ファイルまで移動できます。
- 保存フォルダへの移動は本機で行ってください。

#### 1 動画リストを表示する

→「録画した動画/静止画を確認する」  
(P240)

#### 2 移動したい動画ファイルを選択し、**保存** にタップする



#### 3 **はい** にタップする

選択したファイルが保存フォルダに移動します。

## 現在の映像を確認する

ドライブレコーダーが録画する映像を確認できます。

走行中は映像を表示しません。

#### 1 **HOME** キーを押す

HOME 画面を表示します。

#### 2 **ドライブレコーダー情報** にタップする

#### 3 **カメラモニター** にタップする

ドライブレコーダーのカメラ映像を表示します。

#### お知らせ

- 現在の映像を表示しているときは、カメラ映像の音声は出力されません。

## ドライブレコーダーを設定する

ドライブレコーダーの設定はドライブレコーダーにmicroSDカードを挿入している状態で行ってください。

設定内容については「[ドライブレコーダーの設定](#)」(P324)を参照してください。

## microSDカードをフォーマットする

ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードをフォーマットします。

### 1 HOME キーを押す

HOME画面を表示します。

### 2 **ドライブレコーダー情報** にタップする

### 3 **設定** にタップする

### 4 「SDカードのフォーマット」の

**×** にタップする

### 5 **はい** にタップする

▼  
microSDカードのフォーマットを開始します。  
フォーマット中は車のエンジンスイッチをOFFにしないでください。

## microSDカードを取り出す

ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードを取り出すために、以下の操作をしてください。

以下の操作を行わず、microSDカードを取り出すとファイルが壊れる場合があります。

### 1 **HOME** キーを押す

HOME画面を表示します。

### 2 **ドライブレコーダー情報** にタップする

### 3 **SDカード取り出し** にタップする

### 4 **はい** にタップする

▼  
ドライブレコーダーからmicroSDカードを取り出すことができます。

# ドライブレコーダーを使う (DRH-229ND)

別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-229ND) の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作について詳しくは、別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-229ND) の取扱説明書をご覧ください。

## お知らせ

- 録画データの確認や編集中 (P247 ~ P251) はドライブレコーダーの録画が一時的に停止し、オーディオがOFFになります。[現在地] キーなどを押してドライブレコーダー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

## 録画の種類について

ドライブレコーダーの録画には、「常時録画」、「手動録画」、「後方車両検知」、「駐車時録画」および「駐車時録画プラス」の5種類があります。また、静止画を撮影することができます。録画された動画/静止画はドライブレコーダーに挿入されたmicroSDカードに記録されます。

## お知らせ

- 録画された動画は標準モードで約40秒、長時間モードで約50秒ずつを1ファイルに保存します。
- 録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードの空き容量が少なくなると、動画ファイルを録画日の古い順に上書きします。
- 「駐車時録画」および「駐車時録画プラス」は、車両のバッテリー状態および検知頻度に応じて、エンジン始動に支障がないように安全機能が働き、録画を停止する場合があります。

## ■ 常時録画

車のエンジンスイッチをアクセサリまたはONにしている間、ドライブレコーダーは常時録画を行います。

### アドバイス

- ドライブレコーダーの動画および静止画再生中や、ドライブレコーダーの設定などを行っているときは録画が停止します。録画中/録画停止中はステータスバーに表示されるアイコンで確認してください。

## ■ 手動録画

ナビゲーションを操作して録画を行います。手動録画した動画は古い順に上書きします。詳細については別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-229ND) の取扱説明書をご覧ください。

## ■ 後方車両検知

常時録画または手動録画継続中に、ナビゲーションの「後方車両お知らせ機能」で後方車両を検知したときに録画を行います。  
→「リアカメラの設定」(P316)

## ■ 駐車時録画

エンジンスイッチOFF後、降車時開始時間設定の設定時間後に最大約30分間録画します。

### お知らせ

- 降車時開始時間設定については、別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-229ND) の取扱説明書をご覧ください。

## ■ 駐車時録画プラス

エンジンスイッチ OFF 後、降車時開始時間設定の設定時間後に衝撃を検知すると、約 1 分間（検知して約 4 秒後から約 1 分間）録画します。

### お知らせ

- 降車時開始時間設定については、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ:DRH-229ND）の取扱説明書をご覧ください。

## ドライブレコーダーアイコンの種類

ステータスバーに以下のアイコンが表示されます。



	常時録画中
	手動録画中
	録画停止中

### お知らせ

- ドライブレコーダーとの通信に時間がかかるため、アイコンの表示は実際のドライブレコーダーの状態とずれる場合があります。

## 手動録画を開始する

### ■ オプションボタンからの操作

#### 1 キーを長押しする

▼  
手動録画を開始します。

### ■ ショートカットメニューからの操作

あらかじめショートカットメニューに[ドライブレコーダー動画録画]を登録しておく必要があります。

→「ショートカットメニュー」(P40)

#### 1 現在地画面で **ショートカット** → **ドライブレコーダー動画録画** に タップする

▼  
手動録画を開始します。

## 静止画を撮影する

### ■ オプションボタンからの操作

あらかじめ、オプションボタンに[ドライブレコーダー静止画撮影]を設定しておく必要があります。→「オプションボタンを設定する」(P40)

#### 1 キーを押す

静止画を撮影します。

### ■ ショートカットメニューからの操作

あらかじめショートカットメニューに[ドライブレコーダー静止画撮影]を登録しておく必要があります。

→「ショートカットメニュー」(P40)

#### 1 現在地画面から **ショートカット** → **ドライブレコーダー静止画撮影** にタップする

静止画を撮影します。

## 録画した動画 / 静止画を確認する

ドライブレコーダーが録画したデータを確認します。

#### 1 **HOME** キーを押す

HOME画面を表示します。

#### 2 **ドライブレコーダー情報** にタップする



#### 3 **再生** にタップする



#### 4 確認したい“ファイルの種類”に タップする



#### 5 リストから確認したい“録画ファイル”に タップする

#### 6 **再生** にタップする



録画データの再生画面を表示します。

## ■ 録画ファイルリストについて



### ① ファイルの種類

動画リスト / 静止画リストを切り換えます。

### ② 保存フォルダ






保存フォルダに移動した動画リストを表示します。

### ③ 録画ファイルの年月日、時刻

録画した年月日、時刻を表示します。

### ④ 録画種別アイコン

録画の種類を表示します。

-  : 手動録画したファイル
-  : 急加速 / 急減速情報のあるファイル
-  : 高速道路での合流地点情報のあるファイル
-  : 駐車時録画プラスのファイル
-  : 後方車両検知情報のあるファイル

### ⑤ ▲, ▼

リストを前に進めたり戻したりできます。

### ⑥ ◀

1つ前の画面に戻ります。

### ⑦ 録画件数

録画件数を表示します。

### ⑧ 全表示

すべての動画をリスト表示します。

### ⑨ 手動録画

表示中のリストを手動録画の動画のみにします。

### ⑩ 再生

選択している録画ファイルを再生します。

### ⑪ 保存

選択している動画ファイルを保存フォルダに移動します。

### ⑫ 全削除

リストに表示している録画ファイルをすべて消去します。

## ■ 録画データの再生画面について



- ① **前方**，**後方**，**車内**  
後方 / 車内録画カメラ装着車の場合に表示  
します。  
タップした方向の録画映像を表示します。
- ② **録画場所の地図**
- ③ **録画映像**  
タップすると全画面表示になります。
- ④ **◀**，**▶**，**⏸**，**▶▶**  
動画ファイルの早送り / 早戻し、一時停止 /  
再生をします。
- ⑤ **🗑**  
再生中の録画ファイルを消去します。
- ⑥ **📄**  
録画ファイルのリスト画面に戻ります。
- ⑦ **録画時点の車の走行速度**
- ⑧ **録画情報**  
録画時の日時、位置情報を表示します。

- ⑨ **録画時点の車の加速 / 減速レベル**  
録画時の加速 / 減速レベルを表示します。表  
示更新は約 1 秒間に 1 回のため実際の車の加  
速 / 減速レベルとは異なる場合があります。
- ⑩ **◀◀**，**▶▶**  
前後の録画ファイルを再生します。
- ⑪ **📥**  
撮影場所を地点登録します。
- ⑫ **📍**  
撮影場所を目的地に設定します。

### お知らせ

- 表示される走行速度や加速 / 減速レベル  
は目安です。
- 情報が記録できなかった場合、映像が全  
画面で表示されたり、各情報（加速 / 減速  
レベルなど）や **📥**、**📍** が非表示になっ  
たりすることがあります。

## 録画データを消去する

各リストの全消去、再生中ファイルの1件消去ができます。

### ■ 各リストのファイルをすべて消去する

#### 1 消去したい“リスト”を表示する

[動画]、[静止画]、[保存フォルダ]のいずれかにタップします。

→「録画した動画/静止画を確認する」  
(P247)

#### 2 全削除 にタップする



#### 3 はい にタップする

リストのファイルをすべて消去します。

#### アドバイス

- ファイルを全消去しているときに他の画面に変更した場合は消去を中断します。

### ■ ファイルを1件消去する

#### 1 消去したい“ファイル”を再生する

→「録画した動画/静止画を確認する」  
(P247)

#### 2 罫 にタップする



#### 3 はい にタップする

再生中のファイルを消去します。

#### アドバイス

- 後方/車内録画カメラ装着車の場合、ファイルを消去しても後方または車内の同時刻に記録された録画ファイルはドライブレコーダーのmicroSDカード内に残ります。(リストには表示されません。)

すべてのファイルを削除するには、ドライブレコーダーの設定画面からSDカードのフォーマットを行ってください。→「ナビ運動タイプ (DRH-229ND) の場合」(P326)



## 保存フォルダへ移動する

録画した動画ファイルを「保存フォルダ」に移動します。

### アドバイス

- 保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。
- 保存フォルダへ移動した動画ファイルは自動削除されなくなります。
- 保存フォルダには最大20ファイルまで移動できます。
- 保存フォルダへの移動は本機で行ってください。

## 1 動画リストを表示する

→「録画した動画/静止画を確認する」  
(P247)

## 2 移動したい動画ファイルを選択し、「保存」にタップする



## 3 「はい」にタップする

選択したファイルが保存フォルダに移動します。

## 現在の映像を確認する

ドライブレコーダーが録画する映像を確認できます。

走行中は映像を表示しません。

## 1 HOME キーを押す

HOME画面を表示します。

## 2 「ドライブレコーダー情報」にタップする

## 3 「カメラモニター」にタップする

ドライブレコーダーのカメラ映像を表示します。

### お知らせ

- 現在の映像を表示しているときは、カメラ映像の音声は出力されません。

## ドライブレコーダーを設定する

ドライブレコーダーの設定はドライブレコーダーにmicroSDカードを挿入している状態で行ってください。

設定内容については「ドライブレコーダーの設定」(P324)を参照してください。

## microSDカードをフォーマットする

ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードをフォーマットします。

## 1 HOME キーを押す

HOME画面を表示します。

## 2 「ドライブレコーダー情報」にタップする

## 3 「設定」にタップする

## 4 「SDカードのフォーマット」の「×」にタップする

## 5 「はい」にタップする

microSDカードのフォーマットを開始します。フォーマット中は車のエンジンスイッチをOFFにしないでください。

## microSDカードを取り出す

ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードを取り出すために、以下の操作をしてください。

以下の操作を行わず、microSDカードを取り出すとファイルが壊れる場合があります。

## 1 HOME キーを押す

HOME画面を表示します。

## 2 「ドライブレコーダー情報」にタップする

## 3 「SDカード取り出し」にタップする

## 4 「はい」にタップする

ドライブレコーダーからmicroSDカードを取り出すことができます。

# リア席モニターを使う (デジタル接続モデル)

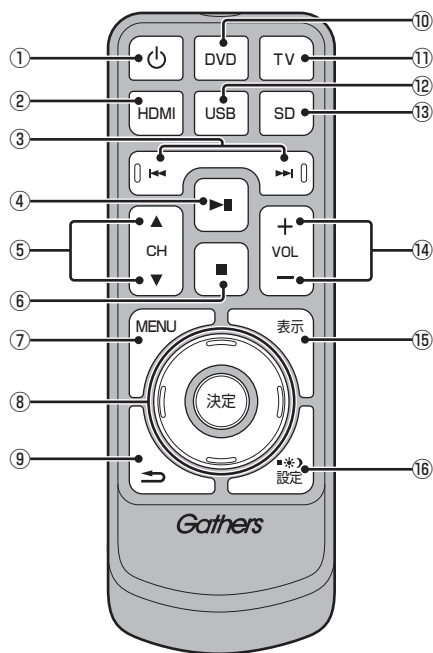
リア席モニターでは、専用の赤外線リモコンで本機のオーディオ操作をすることができます。

## 専用赤外線リモコンについて

リア席モニターを経由して操作を行いますので、リア席モニターの受光部に向けて操作をしてください。再生可能なAUDIOソースが本機に挿入または接続されていない場合は、操作が無効となります。

### お知らせ

- リモコン操作の反応に時間がかかる場合があります。
- DVDビデオ再生時、メディアによっては左右に黒い帯が表示される場合があります。メディアによるものなので故障ではありません。



- ① **電源** キー  
リア席モニターの電源をON/OFFします。
- ② **HDMI** キー  
HDMI再生画面を表示します。
- ③ **◀、▶** キー  
チャプターやプリセットCH、ファイル、トラックの選択ができます。長押しすると、早送り/早戻しやシークができます。
- ④ **▶** キー  
一時停止/再生ができます。
- ⑤ **CHの ▲、▼** キー  
チャプターやプリセットCH、ファイル、トラックの選択ができます。長押しすると、早送り/早戻しやシークができます。
- ⑥ **■** キー  
DVDの停止ができます。
- ⑦ **MENU** キー  
DVDのメニュー画面を表示します。
- ⑧ **▲、▼、◀、▶、決定** キー  
DVDのメニュー画面を操作します。
- ⑨ **⏪** キー  
リア席モニターの設定画面で1つ前の画面に戻ります。
- ⑩ **DVD** キー  
DVD-Video/VRを再生します。
- ⑪ **TV** キー  
TVを表示します。
- ⑫ **USB** キー  
USBデバイスの動画を再生します。
- ⑬ **SD** キー  
SDカードの動画を再生します。
- ⑭ **VOLの +、-** キー  
オーディオ機能の音量を調節します。ただし、オーディオ音声のミュート中は、音量の調節ができません。
- ⑮ **表示** キー  
TVのCH情報を表示します。
- ⑯ **設定** キー  
リア席モニターの画面設定が行えます。詳細は、リア席モニターの取扱説明書をご確認ください。

## リア席モニターに表示できる映像

各種AVソースのうち動画再生ソースの映像を表示できます。

- DVD
- TV
- 動画ファイル (SD/USB)
- HDMI

### アドバイス

- ドライブレコーダーの映像、Apple CarPlay、Android Autoの映像は表示できません。
- リア席モニターは映像出力のみです。ソース選択や画面の操作を行うことはできません。

LXM-237VFLi | LXM-237VFNi

## 車両の取扱説明書を見る

車両の取扱説明書を本機で閲覧できます。

### 車両の取扱説明書を表示する

#### 1 HOME キーを押す

HOME 画面を表示します。

#### 2 取扱説明書 にタップする



車両の取扱説明書を表示します。

#### アドバイス

- 閲覧できるのは「車両取扱説明書」であり、本機の取扱説明書は閲覧できません。
- 車両取扱説明書はバージョンにより記載内容が異なる場合があります。

### 車両取扱説明書をインストール/更新する

テレマティクスユニットで通信できる場合、車両取扱説明書のインストールと更新が行えます。

#### お知らせ

- テレマティクスユニットで通信できる必要があります。→「テレマティクスユニットについて」(P257)
- 車両取扱説明書のインストールまたは更新が可能な場合、お知らせアイコンで通知します。

#### 1 通知が配信されると・・・



画面上部に「お知らせアイコン」を表示します。

#### 2 “お知らせアイコン” にタップする

取扱説明書をインストールまたは更新可能な通知を選択するとバージョン画面を表示します。

#### 3 インストールまたは更新したい「項目」にタップする

#### 4 更新 にタップする

車両取扱説明書のインストールまたは更新を開始します。

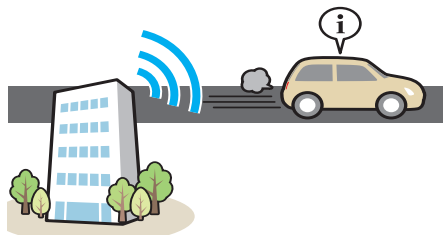
#### アドバイス

- バージョン画面で選択していない項目は通知が配信されません。

# Honda Total Care

## Honda Total Care とは

日々のドライブやメンテナンス、急な困りごとなど様々なカーライフシーンをサポートします。



### ■ Honda Total Care でできること

例)

- メッセージを確認する
- インターナビ情報を確認する
- 交通情報を確認する
- ウェザーを確認する
- Myスポットを登録/表示する
- 駐車場セレクトを使う
- 立ち寄り履歴 100 から探す

詳しくは、Honda Total Careのホームページをご覧ください。  
<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

LXM-237VFLi | LXM-237VFNi

## Honda Total Care プレミアムとは

カーライフサポートサービス「Honda Total Care」を、Honda CONNECTの技術を活用してさらに進化させた、Honda CONNECT搭載車オーナー向けのサービスです。

### ■ Honda Total Care プレミアムのサービスのうち本機でできること

例)

- 自動地図更新サービス
- 車内Wi-Fi

ご利用には、Honda Total Careにご加入頂いた後、Honda Total Care プレミアムのお申込みが必要です。

→「Honda Total Care をご利用になる前に」  
(P257)

詳しくはHonda Total Care プレミアムのホームページをご確認ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/>

LXM-237VFLi | LXM-237VFNI

## Honda Total Careを ご利用になる前に

Honda Total Careの各種サービスをご利用になるには、会員登録(無料)が必要です。

### 会員登録の流れ

お客さま

**Honda Total Careの会員登録**  
(申し込み専用のタブレット端末申し込み  
または登録申込書)



Honda 販売店

申し込みの内容をもとに  
インターナビ情報センターへ登録



インターナビ情報センター

「登録完了のご案内」を発行



Honda 販売店

本機のセットアップ



サービスをご利用いただけます。

### 会員登録(無料)の手続きについて

会員登録はHonda販売店(Honda Cars店、ホンダカーズ・ユーセレクト(U-Select)店)で承ります。

登録後、インターナビ情報センターから「登録完了のご案内」を発行します。必ず、「登録完了のご案内」をHonda販売店からお受け取りください。

### 本機のセットアップについて

Honda販売店にて、Honda Total Careをご利用できるように本機のセットアップをさせていただきます。

#### お知らせ

- 中古などで本製品を入手された方も、最寄りのHonda販売店(Honda Cars店、ホンダカーズ・ユーセレクト(U-Select)店)で会員登録手続きを承ります。Honda Total Careの基本会員の入金、会費などは不要です。
- Honda Total Careのサービスを受けるには、お客さまの個人情報の登録が必要となります。そのため、本製品を譲渡する場合は、個人情報を消去する必要があります。個人情報の消去は、Honda販売店へご依頼ください。

### データ通信について

本機でHonda Total Careのサービスを利用するには、インターナビ情報センターへデータ通信を行う必要があります。

### ■ テレマティクスユニットについて

本車両には通信システムを組み合わせることで情報サービスを提供するテレマティクスユニットが搭載されています。本機でHonda Total CareおよびHonda Total Careプレミアムのサービスを利用するにあたり、テレマティクスユニット(TCU)に接続してデータ通信を行います。

## Honda Total Care を ご利用になる前に

Honda Total Care の各種サービスをご利用になるには、会員登録（無料）と本機のセットアップが必要です。

### 会員登録の流れ

お客さま

**Honda Total Care の会員登録**  
(申し込み専用のタブレット端末申し込み  
または登録申込書)



Honda 販売店

申し込みの内容をもとに  
インターナビ情報センターへ登録



インターナビ情報センター

「登録完了のご案内」を発行



Honda 販売店

**本機のセットアップ**  
・リンクアップフリーの接続設定



サービスをご利用いただけます。

### 会員登録（無料）の手続きについて

会員登録は Honda 販売店 (Honda Cars 店、ホンダカーズ・ユーセレクト (U-Select) 店) で承ります。

Honda Total Care の会員登録時に必要事項を記入してください。

登録後、インターナビ情報センターから「登録完了のご案内」を発行します。必ず、「登録完了のご案内」を Honda 販売店からお受け取りください。

### 本機のセットアップについて

Honda 販売店にて、Honda Total Care をご利用できるように本機のセットアップをさせていただきます。

### お知らせ

- ・中古などで本製品を入手された方も、最寄りの Honda 販売店 (Honda Cars 店、ホンダカーズ・ユーセレクト (U-Select) 店) で会員登録手続きを承ります。Honda Total Care の基本会員の入会金、会費などは不要です。
- ・Honda Total Care のサービスを受けるには、お客さまの個人情報の登録が必要となります。そのため、本製品を譲渡する場合は、個人情報を消去する必要があります。個人情報の消去は、Honda 販売店へご依頼ください。



## データ通信について

本機でHonda Total Careのサービスを利用するには、インターナビ情報センターへデータ通信を行う必要があります。

### ■ リンクアップフリー

リンクアップフリーとは、本機とHonda Total Care 情報センターとの間で行うデータ通信を無料で提供するサービスです。

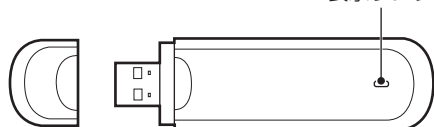
- ・リンクアップフリーを接続してお使いいただくには、車検時にHonda販売店で更新手続きをしていただく必要があります。Honda販売店以外で車検を受けられた場合は、別途更新手数料がかかります。詳しくは、Honda販売店にお問い合わせください。
- ・リンクアップフリーは、Hondaが指定する通信事業者のデータ通信サービスを利用し、Hondaがお客さまにインターナビシステムのデータ通信を所定の条件下で無料提供するものです。本サービスの提供期間や通信品質については、Hondaはその責任を負うものではありません。

### ■ インターナビ・データ通信USB

リンクアップフリーを利用するには「インターナビ・データ通信USB (リンクアップフリーの専用通信機器)」を本機のインターナビUSBコードと接続し、正しく設定されている必要があります。

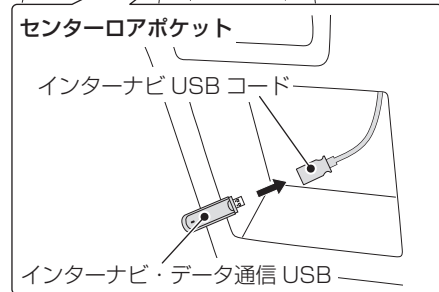
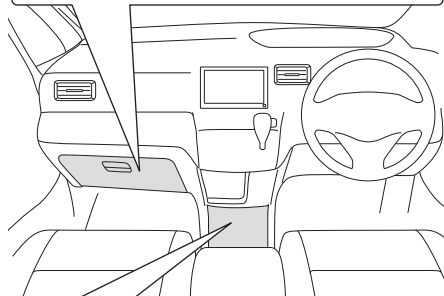
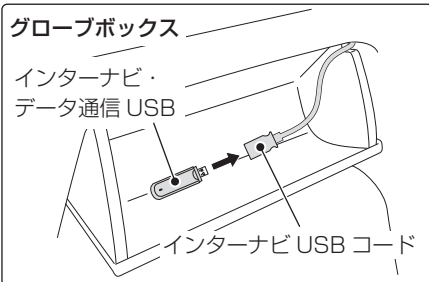
接続先のインターナビUSBコードは、車種により接続箇所が異なります。グローブボックスまたはセンターロアポケットなどにあります。

表示ランプ



インターナビ・データ通信USB※1

※1 インターナビ・データ通信USBの形状は車種により異なります。



### 表示ランプについて

ランプの状態	電波の状態
青点灯	電波強、通信中
緑点灯	電波弱、通信中
赤点灯	USIMエラー
黄点灯	電波サーチ
青点滅	電波強、待ち受け
緑点滅	電波弱、待ち受け
赤点滅	圏外
消灯	非装着、非供給

次のページにつづく

## お知らせ

- 通信の特性上、高速での移動中や基地局からの距離、電波をさえぎるものなどにより通信ができない場合があります。
- 接続する際は、必ずインターナビUSBコードに接続してください。オーディオのUSB接続ケーブルに接続しても、リンクアップフリーの機能をご利用いただけません。

## 注意

- インターナビ・データ通信USBを他の車両、ナビゲーションシステム、その他の電子機器に接続してもデータ通信を行うことができません。接続した結果、インターナビ・データ通信USBや接続した機器に不具合が生じても、補償の対象となりません。
- インターナビUSBコードに他のUSB機器を接続しないでください。故障の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、インターナビ・データ通信USBを車内に放置しないでください。

## 本機をセットアップする

セットアップはHonda販売店にて行います。

### 1 インターナビ通信設定画面の手順に従ってセットアップを行う

→「インターナビの通信設定をする」  
(P310)

# Honda Total Care 画面について

交通情報や天気情報など、各サービスを確認することができます。

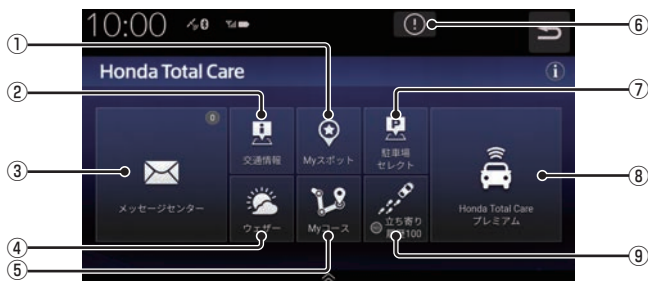
## 1 現在地画面で Honda Total Care に タップする



Honda Total Care 画面を表示します。

### アドバイス

- HOME 画面 (P37) の [Honda Total Care] にタップすることでも Honda Total Care 画面を表示できます。



## ① Myスポット

Myスポットに登録した地点一覧を表示します。

→「Myスポットを表示する」(P267)

## ② 交通情報

交通情報センターが提供する交通情報を確認することができます。

→「交通情報を確認する」(P265)

## ③ メッセージセンター

Hondaからのお知らせなどを確認することができます。

→「メッセージを確認する」(P264)

## ④ ウェザー

気象情報を確認することができます。

→「ウェザーを確認する」(P271)

## ⑤ Myコース

Myコースに登録したルートを表示します。

→「Myコースのルートを設定する」(P268)

## ⑥ ⓘ

地図データの更新や製品に関する重要な情報を受信すると表示します。

## ⑦ 駐車場セレクト

条件を設定して駐車場を探すことができます。

→「駐車場セレクトを使う」(P269)

## ⑧ Honda Total Care プレミアム<sup>※1</sup>

Honda Total Care プレミアムの申込/解約をすることができます。

→「Honda Total Care プレミアムとは」(P256)

## ⑨ 立ち寄り履歴 100

過去立ち寄った場所を表示します。

→「立ち寄り履歴 100から探す」(P270)

※1 LXM-237VFLi、LXM-237VFNiのみの機能です。

## アドバイス

- 各種サービス情報は、インターナビの提供サービスに伴い、変更される場合があります。

## インターネットナビ情報を確認する

インターネットナビの各種サービスを確認することができます。

## インターネットナビ情報サービスを表示する

### 1 現在地画面で

**Honda Total Care** に  
タップする



Honda Total Care 画面を表示します。

### 2 確認したい“サービス”にタップする

選択したサービスの確認ができます。

## 会員サイトとスマートフォンアプリについて

会員サイト以外にも、スマートフォン向けアプリもあります。燃費履歴やメンテナンス時期などの情報サービスを無料で利用できます。

### お知らせ

- インターネットに接続できる環境が必要です。
- 利用時の通信費はお客様のご負担となります。
- ホームページの内容は予告なく変更されることがあります。

## ■ Honda Total Care 会員の方

### Honda Total Care 会員サイト (PC)

Honda Total Care のホームページからログインすることで利用できます。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

### スマートフォンアプリ

2つのアプリから利用できます。

### Honda Total Care 会員サイト (アプリ)



給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認することができます。

### internavi POCKET (一部有料)



出発推奨時刻や到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。詳しくは、Honda Total Care のホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

### お知らせ

- はじめてログインする場合は、ログインID/パスワードに、仮IDと仮パスワードを入力してログインしてください。「仮ID」は「車台番号」を入力、「仮パスワード」は「Honda Total Care 会員番号の下6桁」となっております。Honda Total Care 会員番号は会員申込時にお渡しする会員申込書に記載されています。

## メッセージを確認する

地図データの更新や製品に関する重要な情報などを確認します。

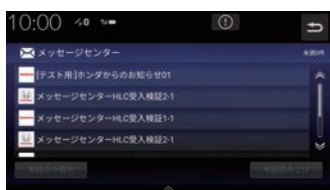
### 1 現在地画面で

**Honda Total Care** に  
タップする

### 2 **メッセージセンター** にタップする



### 3 確認したい“リスト”にタップする



お知らせの内容を表示します。

#### アドバイス

- [未読のみ表示]にタップすると未読メッセージをリストの先頭に並べます。
- [未読読み上げ]にタップすると未読メッセージを音声で読み上げます。
- HOME画面 (P37) の [Honda Total Care] にタップすることでも Honda Total Care 画面を表示できます。

## 交通情報を確認する

交通情報センターが提供する交通情報を確認することができます。

### フローティングカー情報について

全国の会員から取得した走行経路、所要時間などの走行データをフローティングカー情報といいます。インターナビ情報センターは、これらの走行データ（フローティングカー情報）およびVICS情報を統合して交通情報として提供しています。

- ・フローティングカー情報は、30分以内に同じ道路を走行したデータがある場合はその情報を提供します。無い場合は、過去の同時間帯のデータを統計処理した情報を提供します。
- ・フローティングカー情報は、すべての道路を対象とするものではありません。
- ・提供いただいたフローティングカー情報は、提供いただいたお客さまを特定できない形式で処理/保存します。

## 表示内容について

### ■ 交通情報の表示

下記内容が地図上に表示されます。

渋滞情報	渋滞・混雑の状況を点線で表示確認できます。
汎用道路情報	道路の情報を表示します。

### ■ 渋滞情報の表示

赤色(点線)	渋滞
橙色(点線)	混雑
黄色(点線)	規制
青色(点線)	順調

### アドバイス

- ・縮尺が10m～1kmのときに表示します。
- ・渋滞情報は表示する/しないを設定できます。→「VICSの設定」(P285)

### ■ 汎用道路情報の表示

緑色(点線)	通行可能
灰色(点線)	経路計算対象外
ピンク色(点線)	インターナビおすすめ情報

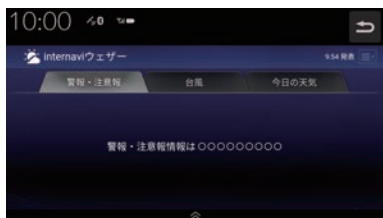
### アドバイス

- ・縮尺が10m～1kmのときに表示します。

## ■ 防災情報の表示

### 防災情報

取得した交通情報に防災情報が含まれている場合、画面に表示します。



#### アドバイス

- 再度、表示させたい場合は現在地画面で [Honda Total Care] → [ウェザー] → [警報・注意報] のタブにタップしてください。
- 防災情報によっては、地図上に警告区域を示す表示が出る場合があります。

## 情報を取得する

現在地周辺または任意の地点の交通情報を取得することができます。

#### アドバイス

- ここでは現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P56) から同じ操作となります。

### 1 現在地画面で

**Honda Total Care** に  
タップする

### 2 **交通情報** にタップする



インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の情報を受信します。

#### アドバイス

- ルートを設定している場合は、現在地およびルート沿い、目的地周辺の交通情報も取得します。

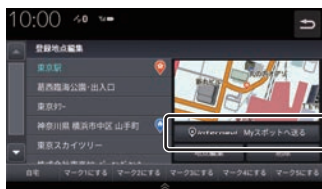


# My スポットを利用する

## My スポットに登録する

本機に登録している地点をMy スポットに登録することができます。

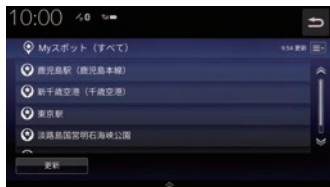
- 1 現在地画面で **メニュー** にタップする
- 2 **登録地点編集** にタップする  
登録地点一覧を表示します。
- 3 My スポットに登録したい登録地点をタップする
- 4 **internavi My スポットへ送る** に  
タップする



My スポットへの登録が完了します。

## My スポットを表示する

- 1 現在地画面で **Honda Total Care** にタップする
- 2 **My スポット** にタップする  
My スポット一覧を表示します。
- 3 My スポットのリストにタップする
- 4 **地点表示** にタップする

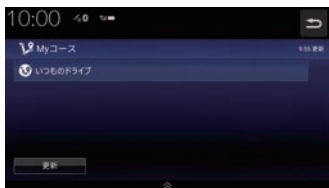


選択したMy スポットを中心とした地図を表示します。

## My コースのルートを設定する

会員サイトで作成したMy コースを本機でルート案内することができます。

- 1 現在地画面で **Honda Total Care** に  
タップする
- 2 **My コース** にタップする
- 3 リストから設定したい“コース”  
にタップする



- 4 **案内開始** にタップする

▼  
ルート設定が完了します。

### お知らせ

- My コースのルートは、本機でルート計算しなおすため、会員サイトで探索したルートと本機で案内するルートが異なる場合があります。

# 駐車場セレクトを使う

条件を設定して駐車場を探すことができます。

## お知らせ

- ここでは現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P56) から同じ操作となります。目的地を設定している場合は、目的地周辺の駐車場を探します。

1 現在地画面で **Honda Total Care** にタップする

2 **駐車場セレクト** にタップする



現在地周辺の駐車場を表示します。

## アドバイス

- 駐車場の探索条件を設定することができます。  
→「**駐車場セレクト**」(P283)
- 一部の駐車場で表示が実際の情報と異なるものもあります。

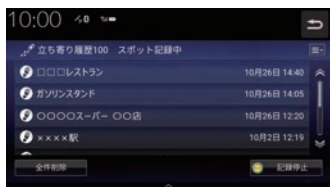
## 立ち寄り履歴 100 から探す

立ち寄り履歴から地点を検索します。

1 現在画面で **Honda Total Care** にタップする

2 **立ち寄り履歴 100** にタップする  
過去にエンジンスイッチをOFFした地点の一覧を表示します。

3 “表示したい場所” をタップする



選んだ地点を表示します。  
表示された地点は目的地設定やMyスポット登録ができます。

### アドバイス

- 立ち寄り履歴 100 を利用するには、あらかじめ [記録開始] にタップして、エンジンスイッチをOFFにした場所を記録するよう設定する必要があります。

# ウェザーを確認する

気象情報を取得して確認することができます。

## 画面内容について

### アドバイス

- [現在地]キーを押す、または地図スクロール (P67) すると約10秒間気象アイコンを表示します。
- あらかじめ「ナビ詳細設定」で「地図上に状態を表示」を[する]に設定しておく必要があります。→「ナビ詳細設定」(P280)



### ① 受信時の天気

受信した時間の天気を表示します。

### ② 予報の天気

予報時刻の天気を表示します。

### ③ 降水確率 (予報)

予報時刻の降水確率を表示します。

### ④ 気温 (予報)

予報時刻の気温を表示します。

### アドバイス

- 予報時刻は受信した3時間後の時刻です。
- ルート設定時は目的地の天気を表示します。
- 取得できない場合や、取得場所に気象情報がない場合は表示されません。
- 3Dビューマップ (P61) 表示中は、気象情報に応じて空が変化します。
- 週間天気予報は表示されません。
- 情報の自動更新、更新間隔は「ナビ詳細設定」(P280) で変更できます。

## 地図上の天気表示

地図内に降雨、降雪、津波などの情報があればエリア内で各マークを表示します。また、気象警戒エリアに入ると、音声とテロップで案内します。



### アドバイス

- あらかじめ「ナビ詳細設定」で「地図上に状態を表示」、「天気・防災・渋滞割込み表示」、「天気音声案内」を[する]に設定しておく必要があります。→「ナビ詳細設定」(P280)
- 地図上に表示される降雨、降雪、津波は、25km以下スケールのときに表示します。

## 降雨

降水量によって表示が変わります。

降水量	地図スケール	
	1km以下	2km～20km
1～4mm	■	■
5～29mm	■	■
30mm～	■	■

## 降雪

降雪量によって表示が変わります。

降雪量	地図スケール	
	1km以下	2km～20km
1～2mm	■	■
3～4mm	■	■
5mm～	■	■

## 津波

規模によって表示が変わります。

津波注意報	津波警報	大津波警報
■	■	■

## ウェザー情報を確認する

### お知らせ

- ここでは現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面(P56)からも同じ操作となります。

### 1 現在地画面で

**Honda Total Care** に  
タップする

### 2 ウェザー にタップする

▼  
ウェザー情報を表示します。

### 天気情報の割込み表示について

取得した気象情報に台風情報や警報・注意報があると詳細情報を表示します。



### アドバイス

- あらかじめ「ナビ詳細設定」で「地図上に状態を表示」、「天気・防災・渋滞割込み表示」を[する]に設定しておく必要があります。→「ナビ詳細設定」(P280)
- 交通情報の簡易図形を受信した場合は、気象情報の前に表示します。

LXU-237NBi

## マルチインフォメーションディスプレイの天気表示

今日および明日の天気情報をメーター内マルチインフォメーションディスプレイに表示します。

※ 車両の装備やグレードが気象情報表示に対応している必要があります。



### アドバイス

- 気象情報を取得する必要があります。  
→「ウェザー情報を確認する」(P272)
- 仕様およびデザインは、車両のグレードによって異なります。また、改良のため予告なく変更することがあります。

## 緊急時のサポートについて

LXM-237VFLi | LXM-237VFNi

### 緊急サポートセンター

事故や故障などのトラブル時は、Honda Total Care 緊急サポートセンターへご連絡ください。

詳しくは、Honda Total Care のホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

LXM-237VFLi | LXM-237VFNi

### Honda JAF ロードサービスについて

Honda JAF ロードサービスにご加入いただくと、会員本人だけでなく契約車両であればどなたでも、Honda JAF ロードサービスならではの手厚いサービスをお受けいただけます。

詳しくは、Honda Total Care のホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

LXU-237NBi

### 緊急サポートを表示する

不意のトラブルにあったときなど緊急サポートに電話をかけて必要な処置や手配を依頼することができます。

#### お知らせ

- Honda 販売店で緊急サポートの申し込みと、本機のセットアップを完了しておく必要があります。
- 緊急サポートへの連絡には通話料がかかります。

### 1 HOME キーを押す

### 2 緊急サポート にタップする

緊急サポートの連絡先やマップコードが表示されます。あらかじめ緊急サポートの電話番号を控えておくことをおすすめします。

### 3 発信 にタップする

▼  
緊急サポートに電話がかかります。

#### アドバイス

- 表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。
- 緊急サポートへ連絡できるのは、お使いの携帯電話の通話可能区域内です。

LXM-237VFLi | LXM-237VFNi

## 車内Wi-Fiを使用する

テレマティクスユニット (TCU) 経由で車両自体がWi-Fiスポットとなり、お使いの通信機器をインターネットに接続できます。

ご利用にはHonda Total Care プレミアムのお申込みが必要です。詳しくはHonda Total Care プレミアムのホームページをご確認ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/>

1 **HOME** キーを押す

2 **車内Wi-Fi** にタップする

3 “車内Wi-Fiスイッチ”をタップして“ON”にする



車内Wi-Fiを使用できます。


### アドバイス

- [ご購入画面へ]にタップすると、Wi-Fiプランの確認、購入ができます。
- [Wi-Fi設定]にタップすると、SSID (使用しているネットワーク)の名称と、通信機器をこのネットワークに接続する際のパスワード変更ができます。
- パスワードには半角英数字が利用できます。




# Honda Total Care サービス更新


Honda Total Careで提供しているサービスは、内容が更新されることがあります。Honda Total Careサービスに更新がある場合、画面上部に表示されるお知らせアイコンから更新を行います。

- 1 現在地画面から  に  
タップする



- 2  Honda Total Careサービスを更新できます  
にタップする

- 3  更新 にタップする

- 4  確認 にタップする



次回エンジンスイッチをアクセサリーまたはONにしたとき、Honda Total Careが更新されます。

LXM-237VFLi | LXM-237VFNi

## 自動地図データ更新サービスについて

Honda Total Care プレミアムでは、最新地図データの配信サービスがあります。最新の地図データでルート案内を利用できます。ご利用には Honda Total Care プレミアムのお申込みが必要です。詳しくは Honda Total Care プレミアムのホームページをご確認ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/>

### アドバイス

- 通信で取得した地図で「オンライン検索」を利用すると、目的地周辺の地図を自動で取得することができます。
- 自動地図更新サービス詳細については Honda Total Care プレミアム自動地図更新サービスのホームページをご確認ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/howto/mapupdate/01/>

### 会員サービスの解約時について



Honda Total Care プレミアムを解約されると、今まで配信された地図データは表示されなくなり、工場出荷時の地図データが表示されます。



#### ① 自動地図データ更新アイコン

Honda Total Care プレミアムにご加入いただいていると表示します。

### お知らせ

- 配信された地図情報が表示されているときは、画面に  (青色) が表示されます。
- 通信できない状況またはダウンロードされていない地図上では、 (灰色) が表示されます。このとき、本機にあらかじめ内蔵されている地図データのみ表示されます。

## 地図データ更新サービス について

### ■ 無償地図更新サービス

Honda Total Careでは、本ナビゲーションをご購入の上、会員登録していただいた場合、本製品内の地図データを無償で3回「2022年度版」「2023年度版」「2024年度版」に更新するサービスを提供いたします。

- ・無償地図更新サービスはHonda販売店（Honda Cars店、ホンダカーズ・ユースレクト（U-Select）店）を通じて提供いたします。
- ・無償地図更新サービスは、2023年・2024年・2025年の各年1回ずつ提供いたします。
- ・無償地図更新サービスは、各年秋頃の提供を予定しております。なお、提供時期につきましては、Honda Total Care会員サイトでご確認ください。

※ 地図更新データの提供時期は予告なく変更となる場合があります。

#### お知らせ

- ・無償地図更新サービスは提供時期を過ぎますとサービスをお受けになれません。
- ・無償地図更新サービスはお受けにならなかった年があっても、サービスの権利を翌年以降に持ち越すことはできません。
- ・地図更新サービスをお受けになるには、
  - ≫ Honda Total Careの会員登録が有効であること
  - ≫ 更新の権利を確認するため、通信接続ができること
 が前提となります。ただし、ナビゲーションシステムからの通信接続ができない場合は、会員サイトまたはMyディーラーに登録されているHonda販売店で更新用のパスワードを発行することが可能です。

### ■ 有償地図更新サービス

有償の地図更新サービスをホンダアクセスから販売予定です。販売時期は2026年秋ごろ、および2027年秋ごろを予定しております。

※ 地図更新データの提供時期は予告なく変更となる場合があります。

#### アドバイス

- ・ **LXU-237NBI** の場合、有償のメディアを本体に差し込むとプログラム更新画面が表示されます。[更新する]にタップすると、バックグラウンドで地図更新を行います。詳しくは、Honda販売店までお問い合わせください。
- ・ バージョンアップ完了後、バージョンの確認を行ってください。  
→「本機の情報を確認する」(P212)

### ■ 地図更新サービスに関するご注意

本サービスをご利用いただくには、Honda Total Careに会員登録していただいていることが原則となります。未登録の方や、中古車で本製品を装着した車両を購入された方は必ずHonda販売店にて会員登録の手続きを行ってください。

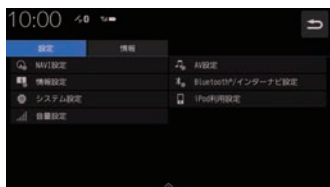
本機をホンダアクセスの指定する車種以外に取り付けた場合は、Honda Total Careのサービスをお受けいただけなくなりますので、ご注意ください。

# 本機の設定

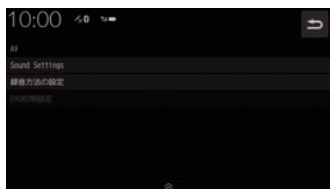
## 設定を変更する

本機の設定を変更します。

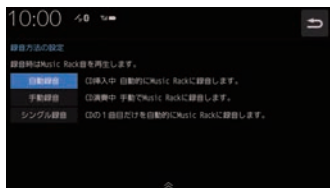
- 1 **HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 変更したい“種別”にタップする



- 4 変更したい“項目”にタップする



- 5 設定を変更する



▼  
設定の変更が完了します。

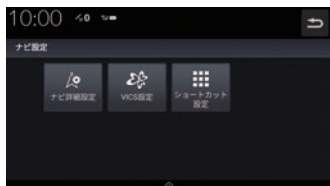
## ■ 設定できる項目について

NAVI設定	ナビゲーション機能に関する各設定が行えます。 →「NAVI設定」(P279)
AV設定	AV機能に関する各設定が行えます。 →「AV設定」(P291)
情報設定	電話やETCに関する設定が行えます。 →「情報設定」(P300)
Bluetooth/ インターナビ設定	Bluetoothやインターナビに関する設定が行えます。 →「Bluetooth/インターナビ設定」(P303)
システム設定	セキュリティ、ハードキー動作、時計などの設定が行えます。 →「システム設定」(P311)
iPod利用設定	iPhoneをiPodとして接続するための説明画面を表示します。 →「iPod利用設定」(P323)
音量設定	案内音声や操作音量、電話の音量などの設定が行えます。 →「音量設定」(P321.)

# NAVI 設定

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME 画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **NAVI 設定** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

## ■ 設定できる項目について

ナビ詳細設定	ナビ機能に関する設定が行えます。また、ナビのデータ削除やシステム初期化も行えます。→「ナビ詳細設定」(P280)
VICS 設定	VICSに関する設定が行えます。→「VICSの設定」(P285)
ショートカット設定	ショートカットメニュー (P40) の設定が行えます。→「ショートカットの設定」(P286)
ETC2.0 設定	別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0に関する設定が行えます。→「ETC2.0の設定」(P286)

## ナビ詳細設定

ナビゲーション機能に関する設定の変更が行えます。項目にタップすると、各設定画面を表示します。



### ■ ルート

ナビ詳細設定画面から[ルート]にタップすると、ルート探索に関する設定の変更が行えます。

設定名	設定値	設定内容
優先するルートタイプ	<b>スマート</b>	時間、料金、ETC割引をバランス良く考慮したルート
	最速	とにかく最短時間で目的地まで到着できるルート
	無料道優先	一般道、無料の高速道路を優先した最短時間ルート
	らくらく	道幅が広めで右左折が少なく走り易い初心者向けルート
	省燃費	燃料消費量が最小でCO <sub>2</sub> 排出量も削減できるルート
	ETC割引	ETC割引を積極的に利用、料金を割安にするルート
車種設定	軽	本機を装着している車種を選択してください。道路料金の計算などに必要な情報となります。
	<b>普通</b>	
季節規制考慮	<b>する</b>	ルート探索時に季節規制を考慮する/しないを設定できます。
	しない	
時間帯規制考慮	<b>する</b>	ルート探索時に時間帯規制を考慮する/しないを設定できます。
	しない	
フェリー航路考慮	する	ルート探索時にフェリー航路を使用する/しないを設定できます。
	<b>しない</b>	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## 「ナビ詳細設定」のつづき

設定名	設定値	設定内容
スマートIC考慮	する	スマートIC(P347)の考慮する/しないを設定できます。
	しない	
ETC料金計算	する	ETC料金の計算する/しないを設定できます。
	しない	
VICS情報考慮	する	VICS情報の考慮する/しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

### アドバイス

- 優先するルートタイプは最大5つまで設定することができます。その中からひとつを選択します。
- 表示されていないルートタイプは[他の探索条件を選ぶ]から選択することができます。

## ■ 案内

ナビ詳細設定画面から[案内]にタップすると、案内に関する設定の変更が行えます。

設定名	設定値	設定内容
行程ガイド表示	する	ルート案内中に行程ガイドの表示する/しないを設定できます。
	しない	
ハイウェイモード表示	する	ハイウェイモードの表示する/しないを設定できます。
	しない	
2画面AUDIO中の案内割込	する	2画面(地図+オーディオ)表示中、案内割込の表示する/しないを設定できます。
	しない	
直線誘導線	する	地図画面で目的地の方向を示す直線の表示する/しないを設定できます。
	しない	
高速道路逆走防止案内	する	高速道路逆走を検知したときに案内する/しないを設定できます。
	しない	
料金所の音声案内	する	料金所に近づいたときに音声案内する/しないを設定できます。
	しない	
合流案内	する	合流地点に近づいたときに案内する/しないを設定できます。
	しない	
ジャスト案内	する	案内地点に近づいたときに案内する/しないを設定できます。
	しない	
ナビ音声案内	する	ナビの音声案内する/しないを設定できます。
	しない	
internavi情報音声案内	する	internavi情報の音声案内する/しないを設定できます。
	しない	
ETCレーン案内	する	地図画面で表示するETCレーンの案内する/しないを設定できます。
	しない	
踏切案内	する	踏切の案内する/しないを設定できます。
	しない	
レーン警告案内	する	レーン警告の案内する/しないを設定できます。
	しない	
ゾーン30案内	する	制限速度30kmゾーンの表示する/しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。



## ■ 地図

ナビ詳細設定画面から[地図]にタップすると、地図の表示に関する設定の変更が行えます。

設定名	設定値	設定内容
アイコンサイズ	大	地図上に表示する施設マークなどのアイコンサイズを設定できます。
	中	
	小	
文字サイズ	大	地図上に表示する文字サイズを設定できます。
	中	
	小	
一方通行表示	する	一方通行の表示する / しないを設定できます。
	しない	
走行軌跡表示	する	地図に表示する走行軌跡について、表示する / しないを設定できます。
	しない	
検索時の地図縮尺	広域	目的地検索結果画面の地図縮尺を設定できます。
	中域	
	詳細	
地図色設定	パターン1	地図色を設定できます。
	パターン2	
	パターン3	
昼夜色設定	昼色固定	地図画面の色が常に明るい色になります。
	夜色固定	地図画面の色が常に暗い色になります。
	時間連動	地図画面の色が時間に連動して切り替わります。
	自動切替	地図画面の色を車両のILL（ヘッドランプおよびポジションランプ）点灯に連動して切り替わります。 ILL ON時：暗い色になります。 ILL OFF時：明るい色になります。
2画面表示 <sup>*1</sup>	地図	地図表示を2画面に変更し、右画面の表示を地図にします。
	AUDIO	地図表示を2画面に変更し、右画面の表示をAUDIOにします。
	しない	地図を1画面で表示します。
地点情報表示	住所名	地点情報（P53）に住所名を表示します。
	道路名	地点情報（P53）に道路名を表示します。
	しない	地点情報（P53）を表示しません。
通行実績情報 マップ表示	する	通行実績情報の表示する / しないを設定できます。
	しない	
自転車位置アイコン		[>]にタップして自転車位置アイコンを変更できます。
3D 地図角度変更		[>]にタップして3D 地図画面の描写角度を選択できます。
駐車場セレクト		[>]にタップして駐車場の選択条件を細かく設定できます。
施設マーク表示		[>]にタップして地図上に表示する施設マークの表示する / しないを設定できます。
現在地修正		[>]にタップして現在地（自車位置）を修正できます。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 「地図」または「AUDIO」設定時に、行程ガイド表示設定「する」を選択した場合は2画面表示設定「しない」に自動で変更します。

## ■ 天気・防災

ナビ詳細設定画面から[天気]にタップすると、気象・防災情報に関する設定の変更が行えます。

設定名	設定値	設定内容
地図上に状態を表示	する	気象情報を地図上に表示する/しないを設定できます。
	しない	
情報の自動更新	する	気象情報を自動更新する/しないを設定できます。
	しない	
更新間隔	30分	気象情報を自動更新する間隔を設定できます。
	60分	
天気・防災・渋滞 割込表示	する	天気・防災・渋滞情報取得時、割込表示する/しないを設定できます。
	しない	
天気音声案内	する	気象情報に音声データがある場合、音声案内する/しないを設定 できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## ■ データ

ナビ詳細設定画面から[データ]にタップすると、ナビデータの削除やシステムの初期化が行えます。

設定名	設定内容
走行軌跡削除	[×]にタップすると走行軌跡を削除できます。
登録地点削除	[×]にタップすると登録地点を削除できます。
目的地履歴削除	[>]にタップすると目的地履歴を一括または選択して削除できます。
自律学習データクリア	[×]にタップすると自律学習データを削除できます。
ユーザーデータ 取り込み・書き出し <sup>※1</sup>	[>]にタップするとSDカードからユーザーデータの取り込み またはSDカードへ書き出しが出来ます。
ナビシステム初期化	[×]にタップするとナビシステムを初期化(工場出荷状態)に できます。

※1 SDカードとパスワードの入力が必要です。

## VICSの設定

VICSに関する設定の変更が行えます。



### ■ FM選局

設定名	設定値	設定内容
FM選局	<b>自動選局</b>	FM VICS局を自動選局または手動で選局できます。

### ■ VICS表示設定

設定名	設定値	設定内容
渋滞線表示	する	地図に渋滞情報を表示します。
	しない	地図に渋滞情報を表示しません。
	<b>点滅</b>	地図に渋滞情報を点滅で表示します。
混雑線表示	<b>する</b>	地図に混雑情報を表示します。
	しない	地図に混雑情報を表示しません。
	点滅	地図に混雑情報を点滅で表示します。
順調線表示	する	地図に渋滞、混雑なし情報を表示します。
	<b>しない</b>	地図に渋滞、混雑なし情報を表示しません。
	点滅	地図に渋滞、混雑なし情報を点滅で表示します。
規制・事象表示	<b>する</b>	地図に規制・事象情報の表示する/しないを設定できます。
	しない	
駐車場情報表示	する	地図に駐車場情報の表示する/しないを設定できます。
	<b>しない</b>	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## ショートカットの設定

ショートカットに表示する機能を変更できます。

→「ショートカットメニューをカスタマイズする」(P41)



## ETC2.0の設定

別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0に関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
ETC2.0受信音	する	情報受信時に音を鳴らす／鳴らさないを設定できます。
	しない	
ETC2.0図形情報割込	する	図形情報の受信時に割り込み表示する／しないを設定できます。
	しない	
ETC2.0文字情報割込	する	文字情報の受信時に割り込み表示する／しないを設定できます。
	しない	
ETC2.0音声自動再生	する	受信した音声情報を自動再生する／しないを設定できます。
	しない	
ETC2.0アップリンク	する	走行情報 <sup>※1</sup> と路側機 <sup>※2</sup> へ自動的に送信する／しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 走行開始地点など、個人情報に関わる情報は送信されません。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

※2 路側機とは、情報を配信するため道路に設置された無線基地局のことです。

## 自車位置の補正

自車位置の確認やセンサー学習情報の消去、現在地の補正が行えます。

### ■ 自律学習データを消去する

車速センサー・ジャイロセンサーは自動学習によりレベルがあがります。タイヤを交換したときなどは車速の学習データを消去し、学習をやり直す必要があります。

#### 1 **HOME** キーを押す

HOME画面を表示します。

#### 2 **設定/情報** にタップする

#### 3 **NAVI設定** にタップする

#### 4 **ナビ詳細設定** にタップする

#### 5 **データ** にタップする

#### 6 「自律学習データクリア」の **X** にタップする



#### 7 **OK** にタップする

自律学習データの消去が完了します。

### 注意

- ・消去したデータの復旧はできません。

## 自車位置精度と自動補正について

- ・センサー学習情報を消去した場合は、見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行うことで車速やジャイロの自動学習を早めることができます。
- ・人工衛星の受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行すると車速自動補正が働き、交差点の右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで、自車位置精度は徐々に向上していきます。

### アドバイス

- ・自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働きやすくなります。

## ■ 現在地を修正する

実際の車の位置と地図に表示されている自車の位置がずれていた場合などに、この操作を行い修正できます。

### アドバイス

- 通常は人工衛星からの情報を元に自動修正しています。

### 1 HOME キーを押す

HOME画面を表示します。

### 2 設定/情報 にタップする

### 3 NAVI設定 にタップする

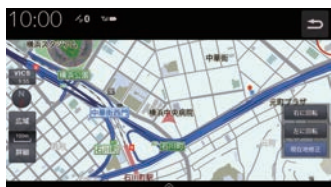
### 4 ナビ詳細設定 にタップする

### 5 地図 にタップする

### 6 「現在地修正」の > にタップする



### 7 地図スクロールして“実際の車の位置”に ▲ マークを合わせる



### 8 右に回転 または 左に回転 にタップして自車の向きを合わせる



### 9 現在地修正 にタップする

▼  
現在地の修正が完了します。

# NAVI情報

ナビゲーション情報の確認や各設定が行えます。

## 1 HOME キーを押す

HOME画面を表示します。

## 2 ナビメニュー にタップする

現在地画面の[メニュー]にタップしても表示できます。

## 3 情報 にタップする

## 4 確認したい“項目”にタップする



タップした項目の情報画面を表示します。

### 確認できる項目について

VICS	VICSメニューを表示します。 →「VICSメニュー」(P289)
測位情報	受信している衛星の状態を表示します。 →「測位情報」(P289)
図形情報	インターナビ図形情報を表示します。 →「インターナビ図形情報」(P289)
ドライブレコーダー情報	ドライブレコーダーの画面表示や設定が行えます。 →「ドライブレコーダー情報」(P290)
NaviCon 友達マップ	友達マップを表示します。 →「NaviCon友達マップ」(P290)
バージョン情報	ナビゲーションのソフトウェアバージョン、地図情報などを表示します。 →「バージョン情報」(P290)

## VICSメニュー



文字情報	文字情報を表示します。 →「VICS情報のレベル」(P91)
図形情報	図形情報を表示します。 →「VICS情報のレベル」(P91)
緊急情報	緊急情報を表示します。 →「緊急情報の割り込み表示」(P98)
受信履歴	受信履歴を表示します。

## 測位情報

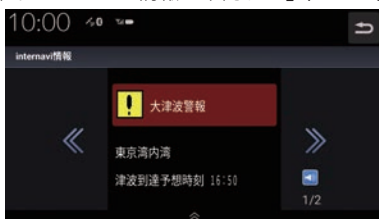
受信している衛星の状態を表示します。



## インターナビ図形情報

インターナビの図形情報を表示します。

→「インターナビ情報を確認する」(P263)



## ■ ドライブレコーダー情報

ドライブレコーダー情報の確認と設定が行えます。



再生	ドライブレコーダーの動画/静止画を再生します。 →「録画した動画/静止画を確認する」(P240、P247)
カメラモニター	前方、後方、車内の映像を選択して表示します。
設定	ドライブレコーダーの設定が行えます。 →「ドライブレコーダーの設定」(P324)
SDカード取り出し	ドライブレコーダーのmicroSDカードを取り出します。 →「microSDカードを取り出す」(P244、P251)

## ■ バージョン情報

ナビゲーションのソフトウェアバージョン、地図情報などを表示します。



## ■ NaviCon 友達マップ

友達マップのON/OFFや全体表示ができます。

→「友達マップを表示する」(P78)

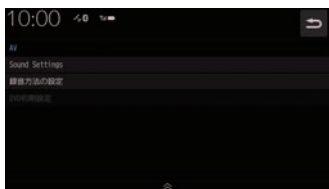




# AV 設定

AV 機能に関する各設定を変更します。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME 画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **AV 設定** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

## ■ 設定できる項目について

Sound Settings	音質に関する設定の変更ができません。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292)
録音方法の設定	CD の録音に関する設定の変更ができません。 →「音楽 CD の録音方法を変更する」(P295)
DVD 初期設定	DVD の初期設定の変更ができません。→「DVD ビデオの初期設定」(P296)

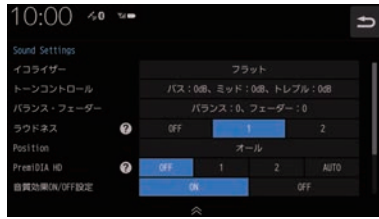
## お知らせ

- **LXU-237NBI** の車種専用機種では、運転者に最適なサウンドセッティングを行っております。<sup>※1</sup>
- 音量の前後バランスは、バランス・フェーダーで調整可能です。  
調整方法は「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P292) を参照してください。
- ハイグレードスピーカーとの組み合わせで車種専用音響チューニング「tuned by DIATONE SOUND」を利用できます。  
tuned by DIATONE SOUND では、広大で奥行きのある立体的なサウンドステージを車両前方に創出し情報量豊かで臨場感・開放感を感じるサウンドをお楽しみ頂けます。
- アイドリングストップ中は消費電流を抑えるため Sound Settings の機能が変更できなくなります。また、Sound Settings の変更もできません。  
走行を開始し、しばらくすると元の Sound Settings の設定に戻ります。

※1 走行状況、再生音源、車両のスピーカー位置によっては後席の音量が小さく感じる場合があります。  
N-BOX では、後席の前後位置、乗車人数やチャイルドシート設置有無によって、後席の音量が小さく感じる場合があります。

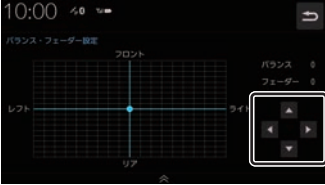
## 音質の設定を変更する (Sound Settings)

音質に関する設定の変更が行えます。




### アドバイス

- ? にタップすると、設定内容を確認できます。

設定名	設定値	設定内容
イコライザー	ポップス	「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、20バンドの周波数に対しての調整が行えます。(→P294)
	ロック	
	ジャズ	
	R & B	
	フラット	
	カスタム1	イコライザー調整画面で登録したイコライザー設定を呼び出します。
	カスタム2	
調整	イコライザー調整画面に切り換わります。調整後、[カスタム1]または[カスタム2]に登録できます。	
トーンコントロール	バス： -12 ~ 0 ~ +12dB	低音域 (100Hz を中心に) や高音域 (10kHz を中心に) の音量を強調 / 減衰させることができます。 
	ミッド： -9 ~ 0 ~ +9dB	
	トレブル： -12 ~ 0 ~ +12dB	
バランス・フェーダー	バランス： 1 ~ 9 (左側) 0 1 ~ 9 (右側)	各スピーカーから出力する左右・前後のレベルをカーソルボタンまたは直接タップして調節できます。 
	フェーダー： 1 ~ 9 (フロント) 0 1 ~ 9 (リア)	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

設定名	設定値	設定内容
ラウドネス	OFF	小音量時に不足しがちな低音・高音を増幅できます。
	1	
	2	
Position	オール	最適な音を聴くシートを変更します。 
	フロント	
	フロントL	
	フロントR	
PremiDIA HD	OFF	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声を持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節できます。
	1	
	2	
	AUTO	
音質効果 ON/OFF 設定	ON	音質調整を行う前と後を比較したいときに使用します。[OFF]にすると音質調整内容を一時的に無効にします。(調整した内容が消えることはありません。) このとき、一部の音質設定項目は選択できないようになります。「バランス・フェーダー」、「リア席モニターサウンド自動切替」は選択できます。
	OFF	
音質設定の初期化	音質設定を初期化する	Sound Settingsの設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。オーディオ機能がOFFの状態(P105)で行ってください。
PremiDIA WIDE	OFF	すべての音源について、左右の広がりとお行きを付加します。
	1	
	2	
サラウンド	NORMAL	広いホールやステージ、ライブハウスにいるような音響効果を加えます。 NORMALはOFFの状態です。
	HALL	
	STAGE	
	LIVE	
音響パラメータ ON/OFF 設定 <sup>※1</sup>	ON	車種別専用パラメータを設定している場合に ON/OFF の設定ができます。ONにした場合、Sound Settings 画面や AV 画面の上部に「tuned by DIATONE SOUND」のロゴが表示されます。
	OFF	
リア席モニター サウンド自動切替	ON	リア席モニター装着状態の専用チューニングを設定しており、リア席モニター用の音質に自動で切り替えます。
	OFF	

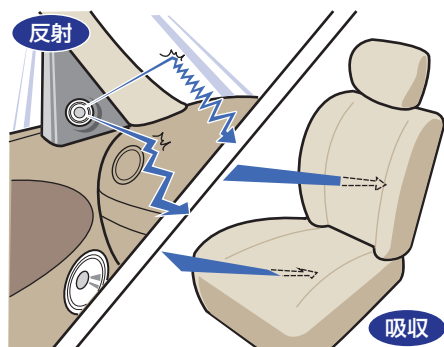
※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 車種別専用パラメータを設定していない場合は表示しません。

## イコライザー設定

「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、音響特性の乱れやくせを調整します。

### イコライザー調整について



ガラスやダッシュボード、シートなどの影響で車の中は、音の反射や吸収が複雑に入り交じり音響特性が乱れがちです。



そんな乱れた音響特性をイコライザー調整することで補正できます。その結果、本機やスピーカーが本来持っているクオリティーをさらに引き出すことができます。

## ■ ジャンルを選ぶ

1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする

2 好みの“ジャンル”にタップする



イコライザーの選択が完了します。

## ■ イコライザーを調整する

本調整はフロントスピーカーとリアスピーカーを同時に調整します。

1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする

2 調整のためのベースにしたい“ジャンル”にタップする

3 **調整** にタップする

4 カーソルボタンで各周波数のレベルを調整する



5 **カスタム 1 に登録** または、**カスタム 2 に登録** にタップする

[カスタム 1]または、[カスタム 2]に調整したイコライザー情報を登録します。

### アドバイス

- 手順4で画面にタップすることでも直接変更できます。
- 手順5で[カスタム〇に登録]を行わず、**戻る**にタップした場合、変更内容は破棄されます。

## 音楽CDの録音方法を変更する

自動録音や手動録音などの録音方法を変更できます。

### お知らせ

- 録音中にこの操作を行うと、現在の録音を停止します。

### 1 HOME キーを押す

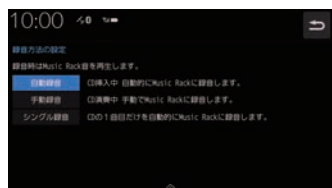
HOME 画面を表示します。

### 2 [設定/情報] にタップする

### 3 [AV設定] にタップする

### 4 [録音方法の設定] にタップする

### 5 変更したい“録音方法” にタップする



録音方法の変更が完了します。

### アドバイス

- 音楽CDの再生情報画面で[録音設定]にタップしても、録音方法の変更が行えます。

## ■ 自動録音について

工場出荷時の設定で、音楽CDを本機に挿入し、[録音する]にタップすることで録音する設定です。

### お知らせ

- 録音中に録音済みの曲を選ぶと、現在の録音は継続したまま選んだ曲の再生を開始します。
- 録音中に録音していない曲を選ぶと、現在の録音を停止し選んだ曲の録音と再生(追いかけて再生)を開始します。
- [録音しない]にタップした場合は、[REC●]→[開始する](P153)にタップすることで録音できます。

## ■ 手動録音について

再生中の音楽CDの曲を[REC●](P153)にタップすることで録音する設定です。

### お知らせ

- 録音中に別の曲を選ぶと現在の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。

## ■ シングル録音について

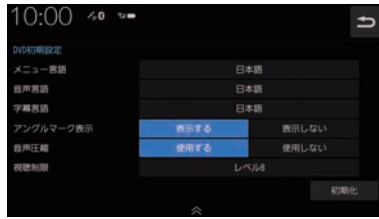
音楽CDを本機に挿入し、[録音する]にタップすることで1曲目だけを録音する設定です。

### お知らせ

- [録音しない]にタップした場合、1曲目再生中に[REC●]→[開始する](P153)にタップすることで録音できます。
- 録音中に別の曲を選ぶと1曲目の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。再度1曲目の録音を開始するには、1曲目再生中に[REC●]→[開始する](P153)にタップします。
- この設定のとき、1曲目以外の曲を再生中に[REC●](P153)にタップしても録音はできません。

## DVD ビデオの初期設定

字幕や音声言語、視聴制限などの変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
メニュー言語		ディスクに記録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語が設定できます。(工場出荷時は、 <b>【日本語】</b> )
音声言語		ディスクに記録されている音声について、優先してききたい言語の設定ができます。 (工場出荷時は、 <b>【日本語】</b> )
字幕言語		ディスクに記録されている字幕について、優先して表示させたい言語の設定ができます。 (工場出荷時は、 <b>【日本語】</b> )
アングルマーク表示	<b>表示する</b>	複数のアングルが収録されている場面を再生しているときにアングルマークを表示する/しないの設定ができます。
	表示しない	
音声圧縮	<b>使用する</b>	ダイナミックレンジ圧縮を使用する/しないを設定できます。 <b>ダイナミックレンジ圧縮とは</b> DVDビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御(ダイナミックレンジコントロール)し、小さな音でも聴きやすくする機能です。音声圧縮の効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声です。
	使用しない	
視聴制限		視聴制限のパスワードとレベルの設定ができます。→「 <b>視聴制限のレベルを設定する</b> 」(P297) (工場出荷時は、 <b>【レベル8】</b> )
初期化		DVDビデオの初期設定内容を工場出荷時の状態に戻します。ただし、視聴制限の設定内容は、工場出荷時の状態には戻りません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## ■ 視聴制限のレベルを設定する

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場合に視聴制限をかけることができます。(パレンタルロック)

### お知らせ

- 最初にご使用になるときはパスワードを設定してください。視聴制限はパスワードが設定されないと操作できません。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルはディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

### 1 DVDの初期設定画面を表示する (→P296)

### 2 「視聴制限」の [レベル〇] に タップする

### 3 任意の“4桁のパスワード”を入力し、 [決定] にタップする



### 4 確認のため再度、“4桁のパスワード” を入力し、[決定] にタップする

### 5 “レベル”の [1] ~ [8] に タップし、[決定] にタップする



レベル1	子供向けディスクのみ再生します。
レベル2～7	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル8	ディスクをすべて再生します。

視聴制限レベルの設定が完了します。

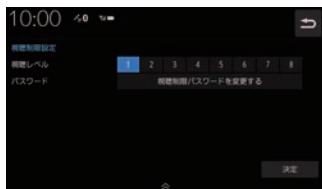
### レベルを変更する

### 1 DVDの初期設定画面を表示する (→P296)

### 2 「視聴制限」の [レベル〇] に タップする

### 3 設定した“パスワード”を入力し、 [決定] にタップする

### 4 “レベル”の [1] ~ [8] に タップし、[決定] にタップする



視聴制限レベルの変更が完了します。

## パスワードを変更する

- 1 DVDの初期設定画面を表示する  
(→P296)
- 2 「視聴制限」の **レベル○** に  
タップする
- 3 設定した“パスワード”を入力し、  
**決定** にタップする
- 4 **視聴制限パスワードを変更する** に  
タップする
- 5 “現在のパスワード”を入力し、  
**決定** にタップする
- 6 “新しいパスワード”を入力し、  
**決定** にタップする
- 7 確認のため再度、“パスワード”を  
入力し、**決定** にタップする

パスワードの変更が完了します。

### お知らせ

- パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて設定し直してください。
- クリアするには、パスワード入力画面(文字未入力の状態)で[消去]に5回連続でタップします。

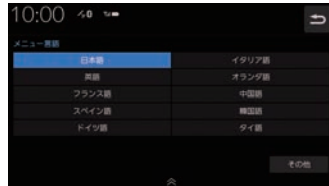
## 優先させる言語を変更する

ディスクに記録されている言語(メニュー言語、音声言語、字幕言語)について、優先させたい言語の設定を行います。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** → **AV設定** に  
タップする
- 3 **DVD初期設定** にタップする
- 4 変更したい **○○語** にタップする



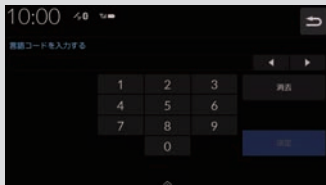
- 5 変更したい“言語”にタップする



優先させる言語の変更が完了します。

### アドバイス

- [その他]にタップすると手順5の画面にない言語を設定できます。



「言語コード一覧表」(P299)のコードを入力し、**決定**にタップします。



## 言語コード一覧表

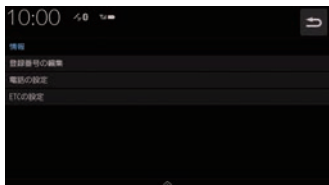
下記のコードは本機でのみ有効です。

コード	言語	コード	言語	コード	言語
6565	アフガル語	7375	イヌビア語	8372	セルボクロアチア語
6566	アブバジア語	7383	アイスランド語	8373	シンハラ語
6570	アフリカーンス語	7384	イタリア語	8375	スロバキア語
6577	アムハラ語	7465	日本語	8376	スロベニア語
6582	アラビア語	7487	ジャワ語	8377	サモア語
6583	アッサム語	7565	グルジア語	8378	ショナ語
6589	アイマラ語	7575	カザフ語	8379	ソマリア語
6590	アゼルバイジャン語	7576	グリーンランド語	8381	アルバニア語
6665	バキシル語	7577	カンボジア語	8382	セルビア語
6669	白ロシア語	7578	カナダ語	8383	シスワティ語
6671	ブルガリア語	7579	韓国語	8384	セストゥ語
6672	ビハリー語	7583	カシミール語	8385	スندا語
6673	ビスラマ語	7585	クルド語	8386	スウェーデン語
6678	ベンガル語	7589	キルギス語	8387	スワヒリ語
6679	チベット語	7665	ラテン語	8465	タミル語
6682	ブルトン語	7678	リンガラ語	8469	テルグ語
6765	カタロニア語	7679	ラオス語	8471	タジク語
6779	コルシカ語	7684	リトアニア語	8472	タイ語
6783	チェコ語	7686	ラトビア語	8473	ティグリニャ語
6789	ウエルシュ語	7771	マダガスカル語	8475	トゥルクメン語
6865	デンマーク語	7773	マオリ語	8476	タガログ語
6869	ドイツ語	7775	マケドニア語	8478	セツワナ語
6890	ブータン語	7776	マラヤーラム語	8479	トンガ語
6976	ギリシア語	7778	モンゴル語	8482	トルコ語
6978	英語	7779	モルダビア語	8483	ツォンガ語
6979	エスペラント語	7782	マラータ語	8484	タタール語
6983	スペイン語	7783	マレー語	8487	トウィ語
6984	エストニア語	7784	マルタ語	8575	ウクライナ語
6985	バスク語	7789	ビルマ語	8582	ウルドゥー語
7065	ベルシャ語	7865	ナウル語	8590	ウズベク語
7073	フィンランド語	7869	ネパール語	8673	ベトナム語
7074	フィジー語	7876	オランダ語	8679	ヴォラピュック語
7079	フェロー語	7879	ノルウェー語	8779	ウオロフ語
7082	フランス語	7967	オキタン語	8872	コーサ語
7089	フリジア語	7977	オロモ語	8973	イディッシュ語
7165	アイルランド語	7982	オリヤー語	8979	ヨルバ語
7168	スコットランドゲール語	8065	パンジャブ語	9072	中国語
7176	ガルシア語	8076	ポーランド語	9085	ズルー語
7178	グアラニー語	8083	パシュトー語		
7185	グジャラーダ語	8084	ポルトガル語		
7265	ハウサ語	8185	ケチュア語		
7269	ヘブライ語	8277	レトロアンス語		
7273	ヒンディー語	8278	キルンディ語		
7282	クロアチア語	8279	ルーマニア語		
7285	ハンガリー語	8285	ロシア語		
7289	アルメニア語	8287	キヤーワンダ語		
7365	国際語	8365	サンスクリット語		
7368	インドネシア語	8368	シンド語		
7369	インターリング	8371	サンゴ語		

## 情報設定

電話やETC、カメラなどに関する設定が行えます。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **情報設定** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

### ■ 設定できる項目について

登録番号の編集	登録番号の編集、消去が行えます。このボタンをタップした後の操作は、「よくかける電話番号を編集する」(P216)の手順3以降と同様に行います。
電話の設定	自動着信の設定が行えます。 →「電話の設定」(P301)
ETCの設定	別売のETC車載器またはETC2.0車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。 →「ETCの設定」(P302)

## 電話の設定

自動着信の設定が行えます。



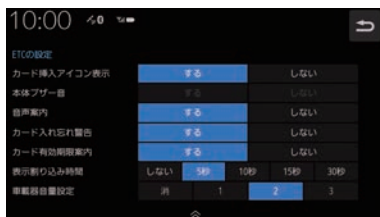
設定名	設定値	設定内容
自動着信設定 <sup>※1</sup>	自動着信する	[自動着信する]に設定すると、かかってきた電話を自動的に受けることができるようになります。
	自動着信しない	[自動着信する]にタップした後、自動着信するまでの応答時間(1～30秒)を設定する必要があります。 (工場出荷時は <b>[5]</b> 秒)
電話同期設定 <sup>※2</sup>	同期する	Bluetoothで接続されたとき、携帯電話の電話帳や履歴を同期する/しないを設定できます。
	同期しない	
履歴表示設定 <sup>※2</sup>	表示する	Bluetoothで接続されたとき、携帯電話の履歴を表示する/しないを設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

- ※1 自動着信するまでの応答時間は、本機で設定している時間より携帯電話側で設定している時間の方が短い場合は、携帯電話側の設定が優先されます。
- ※2 PBAP 対応の携帯電話を接続した場合は「電話同期設定」、PBAP 非対応の携帯電話を接続した場合は「履歴表示設定」を表示します。

## ETCの設定

別売のETC車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
カード挿入アイコン表示	する	ETCカード挿入アイコンの表示する/しないを設定できます。
	しない	
本体ブザー音 <sup>※1</sup>	する	ETCカードを挿入したときや、ETCゲート通過時などにETC車載器のブザーを鳴らす/鳴らさないを設定できます。
	しない	
音声案内	する	支払料金などETC車載器からの情報を案内する/しないを設定できます。
	しない	
カード入れ忘れ警告	する	ETCカードが挿入されていない場合、音声とメッセージ画面でお知らせする/しないを設定できます。
	しない	
カード有効期限案内	する	ETCカードの有効期限が2ヶ月以下の場合、音声とメッセージ画面でお知らせする/しないを設定できます。
	しない	
表示割り込み時間	しない	ETC関連のお知らせ表示時間を設定できます。 [しない]に設定すると、割り込み表示しません。
	5～30秒	
車載器音量設定 <sup>※2</sup>	消、1、2、3	ETC車載器の音量を設定できます。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 接続しているETC車載器がディーラーオプションの場合のみ設定可能です。

※2 音量設定に対応したETC2.0車載器の場合のみ設定可能です。

※3 [消]に設定しても、優先度の高い音声は[2]で出力されます。

# Bluetooth/ インターナビ設定

インターナビやBluetoothに関する設定が行えます。

## Bluetoothの設定

市販されているBluetooth機器をBluetooth機能を使って本機に接続できます。

### Bluetooth (ブルートゥース) とは

Bluetoothは近距離 (数メートル以内) での機器接続に特化した無線通信規格です。電波を使用しているため指向性を持ちません。その特性により遮蔽物があっても通信可能となり、たとえば胸ポケットやカバンの中に携帯電話を入れたままで接続するような使い方が可能になります。

#### お知らせ

- 本機は Ver.4.20 + EDR に対応しています。

### 対応プロファイル

Bluetooth Audio	A2DP (v1.3以下) AVRCP (v1.6以下)
ハンズフリー	HFP (v1.6以下)
電話帳転送	PBAP (v1.2以下)
シリアル通信	SPP (v1.2以下)

#### お知らせ

- 本機はBluetoothレシーバーを内蔵しています。
- ご利用のBluetooth機器の取扱説明書に従って操作してください。
- 接続中にBluetooth機器での操作 (受話操作など) を行うと正しく動作しない場合があります。
- 登録に失敗することがあります。再度、登録してください。

#### お知らせ

- 本機とBluetooth機器の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては通信速度が落ちる場合や登録できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置にBluetooth機器を置いてください。
- Bluetooth対応機器であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- 最新の接続確認結果については、弊社ホームページをご覧ください。
- Bluetooth機器は、最大6台まで登録できます。
- Bluetooth Audioで使用するプロファイルは、AUDIOソースがBluetooth Audioのときのみ接続されます。
- Apple CarPlay、Android Autoを利用中は、下記のBluetooth機能が制限されます。
  - Bluetooth機器の登録、設定変更ができません。
  - ハンズフリー接続中にApple CarPlayを利用すると、ハンズフリー (HFP) 接続は解除されます。
  - ハンズフリー接続中にAndroid Autoを利用すると、接続中のAndroid Auto端末とハンズフリー (HFP) 接続され、他の機器のハンズフリー (HFP) 接続は解除されます。
  - Bluetoothで接続をしたiPhoneまたはAndroid端末でApple CarPlayまたはAndroid Autoを利用すると、Bluetooth Audioは解除されます。

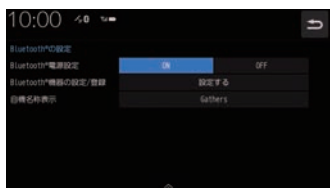
#### アドバイス

- Bluetooth機器を登録する方法は2通りあります。[カーナビから検索]にタップした場合は、「接続可能なBluetooth機器を検索して登録する」(P304)をご覧ください。[Bluetooth機器から検索]にタップした場合は、「Bluetooth機器から検索して登録する」(P305)をご覧ください。

## ■ 設定画面の表示

Bluetoothの設定画面を表示します。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **Bluetooth®/インターナビ設定** に  
タップする
- 4 **Bluetooth® の設定** にタップする



Bluetoothの設定画面を表示します。

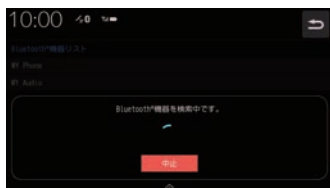
## ■ 接続可能なBluetooth機器を検索して登録する

本機側から接続可能なBluetooth機器を検索して、Bluetooth機器を本機に登録します。

### アドバイス

- Bluetooth機器によっては、あらかじめBluetooth機器を検索可能な状態に設定しておく必要があります。設定方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。

- 1 接続したいBluetooth機器のBluetooth機能をONにする
- 2 Bluetoothの設定画面 (P304) を表示中、**ON** にタップする  
本機のBluetooth機能が使用可能な状態になります。
- 3 「Bluetooth機器の設定/登録」の**設定する** にタップする
- 4 **カーナビから検索** にタップする



本機に接続可能なBluetooth機器が表示されます。

デバイス名称が不明の場合は、

”Bluetooth Device”が表示されます。

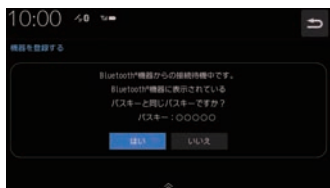
また、登録後のデバイス名称は変更することができます。

→「Bluetooth機器を選択する/名称を変更する」(P306)

- 5 接続したい“機器名”にタップする

6 **登録する** にタップする

以降の操作は、お使いのBluetooth機器によって異なります。

7 **パスキーの確認を行う**

Bluetooth機器に表示されているパスキーと本機の画面に表示されているパスキーが同じであれば[はい]にタップします。

※パスキーがもし違う場合は、Bluetooth機器側の操作をやり直してください。

接続が完了すると、画面上部にBluetoothと電波強度のアイコンが表示されます。

**アドバイス**

- 登録後、機器の名称を変更できます。
- 登録が完了すると次回以降自動で接続します。自動接続したくない場合は、Bluetoothの設定画面(P304)の「Bluetooth電源設定」を[OFF]にしてください。

## ■ Bluetooth機器から検索して登録する

Bluetooth機器側から本機を検索して、Bluetooth機器を本機に登録します。

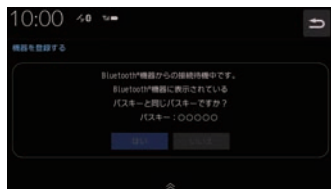
## 1 接続したいBluetooth機器のBluetooth機能をONにする

2 Bluetoothの設定画面(P304)を表示中、**ON** にタップする

本機のBluetooth機能が使用可能な状態になります。

3 「Bluetooth機器の設定/登録」の**設定する** にタップする4 **Bluetooth®機器から検索** にタップする

## 5 Bluetooth機器から本機を選択する



以降の操作は、「接続可能なBluetooth機器を検索して登録する」(P304)の手順7以降と同様に行います。

## 状態アイコンについて

<b>登録済</b>	本機に登録されているBluetooth機器を示します。
<b>接続済</b>	本機に登録されているBluetooth機器が接続されている状態を示します。

**アドバイス**

- 登録が完了すると次回以降自動で接続します。自動接続したくない場合は、Bluetoothの設定画面(P304)の「Bluetooth電源設定」を[OFF]にしてください。

## ■ Bluetooth機器を選択する / 名称を変更する

複数台のBluetooth機器を登録した場合、接続するBluetooth機器を選択する必要があります。(以降は本機能で設定したBluetooth機器を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。)

### 1 Bluetoothの設定画面 (P304) を表示中、**ON** にタップする

### 2 「Bluetooth機器の設定 / 登録」の **設定する** にタップする

### 3 接続したい“機器名”にタップする



### 4 **電話機接続** または **オーディオ接続** にタップする “機種名”の名称を変更する場合は「機器名称」の横の“機種名”のボタンにタップする



接続したいBluetooth機器を電話用に使用する場合は[電話機接続]に、Bluetooth Audio用に使用する場合はAUDIOメニューから[BTA]を選択し、AudioをONの状態にしてから[オーディオ接続]を選択します。

### 5 **決定** にタップする



Bluetooth機器の選択が完了します。

## アドバイス



- 本機の起動時に、前回接続していたBluetooth機器がない場合は他の登録済み機器に対する自動接続を行います。この接続処理中は画面上でのBluetooth機器選択ができません。
- 電話、Bluetooth Audio両方に対応したBluetooth機器の場合は、選択を1台にできます。
- Bluetooth Audio機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。

- 電話機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。

- シリアル通信機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

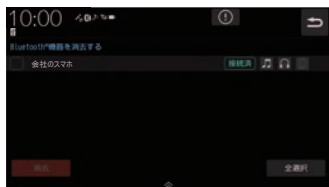
	接続中を示します。
	非接続中を示します。



## Bluetooth機器を消去する

登録されているBluetooth機器を消去します。

- 1 「Bluetooth機器の設定 / 登録」の **設定する** にタップする
- 2 **消去** にタップする
- 3 消去したい機器名の“チェックボックス”にタップし、選択する



### アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての機器名を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。
- チェックボックス以外のリスト部分にタップすると、1件だけ消去することができます。

- 4 **消去** にタップする

- 5 **消去する** にタップする

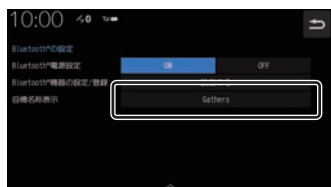
▼  
選択した機器の消去が完了します。

## 本機の名称を変更する

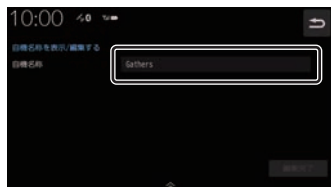
本機の機器名を変更できます。

- 1 Bluetoothの設定画面 (P304) を表示する

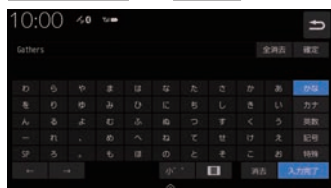
- 2 「自機名称表示」の“名称”にタップする



- 3 「自機名称」の“名称”にタップする



- 4 任意の“機器名称”を入力し、**入力完了** → **確定** にタップする



→「文字入力のしかた」(P32)

### アドバイス

- 機器名称は全角半角合わせて20文字まで入力できます。

- 5 **編集完了** にタップする

▼  
機器名称の変更が完了します。

## インターナビの設定

インターナビ機能に関する各設定を変更します。

### ■ 設定画面の表示

インターナビの設定画面を表示します。

- 1 **HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **Bluetooth®/インターナビ設定** に  
タップする
- 4 **インターナビの設定** にタップする



インターナビの設定画面を表示します。

## ■ 設定できる項目について



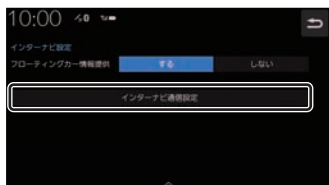
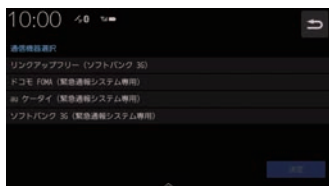
設定名	設定値	設定内容
フローティングカー 情報提供	<b>する</b>	フローティングカー情報の送信および取得のする/しないを設定できます。
	しない	
給油通知 <sup>*1</sup>	<b>する</b>	給油通知のする/しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 LXM-237VFLi、LXM-237VFNi のみの機能です。

**■ インターナビの通信設定をする**

インターナビ通信を行うための通信機器を設定します。

**1 インターナビの設定画面を表示する (→P308)****2 インターナビ通信設定にタップする****3 リストから“通信機器”を選択し、  
決定にタップする**

▼  
インターネットナビ通信設定が完了します。

# システム設定

セキュリティの設定や別売カメラの設定などが行えます。

- HOME** キーを押す  
HOME画面を表示します。
- 設定/情報** にタップする
- システム設定** にタップする
- 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。


## ■ 設定できる項目について

セキュリティの設定	盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。 →「 <a href="#">セキュリティの設定</a> 」(P312) また、セキュリティインジケータを点滅させることができます。
ハードキー動作の設定	オプションボタンとステアリングリモコンの動作設定が行えます。 →「 <a href="#">ハードキー動作の設定</a> 」(P313)
時計の設定	時計表示の設定が行えます。 →「 <a href="#">時計の設定</a> 」(P315)
起動画面変更	本システム起動時のオープニング画面の設定が行えます。 →「 <a href="#">オープニング画面を変更する</a> 」(P21)
リアカメラの設定	リアカメラに関する設定が行えます。 →「 <a href="#">リアカメラの設定</a> 」(P316)
フロントカメラの設定	フロントカメラに関する設定が行えます。 →「 <a href="#">フロントカメラの設定</a> 」(P318)
マルチビューカメラの設定	マルチビューカメラに関する設定が行えます。 →「 <a href="#">マルチビューカメラの設定</a> 」(P319)
パーキングセンサーの設定	パーキングセンサー割り込み表示する/しないの設定が行えます。 →「 <a href="#">パーキングセンサー表示設定</a> 」(P317)
システム情報	認証情報、バージョン情報、ライセンス情報などを表示します。
ユーザーセットアップ	最初に設定しておきたい下記の設定メニューを順番に表示します。 「 <a href="#">自宅登録</a> 」、「 <a href="#">Bluetoothの設定</a> 」、「 <a href="#">地図表示/文字サイズ設定</a> 」、「 <a href="#">音量設定</a> 」、「 <a href="#">オプションボタン動作の設定</a> 」、「 <a href="#">パネルOPEN/CLOSEの操作方法</a> 」
メモリ初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻します。 →「 <a href="#">メモリ初期化</a> 」(P320)
販売店ダイアグ	販売店専用のダイアグメニューです。 販売店以外での設定変更は行わないでください。

## セキュリティの設定

盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。




設定名	設定値	設定内容
セキュリティ設定	<b>使用する</b>	セキュリティコードの入力を使用する/しないを設定できます。車両点検などバッテリーを外した後に起動すると表示されます。→「セキュリティコード入力画面」(P20)
	使用しない	
セキュリティインジケータ	<b>使用する</b>	本機の電源をOFFにしたときに、  を点滅させるかさせないかの設定ができます。→「モニターパネルについて」(P15)
	使用しない	本機能を有効にするには、「セキュリティ設定」を[使用する]にしておく必要があります。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## ハードキー動作の設定

オプションボタンとステアリングリモコンの動作設定が行えます。



設定名	設定内容
オプションボタン動作の設定	 キーによく使う機能を1つ選んで設定できます。 →「オプションボタンを設定する」(P40)
ステアリングリモコン動作の設定	車両のステアリングリモコンについて、各ボタンの機能それぞれを設定できます。 →「ステアリングリモコン動作の設定」(P313)

## ■ ステアリングリモコン動作の設定

1 **HOME** キーを押し、**設定/情報** にタップする

2 **システム設定** →  
**ハードキー動作の設定** にタップする

3 **ステアリングリモコン動作の設定** に  
タップする

ステアリングリモコン設定画面を表示します。

4 **確認** にタップする

5 設定するステアリングリモコン  
キーを長押しする



6 候補一覧から“設定したい機能”  
にタップする



7 **完了** にタップする

ステアリングリモコンの設定が完了します。

### アドバイス

- ステアリングリモコンキーを押すと、押したキーに該当する項目が青く表示されます。押しても青く表示されない項目は設定できません。
- 本機の画面表示は、実際のステアリングリモコンキーの数やボタンのイラストと異なる場合があります。

## 各ボタンに設定できる機能

ボタンによって設定できる機能が限られる場合があります。また、ボタンに設定した機能が動作するために、Bluetooth 接続など後席会話サポート機能を使う準備が必要な場合があります。

POWER ON/OFF	オーディオ機能のON/OFFをします。
VOL +	オーディオ機能の音量を調節できます。
VOL -	
CH +	次の曲/ファイルにスキップします。長押しすると次のフォルダーの曲を再生します。
CH -	前の曲/ファイルにスキップします。長押しすると前のフォルダーの曲を再生します。
SOURCE +	再生中のAUDIOソースを別のソースに切り換えます。
SOURCE -	[SOURCE -]は[SOURCE+]と逆の順序でソースを切り換えます。
ミュート	オーディオ音量を消音/消音解除します。
現在地	現在地の地図を表示します。Apple CarPlay/Android Auto/ Navi アプリの地図を表示します。
拡大	地図を拡大します。
縮小	地図を縮小します。
案内開始/中止	現在地の地図画面のとき、ルート案内の開始/中止をします。
自宅へ戻る	現在地の地図画面のとき、自宅を目的地にしてルート探索をします。
リダイヤル	リダイヤル発信確認画面を表示します。[はい]にタップして前回電話をかけた番号にリダイヤルします。
音声認識	Apple CarPlayのSiriまたはAndroid AutoのGoogleアシスタントを起動します。
オンフック	ハンズフリー、Apple CarPlayまたはAndroid Autoで通話中の電話を切りめます。 上記以外で  の操作が可能な画面では、1つ前の画面に戻ります。

オフフック	ハンズフリー電話の場合： *よくかける電話番号 (P218) から電話発信します。 長押しするとリダイヤル発信確認画面を表示します。[はい]にタップして前回電話をかけた番号にリダイヤルします。 Apple CarPlayの電話の場合： 着信中のとき電話に出ます。 Android Autoの電話の場合： 着信中のとき電話に出ます。
昼夜切換	画面の明るさを昼用/夜用に切り換えます。
画面消し	画面を消し黒画面にします。
N/A 画面切換	地図画面/Apple CarPlay画面/Android Auto画面/オーディオ画面を切り換えます。 ※場合によっては切り換わらない場合があります。
オプションボタンと同機能	オプションボタンの設定 (P40) で設定した機能を動作させます。
フロントカメラ切換	フロントカメラを接続している場合、接続しているカメラの映像に切り換えます。
マルチビューカメラ切換	マルチビューカメラを接続している場合、マルチビューカメラの映像に切り換えます。
ドライブレコーダー録画	ドライブレコーダーの手動録画を開始/延長します。 (ナビ連動タイプ:DRH-204VDの場合)
ドライブレコーダー録画	ドライブレコーダーの手動録画を開始します。 (ナビ連動タイプ:DRH-229NDの場合)
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画撮影をします。
後席会話開始/停止	後席会話サポート機能の開始/停止をします。
割り当てなし	どの機能も設定しない場合は[割り当てなし]を選んでください。



## 時計の設定

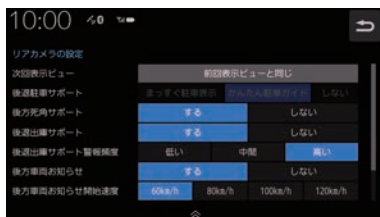


設定名	設定値	設定内容
時計表示	<b>する</b>	時計の表示する / しないを設定できます。
	しない	
時報	<b>鳴らす</b>	時報を鳴らす / 鳴らさないを設定できます。
	鳴らさない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## リアカメラの設定

リアカメラの種類によって、設定項目が変わります。



設定名	設定値	設定内容
次回表示ビュー		次回表示したときに表示されるビューを設定できます。 →「リアカメラの次回表示ビューを設定する」(P317)
後退駐車サポート	まっすぐ駐車表示	後退駐車サポート機能を使う/使わないを設定できます。使うときは、最初に表示するダブルビューの種類を設定します。 →「後退駐車サポート」(P230)
	かんたん駐車ガイド	
後方死角サポート	する	後方死角サポート機能を使う/使わないを設定できます。 →「後方死角サポート」(P231)
	しない	
後退出庫サポート	する	後退出庫サポート機能を使う/使わないを設定できます。 →「後退出庫サポート」(P229)
	しない	
後退出庫サポート警報頻度	低い	後退駐車サポート機能の警報頻度を設定できます。
	中間	
	高い	
後方車両お知らせ	する	後方車両お知らせ機能を使う/使わないを設定できます。設定すると車両後方から別の車両が近づいてきたときに音声でお知らせします。
	しない	
後方車両お知らせ開始速度	60km/h	後方車両お知らせ機能のお知らせ開始速度を設定できます。
	80km/h	
	100km/h	
	120km/h	
後方車両お知らせ検知範囲	広い	後方車両お知らせ機能の検知範囲を設定できます。
	標準	
	狭い	
ガイドライン表示	する	リアカメラに表示するガイドラインの表示する/しないを設定できます。
	しない	
ダイナミックガイドライン表示	する	リアカメラに表示するダイナミックガイドラインの表示する/しないを設定できます。 車両の装備やグレードがダイナミックガイドライン機能に対応している必要があります。
	しない	
パーキングセンサー表示	ノーマルビュー	パーキングセンサー画面が表示されたときに表示されるカメラ映像を「ノーマルビュー」または「分割ビュー」に設定できます。 →「パーキングセンサー表示設定」(P317)
	分割ビュー	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## ■ リアカメラの次回表示ビューを設定する

### お知らせ

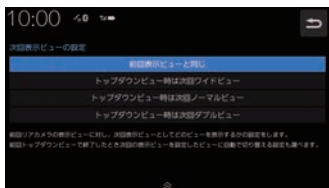
- 前回のリアカメラ映像（ラスト画面）がトップダウンビューの場合に設定したビューで表示します。ただし、車両の切り返しなど本機の電源を切らずに、かつ10km/hを超えた走行をしていない場合は、設定したビューに切り換わりません。

1 **HOME** キーを押し、**設定/情報** にタップする

2 **システム設定** →  
**リアカメラの設定** にタップする

3 **次回表示ビュー** にタップする

4 次回表示したい“ビュー”にタップする



次回表示ビューの設定が完了します。

## ■ ガイドラインを表示する

リアカメラに表示するガイドラインを表示します。

1 **HOME** キーを押し、**設定/情報** にタップする

2 **システム設定** →  
**リアカメラの設定** にタップする

3 「ガイドライン表示」または「ダイナミックガイドライン表示」の**する** にタップする



リアカメラ映像にガイドラインを表示します。

## ■ パーキングセンサー表示設定

カメラ映像以外の画面を表示しているときに障害物を検知した場合、パーキングセンサー画面を割り込み表示する/しないを設定できます。

1 **HOME** キーを押し、**設定/情報** にタップする

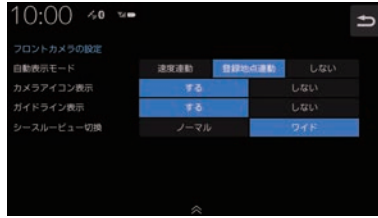
2 **システム設定** →  
**パーキングセンサーの設定** にタップする

3 「パーキングセンサー表示割り込み」の**する** または **しない** にタップする



パーキングセンサーの表示設定が完了します。

## フロントカメラの設定



設定名	設定値	設定内容
自動表示モード	速度連動	車が低速走行になったとき、自動的にカメラ映像を表示します。
	登録地点連動	車が登録地点に近づいたとき、自動的にカメラ映像を表示します。
	しない	自動表示しません。
カメラアイコン表示	する	カメラアイコンの表示する/しないを設定できます。 アイコンが緑色：一定値以下の速度でカメラを自動表示します。 アイコンが灰色：カメラを自動表示しません。
	しない	
ガイドライン表示	する	フロントカメラに表示するガイドラインの表示する/しないを設定できます。
	しない	
シースルービュー切換 <sup>*1</sup>	ノーマル	ノーマルビュー/ワイドビューを設定できます。
	ワイド	

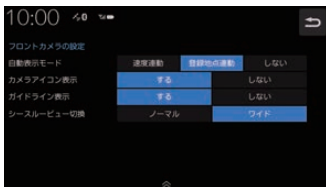
※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 シースルービューに対応していないフロントカメラを接続している場合は表示されません。

### ■ ガイドラインを表示する

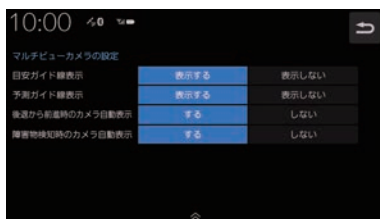
フロントカメラにガイドラインを表示します。

- 1 **HOME** キーを押し、**設定/情報** にタップする
- 2 **システム設定** → **フロントカメラの設定** にタップする
- 3 「ガイドライン表示」の **する** にタップする



フロントカメラ映像にガイドラインを表示します。

## マルチビューカメラの設定



設定名	設定値	設定内容
目安ガイド線表示	<b>表示する</b>	目安ガイド線の表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
予測ガイド線表示	<b>表示する</b>	予測ガイド線の表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
後退から前進時のカメラ自動表示	する	セレクトレバーをリバースからリバース以外に入れたときに、マルチビューカメラの映像を継続して表示する/しないを設定できます。
	<b>しない</b>	
障害物検知時のカメラ自動表示	<b>する</b>	障害物を検知したとき、自動的にカメラ映像を表示する/しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

### お知らせ

- マルチビューカメラシステムの操作方法などについては、車両の取扱説明書をご覧ください。

## メモリ初期化

本機の名設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

### 注意

- 故障の原因となりますので初期化中は、エンジンスイッチをOFFにしないでください。
- 初期化中はメモリーカードを抜き差ししないでください。
- メモリ初期化に失敗した場合は、エンジンスイッチを“OFF”→“ON”してシステムを再起動してください。

### お知らせ

- メモリ初期化は、CDやDVDの再生中およびMusic Rackへの録音中に操作できません。

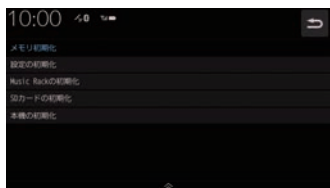
## 1 HOME キーを押す

HOME画面を表示します。

## 2 設定/情報 → システム設定 にタップする

## 3 メモリ初期化 にタップする

## 4 いずれかにタップする



## 5 初期化する にタップする

## 6 再度、初期化する にタップする



選んだ項目の初期化が完了します。

## 初期化の種類

設定の初期化	本機の名設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。この操作では、登録した自宅や登録地は消えません。
Music Rackの初期化	Music Rackに関するデータをすべて消去します。Music Rackで録音した曲や、取得したタイトル情報を消去します。
SDカードの初期化	SDカードの音楽ファイルやMusic Rackを本機で再生するために必要なフォーマットを行います。また、SDカードの音楽ファイルやMusic Rackで録音した曲を含むSDカード内にあるすべてのデータを消去します。
本機の初期化	すべての設定、記録データを消去して工場出荷時の状態に戻すことができます。また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

# 音量設定

案内音量や操作音量の設定が行えます。

- 1 **HOME** キーを押し、**設定/情報** にタップする
- 2 **音量設定** にタップする
- 3 設定したい“項目”にタップする



タップした項目の音量設定画面を表示します。

## 設定できる項目について



項目	設定名	設定値	設定内容
システム	案内音声	0 ~ <b>6</b> ~ 11	[-] / [+] にタップして音声案内の音量を設定できます。数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[0] で無音になります。
	操作音量	消	操作音量の設定が行えます。
		1 ~ <b>2</b> ~ 3	数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消] で無音になります。
車速連動音量設定	ON	車の速度に応じて音量を自動的に調節する / しないを設定できます。	
	OFF		
電話	着信音量	1 ~ <b>6</b> ~ 11	[-] / [+] にタップして着信音量を設定できます。
	送話音量	1 ~ <b>6</b> ~ 11	[-] / [+] にタップして送話音量を設定できます。
	受話音量	1 ~ <b>6</b> ~ 11	[-] / [+] にタップして受話音量を設定できます。
	車速連動音量設定	ON	車の速度に応じて音量を自動的に調節する / しないを設定できます。
OFF			
リアカメラ	運転支援警報音	消	操作音量の設定が行えます。
		1 ~ <b>2</b> ~ 3	数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消] で無音になります。
	後方車両お知らせ音量	0 ~ <b>6</b> ~ 11	後方車両お知らせ音量を設定できます。数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[0] で無音になります。
オーディオ	Audio 音声	0 ~ <b>10</b> ~ 40	[-] / [+] にタップして Audio 音声の音量を設定できます。
	車速連動音量設定	OFF	車の速度に応じて音量を自動的に調節する / しないを設定できます。
		1	
		2	
		3	
後席会話	音量	1 ~ <b>4</b> ~ 8	[-] / [+] にタップして後席会話音量を設定できます。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。



# iPod 利用設定

- 1 **HOME** キーを押す
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **iPod利用設定** にタップする



iPod 利用設定画面を表示します。

## お知らせ

- iPhone を iPod として利用したい場合、iPhone 側で Apple CarPlay で動作しないように設定してください。

# ドライブレコーダーの設定

ドライブレコーダーに関する設定が行えます。

- 1 **HOME** キーを押す
- 2 **ドライブレコーダー情報** にタップする
- 3 **設定** にタップする



ドライブレコーダーの設定画面を表示します。

■ ナビ連動タイプ (DRH-204VD) の場合



設定名	設定値	設定内容
画質	標準	録画画質を設定できます。
	長時間	
プザー音量	OFF	ドライブレコーダーのプザー音の音量を設定できます。
	1	
	2	
	3	
音声録音	する	ドライブレコーダー本体での音声録音をする/しないを設定できます。
	しない	
駐車時録画	する	エンジンスイッチをOFF後、一定時間録画し続けるかを設定できます。
	しない	
駐車時録画プラス	する	「駐車時録画」の設定が[する]の場合は駐車時録画終了後、設定が[しない]の場合はエンジンスイッチをOFF後に衝撃検知で録画を開始する/しないを設定できます。
	しない	
感度設定 (常時録画)	1	ドライブレコーダーの衝撃検知(Gセンサー)の感度を設定できます。感度を高く(数値を高く)設定するほど敏感になり小さな加速でも、急加速だと判断されやすくなります。
	2	
	3	
	4	
	5	
感度設定 (駐車時録画プラス)	1	ドライブレコーダーの衝撃検知(Gセンサー)の感度を設定できます。感度を高く(数値を高く)設定するほど敏感になり小さな加速でも、急加速だと判断されやすくなります。
	2	
	3	
	4	
	5	
SDカードのフォーマット	フォーマットする	ドライブレコーダーに挿入しているSDカードをフォーマットします。
設定初期化	初期化する	ドライブレコーダーの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## ■ ナビ連動タイプ (DRH-229ND) の場合



設定名	設定値	設定内容
画質	標準	録画画質を設定できます。
	長時間	
動作ブザー音量	OFF	ドライブレコーダー本体の急加速・急減速やエラー時に鳴る動作ブザー音の音量を設定できます。
	1	
	2	
	3	
操作ブザー音量	OFF	ドライブレコーダー本体のボタン操作時に鳴る操作ブザー音の音量を設定できます。
	1	
	2	
	3	
音声録音	する	ドライブレコーダー本体での音声録音をする/しないを設定できます。
	しない	
車内録画 <sup>*1</sup>	する	ドライブレコーダー本体での車内録画する/しないを設定できます。
	しない	
駐車時録画	する	エンジンスイッチをOFF後、一定時間録画し続けるかを設定できます。
	しない	
駐車時録画プラス	する	[駐車時録画]の設定が[する]の場合は駐車時録画終了後、設定が[しない]の場合はエンジンスイッチをOFF後に衝撃検知で録画を開始する/しないを設定できます。
	しない	
駐車時録画プラス案内	する	駐車時録画があった場合の案内する/しないを設定できます。
	しない	
感度設定 (常時録画/駐車場録画)	1	ドライブレコーダーの衝撃検知(Gセンサー)の感度を設定できます。感度を高く(数値を高く)設定するほど敏感になり小さな加速でも、急加速だと判断されやすくなります。
	2	
	3	
	4	
	5	
感度設定 (駐車時録画プラス)	1	ドライブレコーダー本体の急加速・急減速の検知感度を設定できます。感度を高く(数値を高く)設定するほど敏感になり小さな加速でも、急加速だと判断されやすくなります。
	2	
	3	
	4	
	5	

設定名	設定値	設定内容
降車時開始時間設定	OFF	降車時の駐車時録画および駐車時録画プラスを開始する時間を設定できます。
	<b>30秒後</b>	
	1分後	
	3分後	
乗車前停止時間設定	OFF	乗車時の駐車時録画および駐車時録画プラスを終了する時間を設定できます。
	<b>30秒前</b>	
	1分前	
	3分前	
SDカードのフォーマット	フォーマットする	ドライブレコーダーに挿入しているSDカードをフォーマットします。
<b>設定初期化</b>	初期化する	ドライブレコーダーの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

※ 「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※ 1 後方/車内録画カメラ装着車のみ。

## テレビの設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

- 1 AUDIOメニューを表示する  
(→P104)
- 2 **TV** にタップする
- 3 画面にタップする  
テレビの操作画面を表示します。
- 4 **設定** にタップする
- 5 設定したい“項目”にタップする



- 6 設定したい“内容”にタップする



- 7 “設定”にタップする



設定内容を変更します。

## ■ 設定項目について

視聴設定	字幕や音声の設定が行えます。 →「視聴設定」(P329)
情報確認	チャンネル一覧や各種情報を確認できます。 →「情報を確認する」(P193)
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定の他、表示に関する設定が行えます。 →「受信機設定」(P330)
スキャン設定	CH スキャンのやり直しやアンテナモードの変更を行います。 →「スキャン設定」(P332)

## 視聴設定

字幕や音声に関する設定が行えます。

### ■ 字幕音声設定

字幕放送や複数の音声放送がある場合に設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
字幕設定	<b>字幕なし</b>	字幕の非表示や言語の選択が行えます。
	第一言語	
	第二言語	
二重音声設定	<b>主音声</b>	出力される音声の選択が行えます。
	副音声	
	主/副	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

### ■ 信号切換

信号切換可能な場合、副映像 / 副音声の設定が行えます。



## 受信機設定

受信に関する各種設定が行えます。

### ■ 自動選局

電波が弱くなったとき、自動でワンセグに切り換えることや自動で系列局を探す設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
自動ワンセグ切換	ON	受信電波の強弱に応じてフルセグとワンセグを自動で切り換えます。
	OFF	フルセグとワンセグを自動で切り換えません。手動で切り換えます。→「フルセグとワンセグを切り換える」(P194)
自動系列局サーチ	ON	受信ができなくなったとき、自動で系列局を探すことができます。
	OFF	自動で系列局を探しません。手動で行います。→「系列局を探す」(P188)
緊急放送自動切換	ON	緊急放送を受信すると自動で緊急放送の画面に切り換わります。
	OFF	緊急放送を受信しても、画面の切り換えは行いません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。



## ■ イベントリレー

視聴中の番組の放送時間が延長し、途中から別のチャンネルで放送された場合に自動でチャンネルを切り換えることができます。



設定名	設定値	設定内容
イベントリレー	ON	自動でチャンネルを切り換えます。
	OFF	自動でチャンネルを切り換えません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## ■ 表示設定

ショートバナーの設定ができます。時刻を表示させたい場合は、ショートバナーを[表示する]に設定してください。



設定名	設定値	設定内容
ショートバナー 常時表示	表示する	常時画面の上部にショートバナー（チャンネル番号や放送局名、時刻などの情報）を表示します。
	表示しない	ショートバナーを表示しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## スキャン設定

CH スキャンのやり直しやアンテナモードの変更を行います。

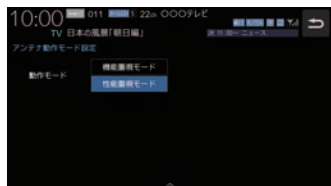
### ■ CHスキャン

CH スキャンのやり直しや更新を行います。

詳しくは「[お好みの放送局を登録する](#)」(P119)をご覧ください。

### ■ アンテナモード設定

アンテナ 4 本装着時のアンテナ動作を設定します。



設定名	設定値	設定内容
動作モード	機能重視モード	アンテナ 3 本でテレビ放送を受信し、1 本は常にサーチを行います。
	性能重視モード	アンテナ 4 本すべてでテレビ放送を受信します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

## その他の設定

モニターの画質や画面表示に関する設定が行えます。

### 画質を調整する

各画面の画質を調整できます。  
また、画面の明るさを昼用/夜用に切り換えることができます。

#### お知らせ

- リアカメラの映像を調整する場合は、セクターレバーをリバースに入れるため、パーキングブレーキを引くなど車の停止を確認してから調整を行ってください。

### 1 調整したい画面を表示させて、

#### キーを長押しする

画質調整のメニューを表示します。  
調整する画面によっては、調整項目が異なります。

#### お知らせ

- 各カメラ映像と AUDIO ソースの各映像画面については、画面ごとに個別で調整できます。一部、調整結果が互いに連動する画面があります。
- 明るさ調整は車のライトが ON のときと OFF のときで別々に設定できます。
- 走行中は調整できません。

## ■ RGB 画面の調整

メニュー画面やナビ画面などの明るさ、コントラストなどを調整します。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタップすると明るくなり、[-]にタップすると、暗くなります。ロングタップ (P29) すると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト (メリハリ) の調整を行います。 [+]にタップするとコントラストが強くなり、 [-]にタップすると、弱くなります。ロングタップ (P29) すると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタップすると黒の濃さが弱くなり、 [黒]にタップすると濃くなります。ロングタップ (P29) すると、連続で調整できます。
初期化	調整した画質を工場出荷時の状態に戻します。
OK	調整を完了し、1つ前の画面に戻ります。
昼夜切换	タップするたびに画面の明るさを昼用/夜用に切り換えます。
画面消	画面を消します。

## ■ 映像画面の調整


テレビ画面やDVD画面、動画再生画面などの明るさや色合いなどを調整します。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタップすると明るくなり、[-]にタップすると、暗くなります。ロングタップ (P29) すると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。[+]にタップするとコントラストが強くなり、[-]にタップすると、弱くなります。ロングタップ (P29) すると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタップすると黒の濃さが弱くなり、[黒]にタップすると濃くなります。ロングタップ (P29) すると、連続で調整できます。
色合い	色合いの調整を行います。 [緑]にタップすると緑っぽくなり、[赤]にタップすると赤っぽくなります。ロングタップ (P29) すると、連続で調整できます。
色の濃さ	色の濃さの調整を行います。 [+]にタップすると色が濃くなり、[-]にタップすると薄くなります。ロングタップ (P29) すると、連続で調整できます。
初期化	調整した画質を工場出荷時の状態に戻します。
OK	調整を完了し、1つ前の画面に戻ります。
昼夜切換	タップするたびに画面の明るさを昼用/夜用に切り換えます。
画面消	画面を消します。

## 画面の表示を消す

画面の表示を消します。音声はそのまま聞くことができます。

1  キーを長押しする

2  にタップする



画面の表示を消します。

再度表示するときは、画面にタップするか[HOME]または[現在地]、[AUDIO]のいずれかのキーを押します。

### お知らせ

- リアカメラやマルチビューカメラが接続されている場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し(黒画面)中でも、カメラ映像に自動で切り換わります。セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- リアカメラやマルチビューカメラ映像を表示している場合は、[画面消]にタップしても画面表示を消すことはできません。

# Other

困ったときは、用語解説、用語索引などの参考情報を記載しています。

## 困ったときは

画面にメッセージが表示されたときや「故障かな?」と思ったときに確認してください。

### こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせて画面にメッセージを表示します。

### ■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
サーバーの接続に失敗しました。サーバーとの通信に異常が発生しました。インターネットサービスはしばらく利用できません。	サーバー側の異常を検出した。	しばらくたってから、再接続してください。
internaviルートの取得に失敗しました。	フェリーを利用するルートを計算した。	フェリーを利用しない目的地を設定してください。
	<b>LXM-237VFLi</b> <b>LXM-237VFNi</b> テレマティクスユニット (TCU) が圏外である。	テレマティクスユニット (TCU) が圏外でないエリアで探索を実行してください。
	<b>LXU-237NBi</b> リンクアップフリー (LUF) が圏外である。	リンクアップフリー (LUF) が圏外でないエリアで探索を実行してください。
	ルートが長すぎる。	短いルートを設定してください。
ルート計算できませんでした。	目的地または経由地の近くに計算可能な道路が無い。	目的地または経由地の位置を変更してください。
	ルートが長すぎる。	短いルートを設定してください。
地図データにエラーが見つかりました。お近くの販売店までお問い合わせ願います。	地図データの入っているストレージを読み込めない。 地図データが壊れている。	お近くのHonda販売店にご相談ください。
ナビの動作に必要な空き容量が不足しています。ナビが正常に動作しない可能性があります。	システムのストレージ容量に空きがない。	本システムの初期化を実行してください。 →「メモリ初期化」(P.320) それでも復帰しない場合は、お近くのHonda販売店にご相談ください。
アプリケーションの初期化ができませんでした。お近くの販売店までお問い合わせ願います。	システムのストレージにデータを書き込むことができない。	お近くのHonda販売店にご相談ください。

## ■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでも問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
再生できません。 ディスクを確認してください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →「再生できるディスクの種類について」(P106)
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
このUSBメモリは再生できません。	認証に失敗した。	USBデバイスを接続しなおしてください。
再生できませんでした。	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。
リージョンコードが違います。 ディスクを確認してください。	本機のリージョン番号と異なるDVDビデオを挿入した。	リージョンコード[2]を含むDVDビデオに交換してください。
このディスクの映像方式(PAL)には対応していません。	PAL方式で記録されたDVDビデオを使用している。	NTSC方式で記録されたDVDビデオを使用してください。
このディスクは再生できません。	DVD-VRの読み込みに失敗した。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。数回試して正常に動作しない場合は、ディスクに何らかの異常がある可能性があります。
このSDカードは使用できません。	SDカードの読み込みに失敗した。	SDカードを挿入しなおしてください。
	本機に対応していないSDカードを挿入した。	本機に対応しているSDカードを挿入してください。 →「SDカードの曲を聴く」(P143)
SDカードに書き込みできません。 SDカードを確認してください。	SDカードが「Lock」状態になっており、書き込みできない。	SDカードを取り出し、「Lock」を解除してください。
SDカードの空き容量が不足しています。これ以上録音できません。	SDカードの容量がいっぱいになったため、Music Rackに録音できなくなった。	不要な曲またはプレイリストを消去して、再度録音してください。 →「プレイリストを消去する」(P159)
録音できませんでした。	何らかの原因で録音できない。	別の音楽CDに交換してください。
		別のSDカードに交換してください。
CD録音中のため、SD内のビデオは再生できません。	Music Rackに録音中。	録音が終わってからSDカードの動画をご覧ください。

## ■ テレビ機能

メッセージ	原因	処置
放送局が登録されていません。ホームCHスキャンを実行してください	ホームCHに放送局が登録されていない。	ホームCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ホームCHスキャンを行う」(P190)
放送局が登録されていません。ドライブCHスキャンを実行してください	ドライブCHに放送局が登録されていない。	ドライブCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ドライブCHスキャンを行う」(P191)
受信制御データが設定されていません。しばらくお待ちください(最大で30秒かかる場合があります。) コードEC21	放送局から受信するための情報が取得できていない。	初期設定をした後に、はじめて選んだ放送局は映像表示するまでにしばらく時間がかかります。受信するための情報が取得できるまでしばらくお待ちください。

## ■ ETC機能

別売のETC車載器またはETC2.0車載器を本機に接続したときに表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ETC車載器が未接続のため設定できません。	ETC車載器が接続されていない。 ETC車載器が故障している。	Honda販売店にご相談ください。
ETCカード未挿入のため表示できません。	ETCカードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETCカードをETC車載器に正しく挿入してください。
ETCカードを確認しました。ETCカードの有効期限は20XX年XX月です。	ETCカードの有効期限が近づいている。	ETCカードの有効期限が切れる2か月前から案内します。 有効期限が過ぎる前に新しいETCカードを挿入してください。

## ■ カメラ機能

メッセージ	原因	処置
パワーシステム起動後に使用してください。	パワーシステムが起動していない。	エンジンスイッチをONにしてご使用ください。
汚れ検出機能動作中リアカメラdeあんしんプラスが使用できません。	・後方死角サポート ・後方車両お知らせ のいずれかで汚れを検出した場合	Honda販売店にご相談ください。
カメラエーミングを実施してください。	後退出庫サポートのエーミングが未実施の場合	Honda販売店にご相談ください。

## ■ ドライブレコーダー機能

別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）を本機に接続したとき、ドライブレコーダーの状態によって表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ドライブレコーダーにSDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。	ドライブレコーダー本体にmicroSDカードが正しく挿入されていない、または未挿入。	microSDカードを正しく挿入してください。
保存フォルダーへ移動できませんでした。 ドライブレコーダーのSDカード内の不要な動画を削除してください。	ドライブレコーダーに挿入されているmicroSDカードの容量がいっぱいになっている。	保存フォルダー内の不要な動画を削除してください。保存フォルダー内には20ファイルまで移動できます。 →「録画データを消去する」(P243)(P250)
SDカードのフォーマットができませんでした。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	何らかの異常があった。	再度、フォーマットしてください。それでもフォーマットができない場合は、販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーが動作できません。	何らかの異常があった。	Honda販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました。新しいSDカードへの交換をお勧めします。	microSDカードの書き換え寿命が近づいている。	microSDカードには寿命があります。新しい付属のmicroSDカードに交換してください。
このファイルは対応していないファイルのため、再生できません。	再生するファイルが、本ドライブレコーダーで撮影したファイルではない。	本ドライブレコーダーで対応していないファイルがあるため、非対応のファイルを削除してください。またはフォーマットしてからお使いください。
ドライブレコーダーのSDカードが取り出されました。ファイルが壊れる可能性がありますのでSDカードを抜く場合は取出しボタンを押してから取出してください。	[SDカード取り出し]ボタンを押さずに、microSDカードを取り出した。	ファイルが壊れる可能性があるため、 「microSDカードを取り出す」(P244)(P251)の操作を行ってから取り出してください。
ドライブレコーダーに非対応のSDカードが挿入されています。必ず付属のSDカードをご使用ください。	ドライブレコーダー付属以外のmicroSDカードを挿入した。	必ずドライブレコーダー付属のmicroSDカードをご使用ください。 または、Honda販売店で本ドライブレコーダー専用のmicroSDカードをお買い求めください。



## ■ インターナビ機能

メッセージ	原因	処置
回線接続できませんでした。	通信に何らかの異常があった。	しばらく経ってから再度、接続してください。
	通信中に通信圏外へ移動した。	通信圏内へ移動してください。

## ■ 通信

メッセージ	原因	処置
接続できませんでした 通信機器または通信設定をご確認ください	通信状態によりサーバーと通信できない。もしくは、internavi 通信設定の接続先に誤りがある。	しばらく経ってから再操作してください。改善しない場合は、接続設定を確認してください。
コンテンツの取得に失敗しました	サーバーからデータを受信できなかった。	しばらく経ってから再接続してください。
認証に失敗しました	サーバーとの接続認証に失敗した。	日付及び時刻設定が正しいことを確認してください。(正しい時刻に設定してください。) 日付及び時刻設定が正しい場合は、お近くのHonda 販売店にご相談ください。
回線接続が行われておりません 通信機器または通信設定をご確認ください	通信状態によりサーバーと通信できない。もしくは、internavi 通信設定の接続先に誤りがある。	しばらく経ってから再操作してください。改善しない場合は、接続設定を確認してください。
認証できませんでした	サーバーとの接続認証に失敗した。	日付および時刻設定が正しいことを確認してください。(正しい時刻に設定してください。) 日付及び時刻設定が正しい場合は、お近くのHonda 販売店にご相談ください。
情報を取得できません	サーバーからデータを受信できなかった。	しばらく経ってから再接続してください。
情報がありません	サーバーとの接続認証に失敗した。	お近くのHonda 販売店にご相談ください。

## ■ 車内 Wi-Fi

メッセージ	原因	処置
Wi-Fi 設定を変更できません。しばらく経ってからお試しください	Wi-Fi 設定を変更できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fi 購入プランを購入されているか確認してください。</li> <li>画面右上のWi-Fi 設定がONになっているか確認してください。</li> <li>少し時間を空けて試してください。</li> <li>それでも解消されない場合はHonda Total Care コールセンターへお問い合わせください。</li> </ul>
サーバーとの通信に失敗しました	サーバー接続できなかった。	少し時間を空けて試してください。 それでも解消されない場合はHonda Total Care コールセンターへお問い合わせください。

## 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

問題が解決しないときは、「保証とアフターサービス」(P361)をお読みになり修理を依頼してください。

### ■ 共通

症状	原因	処置
操作できない。	走行中は、安全のため一部の操作が制限されます。	走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
モニターが下がらない。	モニター上部を手で押し下げ、モニターを閉めてください。 (モニターが上がった状態のまま走行しないでください。) Honda 販売店にご相談ください。	
操作音が鳴らない。	操作音が[消]になっている。	[音量設定]の「操作音量」を[1～3]に設定してください。 →「音量設定」(P321)
音量が勝手に変化する。	本機の音量調整は、案内音声、着信音量、受話音量、オーディオ音声で分かれており、出力音によって音量が変わる可能性があります。 音量設定を確認してください。 →「音量設定」(P321)	
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて画面消し解除(P334)の操作をしてください。
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
	本機内部が高温になっている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
画面がフリーズする。	規格外のディスクを使用した場合、再生途中でフリーズする場合があります。	ディスクの種類を確認してください。 →「再生できるディスクの種類について」(P106)
モニターの画面が暗い。	モニターの明るさ調整が適切でない。	モニターの明るさの調整をしてください。 →「画質を調整する」(P333)
	車のライトがONになっている。	工場出荷時は車のライトをONに設定すると画面が暗くなる仕様です。[表示の設定]で「昼夜色」を[昼固定]に設定すると、常時明るい設定になります。 →「地図」(P283)
	昼夜切換により画面の明るさが「夜用」になっている。	昼夜切換を「昼用」に切り換えるか、ILL 操作により昼夜切換モードを解除してください。 →「オプションボタンを設定する」(P40) →「ステアリングリモコン動作の設定」(P313) →「画質を調整する」(P333)
画面に残像が残る。	DVDメニュー画面や点滅の激しい映像を表示し続けると、画面に残像が残る場合がありますが時間の経過によって残像は消えます。故障ではありません。	

## 「共通」のつづき

症状	原因	処置
テレビ画面から地図画面に勝手に切り換わる。	停車中にテレビを視聴していた場合、走行開始すると地図画面に切り換わります。再度停車するとテレビ画面に戻ります。故障ではありません。ただし、走行中に画面を切り換えるなどの操作をした場合は、停車時にテレビ画面に戻りません。	
通話相手に自分の声が聞こえない。	ミュート設定になっている。	ミュート設定を OFF にしてください。 (通話画面の右下にミュート設定ボタンがあります) → 「音量を調整する」(P220)
電話帳が同期されない。	電話帳同期に対応していない携帯電話	携帯電話により電話帳が同期できない機種があります。 動作確認済みの機種は弊社のホームページに掲載しています。
	ナビの電話帳同期設定が「同期しない」になっている。	電話帳同期設定が「同期する」になっているか確認してください。 携帯電話の機種によっては、携帯側での設定が必要な機種がございます。(P214)
着信音が鳴らない。	着信音量の設定が小さくなっている。	着信音の設定を確認してください。 → 「音量設定」(P321) また、着信中にボリューム操作をすることで着信音量の調整ができます。
電話帳の表示が携帯電話と異なる。	携帯電話から送られてくる情報によっては情報が正しく表示されない場合があります。 電話帳画面の [同期しない] → [同期する] と切り換えると正しく表示される場合があります。→ 「電話帳や履歴を同期する」(P214)	
Bluetooth 機器の登録ができない。	機器によっては登録できない場合があります。 動作確認済みの機種は弊社のホームページに掲載しています。	
CarPlay/Android Auto が起動しない。	①接続する端末が CarPlay/Android Auto に対応しているか確認してください。 ②接続する対応端末の CarPlay/Android Auto 接続設定が有効になっているかを確認してください。 ③接続ケーブルを交換して、再度お試しください。充電にのみ対応したケーブルの場合、CarPlay/Android Auto はご利用できませんので、データ転送に対応したケーブルに交換してください。 ④接続ケーブルの抜き差しや対応端末の再起動をして、再度お試しください。	
HDMI でスマートフォンとの接続のしかたが分からない。	別売の HDMI 接続コードが必要です。車両によっては標準装備または別売の HDMI 接続ジャックに接続します。なお、HDMI 端子はスマートフォンの外部モニターとして使用できるものであり、ナビ画面でのタッチパネル操作はできません。	
本機の近くにある車両スイッチなどの操作音がリアスピーカーから出力される。	後席会話サポート機能により、操作音がリアスピーカーから出力されている。	音量を下げる、または機能を停止してください。

## ■ ナビゲーション機能

症状	原因	処置
自車マークの表示位置が正しく表示されない。	人工衛星からでている電波信号に問題がある。	GPS受信状態でしばらく走行してください。
	フェリーなどで移動した。	
	駐車場などの方向転換用ターンテーブルにて方向転換した。	
	車速の学習のレベルが低い。	
GPSが受信できない。	取り付け直後で自車位置計算に時間がかかる。	見晴らしのいい場所で最大20分位待ってください。
	GPSアンテナ付近のウィンドガラスに鏡面タイプのフィルムやカーボン含有の遮光フィルムを貼っている。	GPSアンテナを移設、またはフィルムをはがしてください。
	他のアンテナが近くにある。	GPSアンテナまたは他のアンテナを移設してください。
	GPSアンテナ上にものをのせている。	GPSアンテナ上にあるものを取り除いてください。
	GPSアンテナを上下逆に設置している。	取付要領書を確認し、正しく設置してください。
	GPSアンテナを周囲が板金で覆われた場所に設置している。	周囲が板金で覆われていない場所にGPSアンテナを設置してください。
	GPSアンテナのコネクターを本機に接続していない。または、正しく接続されていない。	取付要領書を確認し、正しく接続してください。
	走行中、一部の地図が表示されない。	詳細な地図を表示しているときに速い速度で移動すると、一部の地図が表示できない場合があります。 地図の縮尺を広域に変更することで、改善する場合があります。
渋滞線/アイコン類が表示されない。	自車移動や縮尺変更、地図向き変更などで改善する場合があります。	
道路の表示が途切れる。	地図の縮尺を広域にしていくと国道や高速道路など主要道路以外の道路データを間引くため、道路の表示が途切れることがあります。 必要に応じて地図の縮尺を詳細にさせていただくことで改善します。	
メニューの操作ができない。	安全のため、走行中はメニュー操作ができない場合がある。	安全なところに停車しパーキングブレーキを引いて操作してください。
	エンジンスイッチをアクセサリーまたはONにした直後は、データ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能がある。	読み込み完了までしばらくお待ちください。

## 「ナビゲーション機能」のつづき

症状	原因	処置
音声による案内がない。	ナビ音量が「消」になっている。 音声案内が出力されているときに[-]キーを押したことで案内音量が小さくなっている。 (P23)(P24)	システムの「案内音量」を[1]～[11]に設定してください。 →「音量設定」(P321) 音声案内中に本機の[-]キー/[+]キーまたはステアリングリモコンの[-]キー/[+]キー(P31)で設定してください。 アイドリングストップ中は消費電流を抑えるために、音量の設定値にかかわらず、音量の大きさを自動で制限して、大きな音が出なくなります。(P23)
ルート探索を繰り返す。	Music Rackに録音中は探索が遅くなるため、ルート探索完了時にはすでに案内点を過ぎている場合があります。 録音を停止することで改善する場合があります。	
突然ルートが変わる。	「ルート自動更新」を[使用する]にしていると、最適なルートが見つかった段階で案内を開始するため、直前でルートが変わる場合があります。 →「ルート自動更新」(P98)	
VICS情報が受信できない。	VICS情報がまだ受信できていない。 本機にラジオアンテナ(車両側のAM/FM用アンテナプラグ)が正しく接続されていない。	見晴らしのいい場所で、しばらくお待ちください。 取付要領書を確認し、正しく接続してください。
ETC2.0の機能で、受信していない情報が表示される。	一定の条件を満たした情報のみ自動的に表示します。 手動で表示するとすべての情報を表示できますので、自動表示されていない情報が表示される場合があります。	
料金表示が実際と異なる。	各種割引表示には対応しておりません。 また、ルートによっては料金が異なる場合があります。	

## ■ オーディオ機能

症状	原因	処置
オーディオの音がでない/ 音が小さい。	音量が最小になっている。 バランス/フェーダーが片寄っている。 「Audio OFF」になっている。 音量レベルが自動的に調整されている。	音量を調節してください。 音声案内が出力されているときに-キーを押したことで案内音量が小さくなっている。 (P23)(P24) バランス/フェーダーを調整してください。 →「音質の設定を変更する(Sound Settings)」(P292) 「Audio ON」にしてください。 →「オーディオ機能がOFFのとき」(P105) アイドリングストップ中は消費電流を抑えるためオーディオの音量レベルの上限が変わります。 →「音量を調節する」(P23)

次のページにつづく

## 「オーディオ機能」のつづき

症状	原因	処置
ラジオの受信感が悪い。	アンテナが格納されている。	アンテナを立ててください。
ディスク再生ができない。	ディスクが裏向きに挿入されている。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクが結露している。	しばらくたってから挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクに傷が付いている。	傷のないディスクをご使用してください。
	再生できないディスクを使用している。	ディスクの種類を確認してください。 →「再生できるディスクの種類について」(P106)
作成したディスクが再生できない。	ディスク作成時の設定がディスクアットワンスになっているか確認してください。ディスクアットワンス以外の場合は再生できないまたは音飛びする場合があります。	
USB デバイスを認識しない。	USB デバイスによっては再生できない場合があります。USB デバイスを一度取り外し、異物噛み込みや端子の汚れなどが無いことを確認の上、再度接続してください。それでも認識しない場合は本機でご使用に出来ないUSB デバイスです。	
再生できないファイルがある。	ファイルによっては再生できないものがあります。対応ファイルフォーマットを確認してください。	
音楽再生が途中で途切れる。	CDの挿入後「録音する」をタップするとSDカードに録音しながらの再生(追いかけて再生)が始まります。このように同時に録音と再生を行っている場合、音楽再生が途中で数秒間途切れることがあります。録音をしていなければ音楽再生が途切れることはありません。	
SDカードが再生できない	再生できないSDカードを使用している。	SDカードの種類を確認してください。 →「SDカードについて」(P24)
録音できない。	何らかの原因でSDカードにアクセスできない可能性がありますので、SDカードを取り出し、再度挿入してください。または、SDカードに記録されているデータが破損している可能性があります。データが破損していると、録音や再生、編集ができません。この場合、データの復旧ができないためSDカードを本機で初期化してください。	
Music Rackの再生ができない。		
Music Rackの編集ができない。		
AVRCPのバージョンに対応しているがデバイス側の操作ができない。	機器によっては操作できない機能があります。	
Bluetooth Audio再生時、正しい情報が表示されない。	機器によっては表示するための情報を取得できないものがあります。	
iPodが正しく動作しない。	認証に失敗した。	iPodを接続しなおしてください。
	認識できない未対応フォーマットのiPodが接続されている。	本機に対応しているiPod(P10)を使用してください。
	iPodのソフトウェアバージョンが正しくない。	対応するソフトウェアバージョンを使用してください。
	バッテリーの残量が少ない状態で接続すると、iPod起動時に正しく動作しない場合があります。	
曲が送り続けられる。	SDカードが読めなくなった。	SDカードを一度抜き取り、再度挿入してください。

## ■ カメラ機能

症状	原因	処置
リアカメラガイド線表示されない。	ガイドライン表示設定が「しない」になっている。	ガイドライン表示設定を「する」にしてください。

## ■ テレビ機能

症状	原因	処置
受信できない。	アンテナケーブルの接続不良。	取付要領書に従い正しく配線してください。
TV放送が映らない。 映像が乱れる。	TV放送の放送エリア内ではない。	TV放送は、ある程度受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。
	専用アンテナを使用していない。	専用アンテナをご使用ください。
	TVアンテナの周辺に電子機器を置いている。	受信を妨げる可能性がありますので、電子機器を外してください。 →「受信について」(P179)
番組表が表示されない。	番組表が取得できていない。	本機を起動後、最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかることがあります。 地上デジタルTV放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。 番組データ取得 (P186) をすると、番組情報を取得します。
放送局のロゴマークが表示されない。	ロゴマークが取得できていない。	TV放送の各放送局を一定時間受信していると、放送局のロゴマークが表示されます。
字幕や文字スーパーがでない。	「字幕設定」が「字幕なし」に設定されている。	「字幕音声設定」の「字幕設定」で「第1言語」または「第2言語」に設定してください。 →「字幕音声設定」(P329)
	見ている番組が字幕や文字スーパーがない番組である。	字幕や文字スーパーのある番組を見てください。字幕や文字スーパーのある番組はロングバナーにアイコンが表示されます。 →「記号について」(P185)
番組内容が変更される。	ワンセグとフルセグで番組内容が異なる放送を受信している。	「自動ワンセグ切換」をOFFに設定してください。 →「フルセグとワンセグを切り換える」(P194)

## ■ リア席モニター機能

症状	原因	処置
リア席モニターが黒画面となって映像が表示されない。	ナビが起動処理中となっている。	故障ではありませんので、映像が表示されるまでお待ちください。
	対応していないAVソースとなっている。	対応しているAVソースでお楽しみください。

## 車両のバッテリー交換を行ったら

車両のバッテリーを交換すると一部メモリーが消去されます。

例：時刻表示（衛星を受信後、正しい時刻が表示されます。）

### お知らせ

- セキュリティの設定を[使用する]にしている場合、起動後パスワードを入力するまで使用できません。→「セキュリティコード入力画面」(P20)



# 用語解説

## ナビ関連用語

ナビに関する用語を説明します。

### 細街路

道幅の狭い一部の道路。縮尺100m以下の地図で表示できます。

走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

### 市街地地図 (→P67)

縮尺10/25/50mで表示されるビルや家の形まではっきりと見える地図です。

### 自転車

本機を装着しているお客さまのお車のことです。

### ジャイロセンサー

車の進行方向を調べる部品です。

### 車速センサー

車の走行距離を調べる部品です。

### スマートIC

スマートIC (スマートインターチェンジ) は、ETC車載器またはETC2.0車載器装着車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

### 走行軌跡

地図には、自転車が走ってきた道に印 (点線) がつきます。この印 (点線) を走行軌跡と言います。現在地より過去100kmの軌跡が保存され、100kmを超えると古い軌跡から消去されます。

### 測位

人工衛星からの電波を受信して、その情報を元に自転車の位置を割り出すことを言います。

### マップマッチング

実際に走行している道路から外れた位置に自転車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自転車位置マークを道路上に表示させる機能です。

### ランドマーク

お店や施設を地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

### Apple CarPlay (→P43)

本機とApple CarPlay対応のiPhoneを接続することで、本機のディスプレイから直接iPhone操作できるようになります。行き方を調べる。電話をかける。メッセージを送受信する。音楽を聴く。などの操作ができます。

### Android Auto (→P45)

本機とAndroid Auto対応の機器を接続することで、本機のディスプレイから直接Androidを操作できるようになります。行き方を調べる。電話をかける。メッセージを送受信する。音楽を聴く。などの操作ができます。

### ETC2.0 (→P210)

ETC2.0は従来のETCの機能であるノンストップ自動料金収受システムに加え、渋滞回避や安全運転支援サービスなどの総称です。

### GNSS (→P49)

GNSSは、Global Navigation Satellite System (全地球測位システム)の略称です。米国が開発運用している衛星「GPS」の他に、ロシアの「GLONASS (グロナス)」やヨーロッパの「GALILEO (ガリレオ)」、日本の「QZSS」など複数の衛星を用いて、全地球を測位することができる衛星システムのことです。

## GPS (→P49)

GPSは、Global Positioning System (グローバル・ポジショニング・システム)の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で、周回しているGPS衛星から地上に放射される電波を受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

## VICS (ビックス)

VICSは、Vehicle Information and Communication System (道路交通情報通信システム)の略称です。VICSレーダーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

## リアル交差点案内図 (→P63)

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。(データがある交差点のみ) 曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。  
交差点までの距離は、残距離バーでも表示します

## オーディオ関連用語

オーディオに関する用語を説明します。

### 追いかけて再生

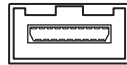
音楽CDを録音中にすでに録音済みの曲を頭から再生します。  
その間も録音はつづけられます。

### プレイリスト

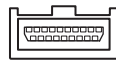
Music Rackに音楽CDの曲を録音すると、アルバムごとに格納される場所が自動的に作成されます。その場所のことをプレイリストと言います。

### HDMI (Eタイプ) (→P202)

本機側



ケーブル側



HDMIの車載用タイプコネクタ。

本機は、HDMIのEタイプコネクタのため、家庭用で販売されているHDMIケーブルと接続できません。別売のHDMI接続コードをお買い求めください。

車両によっては、HDMI接続コードの代わりに標準装備または別売のHDMI接続ジャックに接続する場合があります。

### ID3タグ (→P111)

MP3 ファイルの終わりに、曲名/アーティスト名/アルバム名/製作年度/コメント/音楽ジャンルを128バイトの固定の長さにし、ファイルとして格納しています。

### Music Rack (→P154)

挿入した音楽CDの曲を、SDカードに録音する機能です。

## DVDビデオ関連用語

DVDビデオに関する用語を説明します。

### 言語コード (→P299)

DVDビデオを再生するときに設定する各言語のコード。

### タイトル



DVDビデオにはいくつかの大きな区切りが設定されており、その1つの区切りをタイトルと呼びます。また、各タイトルに設定された番号をタイトル番号と呼びます。

### チャプター

各タイトルにはさらにいくつかの区切りが設定されており、その1つの区切りをチャプターと呼びます。また、各チャプターに設定された番号をチャプター番号と呼びます。

### 続き再生

ビデオ再生中に停止などで再生を中断後、再度再生したときに同じ場面から再生を開始する機能です。レジューム再生とも呼びます。


※ 続き再生ができるときは  が点滅し、できないときは  が表示されます。

### ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術。

### マルチアングル

1つの場面のアングルを変えて見ることができる機能です。

※ マルチアングル対応のDVDビデオのパッケージには  が記載されています。

### CPRM

記録型DVDディスクなどに使われている著作権保護技術のこと。

### DTS Digital Surround

デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタル音声圧縮の技術。DVD-VIDEOではオプション規格のため必ず収録されているとは限りません。

### MPEG

画像(動画)圧縮の国際標準フォーマット。

### NTSC

アナログテレビ放送システムが採用していたカラーテレビの方式の一つ。日本ではNTSC方式が採用されており、本機のDVDビデオの再生もNTSC方式専用となっています。他の方式(PAL方式、SECAM方式)で記録されたDVDビデオは再生できません。

### (リニア)PCM

音楽CDなどに使用されている音楽記録方式。

## テレビ関連用語

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

### エリアCH

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることが出来る放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

### ドライブCH

旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録するためにあります。

### フルセグ

家庭用の地上デジタルTV放送のことで、ハイビジョン放送（HDTV）をご覧いただけます。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち12個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

### 放送モード

本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

### ホームCH

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録するためにあります。

### マルチ編成

1つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

### リモコン番号

放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。本機では、画面に表示します。

### ワンセグ

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルTV放送のことです。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち1つのセグメントを使用していることから、「1セグ＝ワンセグ」と呼ばれています。

### CHモード

各用途に応じて、放送局を登録する「ホームCH」、「ドライブCH」、「エリアCH」の総称を本書では「CHモード」と表記しています。

### EPG

Electronic Program Guideの略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

# 別売品 (システムアップ) について

## お知らせ

- 各別売品は車両標準装備の場合があります。車両によって詳細仕様が異なる場合があります。
- 本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

## 別売品

- ETC 車載器 (ナビ連動タイプ)
- フロントカメラ
- 地上デジタルテレビ放送用フィルムアンテナ
- リア席モニター
- USB メモリーデバイスコード
- HDMI 接続コード
- ETC2.0 車載器
- ドライブレコーダー (ナビ連動タイプ)
- リアカメラ de あんしんプラス3
- パーキングセンサー
- ハイグレードスピーカーシステム

# ソフトウェアについて

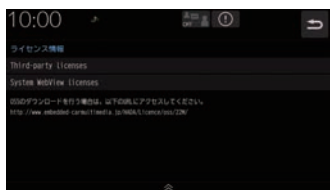
## システムのオープンソースソフトウェアを確認する

### 1 HOME キーを押す

HOME画面を表示します。

### 2 設定/情報 → システム設定 →

システム情報 → ライセンス情報  
にタップする



### 3 Third-party licenses もしくは System WebView licenses に タップする

オープンソースソフトウェアを確認することができます。

## ナビのオープンソースソフトウェアを確認する

### 1 ナビメニューのバージョン情報 (P290) のOSSライセンスの





> にタップする

オープンソースソフトウェアを確認することができます。

# 地図記号について

※ 以下に説明する地図記号は本書作成時の情報にもとづいて記載しております。  
 本書に記載していない地図記号や表示されなくなった地図記号がある場合があります。

## ● 道路・その他











-  [青色] 高速道路 / 都市高速 / 有料道路
-  [緑色] 一般国道
-  [橙色] 主要地方道
-  [灰色] その他の道路

-  [水色] 水域
-  都道府県界
-  JR
-  私鉄

## ● 一般記号

- |  |  |   |
|--|--|---|
|  一般国道         |  動物園          |  大学  |
|  主要地方道        |  水族館          |  警察署 |
|  インターチェンジ     |  植物園          |  消防署 |
|  サービスエリア      |  温泉           |  郵便局 |
|  パーキング        |  美術館・博物館      |  自衛隊 |
|  ジャンクション      |  神社           |  墓地  |
|  料金所          |  寺院他          |  工場  |
|  高速出入口        |  スキー場         |  信号機 |
|  スマートインターチェンジ |  キャンプ場        |  官公署 |
|  都道府県庁        |  ヨットハーバー・マリーナ |  図書館 |
|  市役所・区役所      |  小学校          |  バス停 |
|  公園           |  中学・高校        |   |
|  遊園地          |  |   |

## ● 主な施設

- |   |   |  |   |   |
|---|---|--|---|---|
|  東京タワー |  松江城   |  東京都庁 |  原爆ドーム |  新宿センタービル    |
|  神宮球場  |  日本武道館 |  通天閣  |  JR東京駅 |  横浜ランドマークタワー |

Other

# 地図ソフトについて

## 重要!!

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「株」ゼンリン）間の「本機」（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

## 使用規定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器1台に限り使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
  - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
  - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
  - (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
  - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。（本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）
  - (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
  - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
  - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
  - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
  - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
  - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

## 【地図データについて】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。

R 2JHs 293-B187号	R 2JHs 293-B162号
LXM-237VFi、LXM-237VFNi	LXU-237NBi

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日）
- 3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しています。

R 2JHs 294-B18号	R 2JHs 294-B16号
LXM-237VFi、LXM-237VFNi	LXU-237NBi

- この地図の作成に当たっては、（一財）日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。（測量方法第44条に基づく成果使用承認12-0040）
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づきものとなっています。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリンの住宅地図データに基づき作成しています。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 自然災害等の影響により、表示される地図が現地と一部異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。



## 地図ソフトについて

- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね 2021 年 6 月、国道、都道府県道についてはおおむね 2021 年 4 月までに収集された情報に基づき製作されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
  - ◆3D 交差点 …… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
  - ◆ジャンクションビュー …… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
  - ◆方面看板 …… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点を表示)
    - ※3D 交差点、ジャンクションビュー、方面看板は、全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね 2021 年 1 月までに収集された情報に基づき製作されています。時間指定の一方通行規制は、推奨ルートの探索にあたっては、考慮されません。また、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- この地図データは、以下の著作物を改変して利用しています。  
「区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数」、東京都・【その他の著作権者】、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0 国際 (<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)

### 【経路探索について】

- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

### 【交通規制データについて】

- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、(公財)日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を(株)ゼンリンおよびMAPMASTERが加工して作成したものを使用しています。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるものが収録されています。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

### 【電話番号検索情報について】

- 本ソフトに使用している電話番号検索情報は、NTTのタウンページ電話帳2021年3月の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。また、お客様が電話番号や店舗名称等を用いて対象となる店舗の位置を検索した場合、該当する店舗の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

### 【VICSリンクについて】

- VICSリンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しています。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

## 【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2021年6月（高速・有料道路）/2021年4月（国道・都道府県道）

■交通規制\*1：2021年5月                      ■住所検索：2021年5月                      ■電話番号検索：2021年3月

■郵便番号検索：2021年5月                      ■ジャンル検索：2021年4月

■高速・有料道路料金\*2：2021年6月                      ■市街地図：2021年1月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア（PA）、サービスエリア（SA）の施設情報は表示されない場合があります。

2022年3月発行 製作/株式会社ゼンリン

©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

©ジオ技術研究所

©2022 ZENRIN CO., LTD. Allrights reserved.

**地図に関するお問い合わせ先**  
**株式会社ゼンリン カスタマーサポートセンター**  
**フリーダイヤル 0120-210-616**  
**受付時間 9:30-17:30 月～土（祝日・弊社指定休日は除く）**  
※携帯・PHSからもご利用いただけます。  
※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

# VICS 情報有料放送サービス契約約款

## 第 1 章 総則

(約款の適用)

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス  
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約  
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者  
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランプラー  
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

## 第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス  
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス  
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス  
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

## 第 3 章 契約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランプラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランプラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができます。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条

- (1) 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
- (2) 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

## 第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

## 第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条

- (1) 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
- (2) 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。  
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

## 第 6 章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条

- (1) 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。  
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。  
但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- (2) VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

## 別表視聴料金

視聴料金：330 円（税込み）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

# 仕様

ナビゲーションユニット		
受信周波数		1575.42MHz(GPS/QZSS) 1598.0625 ~ 1605.375MHz(GLONASS)
受信方式		パラレル27チャンネル
受信感度		-130dBm以下
測位更新時間		約1秒
メディア容量		64GB (フラッシュメモリー)
オーディオ		
アンプ部	最大出力	45W × 4
	適合スピーカーインピーダンス	4 Ω
イコライザー部	20バンドイコライザー	22/31.5/44/63/87/125/175/250/350/500/700/1k/1.4k/2k/2.8k/4k/5.6k/8k/11k/16kHz 調整幅レベル：±12dB (1dB/1step)
DVD プレーヤー部	対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD-R/RW <sup>*1</sup> 、DVD+R/RW、CD-DA、 CD-R/RW (MP3、WMA、AAC、WAV フォーマット) ※1) VRモードに対応
	周波数特性	20 ~ 20,000Hz (CD-DA)
	S/N比	86dB
	全高調波ひずみ率	0.1%以下
FM/AM部	受信周波数範囲	FM：76.0 ~ 95.0MHz AM：522 ~ 1629kHz
	実用感度	FM：10dB $\mu$ V、AM:33dB $\mu$ V
	S/N比	FM：55dB(20kHz L.P.F. 使用)、 AM：50dB(20kHz L.P.F. 使用)
	ステレオセパレーション	FM：30dB (20kHz L.P.F. 使用)
TV部	放送方式	地上デジタル放送方式 (日本) ワンセグ/フルセグ
	受信チャンネル	13 ~ 52ch
	アンテナ	専用アンテナ
Music Rack部	形式	AES128 で暗号化された AAC フォーマット
	S/N比	86dB
	全高調波ひずみ率	0.1%以下
SDカード部	対応容量	最大2TB (推奨128GBまで) (SDXC規格対応/CPRM非対応)
	対応圧縮音声フォーマット	MP3、WMA、AAC、WAV、FLAC
	S/N比	86dB
	全高調波ひずみ	0.1%以下

GPS アンテナ		
方式	マイクロストリップ平面アンテナ	
モニター		
画面サイズ	LXM-237VFLi	: 253.44 × 142.56mm
	LXM-237VFNi	: 198.72 × 111.78mm
	LXU-237NBI	: 198.72 × 111.78mm
タッチパネル	静電容量式タッチパネル	
外部接続		
外部入力	HDMI 機器など (1 系統)	HDMI 規格による
リア席モニター出力	デジタル出力 1 系統	映像: 専用インターフェースによる
カメラ入力	アナログ 2 系統	映像: NTSC 1.0Vp-p
	デジタル 1 系統	映像: 専用インターフェースによる LXM-237VFLi LXM-237VFNi
ドライブレコーダー入力		音声: 2.0Vrms MAX (1kHz)
		映像: NTSC 1.0Vp-p
専用SDカード		
容量	8GB	
スピードクラス	Class10	
電源・寸法・質量		
使用電源	DC13.2V (マイナスアース)	
最大消費電流	MAX15A	
動作温度	-30℃ ~ +70℃	
外形寸法	LXM-237VFLi	: 約 幅 281 × 高さ 177 × 奥行き 190mm
	LXM-237VFNi	: 約 幅 259.8 × 高さ 168.5 × 奥行き 189.9mm
	LXU-237NBI	: 約 幅 231.6 × 高さ 201.4 × 奥行き 183.6mm
質量 (本体のみ)	LXM-237VFLi	: 約 3.3kg
	LXM-237VFNi	: 約 3.1kg
	LXU-237NBI	: 約 3.1kg

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

## 保証とアフターサービス

### ■ 保証について

- 保証書に記載された「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

### ■ アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …… まず、本機をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき …… 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明な点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

## 用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

### ア行

アイドリングストップ	23
明るさ	333,334
アフターサービス	361
アングル	139
案内音声	322
案内開始	81
イコライザー	294
一般道方面看板表示	63
緯度・経度	76
色合い	334
色の濃さ	334
インターナビ交通情報	91
インターナビの設定	308
ウェザー	271
映像	196
映像情報	183
エリア	182
エリアCH	350
追いかけて再生	348
オーディオ機能	104
オーディオをON/OFFする	105
お知らせメッセージ	36
オプションボタン	40
音楽CD	123
音楽ファイル	109,128
音質の設定 (Sound Setting)	292
音声	135,138,196,329
音声認識	314
音声の設定	328
音声モード	183
オンライン検索	74
音量設定	329
音量を調節する	16,23

### カ行

カーソル	56
ガイドライン	317,318
各アイコン	35
画質調整	333
カスタマイズ	39,41
カメラ	222,225,235
カメラ設定	311,316,318,319
画面の表示を消す	334
規制情報	95
北基準	60
機能制限	22
緊急サポート	273
緊急情報	98
緊急放送自動切換	185
黒の濃さ	333,334
経由地	54,70,84
系列局	182,188
言語コード	299,349
現在地	53
現在地を修正する	288
交差点案内図	63
交差点名	54
後席会話サポート	237
高速出入口イラストマップ	64
高速道路逆走案内	66
高速道路情報	68
後退出庫サポート	229
後退駐車サポート	230
交通情報	122
行程ガイド	57
後方死角サポート	231
後方車両お知らせ機能	231
合流案内	65,282
ここを登録	53,88
ここを編集	53,89
小文字 / 大文字	32
コントラスト	333,334

### サ行

細街路	347
再生できるディスクの種類	106



最速	80
シーク	121
ジェスチャー操作	18,19
市街地地図	67,347
自転車	347
自転車位置の補正	287
自転車基準	60
システム設定	278,311
施設名	68,75
自宅を登録する	88
視聴制限 (DVD)	142,297
視聴設定	328,329
自動系列局サーチ	330
自動録音	295
自動ワンセグ切換	195,330
字幕	138,329
字幕情報	183
字幕設定	329
ジャイロセンサー	347
車速センサー	347
車内PM2.5	236
車内Wi-Fi	274
ジャンル	76
住所	75
渋滞	211,265
周辺	76
縮尺	67
縮尺アイコン	53
受信機設定	328,330
受信強度	183
手動録音	295
準天頂衛星	35,49
仕様	359
商標	9
情報確認	328
情報設定	300
ショートカットメニュー	40
ショートバナー常時表示	331
初期化	293,296,320
シングル録音	295
数字入力	140
数字入力用キーボード	34
スクロール	56,67

ステアリングリモコン	31
ステアリングリモコンの設定	313
スマート	80
スマートIC	68,347
スマートフォンから探す	77
スライド	30
セキュリティコード	20
セキュリティの設定	312
前回の検索地点	76
全地球測位システム	347
ゾーン30	65
走行軌跡	283,347
走行軌跡削除	284
走行中の操作制限	137,184
操作音量	322
測位	50,347

## タ行

タイトル	349
タイトル情報	124,126,164
立ち寄り履歴100	270
タップ	29
タブボタン	30
ダブルタップ	29
探索条件	81
探索方法	51
地図色	62
地図データ更新サービス	277
地図文字	62
地点メニュー	70
チャプター	349
駐車場情報	93,95
駐車場セレクト	269
昼夜切換	40
通過道路	85
続き再生	349
ディスクスロット	17
ディスクを取り出す	27
ディスプレイ	16
デバイスID(TV)	193
デモ走行	87
テレビ	179,180

電話	213
電話の設定	301
電話番号	34,215
電話をかける	217
電話を使う	213
到着予想時刻	54
登録地点	75
登録地点情報	89
登録地点の設定	88
登録地点を消去する	90
特殊文字	33
友達マップ	78
ドライブ	182
ドライブレコーダー	238,245,324
ドライブCH	350
ドライブCHスキャン	191,192
ドルビーデジタル	349

## ナ行

ナビ画面	53
二重音声設定	329

## ハ行

パーキングセンサー	232,311
バージョン情報	289
ハイウェイモード	68
バナー	183
半角/全角	32
番組内容	182,185
非測位	50
ピンチアウト	30
ピンチイン	30
フォルダーの構成	110,117
フォルダーを選ぶ	128,143,172
物理チャンネル番号	183
踏切案内	65
プリセットボタン	120
フリック	29
フリック入力画面	33
フルセグ	194,350
プレイリスト	155
フロントカメラ	222

フロントカメラの設定	318
分岐表示	64
変換文字候補リスト	32
放送モード	183,350
保証	361
ホーム	182
ホームCH	350
ホームCHスキャン	180,190
本機	15
本機の設定	278

## マ行

マップコード	76
マップマッチング	49,347
マルチアングル	349
マルチインフォメーションディスプレイ	52,272
マルチタップ	29
マルチビューカメラ	227
マルチビューカメラの設定	319
マルチ編成	350
無料道優先	80
名称	75
名称入力用キーボード	34
メッセージ	335
メニューカスタマイズ	39
メモリ初期化	320
免責事項	6
目的地の設定	72
目的地履歴	75
文字入力	32
文字入力用キーボード	32
文字の種類	33
モニター Open	25

## ヤ行

郵便番号	76
用語解説	347

## ラ行

らくらく	80
ラジオ	119

リアカメラ	225,228,235
リアカメラの設定	316
リア席モニター	252
リアル交差点案内図	63
リスト表示	128,143,148,172,177
(リニア)PCM	349
リモコン番号	182,194,350
料金所案内図	64
ルート	280
ルート自動更新	98
ルート消去	53,83
ルート全体	82
ルート編集メニュー	82
レーン案内	65
録音する	152
録音方法を変更する	295
ロングタップ	29

## ワ行

ワンセグ	194,350
------	---------

## A

AAC	113
AM	120
Android Auto	45
Apple CarPlay	43
AUDIO	16,104
AUDIO再生情報	105
AUDIOメニュー	104
AV設定	278,291

## B

Bluetooth Audio	197
Bluetoothの設定	303

## C

CarPlay	43
CHモード	182,350
CPRM	349

## D

DTS Digital Surround	349
DVD/CD	123,128,132
DVDビデオ	132
DVDビデオの初期設定	296

## E

EPG	182,186,350
ETC	207,208
ETC車載器の情報	209
ETCの設定	302
ETCの履歴	209
ETC2.0	210,347
ETC2.0アップリンク	286
ETC2.0音声自動再生	286
ETC2.0受信音	286
ETC2.0図形情報割り込み	286
ETC2.0の設定	286
ETC2.0文字情報割り込み	286
ETC割引	80

## F

FLAC	115
FM	120
FM多重放送	91

## G

GNSS	49,347
Google アシスタント	45
GPS	49,348
Gracenote	10

## H

HDMI出力機器	202
HDMI(Eタイプ)	202,348
HOMEメニュー	37
Honda Total Care	255
Honda Total Care プレミアム	256

**I**

ID3 タグ .....	348
iPod .....	168
iPod MENU .....	171

**M**

MP3 .....	111
MPEG .....	349
Music Rack .....	348
Music Rack を聴く .....	154
My スポット .....	75
My コース .....	268

**N**

NaviCon .....	77
NAVI 設定 .....	278,279
NTSC .....	349

**P**

PLAYLIST .....	155
----------------	-----

**Q**

QZSS .....	49
------------	----

**R**

RADIO .....	119
-------------	-----

**S**

SD/Music Rack .....	143
SD カード .....	24
SD カードスロット .....	25
SD カードの曲を聴く .....	143
SD カードの動画を見る .....	148
Siri .....	43
Sound Settings .....	292

**T**

TITLE .....	134,135
TV の設定 .....	328

**U**

USB .....	167
USB デバイスの曲を聴く .....	172
USB デバイスの動画を見る .....	177

**V**

VICS .....	91,348
VICS アイコン .....	93
VICS 記号 .....	95
VICS 局を選ぶ .....	100
VICS 情報 .....	93
VICS センター .....	96
VICS 駐車場情報 .....	93
VICS の設定 .....	279,285
VICS メニュー .....	94
VOL .....	16,23

**W**

WMA .....	112
WAV .....	114

**数字**

2 画面地図 .....	57
2 次元測位 .....	50
2D マップ .....	61
3D ビューマップ .....	61
3 桁チャンネル番号 .....	183
3 次元測位 .....	50



- 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

### 株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎ 0120-663521

(受付時間：9時～12時、13時～17時 /

但し、土日・祝日・弊社指定休日は除く)

- Honda Total Care およびリンクアップフリー、緊急サポートについてのお問い合わせは、Honda Total Care コールセンターまでお願いします。

### 本田技研工業株式会社

### 「Honda Total Care コールセンター（会員専用）」

全国共通フリーダイヤル ☎ 0120-21-5656

(受付時間：9時～12時、13時～17時 / ゴールデンウィーク・夏期・年末年始休業を除く)

**販売元** 株式会社ホンダアクセス 〒352-8589  
埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

**製造元** 三菱電機株式会社 〒100-8310  
東京都千代田区丸の内2丁目7番地3号(東京ビル)

08A40-PL0-C301-8A  
N871L71760

